SONY

3-226-847-**05** (1)

SONY パーソナルファクシミリ SNF-5CL/5CLW/V6CL

パーソナルファクシミリ

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

名のってる

ナンバー・ディスプレイ対応 キャッチホン・ディスプレイ

77セレクティ搭載! 0077 SELECTY

αEメール

えらんでメロディ

SNF-5CL/5CLW/V6CL

目次

初めてお使いになるかたは、まず「設置」（☞18ページ）をお読みください。

留守番電話機能

77セレクティ

その他

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1 年に1 度は、充電台のプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、充電台などが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



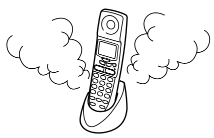
万一、異常が起きたら

**親機から
変な音・においがしたら、煙が出たら**



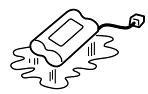
❶電源プラグをコンセントから抜く
❷電話回線コードを抜く
❸お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する
（修理時は、親機と子機を両方お持ちください）

**子機・充電台から
変な音・においがしたら、煙が出たら**



❶子機なら、バッテリーをはずす
充電台なら、電源プラグをコンセントから抜く
❷お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する（修理時は、親機と子機を両方お持ちください）

バッテリーパックから液が漏れたら



- すぐに火気から遠ざける
- 目に入った場合は、きれいな水で洗った後、すぐに医師に相談する
- 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す
- お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する
（修理時は、親機と子機を両方お持ちください）

⚠警告





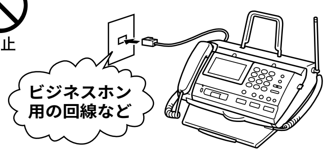
下記の注意事項を守らないと

火災・感電により大けがの原因となります。



ホームテレホン・ビジネスホン用の回線などに接続しない

本機をホームテレホン・ビジネスホン用の回線に接続すると必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となります。
回線の種類などをお確かめのうえご使用ください。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。





本機は国内専用です

電源コード・充電台は交流100V の電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

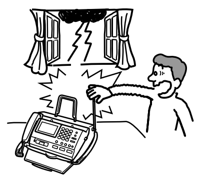




雷が鳴りだしたら、本機、電話回線コード、電源プラグ、充電台に触れない

感電の原因となります。





電子レンジや高圧容器に、バッテリーパック、親機・子機・充電台を入れない

バッテリーパックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、親機・子機、充電台の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。



電源プラグはAC100Vコンセントに差し込む

やむを得ず、同じコンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、電流値の合計がコンセントの最大値を超えないようにしてください。火災の原因となります。



本体の電源コードはたこ足配線にしない

テーブルタップ等が過熱・劣化し、火災の原因となります。



電源プラグはコンセントに確実に差し込む

電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となります。



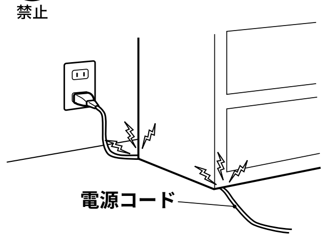
電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- 電源コードを金属などで柱などに固定しない。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。



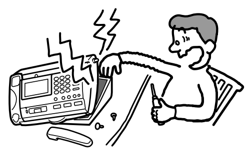


つづく→

内部を開けない

故障・感電・火災の原因となります。 お客様が本機の分解や改造をすることは法律で禁止されています。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

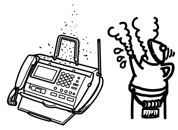




湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光の当たる場所、虫の入りやすい場所には置かない

火災や感電の原因となります。





本機の上や近くに、花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などが入った容器、または小さな金属類を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



本機のアンテナを目にささないように注意する



⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグに触らない

感電の原因となることがあります。





電話回線コードを傷つけない

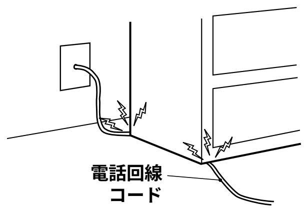
電話回線コードを傷つけると、感電の原因となることがあります。

- 電話回線コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電話回線コードを抜くときは、必ずプラグのツメを押さえて抜く。
- 電話回線コードを金属などで柱などに固定しない。

万一、電話回線コードが傷んだら、新しいものにお取り替えください。

詳しくは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。





医療機器の近くで使用する場合は必ず使用許可を得る

本機の発する電磁波が、医療機器に影響を及ぼす場合があります。

医療機器の近くで本機をご使用になる場合は、必ず使用許可を得てください。

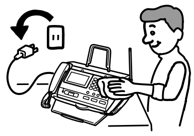




お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く



本機、インクフィルム、インクカートリッジは、幼児の手の届かないところに置く

小さい部品や付属品を幼児が誤飲する恐れがあります。

禁止

スピーカー部や充電台に磁気カード類を近づけない

キャッシュカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気を使用したカード類をスピーカー部や充電台に近づけないでください。カード類が使えなくなることがあります。

禁止

安全にお使いいただくためにアース接続する

アース線が取り付けられるところは次の部分です。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
- 接地工事（D種）が行われている接地端子
- 次のようなところには絶対にアース線を取り付けないでください。
  ガス管、電話専用アース線、避雷針、水道管や蛇口

指示

直射日光の当たるところや温度が高いところに置かない

- 内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 変色の原因となります。
- コピーやファクスの記録のかすれの原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所、振動、衝撃の多い場所に置かない

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

通信やコピー中に電源プラグを抜いたり、本機のカバーを開けたりしない

故障の原因となります。

禁止

落としたり、強い衝撃を与えたりしない

故障の原因となります。

禁止

ハンドスキャナを落としたり、固いものにぶつけたりしない

ガラスが破損してけがの原因となります。

禁止

親機または子機のスピーカーに耳を近づけない

大音量により耳に負担となる場合があります。

禁止

インクフィルム交換および記録紙セットなどで開閉部を閉めるときは、指挟み、指のけがに注意する

指示

インクフィルムカートリッジは、指定の取りはずし箇所以外を分解しない

分解禁止

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 指定された充電台以外で充電しない。
- 火の中に入れない。電池の＋と－端子を金属などでショートさせたり、分解、加熱しない。コイン、ヘヤーピン、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 充電式電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけない。
- 水、雨水、海水などで濡れた電池を充電したり、使用しない。
- 電池内部の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠警告

- 指定された電池を使用する。
- 電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こす恐れがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

⚠注意

- コネクターを正しい向きで差し込む。コネクターのコードはねじらない。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 付属のバッテリーパックの充電温度範囲は5 ℃～35 ℃ です。この温度範囲以外で使用すると、充電池の液が漏れたり、発熱する原因となることがあります。
- ニカド電池はそのまま廃棄しないで下記の「リサイクルのお願い」に従ってください。

リサイクルのお願い

Ni-Cd

ニカド電池は、リサイクルできます。不要になったニカド電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：
社団法人電池工業会　　　TEL：03-3434-0261
ホームページ：http://www.baj.or.jp

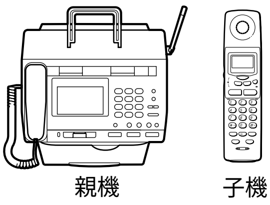
この説明書の読みかた

本機をお使いになる前に、接続と初期設定が必要です。
まず、この取扱説明書の「設置」をお読みになり、設置と接続と初期設定を確実に行ってください。
この取扱説明書では、SNF-5CL、SNF-5CLW、SNF-V6CLの説明をしています。
お使いの機種により機能や操作が異なるところがあります。

●SNF-5CL、SNF-V6CLをお買い上げのお客様へ

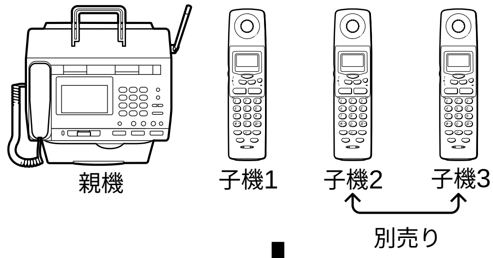
SNF-5CL、SNF-V6CLには子機が１台付属されています。

別売りの子機を増設していない場合



「子機1台の場合」と書いてある部分をお読みください。

別売りの子機SNF-HS5／HS6を増設している場合

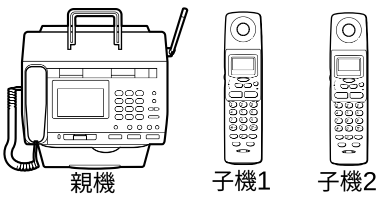


「子機が2台以上ある場合」と書いてある部分をお読みください。

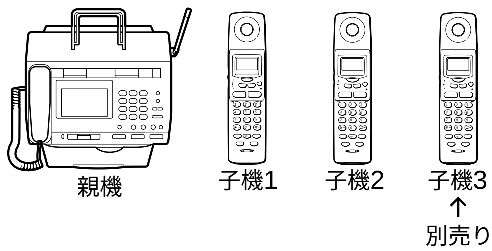
●SNF-5CLWをお買い上げのお客様へ

SNF-5CLWには子機が2台付属されています。

別売りの子機を増設していない場合



別売りの子機SNF-HS5／HS6を増設している場合



「子機が2台以上ある場合」と書いてある部分をお読みください。

その他の部分については、お使いの機種に関係なくお読みください。

本書で使用しているマーク

- ボイスガイドの内容
- 参照ページ
- ご注意または確認事項
- ちょっと一言（知っていると便利な情報）
- **親機**、**子機**　親機と子機で操作方法が違うときに、使っています。どちらかで操作してください。

本機での操作について

親機

- 操作をまちがえたときは、（ストップ）を押してください。
- 登録や設定をするには、ローラージョグを回して機能を選択する方法と、機能番号をダイヤルボタンで入力する方法があります。

子機

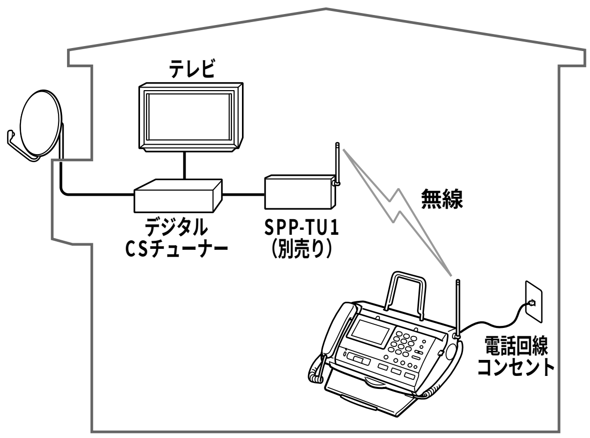
- 操作をまちがえたときは、（切）を押してください。
- 登録や設定をするには、ジョグダイヤルを回して機能を選択する方法と、機能番号をダイヤルボタンで入力する方法があります。

こんなことができます

デジタルチューナーリンク

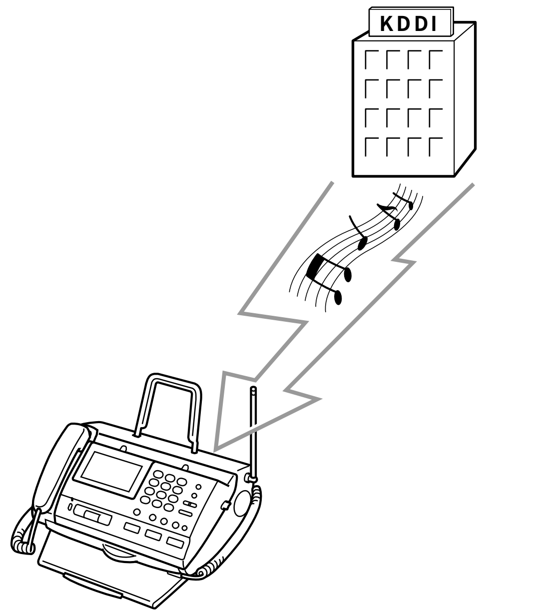
別売りのSPP-TU1およびソニー製CSチューナー、BSデジタルチューナー、デジタルテレビ（デジタルベガシリーズ）との組み合わせで、PPV* 番組の課金情報をワイヤレスでやり取りすることができます。
この機能により、面倒な電話線コードの延長や、配線工事などが必要なくなります。

*PPV（ペイ・パー・ビュー）：ご覧になった番組の分だけ視聴料を支払うシステム



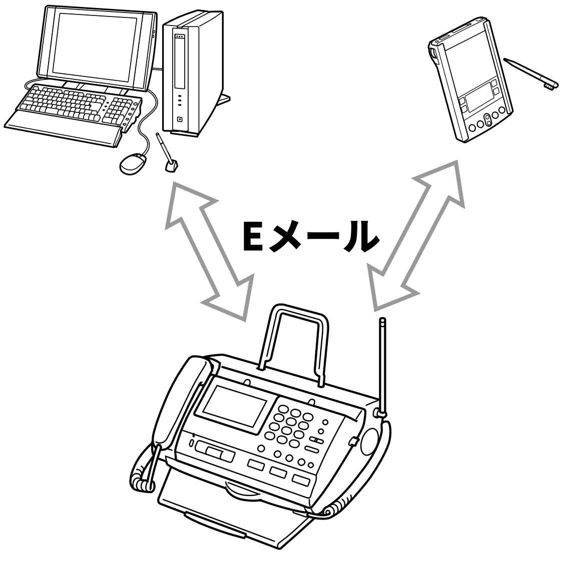
えらんでメロディ えらんでメロディ

KDDI提供の「えらんでメロディ」サービスから、親機の着信メロディを10曲まで登録することができます。



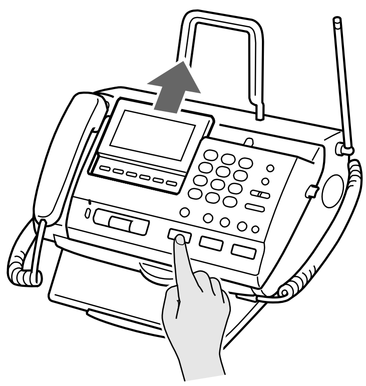
α-Eメール機能

KDDIのα-Eメールサービスに加入すると、パソコンやEメール対応の携帯電話などとEメール（電子メール）の送受信ができます。
パソコンがなくても簡単にEメールのやりとりができます。
※ KDDIとの契約が必要です。



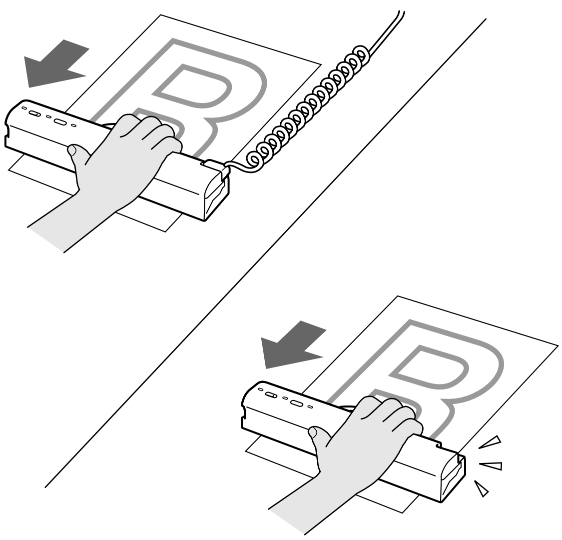
大型チルトアップ液晶

大型液晶ディスプレイなので、表示文字も見やすく操作も安心です。
ナンバー・ディスプレイに加入すれば、電話帳に登録された相手からかかってくると名前が漢字で表示されます。



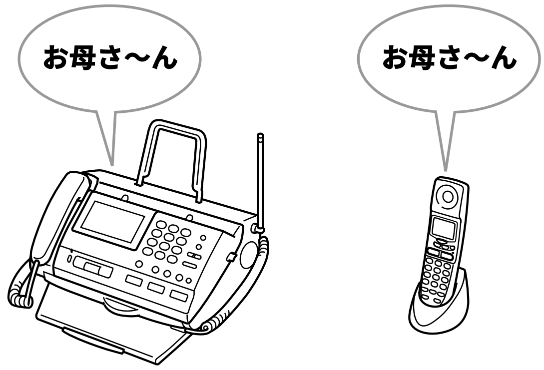
2Way（ウェイ）ハンドスキャナ

コードをつけたままでも、コードレスでもコピー、ファクスできます。



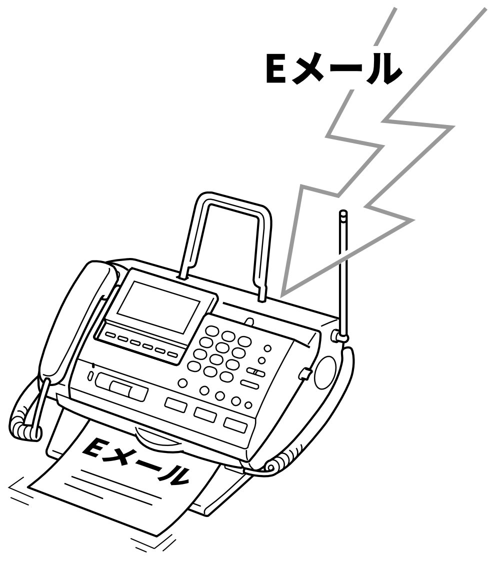
名のってる

呼び出し音を相手の名前などに変えること（音声呼び出し機能）ができます。
大型チルトアップ液晶に「名のってる」表示が点灯しているときにご利用になれます。
ナンバー・ディスプレイと電話帳機能を組み合わせてご使用いただくことで、本機に登録されているよく使う呼び名20種類、名字50種類から音声を選択することもできます。



ダイレクトプリント

受信したEメールが自動的にプリントされます。



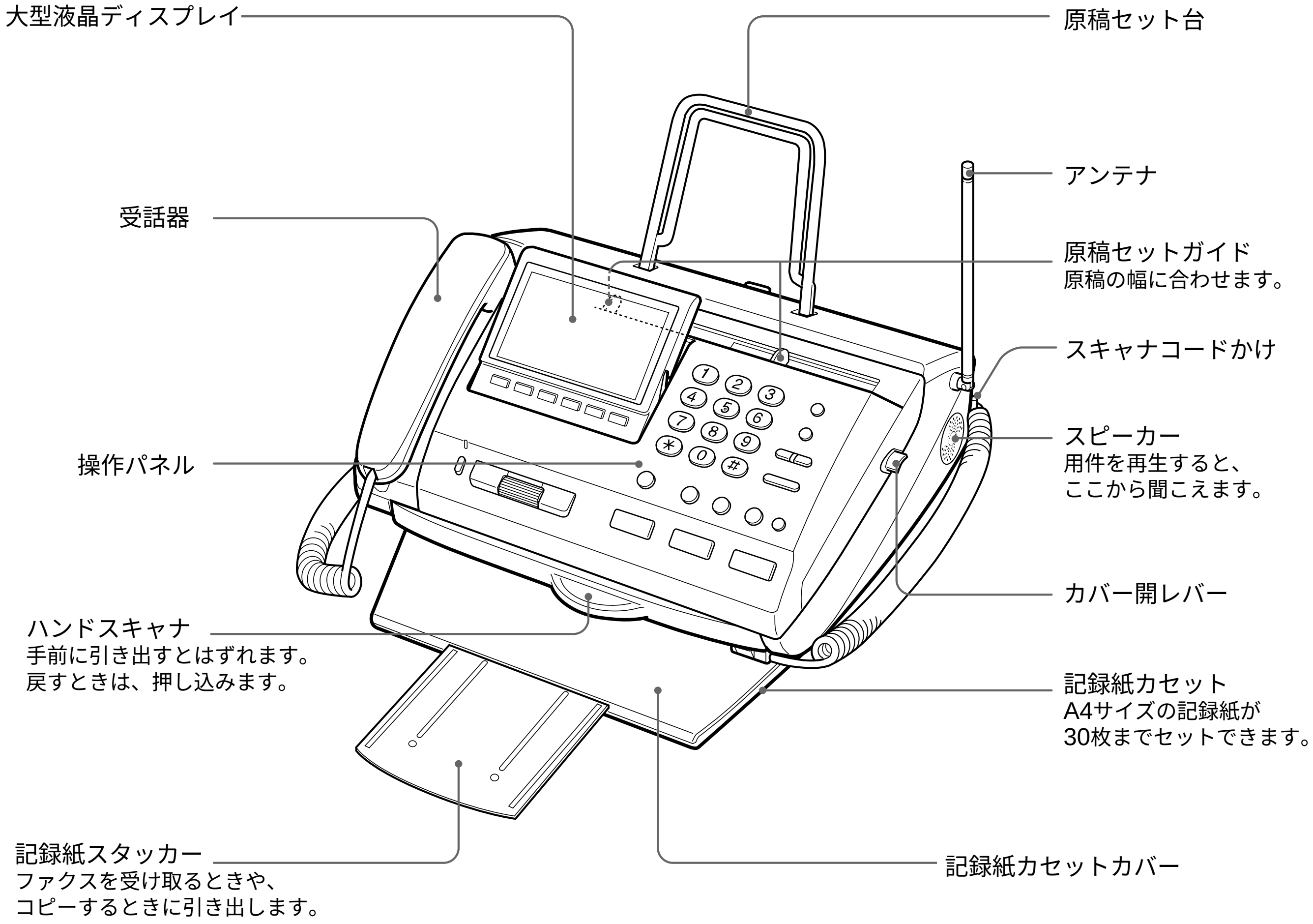
ナンバー・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ

かけてきた相手の電話番号や名前をディスプレイに表示します。
かかってきた電話番号の記録から相手に電話をかけることなどができます。
キャッチホン・ディスプレイに対応しているので、お話し中でも相手の電話番号や名前を表示することができます。
ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイは、それぞれ、NTTとの契約が必要です（有料）。

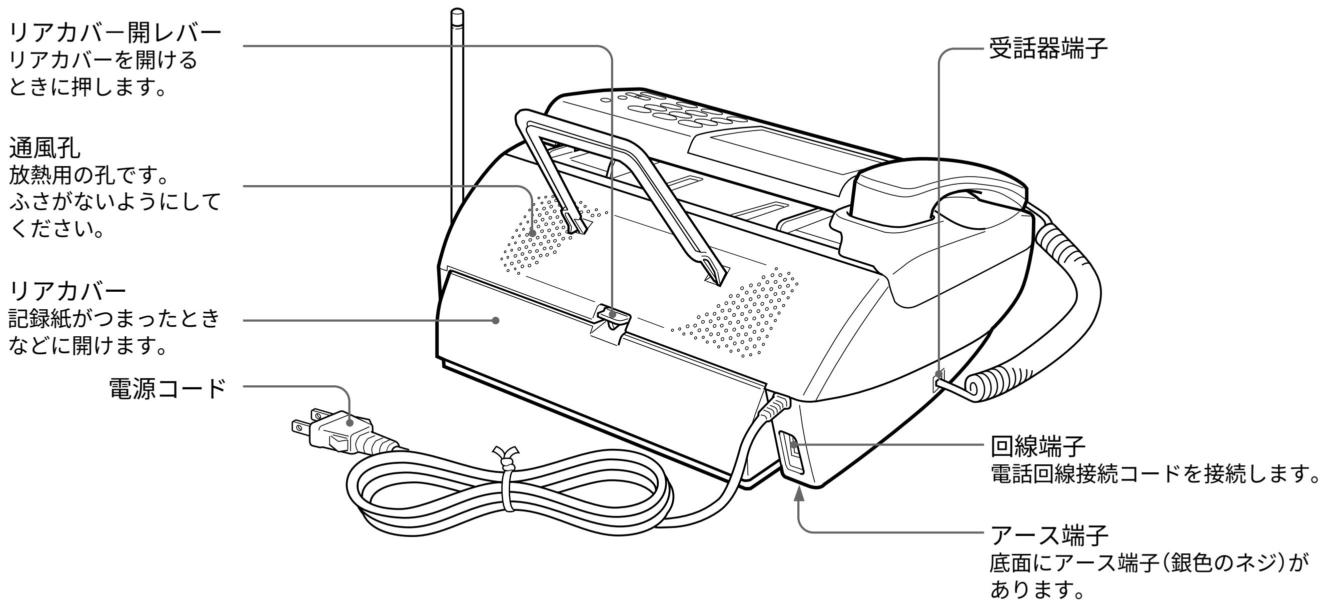


各部の名称

親機の正面



親機の背面



親機の操作パネル

(1)～(0)　ダイヤルするときや文字入力などに使用します。

(1)　再生中の用件をもう一度聞いたり、ひとつ前の用件を聞くときに使用します。

(3)　再生中の次の用件を聞くときに使用します。

(＊)　ダイヤル回線を使用してるかたがトーン（プッシュ）信号を送りたいときに使用します。

(#)　おことわり先を表示するときに使用します。

(名のってる)　音声呼び出し機能（誰からコール、ご指名コール、呼出し音声、非通知理由）を利用するときに押します。

(発信/着信記録)　発信記録や着信記録を表示するときに使用します。

(＋)　ベル音量、受話音量、スピーカー音量を大きくするときに使用します。

(－)　ベル音量、受話音量、スピーカー音量を小さくするときに使用します。

(スピーカーホン)　受話器を持たずに電話を受けたり、かけたりするときに使用します。

ダイレクトプリント
センターからメールを受信したときに自動的にプリントします。

名のってる
ご指名コール、誰からコールなど、音声呼び出し機能が利用できます。

転送
用件転送が設定されています。

おやすみ設定されています。

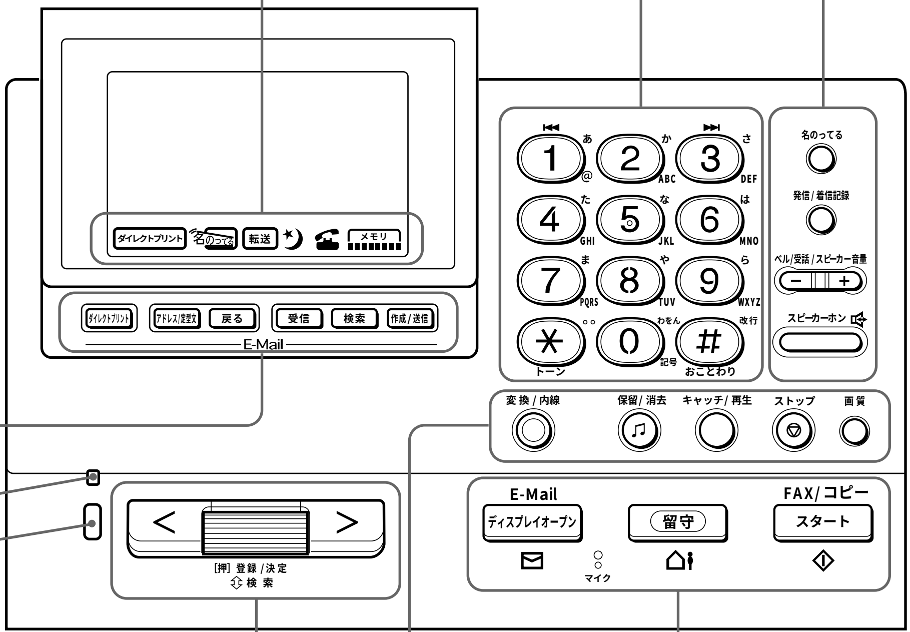
着信しています。

メモリ
メモリ残量が確認できます。

α-E メールを利用するときに使用します。

77セレクティランプ

77セレクティボタン



(<)(>)
機能の設定を選択するときに使用します。

(登録/決定)／ローラージョグ
機能を選択したり、電話帳を検索するときに使用します。

(変換/内線)　漢字変換、子機を呼び出すときに使用します。

(保留/消去)　電話を保留にしたり、用件の消去、各種入力を消去するときに使用します。

(キャッチ/再生)　キャッチホンが入ったとき、用件を再生するときに使用します。

(ストップ)　操作を途中でやめたいときや、登録終了時に使用します。

(画質)　コピー／ファクス／スキャナの画質を調整するときに使用します。

(ディスプレイオープン)　大型液晶ディスプレイを上げるときに使用します。（上げると、α-Eメールを利用するとき使用するボタンがあらわれます。）

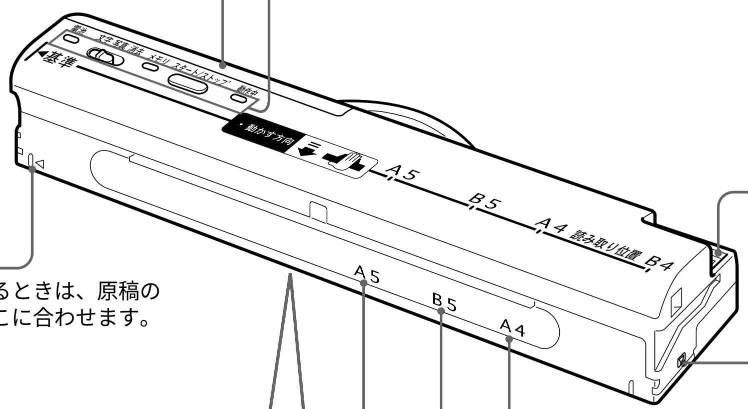
(留守)　留守番電話にするときに使用します。

(スタート)　ファクスやコピーを開始するときに押します。

スキャナ

電池ランプ	ハンドスキャナの電池の状態を示します。
文字／写真／消去	画質を選択したり、読み取った原稿を消去したりするときに使用します。
メモリランプ	ハンドスキャナのメモリ容量の状態を示します。
(スタート/ストップ)	原稿を読み取り始めるときや、終わるときに押します。
動作中ランプ	原稿読み取り中、メモリ書き込み中、プリント中、送信中に緑色に点灯します。

電池カバー



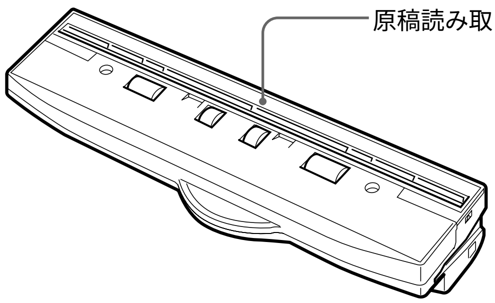
ハンドスキャナ用コード端子
本体に取り付けるときまたはコードを付けて使用するときは、ハンドスキャナ用コードを必ず接続してください。

基準線
コピーを取るときは、原稿の左端を、ここに合わせます。

読み取りマーク
実際に読み取る位置を示しています。

読み取り幅マーク

裏面



原稿読み取り面

子機の正面

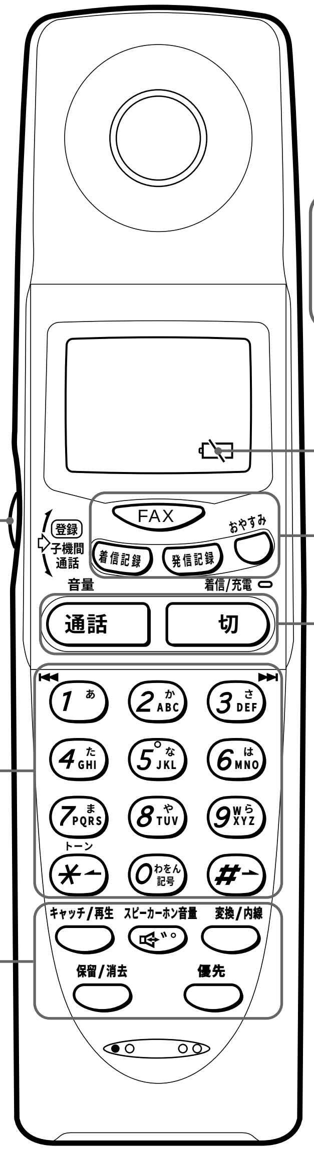
(1)〜(0)	ダイヤルするときや文字入力などに使用します。
(1)	再生中の用件をもう一度聞いたり、ひとつ前の用件を聞くときに使用します。
(3)	再生中の次の用件を聞くときに使用します。
(＊)	電話帳登録・検索のときや、トーン（プッシュ）信号を送りたいときに使用します。
(#)	電話帳登録・検索のときに使用します。

(FAX)	ファクスを受信したときに使用します。
(着信記録)	着信記録を表示するときに使用します。
(発信記録)	発信記録を表示するときに使用します。
(おやすみ)	ベルを鳴らさないおやすみ設定をするときに使用します。

ジョグダイヤル

- 機能を選択したときに使用します。
- 電話帳を検索するときに使用します。
- 子機間で通話するときに使用します。

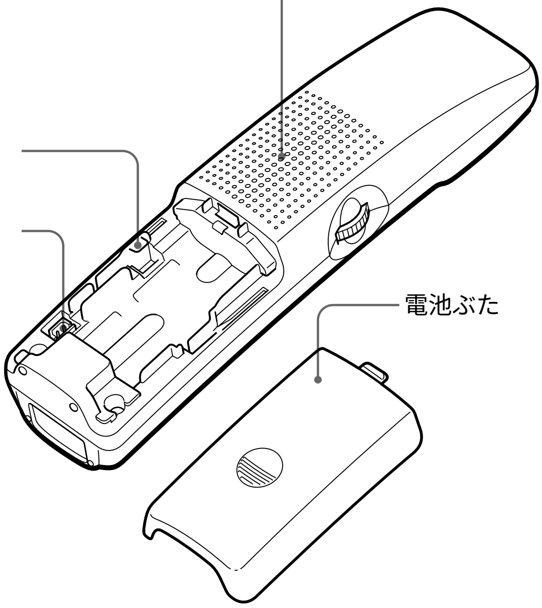
バッテリーが消耗したときに点灯します。



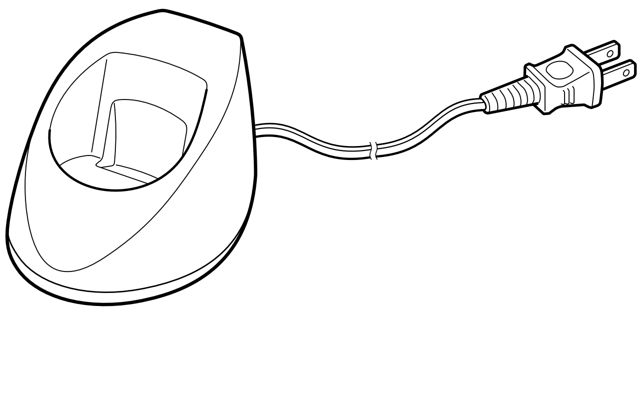
(通話)	電話をかけるときや受けるときに使用します。
(切)	電話を切るときに使用します。

(キャッチ/再生)	キャッチホンが入ったとき、用件を再生するときに使用します。
(スピーカーホン音量)	受話器を持たずに電話を受けたり、かけたりするときに使用します。
(変換/内線)	漢字変換、親機・他の子機を呼び出すときに使用します。
(保留/消去)	電話を保留にしたり、用件の消去、各種入力を消去するときに使用します。
(優先)	親機より先に子機を鳴らす優先着信を設定するときに使用します。

子機の背面



子機用充電台



記録紙について

ご使用になれる記録紙について（推奨紙）

普通紙

ソニーファクシミリ用普通紙
TL-PA4N
A4サイズ　100枚

感熱紙

FUJI FILM リボン不要のワープロ用感熱紙
Economy (EC)
A4サイズ　100枚

ご注意

- 表面がオーバーコートされた記録紙や厚い記録紙（感熱紙は除く）は、使用しないでください。記録紙給紙不良の原因になります。
- しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度プリントした紙の裏面などは使用しないでください。記録紙給紙不良や紙づまりの原因となります。
- 表面に光沢のある紙やOHPフィルムは使用できません。
- 記録紙は、セットした分を使い切ってから補充してください。途中で追加すると、記録紙給紙不良や紙づまりの原因となります。
- 記録紙の品質はメーカーにより異なります。記録紙の品質によって画像の品位が変わる場合がありますので、記録紙を大量に購入される前に一度テストプリントすることをお勧めします。
- 感熱紙を高温で湿度が高い場所で使用することは避けてください。記録紙給紙不良の原因となります。

記録紙の保管について

記録紙は記録紙カセットに長期間セットしたままにすると、湿気を含んで品質が劣化して先端が波打った状態になります。
日光の当たる場所、湿気の多い場所、高温になる場所を避け、乾燥した冷暗所に保管してください。
- 0℃〜35℃で保管してください。

ご注意

- 結露した場合は、乾燥後に使用してください。
- 品質が劣化した記録紙は使用しないでください。記録紙給紙不良の原因となります。

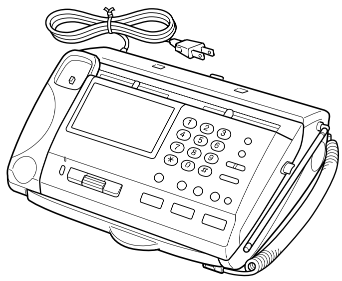
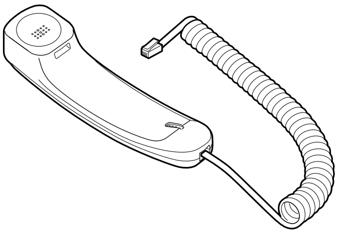
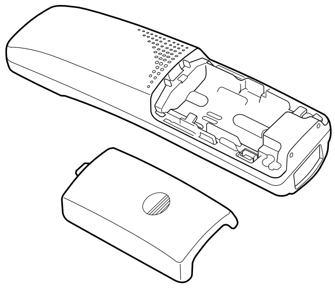
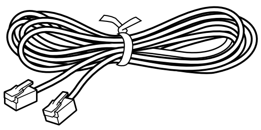
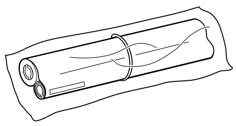
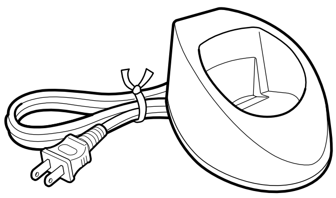
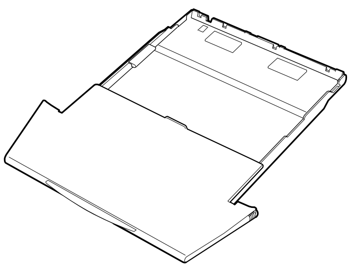
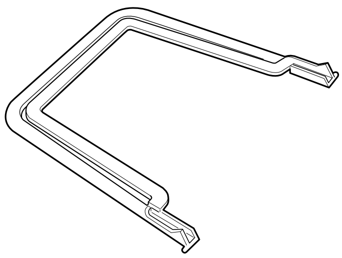
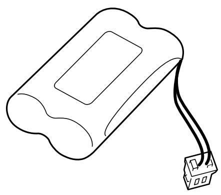
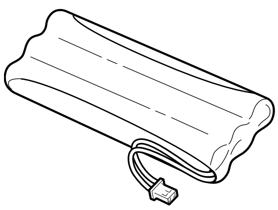
インクフィルムの保管について

カートリッジにセットする前のインクフィルムは、袋に入った状態（お買い上げ時の状態）で保管してください。
カートリッジにセットしたインクフィルムは、カートリッジにセットしたまま乾いたビニール袋などに入れて保管してください。
どちらの場合も、以下のことに注意して保管してください。
- 直射日光が当たらない場所に保管する
- 0℃〜35℃で保管する
- 結露した場合は、乾燥後に使用する

はじめにご確認ください

付属品はすべてそろっていますか？

□ 欄にチェックし、確認してください。

□**親機（本体）** 1台 	□**受話器** 1個 	□**子機** 1台 （SNF-5CLW**のみ**2台） 
□**電話回線接続コード** 1本（2m）（6極 2芯） 	□**インクフィルム** 1本（10m） 	□**子機充電台** 1台（SNF-5CLW**のみ**2台） 
□**記録紙カセット** 1個 	□**原稿セット台** 	□**子機用バッテリーパック** 1個（SNF-5CLW**のみ**2個） 
□**ハンドスキャナ用バッテリーパック** 1個 	□KDDI 77**セレクティパンフレット 一式** □**取扱説明書 （本書）** 1冊 □**記録紙 （A4サイズ5枚）** □**保証書** □**ソニーご相談窓口のご案内**	

作業の流れ

作業前の確認

↓

- 設置スペース
- 親機の置き場所について

組み立て

↓

- インクフィルムの準備
- 受話器の取り付け
- 原稿台の取り付け
- ハンドスキャナの準備
- 記録紙の準備

接続

↓

- 電話回線への接続
- 電源コンセントへの接続

設定

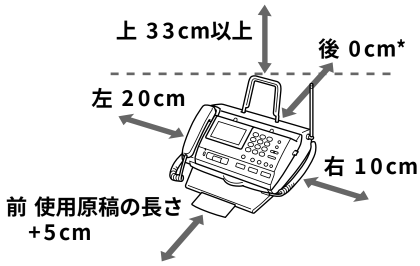
- 印字設定
- 日付け・時刻を合わせる
- 組み立ての確認
- 子機の充電
- 電話がかかることを確かめる（回線選択）
- 発信元のプリント設定

作業前の確認

設置スペース

本機を置く場所には充分なスペースが必要です。
操作や消耗品類の交換、日常点検などを行うため、必要なスペースを確保してください。

- 親機（本体）および子機（充電台を含む）は壁に掛けて使用することはできません。
- 水平な所に設置しないと、正常に動作しないことがあります。



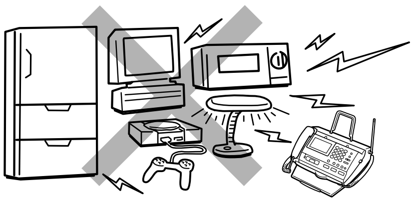
ご注意

＊本機は後背面を壁につけて使用することができます。ただし、記録紙送り用ローラーを清掃する場合や、つまった記録紙を取り除く場合など、リアカバーを開ける際には、充分なスペースがある場所に移動してください。

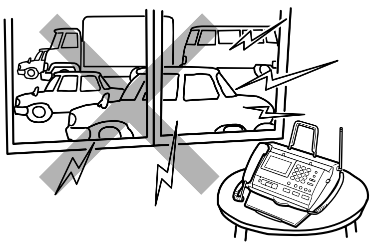
親機の置き場所について

- 本機は、親機と子機の間で電波を使って交信します。磁気や電気雑音の影響を受けると、雑音が入ったり、通話が切れたりすることがあります。
  次のような場所では使用しないでください。

ー 妨害電波を発生する恐れがあるものの近く
テレビゲーム機、パソコン、テレビ、ビデオ、ステレオ、電子レンジ、冷蔵庫、こたつ、無線機、インバーター式蛍光灯、携帯電話の充電台など。

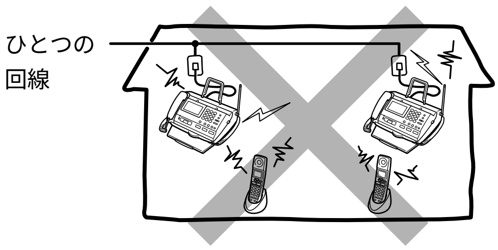


ー 交通の激しい道路の近く

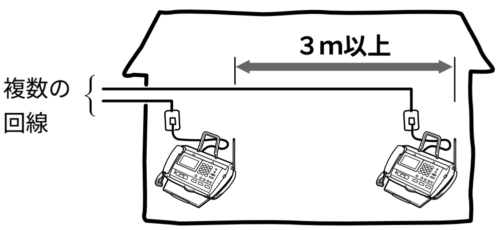


本機以外に電話機、ファクスをご使用の場合

ー ひとつの電話回線につなぐと、正常に動作しないことがあります。



ー 複数の電話回線（異なる電話番号）につなぐときは、3m**以上離す。**



ターミナルアダプターのアナログポートに複数のファクス、コードレス電話機をつなぐ場合は

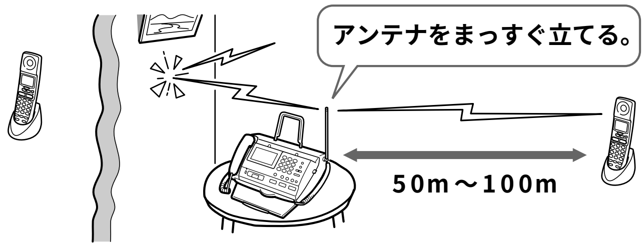
- 親機間を3m以上離してください。

ご注意

- 本機を使用するには電源が必要です。電話回線と家庭用電源コンセントの両方につなぐことができる場所を選んでください。
- 次のような場所には置かないでください。誤動作、変形、変色、故障の原因となることがあります。
  ー 直射日光の当たる場所
  ー 熱い場所（ストーブなどの暖房機の近く）、極端に寒い場所
  ー 不安定な場所、振動の多い場所
  ー 湿気の多い場所
  ー 風通しの悪い場所、ほこりの多い場所
- 雑音が大きいときは、親機の設置場所を変えてみてください。
- 放送局の近くで使用する場合やラジオ放送が混信するときは、お買い求めの販売店、またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

子機の通話範囲について

親機から約50～100メートルの範囲まで使用できます。子機が2台以上ある場合、子機間通話は子機が親機から約25～50メートルまでの範囲で使用できます。ただし、使用環境（コンクリート壁、金属の扉、金属箔のついた断熱材など）によって通話範囲は左右されます。初めてご使用のとき、使用できる範囲をご確認ください。



子機が親機から離れすぎていると

通話できないことがあります。子機から「ピッ・ピッ・ピッ…」という音（圏外警告音）が出たら、通話できる距離まで親機に近づいてください。約15秒以内ならそのまま通話できます。離れすぎたままでいると通話が切れてしまいます。

組み立て

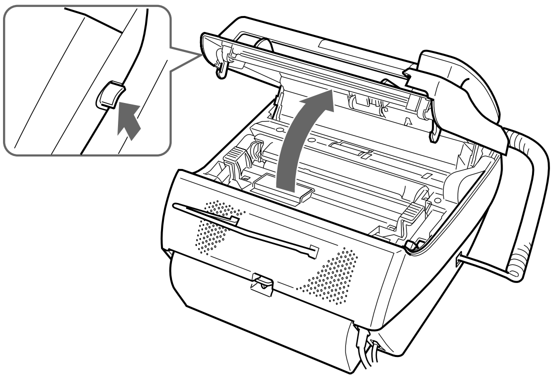
1. インクフィルムの準備

感熱紙を使用する場合は、インクフィルムは不要です。
23ページの「2. 受話器の取り付け」に進んでください。

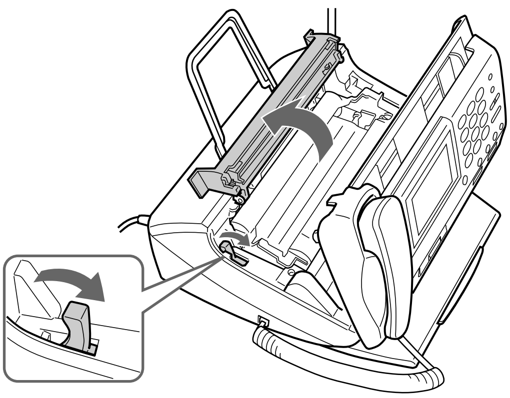
インクフィルム1本でプリントできる枚数のめやす
- 付属のインクフィルム（お試し品）：約30枚
- 別売り品のインクフィルム：約130枚

インクフィルムカートリッジの取りはずし

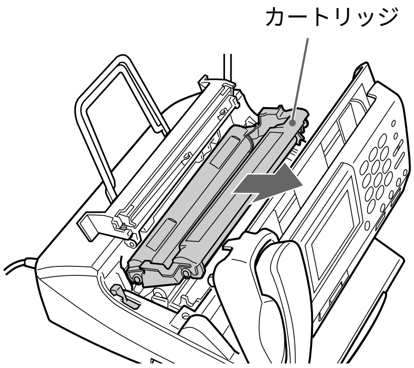
1 カバーを開ける。
- カバー開レバーを上げてカバーを開けます。
- 勢いよくカバーを開けると受話器が落ちる場合があります。受話器を手で支えるなどして注意してください。



2 緑色の解除レバーを矢印の方向に倒し、記録カバーを開く。
- サーマルヘッドに貼られている黒いフィルムは、絶対にはがさないでください。記録紙づまりの原因になります。

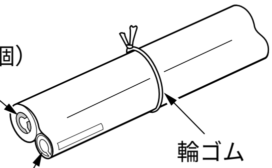


3 カートリッジを取りはずす。

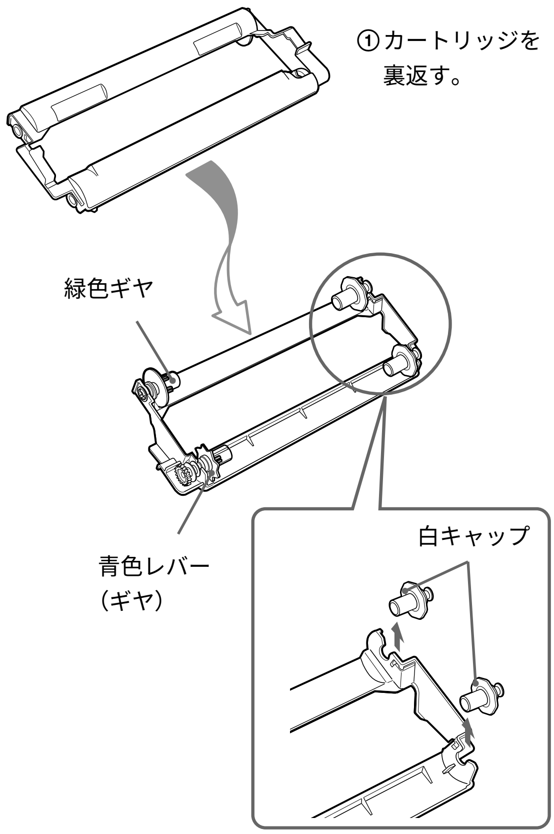


インクフィルムの取り付け

1 新しいインクフィルムを用意する。
- 袋から取り出します。
- 輪ゴムは、まだはずさないでください。

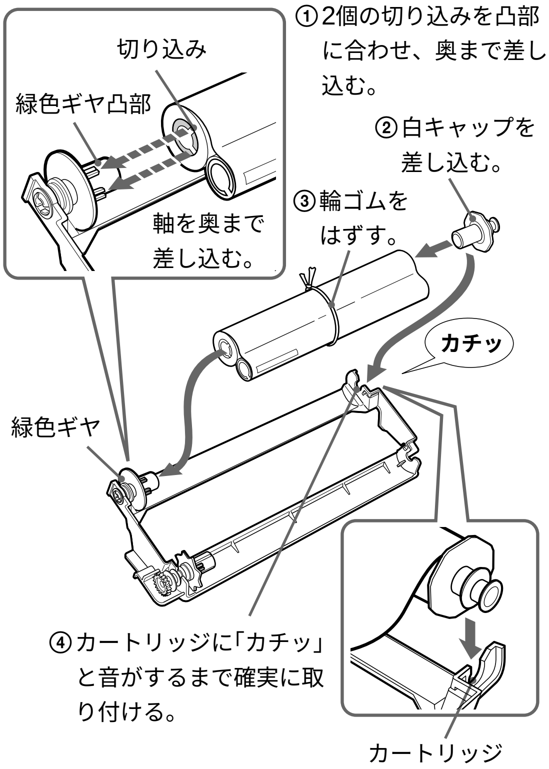


2 カートリッジを裏返し、白キャップ2個を取りはずす。



設置

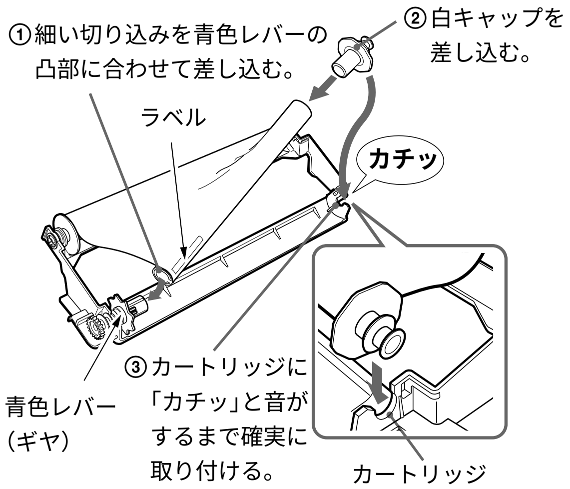
3 **インクフィルムの緑色の軸（2個の切り込みのある側）をカートリッジ（緑色ギヤ）の凸部に合わせ、奥まで差し込む。**

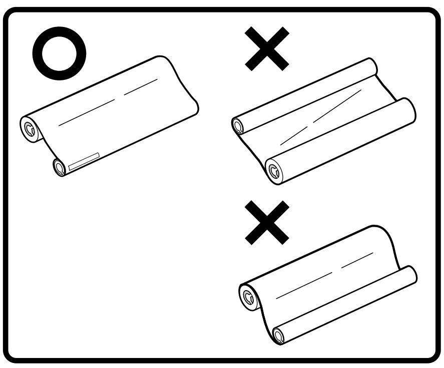


4 **1個の切り込みのある軸の切り込みをカートリッジ（青色レバー）の凸部に合わせ、奥まで差し込む。**

ご注意

- インクフィルムが奥まで差し込まれたことを確認してください。奥まで差し込まれていない場合、取り付け不良や破損の原因となります。

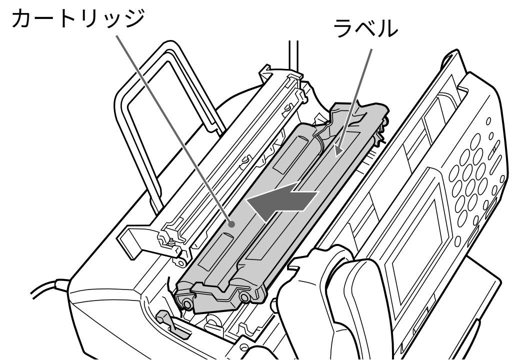




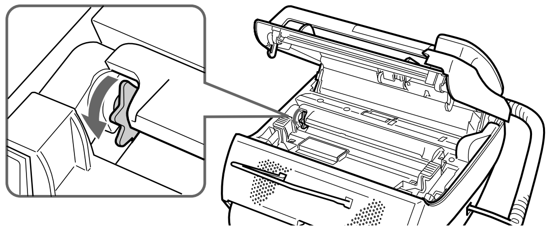
カートリッジの取り付け

1 **カートリッジを取り付ける。**

- フィルム面が下側になるようにカートリッジを裏返し、表示側を本機の前面側に向け、後方から先に取り付けます。

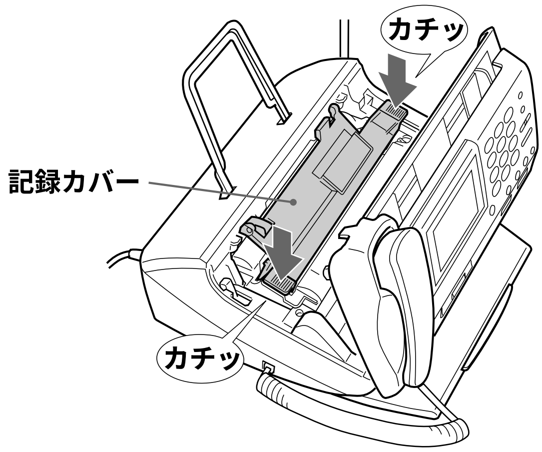


2 **青色レバーを回し、インクフィルムのたるみを取る。**



3 **記録カバーを閉める。**

- 記録カバーの両端をカチッと音がするまでしっかり押し込みます。

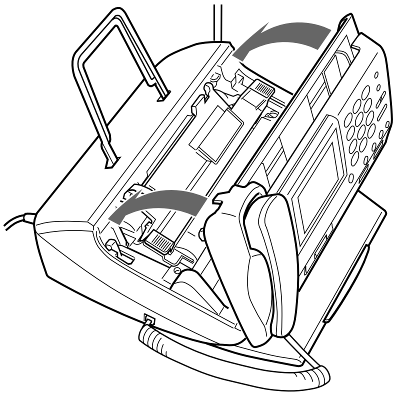


ご注意

- 記録カバーは確実に閉じてください。記録カバーを確実に閉じていないと、電源が入っているときはディスプレイに［記録カバー確認］と表示されます。

4 カバーを閉める。

- カバーの両側を、カチッと音がするまで押し込みます。

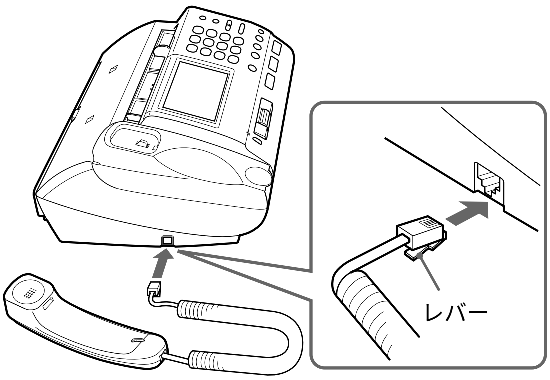


ご注意

- カバーは確実に閉じてください。カバーを確実に閉じていないと、本機を使用できません。電源が入っているときはディスプレイに［カバー確認］と表示されます。

2. 受話器の取り付け

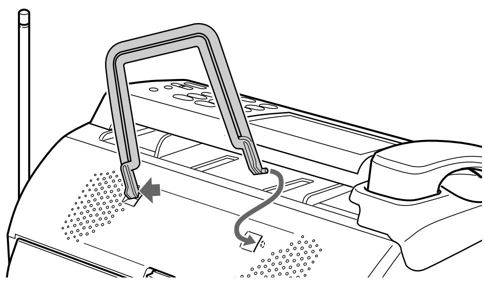
親機に受話器用コードを接続します。
カチッと音がするまで差し込んでください。（抜くときはレバーを押さえて引き抜きます。）



3. 原稿台の取り付け

1 原稿セット台の下側の位置決めを本機の穴に合わせる。

2 親機の溝に合わせ、固定された事を確認する。



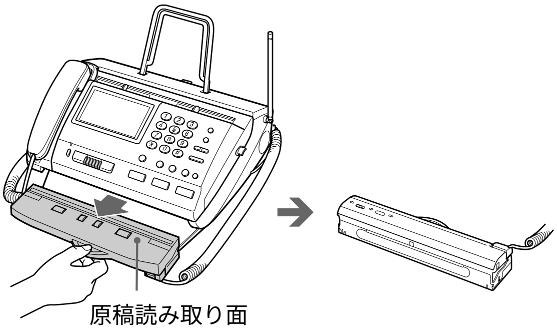
4. ハンドスキャナの準備

バッテリーパックの取り付け

必ず本体の電源プラグを電源コンセントからはずした状態で行ってください。

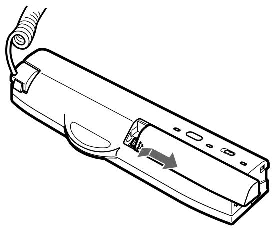
1 ハンドスキャナをはずして裏返す。

- 原稿読み取り面にはさわらないようご注意ください。



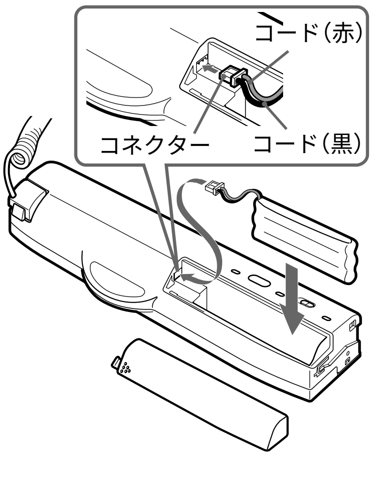
2 電池カバーを取りはずす。

- 押しながら矢印方向へスライドさせて、カバーを取りはずします。



3 ハンドスキャナ用バッテリーパックを取り付ける。

- バッテリーパックのコネクターを奥まで確実に差し込んでから入れます。コードをはさまないように注意してください。
- バッテリーパックのビニールカバーは、はがさないでください。

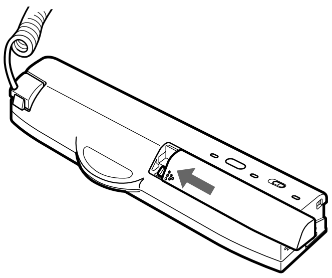


- コード面を真上よりも少し本体側に倒すように取り付けてください。
- コネクターの向きが違うと差し込めません。

つづく→

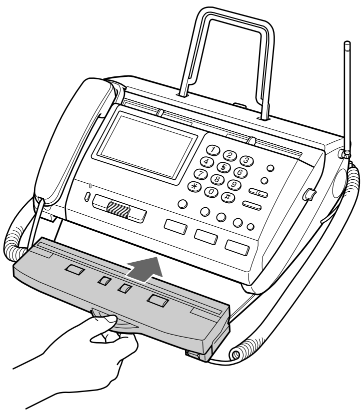
4 **電池カバーを取り付ける。**

- ツメを穴に合わせ、矢印方向にスライドさせてカバーを取り付けます。
- コードをはさまないように注意してください。



5 **ハンドスキャナを戻す。**

- 原稿読み取り面を上に向けて本体に押し込みます。



ハンドスキャナの充電

ハンドスキャナ用コードを取り付けた状態で充電します。本体の電源を接続すると充電されます。

- お買い上げいただいたときは充電されていません。ハンドスキャナをコードレスで使用する場合は、6時間以上充電してからご使用ください。
- ハンドスキャナ用コードが親機に接続されている場合は、充電されていなくても使用できます。
- コードレスで使用時のハンドスキャナの使用可能時間は約1時間です（フル充電時）。
- 充電してもすぐに電池がなくなるようになったら、新しいバッテリーパックに交換が必要です。詳しくは、ソニーサービスにお問い合わせください（型名：BP-T70）。

ご注意

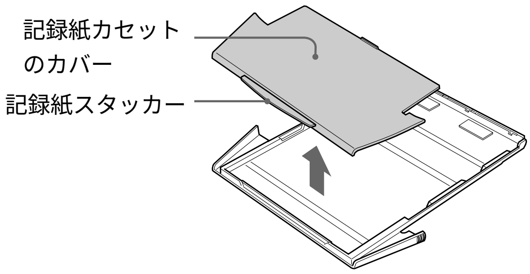
- ハンドスキャナを使用しないときは、なるべく本体に取り付けた状態にして、充電を行ってください。
- ハンドスキャナを長期間充電しないときは、バッテリーパックのコネクターを抜いて保管してください。そのまま放置すると、バッテリーパックが劣化して使えなくなる場合があります。
- バッテリーパックに巻かれているビニールを、はがしたり傷つけたりしないでください。
- バッテリーパックのコードをねじらないでください。

5. 記録紙の準備

ご注意

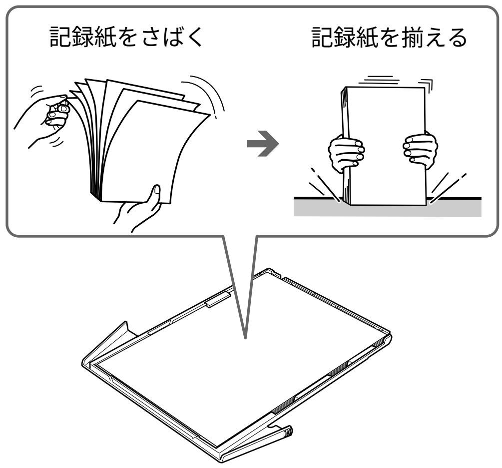
- 必ず推奨の記録紙をご使用ください（☞17ページ）。
- 感熱紙を使用する場合は、インクフィルムは不用です。普通紙を使っていたかたは、インクフィルムカートリッジを取りはずしてください（☞21ページ）。
- 普通紙と感熱紙はそれぞれ正しいモードで使用してください（☞28ページ）。

1 **記録紙カセットのカバーを取りはずす。**



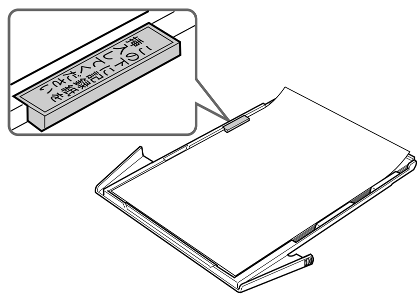
2 **記録紙をさばく。**

- 記録紙をさばかずにセットすると、1度に複数枚の記録紙が送られることがあります。



3 **記録紙を入れる。**

- 感熱紙は印刷する面を「裏向き」にセットしてください。



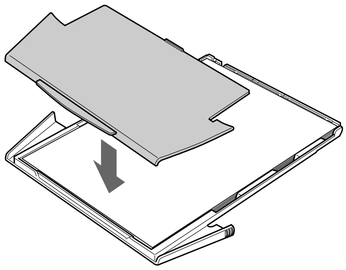
- 記録紙は30枚までです（普通紙、感熱紙とも）。
- セット後記録紙がツメの下を前後にスムーズに動くことを確認してください。
- 動かないときはセット枚数を減らしてください。記録紙づまりの原因となります。

ご注意

- 普通紙と感熱紙を混ぜてセットしないでください。
- 感熱紙を使用する際に裏表を間違えてセットすると、白紙でプリントされます。
- 記録紙がカールして記録紙カセットの壁より高く浮き上がるときは、枚数を減らすか、カールを取り除いてください。記録紙づまりの原因となります。

4 記録カセットのカバーを取り付ける。

- 必ず取り付けてください。取り付けないと、記録紙づまりの原因になります。



5 記録紙カセットを取り付ける。

- 本体の設置底面に置いた状態で、平行にしっかり奥まで差し込んでください。差し込みかたが不十分な場合、記録紙づまりの原因になります。
- また、記録紙カセットを差し込む際は、ハンドスキャナのコードをはさまないように注意してください。

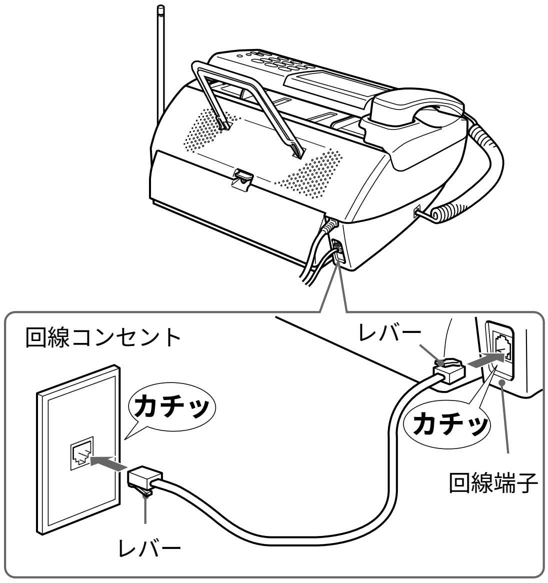


記録紙がなくなったら

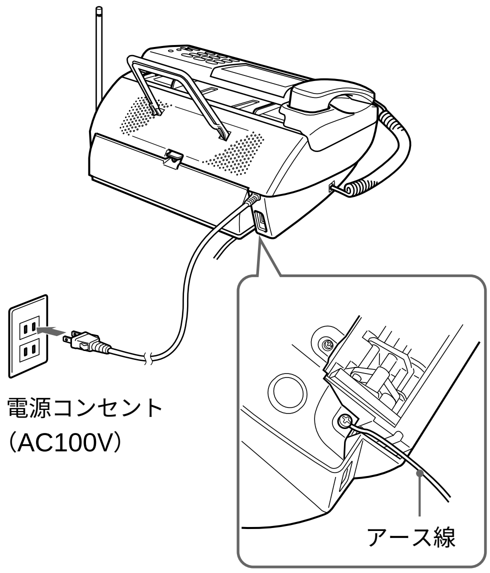
記録紙がなくなると、ディスプレイに[普通紙を入れて下さい]または[感熱紙を入れて下さい]と表示されます。そのときは、記録紙を補充してください。

接続

1 電話回線のコンセントにつなぐ。



2 電源コンセント（AC100V）につなぐ。



3 **アンテナをまっすぐ立てる。**

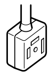
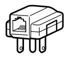
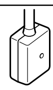
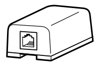
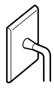
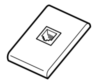


ご注意

- 電話回線コードと電源コードを束ねないでください。雑音の原因となります。
- 親機の底は温かくなることがありますが、異常ではありません。
- パソコンをつないで使用する場合は147ページをご覧ください。
- 共同電話、地域集団電話、公衆電話およびホームテレホン、ビジネスホンには接続できません。
- 構内交換機（PBX）に接続すると、「内線ベルが鳴ったとき電話が切れる」など、正しく動作しないことがあります。詳しくはご使用の構内交換機のメーカーにお問い合わせください。
- ISDN回線のターミナルアダプター（T/A）をご利用の場合、T/Aの仕様によっては、本機との接続に不具合が生じる場合があります。詳しくは、T/Aのメーカーにお問い合わせください。
- コンセントの形が合わないときは、別売りアクセサリーが必要です。（☞右記）
- 湿気の多い場所で使用する場合はアース接続をしてください。底面にアース端子（銀色）があります。アース線は付属していませんので ご用意ください。

電話回線のコンセントの種類

電話回線のコンセントには以下の4種類があります。
ご自宅のコンセントに合った方法で接続してください。

コンセントの型		接続に必要なソニーの別売りアクセサリー	
モジュラー		不要（そのままつなぐことができます）	
3ピン ジャック		テレホンモジュラー アダプターTL-30	
直付け型 ローゼット		テレホンモジュラーローゼットTL-32CRなど （取り付け工事が必要*）	
埋め込み		テレホンモジュラージャックコンセントTL-31 （取り付け工事が必要*）	

* 電話工事担任者による工事が必要です。お買い上げ店かソニーサービス窓口、またはNTT（局番なしの116番）へご依頼ください。

電源プラグを接続すると

約30秒間、留守番電話の初期設定が行われます。

↓

初期設定が行われている間は使えません。

「このファクシミリは、取り付けていただくだけで、KDDIのおトクな0077市外電話を自動的に選択します。ご利用を希望されないお客様は、次の操作を行ってください。(77セレクティ)、(#)、(77セレクティ)と押して77セレクティランプが消灯したことを確認してください。」

↓

感熱紙をご使用の場合は、28ページの「印字設定」を行ってください。

↓

必ず28ページ「日付、時刻を合わせる」を行ってください。

↓（約1時間後）

本機が自動的にKDDIのセンターに電話をかけ、77セレクティのデータを受け取ります（通話料無料）。

↓ オンライン通信（☞136ページ）

77セレクティランプが緑色に点灯します。

↓

77セレクティがご利用になれます。

（KDDIから77セレクティご利用開始の電話によるアナウンス）があります。「こちらはKDDIです。おトクな0077市外電話の自動選択機能、77セレクティが設定されました。77セレクティランプが緑色に点灯していることをご確認ください」と聞こえます。

ご注意

電話回線コードを接続しないで電源プラグを接続すると、デモモード（色々な表示が次々に出る）が始まることがあります。この場合、電話回線コードを接続してしばらくすると、デモモードは止まり初期設定が行われます。

ナンバー・ディスプレイを使わないかたへのお願い

- 本機はお買い上げ時にナンバー・ディスプレイの設定が「する」になっています。ナンバー・ディスプレイを使わないかたは設定を「しない」にしてください（☞100ページ）。
- 以下の場合は必ずナンバー・ディスプレイを設定「しない」にしてください。
  – NTTの「転送でんわサービス」「ダイヤルインサービス」に加入しているかた。
  – 同じ回線に本機と他の電話機をつないで使用しているかた。

ご使用にあたってのお願い

本機のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は、不要となります。詳しくは、局番なしの116番(無料)へお問い合わせください。

0077 SELECTY（77セレクティ）

本機には77セレクティがついています。77セレクティは、親機をつなぐだけで、通常約1時間後、そのままご利用いただけます。登録料などはかかりません。0077市外電話をご利用になった通話料金のみKDDIから請求されます。

- NTTの基本料金などは従来通りNTTから請求されます。
- 77セレクティの問い合わせは、下記にご連絡ください。

KDDI カスタマサービスセンター

フリーコール 0077-772（**無料**）

受付時間 9:00〜21:00

（土・日・祝日も受付中）

- **77セレクティについて、詳しくは133ページをご覧ください。**

設置

印字設定

本機にセットする記録紙は、普通紙または感熱紙のうちいずれか選べます。

ご注意
- 感熱紙モードで使用するときは、必ず感熱紙をセットしてください。普通紙をセットすると、白紙となります。
- 普通紙モードで使用するときは、必ず普通紙をセットしてください。感熱紙をセットすると故障の原因となることがあります。
- 感熱紙モードのときに普通紙をセットしたり、感熱紙の裏・表を間違えたりして白紙となった場合、ファクス受信した内容は再プリントできませんので注意してください。

セットする記録紙	インクフィルム	記録紙モード
普通紙	必要	普通紙
感熱紙	不要	感熱紙

普通紙モードから感熱紙モードに変更する

1 **インクフィルムが取り付けられた状態で、カートリッジを取りはずし（☞21ページ）、記録カバーを閉める（☞22ページ）。**

2 **カバーを閉じる。**

3 **(<)を押して［感熱紙］を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

印字設定？
感熱紙 / 普通紙

- 取りはずしたカートリッジは、インクフィルムを取り付けたままで、直射日光の当たらない場所に保管してください。

感熱紙モードから普通紙モードに変更する

1 **インクフィルムを取り付ける。（☞21ページ）**

2 **カバーを閉じる。**

3 **(>)を押して［普通紙］を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

印字設定？
感熱紙 / 普通紙

記録紙モードの設定を間違えた場合

感熱紙を使用するのに［普通紙］を選択してしまった場合は、いったんカバーを開け、閉じると印字設定の手順になりますので選択し直してください。

日付、時刻を合わせる

年、月、日、時刻の設定が必要です。（日時は親機に表示されます。）

親機で操作します。

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定)を押す。**

2 **日付と時刻を入力する。**

年は、西暦の末尾2桁を入力します。
ひと桁の月日を設定するときは前に「0」を付けます。
例：2001年12月5日は「0」「1」「1」「2」「0」「5」と押す。
時刻は24時間制です。ひと桁の時刻を設定するときは前に「0」を付けて4桁を入力します。
例：午後10時6分は「2」「2」「0」「6」と押す。

＜初めて設定する場合＞

日時設定
'01年01月01日　00:01

＜設定済みの場合＞

日時設定
'01年12月05日　22:06

日時表示になります。

3 **(登録/決定)を押す。**

時刻がずれると、77セレクティが正しく働かない場合がありますので、定期的に時刻を確認し、ずれていたら正しい時刻に設定し直してください。

設定済みの場合は、手順1の後で、

① ローラージョグを回して［5:登録メニュー］を選択し(登録/決定)を押す。
② ローラージョグを回して［4:日時設定］を選択し(登録/決定)を押す。
③ 上記の手順2～3と同様に時刻を入力する。
④ (ストップ)を押す。

ご注意
- 時計の精度は1か月に±60秒程度の誤差があります（25°Cにて）。
- 長い停電のあとは、2001年1月1日にリセットされます。日付、時刻を設定し直してください。

ちょっと一言
- 手順2で数字を押すと右の桁へ点滅が移ります。

＜設定済みの場合＞
- 入力することによって点滅が移動します。
- 手順3で(登録／決定)を押す前に、入力した数値が間違えていたら、(<)、(>)で点滅を動かして、正しい数値を上書きすることができます。
- 手順3は、テレビなどの時報に合わせて(登録／決定)を押すと便利です。手順2と3の間は約90秒待つことができます。

組み立ての確認

組み立てが正しくできたか確認するためコピーをしてみましょう。

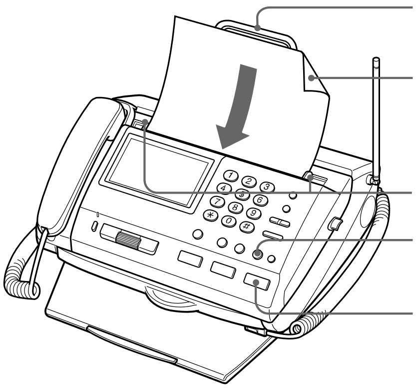
1 **原稿の幅に原稿セットガイドを合わせます。**

2 **コピーする面を下に向けて原稿を軽く差し込みます。**

- 自動的に約3cm引き込まれます。

3 （スタート）**を2回押します。**

- コピーが終わると「ピー」という音がします。



- 途中でやめるときは、（ストップ）を押してください。
- 白紙が出てきたときは、コピーする面を上に向けてセットしたことが考えられます。コピーする面を下に向けて、もう一度セットしてください。
- 原稿や記録紙がつまったときは、141、142ページをご覧ください。

子機の充電

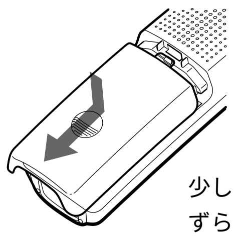
⚠危険
- **バッテリーパックに巻かれているビニールを、はがしたり傷つけたりしないでください。**
- **バッテリーパックのコードをねじらないでください。**

初めてご使用になるときは、まず付属のバッテリーを約10時間充電してください。

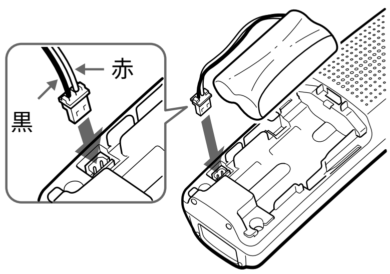
ちょっと一言
子機の充電中に電話をかけるときは親機でかけてください。

バッテリーパックを取り付ける

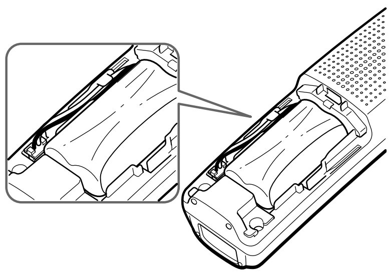
1 **電池ぶたを開ける。**
ご購入時は電池ぶたは開いています。



2 **コネクターをしっかり差し込む。**



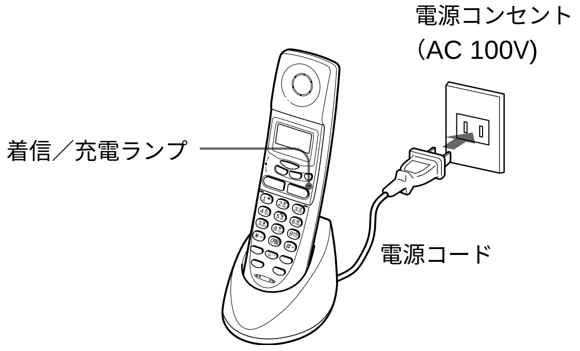
3 **バッテリーを入れる。**
コードをねじらずにコードかけにかけてください。



4 **電池ぶたを閉める。**

充電する

電源コンセントにつないだ充電台に、子機を置くと、着信／充電ランプが点灯し、充電が始まります。10 時間以上そのままにしておいてください。



ボタン面を手前に向けて置いてください。

ご注意

- 充電中は充電台や子機が温かくなりますが、故障ではありません。
- 充電台の電源コードは束ねないでください。雑音の原因になります。

> 充電中は充電台の電源コードを抜かないでください。子機をのせたまま充電台の電源コードをはずすと、子機が通話状態(通話ボタンのランプが点灯)になります。この場合は、充電台を電源コンセントにつないでください。

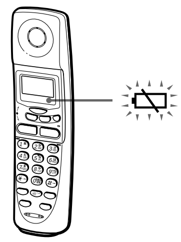
バッテリーについて

子機は充電台の上に常に置いていなくても使用できますが、長時間充電台から離しておくとバッテリーが空になってしまうので、通話後は充電台に戻すことをおすすめします。バッテリーが常に充電された状態でご使用になれます。

使用可能時間について（充分に充電されたバッテリーの場合）

通話しているとき：連続約6 時間
充電台に戻さずに電話を待っているとき：約240 時間(約10 日間)
長期間ご使用にならないときは10 時間以上充電してからバッテリーを抜いておいてください。

通話中にバッテリーが消耗したとき（表示窓に[電池マーク]表示が点滅し、「ピッ・・・ピッ・・・」と鳴ったとき）は



次の方法で親機で通話できます。

1 **子機の（保留/消去）を押す。**

2 **子機を充電台に戻すか（切）を押す。**

3 **親機の受話器を取り上げる。**

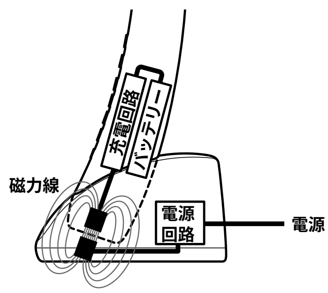
子機はその後充電台にのせておき、約10 時間以上充電してください。

バッテリーの寿命について

- 子機のバッテリーは消耗品です。バッテリーの寿命は使いかたや使用頻度によりますが、1 〜2 年が目安です。
- 充分に充電しても使用できる時間が極端に短くなってきたら、バッテリーの寿命です。新しいバッテリー（別売りのバッテリーパックBP-T50 ）にお取り換えください。 詳しくは、販売店かソニーサービス窓口にお問い合わせください。
- バッテリーを長持ちさせるには、通話が終わるたびに子機を充電台に戻して常に充電しておくことをおすすめします。

充電台について

付属の充電台は、電磁誘導による、充電端子のない無接点充電方式を採用しています。



ご注意

- 金属（コイン、クリップなど）を充電台の上に置かないでください。充電台や金属が熱くなることがあり危険です。
- 磁気に弱い物（キャッシュカード、テレホンカード、フロッピーディスクなど）は近づけないでください。充電台から出ている磁力線により、それらが使用できなくなってしまうことがあります。
- ラジオを近くに置かないでください。
ラジオから「ブーン」という雑音が聞こえることがあります。
その場合は、ラジオの向きを変えるか、雑音のなくなる位置まで離してみてください。

電話がかかることを確かめる

電話回線には3種類あります。この種類は、NTTとの回線契約により異なります。初めてご使用になるとき、親機を接続するだけで自動的に回線の種類を検出し設定します（自動回線選択）。

親機で操作します。

電話をかけてみる

117（時報）や177（天気予報）などにかけてみてください（有料）。
かかったときは次項目の回線選択は不要です。34ページの「電話をかける」に進んでください。
かからなかった場合は、次項目の手順で回線選択を行ってください。

電話がかからないときは（回線選択）

お使いの電話回線種別（プッシュ回線とダイヤル回線）を手動で設定します。

ちょっと一言

- 以下のような場合、設定が必要になります。
  – 引っ越しなどで、電話会社との回線契約を変更されたとき
  – 構内交換機（PBX）につないだとき
- 手順4で［4:自動回線選択］を選ぶと自動回線選択を行います。

1 受話器を置いたままで、(登録/決定)を押す。
- ［登録メイン］が表示されます。

2 ローラージョグを回して［4:設定メニュー］を点滅させ、(登録/決定)を押す。

3 ローラージョグを回して［5:回線種別］を点滅させ、(登録/決定)を押す。

4 ローラージョグを回して［3:トーン（プッシュ）］を点滅させ、(登録/決定)を押す。
- ISDNターミナルアダプターに本機を接続する場合は、プッシュ回線に設定してください。

5 電話をかけてみる。
- 電話がかかったらプッシュ回線です。

電話がかからなかったら

- 手順4で［2:20PPS］を選びます。電話がかかったら、高速ダイヤル回線です。
  かからなかったら、低速ダイヤル回線です。手順4で［1:10PPS］を選びます。

発信元を相手の記録紙にプリントさせる

ファクスを送ったとき、相手の記録紙の各ページの最上部に、自分の名前や電話番号など（発信元）を自動的にプリントさせることができます。発信元をプリントさせると、相手側は、どこからのファクスなのかを容易に知ることができます。発信元をプリントさせるには、発信元の登録が必要です。

- お買い上げ時は、発信元記録を［する］（発信元をプリントさせる）に設定されています。ただし、プリントされる発信元は何も登録されていません。
- 発信元に登録できる文字は全角（漢字、かな、カタカナ、数字、アルファベット、記号）で、最大40文字（空白を含む）です。

親機で操作します。

発信元（自分の名前や電話番号など）を登録する

1 受話器を置いたままで、(登録/決定)を押す。
- ［登録メイン］が表示されます。

2 ローラージョグを回して［5:登録メニュー］を点滅させ、(登録/決定)を押す。

3 ローラージョグを回して［2:発信元］を点滅させ、(登録/決定)を押す。

4 ダイヤルボタンを使って、名前を入力し、(登録/決定)で決定する。
- 次ページの表に従って文字を入力します。
- 「漢字」、「英字」、「数字」の3つのモードを使用し入力できます。
- 入力が確定した文字は、確定エリアに表示されます。

5 (登録/決定)を押す。

6 (ストップ)を押す。

修正・消去するには

手順4の状態で、(<)、(>)を押して点滅を移動させ、ダイヤルボタンを使って修正、または(保留/消去)を押して文字を消去してください。

入力できる文字について

名前の入力について

ダイヤルボタンを使って、登録する名前の文字を指定することができます。ひらがな、英字、数字を入力できます。
ひらがなで入力した場合は、(変換/内線) を押して漢字や全角カタカナに変換できます。
また英字または数字で入力した場合は、(変換/内線) を押して全角、半角に変換できます。
入力モードを切り換えるには、(変換/内線) を繰り返し押します。押すたびに以下のように換わります。

→ 漢（ひらがな・漢字・カタカナ）→ 英（英字・記号）→ 数（数字）→

入力される文字は、各々のダイヤルボタンを押すたびに以下の順序で変化します。別のダイヤルボタンを押すとその文字が確定し、入力位置は右に移動します。

押すボタン	漢(ひらがな・漢字・カタカナ)	英(英字・記号)	数(数字)
(1)	→あ→い→う→え→お→ぉ→ぇ→ぅ→ぃ→ぁ→		1
(2)	→か→き→く→け→こ→	→A→B→C→a→b→c→	2
(3)	→さ→し→す→せ→そ→	→D→E→F→d→e→f→	3
(4)	→た→ち→つ→て→と→っ→	→G→H→I→g→h→i→	4
(5)	→な→に→ぬ→ね→の→	→J→K→L→j→k→l→	5
(6)	→は→ひ→ふ→へ→ほ→	→M→N→O→m→n→o→	6
(7)	→ま→み→む→め→も→	→P→Q→R→S→p→q→r→s→	7
(8)	→や→ゆ→よ→ゃ→ゅ→ょ→	→T→U→V→t→u→v→	8
(9)	→ら→り→る→れ→ろ→	→W→X→Y→Z→w→x→y→z→	9
(0)	→わ→を→ん→ー→	→空白→!→?→.→–→:→&→／→(→)→＊→#→	0
(＊)	→゛→゜→		
(<)	点滅を左に移動します。		
(>)	点滅を右に移動します。（空白を入力することもできます。）		
(保留/消去)	点滅している文字を1文字消去します。		

発信元をプリントしないようにする

1 **受話器を置いたままで、登録/決定を押す。**
- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［4:設定メニュー］を点滅させ、登録/決定 を押す。**

3 **ローラージョグを回して［2:発信元記録］を点滅させ、登録/決定 を押す。**

4 **> で［しない］を点滅させる。**
- 発信元をプリントするように設定し直す場合は、<で［する］を点滅させます。

5 **登録/決定 を押す。**

6 **ストップ を押す。**

自分の電話番号を登録する

ここで登録した電話番号は、ファクス送信中に相手先のディスプレイに表示したり、相手の通信管理レポートなどに印刷されます。

親機で操作します。

1 **受話器を置いたままで、登録/決定を押す。**
- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［5:登録メニュー］を点滅させ、登録/決定 を押す。**

3 **もう一度、登録/決定 を押す。**

4 **ダイヤルボタンを押して自分の電話番号を入力し（最大20桁）、登録/決定 を押す。**

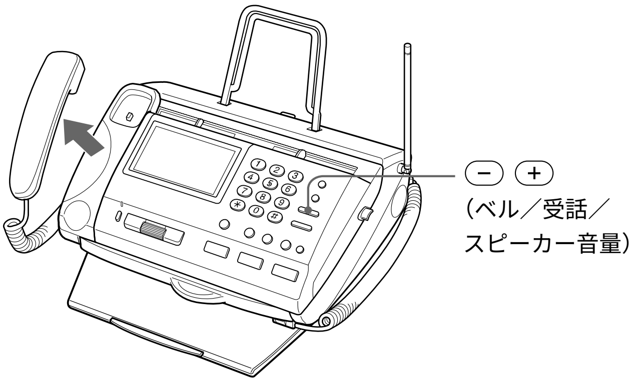
5 **ストップ を押す。**

ご注意
- ここで登録した電話番号は、相手の記録紙にはプリントされません。
- 相手機種によっては、相手先のディスプレイなどに表示されないことがあります。
- 引越しなどで電話番号が変わったときは、もう一度登録をやり直してください。

設置

電話をかける

親機で電話をかける



1 受話器を取る。

- （スピーカーホン）を押してかけることもできます（☞38ページ）。
- 「ツー」という音が聞こえます。

2 相手先の番号をダイヤルする。

- 子機を使用中のとき（[子機使用中] と表示）やプリント中のとき、電話をかけることができません。
- ポーズ（待ち時間）を入れるには番号と番号の間に（発信/着信記録）を押します。表示窓に［P］が表示され約3秒間の待ち時間が入ります。

3 通話をする。

4 通話が終わったら受話器を戻す。

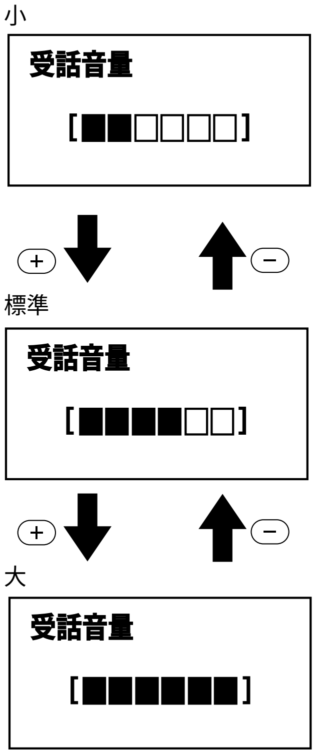
確認ダイヤル（親機のみ）

- 番号を確認してからかけたいときは、上の手順1、手順2の順番を反対（手順2→手順1）にして操作します。
- 確認ダイヤルで電話番号を押し間違えたときは、（保留/消去）または（ストップ）を押してからかけ直します。

受話音量を調節するには（小↔大の3段階）

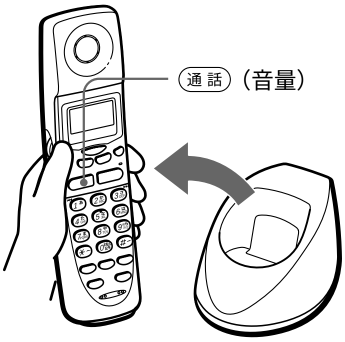
相手の声が聞きにくいときなどに、調節します。
受話音量は、小⇔標準⇔大の3段階の調整ができます。
通話中に（+）または（−）を押します。お買い上げ時は標準になっています。

受話音量



子機で電話をかける

親機を使用中（電話中、コピー中など）のときは使用できません。電話をかけようとすると、「ピーピーピー」という音がします。



1 **充電台から子機を取る。**
充電台にのせていないときは 通話 を押す。
- すべてのダイヤルボタンと 通話 が点灯します。
- 点灯しない場合は再度 通話 を押してください。
- 「ツー」という音が聞こえます。

2 **相手先の番号をダイヤルする。**

3 **通話をする。**

4 **通話が終わったら充電台に戻す。または、切 を押す。**
- 充電台に戻す際は、ボタン面を前向きに置いてください。

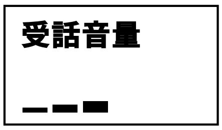
ちょっと一言
- 子機では通話を切った状態で、ダイヤルボタンを押すと、ひらがなが表示され電話帳検索の状態になります。（98ページ）

受話音量を調節するには（標準←→大の2段階）

相手の声が聞きにくいときなどに、調節します。
音量は、標準⇔大の2段階の調整ができます。
子機を持って通話中に 通話（音量）を押します。
お買い上げ時は標準になっています。

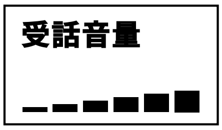
受話音量

標準





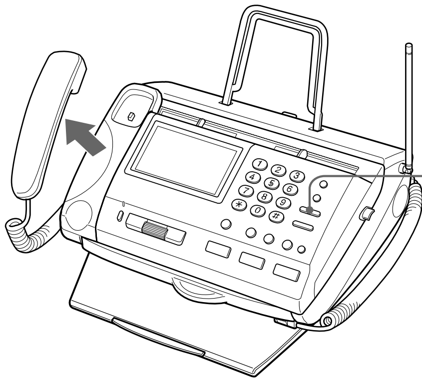
大



通話 を押すごとに切り換わります。

電話を受ける

親機で電話を受ける



1 **ベルが鳴ったら受話器を取る。**

2 **通話が終わったら受話器を戻す。**

ベルが鳴っても電話に出ないと

- (留守) が点灯または点滅しているときは、着信ベルが何回か鳴ってから応答メッセージが流れ、相手の用件を録音します（☞124ページ）。この間に親機か子機を取って、電話に出ることもできます。相手の声を確かめてから出ることもできるので便利です。

ちょっと一言
- 受話器を置いたまま電話に出たいときは、親機の (スピーカーホン) または子機の (スピーカーホン音量) を押してください（☞38ページ）。
- ベル音量を調整したいときは、120ページをご覧ください。
- 着信の音色を変えることができます。ベルのかわりにメロディを流すこともできます（☞118ページ）。
- キャッチホンの呼び出し音が聞こえたときは、114ページをご覧ください。

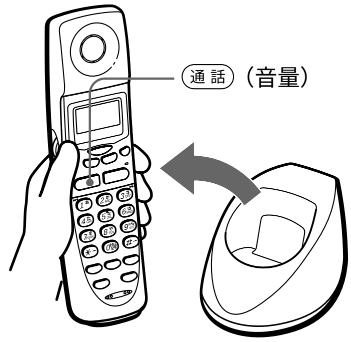
キャッチホンが入ったときには

- (キャッチ/再生) を押します。もとの通話に戻るにはもう一度 (キャッチ/再生) を押します（☞114ページ）。

受話音量を調節するには（小←→大の3段階）

相手の声が聞きにくいときなどに、調節します。
受話音量は、小⇔標準⇔大の3段階の調整ができます。
通話中に (+) または (−) を押します。お買い上げ時は標準になっています。

子機で電話を受ける



1 **ベルが鳴ったら子機を充電台から取る。**
充電台にのせていないときは (通話) を押す。

2 **通話が終わったら充電台に戻す。または (切) を押す。**
- 充電台に戻す際は、ボタン面を前向きに置いてください。

受話音量を調節するには（標準←→大の2段階）

相手の声が聞きにくいときなどに、調節します。
音量は、標準⇔大の2段階の調整ができます。
子機を持って通話中に (通話)（音量）を押します。
お買い上げ時は標準になっています。

ポー・ポー・ポー…という音が聞こえるとき／無音のとき

- 受話器（または子機）を取ったら「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえるときは、相手がファクスを送信しようとしています。
  お買い上げ時の状態（ファクスかんたん受信（☞55ページ）を［する］に設定した状態）では、続いて「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」というメッセージが流れます。メッセージが聞こえたら、受話器（または子機）を戻してください。
- ファクスかんたん受信を［しない］と設定すると、メッセージは流れません。(スタート)（子機では (FAX)）を押して受話器を戻してください。
- 無音の場合は、(スタート)（子機では (FAX) ）を押してみてください。（相手が旧型のファクスやコンビニエンスストアなどのファクスの場合、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえない場合があります。）
- コピー／プリント中は、ファクスを受信することはできません。

発信記録から電話をかける

お話し中だった相手や、一度切った相手に再びかけ直すときに便利です。親機、子機それぞれ最近かけた10件の番号が記憶されます。(子機が2台以上ある場合は、それぞれの子機でかけた番号が記憶されます。)

親機でかける

1 **受話器を置いたままで、(発信/着信記録) を押す。**

2 **ローラージョグを回し、かけたい発信記録を表示させる。**

3 **受話器を取る。**

ご注意
- 21桁以上の番号にかけた場合、最初の20桁のみが発信記録に残るため、最初の20桁だけがダイヤルされます。
- 同じ電話番号にかけたときは、新しい発信記録のみが残ります。

親機の発信記録を消す

1 **受話器を置いたままで、(発信/着信記録) を押す。**

2 **ローラージョグを回し、消したい発信記録を表示させる。**

3 **(保留/消去) を押す。**
- ［する］が点滅します。

4 **もう一度 (保留/消去) を押す。**

ちょっと一言
- 発信記録を消去すると、表示は次の発信記録になります。続けて消去するときは、手順2〜4を行ってください。

子機でかける

1 **通話を切った状態で、(発信記録) を押して、ジョグダイヤルを回し、かけたい発信記録を表示させる。**

2 **子機を充電台から取るか、(通 話) を押す。**

ご注意
- 21桁以上の番号にかけた場合、最初の20桁のみが発信記録に残るため、最初の20桁だけがダイヤルされます。
- 同じ電話番号にかけたときは、新しい発信記録のみが残ります。

ちょっと一言
- 発信記録から電話帳に登録することもできます。詳しくは、「発信記録から登録する」(☞92ページ) をご覧ください。

子機の発信記録を消す

1 **通話を切った状態で、(発信記録) を押す。**

2 **ジョグダイヤルを回し、消したい発信記録を表示させる。**

3 **(保留/消去) を押す。**
- ［する］が点滅します。

4 **もう一度 (保留/消去) を押す。**

ちょっと一言
- 発信記録を消去すると、表示は次の発信記録になります。続けて消去するときは、手順2〜4を行ってください。

受話器や子機を置いたまま話す（スピーカーホン）

受話器や子機を持たずに電話をかけたり、受けたりすることができます。手がふさがっているときや、何人かで相手と話したいときに便利です。スピーカーホンは、周囲の雑音がない静かな場所でお使いください。

ご注意

- 話し始めたときや、相手が話している間、または周囲の雑音が大きいときは、相手の声が聞こえにくくなります。このようなときは、マイク（子機の場合は送話口）に近づいて話をしてください。
- 次のようなときは異常音（ハウリング音）が起こりやすくなります。ご注意ください。
  – スピーカーホン使用中に音量を大きくしすぎたとき
  – モニタースピーカーやマイクに手などを近づけたとき
  – 反響音が大きい所に設置したとき
  – 相手から音声以外の信号（保留音、トーン信号など）が入ってきたとき
- 異常音（ハウリング音）が起きたときや、スピーカーの音量が不安定になったときは次のようにしてください。
  親機の場合
  – (−)（小）（ベル／受話／スピーカー音量）を押してスピーカーの音量を小さくする。
  – 受話器をとって、受話器での通話に切り換える。
  子機の場合
  – (スピーカーホン音量) を押してスピーカーホンの音量を小さくする。
  – 充電台から取り、子機を持って話す。
  充電台にのせていないときは(通話)を押す。

受話器を置いて話す

1 電話をかける場合：(スピーカーホン) を押し、「ツー」という音がしてから電話番号を押す。

電話を受ける場合：ベルが鳴ったら (スピーカーホン) を押す。

2 親機に向かって話す。

- 相手の声がスピーカーから聞こえます。

3 通話が終わったら、(スピーカーホン) を押す。

ちょっと一言

- スピーカーホン通話中に、普通の通話に切り換えるには受話器を取り上げます。
- スピーカーホン通話中に相手を待たせる（保留）には、(保留/消去) を押します。通話に戻るには、もう一度 (保留/消去) を押すか、(スピーカーホン)を押します。または、受話器を取っても通話に戻れます。また、子機で電話に出ることもできます。

スピーカーホン音量を調節するには（小←→大の6段階）

スピーカーホン音量は6段階の調整ができます。
スピーカーから音が出ているときに (+) または (−) を押します。

スピーカーホン音量

最小

スピーカーホン音量
[■□□□□□]

(+)↓　↑(−)

（お買い上げ時）

スピーカーホン音量
[■■■■□□]

(+)↓　↑(−)

最大

スピーカーホン音量
[■■■■■■]

ちょっと一言

- スピーカーホン通話の音量と用件再生などの音量とは別々に調節できます。

子機を置いたまま話す

1 **電話をかける場合：(スピーカーホン音量) を押し、「ツー」という音がしてから電話番号を押す。**
電話を受ける場合：ベルが鳴ったら (スピーカーホン音量) を押す。

2 **子機に向かって話す。**
- 相手の声がスピーカーから聞こえます。

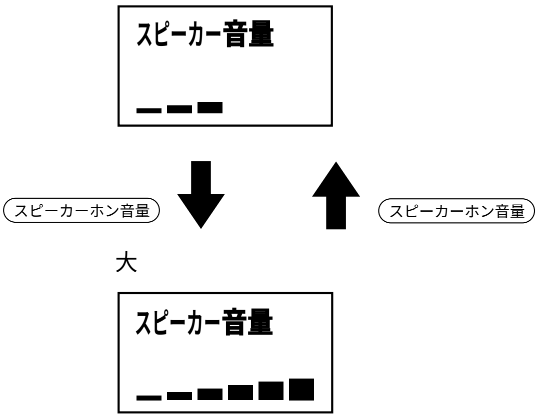
3 **通話が終わったら、充電台に戻すか (切) を押す。**

ちょっと一言
- スピーカーホン通話中に、普通の通話に切り換えるには
充電台にのせているときは、充電台から取ります。充電台にのせていないときは、(通話) を押します。
- 子機を持って通話中に、スピーカーホンに切り換えるには
(スピーカーホン音量) を押します。
- スピーカーホン通話中に相手を待たせる（保留）には
(保留/消去) を押します。通話に戻るには、もう一度 (保留/消去) を押すか、(スピーカーホン音量) を押します。または、(通話) を押しても通話に戻れます。（充電台にのせているときは、(通話) を押すとスピーカーホンになります。）

スピーカー音量を調節するには（標準←→大の2段階）

スピーカーから音が出ているときに (スピーカーホン音量) を押します。
お買い上げ時は標準になっています。

スピーカー音量

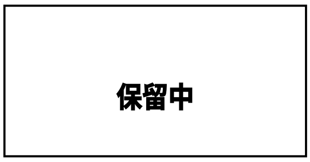


通話の相手を待たせる（保留）

話をしている途中で相手に待ってほしいときなどに、メロディ音を流すことができます。メロディ音が流れている間は、こちらの声は相手に聞こえません。

親機で保留する

1 **通話中に (保留/消去) を押す。**



2 **通話に戻るには、もう一度 (保留/消去) を押す。**

親機で保留にした電話に子機で出るには

1 **親機で保留したあと、受話器を戻す。**

2 **子機を充電台から取るか、(通話) を押す。**

ちょっと一言
- 保留にしたあと、受話器を戻しても電話は切れません。受話器を取ると通話に戻れます。
- スピーカーホンで通話中にも保留にすることができます。
- 保留にしたあと、内線を使って親機から子機へ取り次ぐことができます（☞40ページ）。

子機で保留する

1 通話中に [保留/消去] を押す。

- [通話] が点滅します。

2 通話に戻るには、もう一度 [保留/消去] または [通話] を押す。

子機で保留にした電話に親機（または他の子機）で出るには

1 子機で保留したあと、充電台に戻す、または [切] を押す。

- 親機のスピーカーから保留メロディが流れます。

2 親機の受話器を取る。

- 他の子機で取る場合は充電台から取るか [通話] を押します。

ちょっと一言

- 保留にしたあと、充電台に戻すか、[切] を押しても電話は切れません。通話に戻るには充電台から取るか、[通話] を押します。
- スピーカーホンで通話中にも同じように保留にすることができます。
- 保留にしたあと、内線を使って子機から親機へ取り次ぐことができます。（☞41ページ）また子機が2台以上ある場合は、子機から子機へ取り次ぐこともできます（☞41ページ）。

電話を取り次ぐ

親機で取った電話を子機にまわすとき、親機と子機の間で話（内線通話）をしてから電話を取り次ぐことができます。

親機から子機へ取り次ぐ



1 通話中に [変換/内線] を押す。

- 保留になり、相手にはメロディが聞こえます。
- 子機が2台以上ある場合は、取り次ぐ子機番号のダイヤルボタンを押します。

呼び出し先	押すボタン
子機1	[1]
子機2	[2]
子機3	[3]
すべての子機を同時に★	[#]

★最初に出た子機に電話がつながります。

- 子機が2台以上ある場合、[#] を押すと、「一斉呼出中」と表示されます。

親機

子機 1を呼出中

子機

内線着信

2 子機のベルが鳴ったら充電台から取る。充電台にのせていないときは、[通話] を押す。

- スピーカーホンで受けることはできません。
- 子機が出ないときは、もう一度 [変換/内線] を押すと、もとの通話に戻れます。

3 親機から子機へ電話をまわすことを伝える。

- このとき子機が内線通話を切ると、親機で再び外からの電話に出られます。

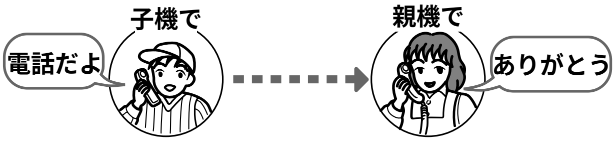
4 親機の受話器を戻す。

- 子機で外からの電話に出られます。

ちょっと一言
- (保留/消去) を押して通話を保留にしてからでも、同じように取り次げます。
- 親機で (変換/内線) を押したあと、受話器を戻すと、呼び出しは中止され、親機のスピーカーから保留メロディが流れます。親機、子機どちらかが出れば外からの電話に出られます。

ご注意
- 親機から子機へ取り次いだ場合、子機に表示されるのは、子機で通話を始めた時点からの通話時間表示です。

子機から親機へ取り次ぐ



1 **子機が1台の場合：通話中に (変換/内線) を押す。**
子機が2台以上の場合：通話中に (変換/内線) (0) を押す。

親機を 呼び出し

- 電話は保留になり、相手にはメロディが聞こえます。
- (変換/内線) を押したあとで、子機を充電台に戻すか、(切) を押すと、呼び出しは中止され、親機のスピーカーから保留メロディが流れます。親機またはいずれかの子機で出れば外からの電話に出られます。

2 **親機のベルが鳴ったら受話器を取る。**
- スピーカーホンで受けることはできません。
- 親機が出ないときは、もう一度 (変換/内線) または (通話) を押すと、もとの通話に戻れます。

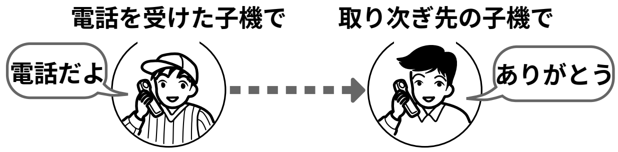
3 **子機から親機へ電話をまわすことを伝える。**
- このとき親機が内線通話を切ると、子機で再び外からの電話に出られます。

4 **子機を充電台に戻すか、(切) を押す。**
- 親機で外からの電話に出られます。

ちょっと一言
- (保留/消去) を押して通話を保留にしてからでも、同じように取り次げます。

ご注意
- 子機から親機へ取り次いだ場合、親機に表示されるのは、子機と親機の合計の通話時間表示です。

子機から子機へ取り次ぐ（子機が2台以上ある場合）



1 **通話中に (変換/内線) を押す。**
- スピーカーホン通話中のときは、(通話) を押してから (変換/内線) を押します。
- このときに、子機を充電台に戻すか、(切) を押すと、呼び出しは中止され、親機のスピーカーから保留メロディが流れます。親機またはいずれかの子機が出れば外からの電話に出られます。

子機1	子機2
子機 2を 呼び出し	**子機 1から 呼び出し**

2 **子機番号のダイヤルボタンを押す。**

呼び出し先	押すボタン
子機1	(1)
子機2	(2)
子機3	(3)
すべての子機と親機★	(#)

★ 最初に出た子機または親機に電話がつながります。

- 電話は保留になり、相手にはメロディが聞こえます。
- (#) を押すと、「一斉内線呼び出し」と表示されます。
- 取り次ぎ先の子機には取り次ぎ元の子機の番号が表示されます。

3 **ベルが鳴ったら、取り次ぎ先の子機を充電台から取る。充電台にのせていないときは、(通話) を押す。**
- 子機が出ないときは、もう一度 (変換/内線) または (通話) を押すと、もとの通話に戻れます。

4 **子機から他の子機へ電話をまわすことを伝える。**
（子機間通話の方法は42ページをご覧ください。）

5 **子機を充電台に戻す。または (切) を押す。**

ちょっと一言
- (保留/消去) を押して通話を保留にしてからでも、同じように取り次げます。

子機間通話をするには

トランシーバー感覚で（話すときはジョグダイヤルを押して、聞くときはジョグダイヤルを離して）子機間で通話できます。

内線呼び出しのベルが鳴ると

- 例：かけた子機を子機1、受ける子機を子機2とする。

子機1

子機 2を
呼び出し

子機間通話
＜待機中＞

「プププププ」と鳴り続けます。

ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押したままで、「プププププ」が止み、「ピー」と鳴ったら、話す。

子機間通話
＜送話中＞

相手の声は聞こえません。

話し終えたら、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を離す。

子機間通話
＜待機中＞

「プププププ」と鳴り続けます。

子機2

子機 1から
呼び出し

ベルが鳴ったら充電台から取る。
充電台にのせていないときは（通話）を押す。

子機間通話
＜待機中＞

「プププププ」と鳴り続けます。

相手の声が聞こえる。

子機間通話
＜受話中＞

こちらの声は相手には聞こえません。

子機間通話
＜待機中＞

「プププププ」と鳴り続けます。

ご注意
- 子機間通話中に、ジョグダイヤルを押したまま回すと、通話が切れることがあります。

- 子機2から話すには、表示窓に「子機間通話＜待機中＞」と表示され、「プププププ」と鳴っているときに、子機2でジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押したまま話します。話し終えたら子機2側のジョグダイヤル（子機間通話／登録）を離します。

親機と子機、子機と他の子機の間で話す（内線通話）

親機から子機にかけるには（子機1台の場合）

1 親機：受話器を取り、[変換/内線] を押す。
- 子機のベルが鳴ります。

親機
子機 1を呼出中

子機
内線着信

2 子機：充電台から取る。充電台にのせていないときは、[通話] を押す。
- 子機と親機で通話ができます。

親機
子機 1と通話中

子機
<内線通話中>

3 通話が終わったら、
親機：受話器を戻す。
子機：充電台に戻すか、[切] を押す。

ちょっと一言
- 親機では受話器を取らずに [変換/内線] を押して、そのままスピーカーホンで話すこともできます。呼び出された子機はスピーカーホンでは話せません。

親機から子機にかけるには（子機が2台以上ある場合）

1 親機：受話器を取り、[変換/内線] を押す。

2 子機番号を押す。

呼び出し先	押すボタン
子機1	[1]
子機2	[2]
子機3	[3]
すべての子機を同時に★	[#]

★ 最初に出た子機に電話がつながります。
- 子機のベルが鳴ります。

3 子機：充電台から取る。充電台にのせていないときは、[通話] を押す。
- 子機と親機で通話できます。

4 通話が終わったら、
親機：受話器を戻す。
子機：充電台に戻すか、[切] を押す。

子機から親機にかけるには

1 子機が1台の場合：子機を充電台から取り、[変換/内線] を押す。
子機が2台以上の場合：子機を充電台から取り、[変換/内線] [0] を押す。
- 親機のベルが鳴ります。

親機を
呼び出し

2 親機：受話器を取る。
- 子機と親機で通話できます。

3 通話が終わったら、
親機：受話器を戻す。
子機：充電台に戻すか、[切] を押す。

ちょっと一言
- 子機では充電台にのせたまま [変換/内線] を押してスピーカーホンで話すこともできます。このとき、呼び出せるのは親機のみです。呼び出された親機は、スピーカーホンでは話せません。
- 親機と内線通話中に子機の [通話]（音量）を押すと、受話音量を調整できます。

子機から他の子機にかけるには（子機が2台以上ある場合）

1 **充電台から取り （変換/内線） を押してから、子機番号のダイヤルボタンを押す。**

呼び出し先	押すボタン
子機1	（1）
子機2	（2）
子機3	（3）
すべての子機または親機★	（#）

★ 最初に出た子機または親機に電話がつながります。

- 途中で内線の呼び出しを中止するにはもう一度 （変換/内線） を押します。

2 **子機のベルが鳴ったら充電台から取る。充電台にのせていないときは、（通話） を押す。**

- 子機間通話待機中の状態になります（子機間通話の方法は42ページをご覧ください）。

3 **通話が終わったら、充電台に戻すか、（切） を押す。**

ご注意

- 子機を充電台に置いたまま （変換/内線） を押して呼び出せるのは親機のみです。

ちょっと一言

- 内線通話中に電話がかかってきたときは内線通話は中止されます。親機または子機で電話を受けてください。
  親機：いったん受話器を戻してから電話を取ります。
  子機：子機のベルが鳴ってから （通話） を押します。
- 手順1で表示される子機番号は、操作中の子機番号以外のすべての子機番号です。内線通話できない子機番号を押すと、エラー音が鳴り、「C61　無効キー操作」が出たあともとの状態に戻ります。

ファクス／コピーの前に

読み取りできる原稿とできない原稿

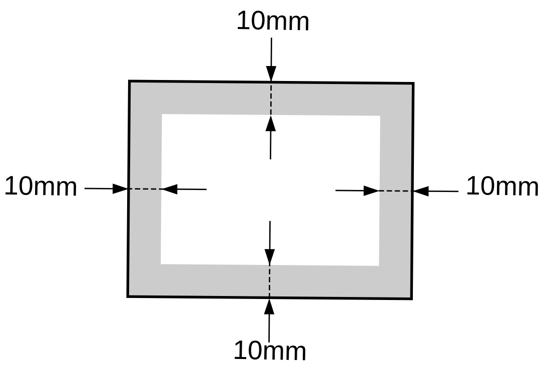
読み取りできる原稿のサイズおよび厚さ

1枚だけセットする場合と複数枚セットする場合では、読み取れる原稿の厚さが異なります。

	1枚だけセットする場合（幅×長さ）	複数枚セットする場合（幅×長さ）
最大	257×1000mm	257×364mm（B4サイズ）
最小	128×128mm	128×128mm
厚さ	0.05～0.15mm	0.065～0.10mm

読み取りできる範囲

原稿の縁から10mm以内の範囲にある文字などは、読み取れない場合があります。



そのままでは読み取れない原稿

そのまま読み取ることができない原稿は、下記のように対応してください。

ハンドスキャナで読み取る、または複写機でコピーすればよいもの

- 破れたり、しわが入ったり、丸まった紙
- 感圧紙、感熱紙、裏カーボン紙などの科学処理した紙
- 厚すぎる紙（0.15mmを超える）

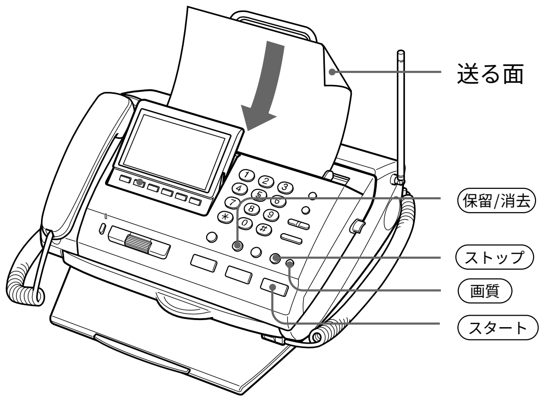
ハンドスキャナで読みとる、または複写機でコピーすればよいもの（ハンドスキャナで読み取る場合は、白い紙などの上に原稿を置いて読み取ってください。）

- フィルムやトレーシングペーパーのような透明なもの
- 小さすぎる紙（128×128mm未満）
- 薄すぎる紙（0.05mm未満）
- 薄く光沢のある紙

複写機でコピーすればよいもの

- ノリやテープなどで貼り合わせた紙

原稿のセットのしかた



1 原稿の幅に原稿セットガイドを合わせる。

- 複数枚のときは先端と幅をそろえてください。
- 一度にセットできる原稿枚数（同じ紙質・大きさのみ）：10枚まで

2 送る面を下に向けて、原稿を軽く差し込む。

- 自動的に約3cm引き込まれます。
- 複数枚セットしたときは一番下の原稿が引き込まれます。
- ディスプレイに画質モードが表示されます。画質モードは、（画質）で変えられます。

ご注意

- 原稿セットガイドは原稿の幅にきちっと合わせてください。合わせないと原稿が斜めに入ったり、つまったりする原因となります。
- 幅や厚さが異なる原稿をいっしょにセットしないでください。原稿がつまったり、送信もれが出たりする原因となります。
- クリップやホチキスの針は必ず取り除いてください。故障の原因となります。
- インクや修正液、ノリの付いた原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。
- 11枚以上送りたいときは、何回かに分けて送信してください。途中で原稿を追加しないでください。

セットした原稿を取り除きたいときは

- （ストップ）を押すと、原稿が排出されます。原稿は無理に引き抜かないでください。
  原稿読み取り部に傷がつく原因となります。

ちょっと一言

- 写真や濃淡のある原稿を送信するときやコピーするときは、［写真］に設定してください。よりきれいに送信やコピーができます。

ファクス・コピー

写真や小さい文字の原稿のとき（画質モード）

文字が小さい原稿や写真のように濃淡のある原稿でも、鮮明に送ったりコピーをとったりすることができます。送信やコピーの前に画質モードを設定してください。

画質モードの決めかた

下の例の文字の大きさをめやすに、画質モードを決めてください。

ふつう：**文字がこのくらいの**
小さい：文字がこのくらいの大きさ
細かい：文字がこのくらいの大きさ
写真：写真（64階調ハーフトーン）

- お買い上げ時は［ふつう］に設定されています。

画質モードの選びかた

1 原稿をセットする。

- ディスプレイに画質モードが表示されます。

2 （画質）を押して選ぶ。

- ボタンを押すごとにディスプレイの表示が変わります。
- 原稿をセットしていない状態で（画質）を押したときは、2秒以内にボタンを押して選んでください。2秒を過ぎると時刻表示になり、最後に表示されていた画質モードになります。

ご注意

- ［細かい］、［写真］に設定すると、［ふつう］や［小さい］に比べ送信に時間がかかります。原稿の内容に合わせた設定をしてください。
- 色地の原稿を［細かい］、［写真］で送ると、送信時間が極端に長くなることがあります。色地の原稿を送るときは、［ふつう］または［小さい］に設定してください。
- 黒い部分が多い原稿や色地の原稿、縦の罫線がある原稿では送信に時間がかかります。
- ［細かい］に設定した場合、相手機種によっては［小さい］で送信することがあります。
- ［写真］に設定した場合、原稿によっては原稿の白い部分にゴマ模様の記録が出る場合があります。その場合は、読み取り濃度を［うすく読み取る］または［よりうすく読み取る］に設定してください（☞右記）。
- コピーのときは［ふつう］に設定しても、［小さい］でコピーされます。

ちょっと一言

- 写真や濃淡のある原稿を送信するときやコピーするときは、［写真］に設定してください。よりきれいに送信やコピーができます。

色がついた原稿や文字がうすい原稿のとき（読み取り濃度）

用紙に色がついているとき、原稿の文字がうすいときなどは、相手が読みやすいように読み取り濃度を調整することができます。

- 送信やコピーの前に設定してください。
- お買い上げ時は［普通で読み取る］に設定されています。

1 受話器を置いたままで、（登録/決定）を押す。

- ［登録メイン］が表示されます。

2 ローラージョグを回して［4:設定メニュー］を点滅させ、（登録/決定）を押す。

```
登録メイン
4:設定メニュー
5:登録メニュー
6:留守電機能
```

3 もう一度（登録/決定）を押す。

```
設定メニュー
1:読み取り濃度
2:発信元記録
3:海外通信
```

4 （<）または（>）を押して濃度を選択し、（登録/決定）を押す。

■□□□□：よりうすく読み取る（濃い原稿）
■■□□□：うすく読み取る（色地原稿や新聞）
■■■□□：普通で読み取る（コピーや黒ペン書き原稿）
■■■■□：濃く読み取る（鉛筆書き原稿）
■■■■■：より濃く読み取る（うすい原稿）

5 （ストップ）を押す。

ご注意

- 設定した状態は次に変更するまで変わりません。送信やコピーが終わったら［■■■□□］（普通）に設定を戻してください。
- 次のような原稿は鮮明に読み取れないことがあります。
  - 青色のサインペンやボールペンなどで書かれた原稿（ブルーブラック、紺色に近い青は問題ありません。）
  - うすい鉛筆、蛍光マーカーで書かれた原稿
- 赤は黒と同様に鮮明に読み取れます。（赤色地に黒で書かれた原稿は真っ黒になってしまいます。）

ちょっと一言

- 読み取りの具合いを確認したいときは、コピーをとって確認してください。

海外へファクスを送るとき

海外にファクスを送るときは、海外通信を[する]に設定すると、海外へ送るときに起こりやすい通信ミスが少なくなります。

- お買い上げ時は、海外通信は［しない］に設定されています。

1 受話器を置いたままで、(登録/決定)を押す。
- ［登録メイン］が表示されます。

2 ローラージョグを回して［4:設定メニュー］を点滅させ、(登録/決定)を押す。

登録メイン
4: 設定メニュー
5: 登録メニュー
6: 留守電機能

3 ローラージョグを回して［3:海外通信］を点滅させ、(登録/決定)を押す。

設定メニュー
1: 読み取り濃度
2: 発信元記録
3: 海外通信

4 (<)を押して［する］を点滅させ、(登録/決定)を押す。

海外通信
設定しますか？
する／しない

5 (ストップ)を押す。

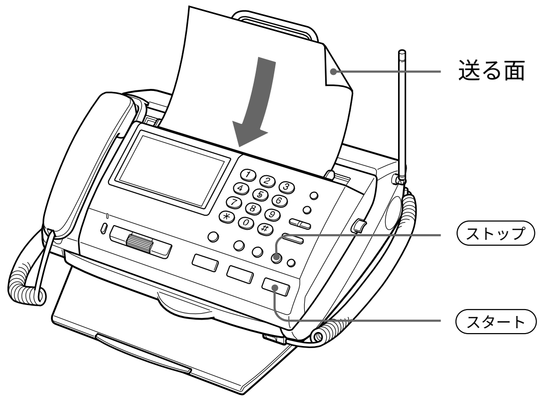
ご注意
- 海外通信の設定は、ファクスを受信するときは関係ありません。
- 海外へ送信完了後は、海外通信を［しない］に戻してください。
- 国際ダイヤル通話を利用して海外にファクスを送る場合、国際電話番号（001、0061、0041など）をダイヤルしたあと国番号と相手先電話番号をダイヤルしても、通話中になり、通信できないことがあります。このようなときは、国際電話番号のあとに(発信/着信記録)を2、3回押し（約7秒〜10秒のポーズが入ります）、それから残りの電話番号をダイヤルしてください。それでも通信できない場合は、受話器を取って回線の接続具合を確認しながらダイヤルしてください。
例：001PP1［相手先の番号］

ファクスを送る

ファクスを自動で送る（自動送信）

相手先と話をしないで直接ファクスを送ることができます。
相手先がファクス専用のときやファクス／電話自動切り換えになっているときなどに便利です。

- 受話器やスピーカーホンで相手と話してからファクスを送る場合は、手動送信してください（☞48ページ）。
- 相手機がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送ると、自動的にA4サイズに縮小して送信されます。



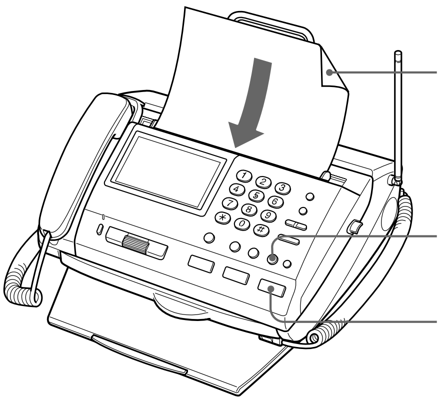
1 原稿をセットする（☞45ページ）。
- 画質モードが表示されます（☞46ページ）。

2 相手先の番号をダイヤルする。
- 受話器を置いたままダイヤルします。
- 発信／着信記録も使えます（☞37、102ページ）。
- 電話帳を使って相手先を選ぶこともできます（☞96ページ）。

3 (スタート)を押す。
- 送信が終わると、「ピーッ」という音がします。

相手と話してから送る（手動送信）

相手先と話してからファクスを送ることができます。相手先が手動受信の場合や相手先のファクス信号音（ピーヒョロヒョロ）を確認してから送信するときに便利です。



1 原稿をセットする（☞45ページ）。

- 画質モードが表示されます（☞46ページ）。

2 受話器をとって電話をかけ、話をする。

- （スピーカーホン）でかけることもできます。

3 相手に受信操作をしてもらう。

- 相手が操作すると「ピーヒョロヒョロ」という音が聞こえます。

4 （スタート）を押し、受話器を戻す。

- 送信が終わると「ピー」という音がします。
- 子機でかけた場合も、親機による操作（この操作）で手動送信できます。

ご注意

- 原稿は自動的に排出されます。一時的に止まることがありますが、無理に引き抜かないでください。
- こちらが先に（スタート）を押しても、相手が受信の操作をすれば送信できます。

ちょっと一言

- 途中で送信をやめるときは、（ストップ）を押してください。原稿が排出されます。排出されないときは、もう一度押してください。
- ファクスを送ったあとも相手と話をしたいときは、受話器を戻さないでください（相手も）。

電話帳機能で送るときは

相手先が電話帳に登録されていると、簡単な操作でファクスを送ることができます。

- あらかじめ登録が必要です（☞87ページ）。

「ファクスを自動で送る（自動送信）」（☞47ページ）の手順2でローラージョグを回して相手先を選びます。

- 登録されている相手先名を表示します。表示される順番は、カタカナ（50音順）→英文字（アルファベット順）→数字（0〜9）→記号の順です。
- 相手先を素早く探すことができます（☞97ページ）。

ご注意

- 原稿は自動的に排出されます。一時的に止まることがありますが、無理に引き抜かないでください。
- 通信中はディスプレイに相手先の名前（電話帳に登録した名前）や電話番号が表示されます。ディスプレイには名前は全角10文字、番号は20桁まで表示されます。

ちょっと一言

- ディスプレイに「再発呼待ち1回目」を表示されたときは、相手が話し中です。この場合、1分間隔で5回まで自動的にかけなおします（オートリダイヤル）。そのままお待ちください。5回かけなおしても送信できないときは不達レポートが印刷されます（☞49ページ）。送信をやめるときには（ストップ）を押して原稿を排出してください。
- 番号を間違えたときは、（保留/消去）を押して最初からダイヤルしなおしてください。
- 途中で送信をやめるときは、（ストップ）を押してください。もう一度押すと原稿が排出されます。排出されないときは、もう一度押してください。
- 写真や小さい文字の原稿、色のついた原稿などを送る場合は、画質モードや読み取り濃度を設定してください（☞46ページ）。

ファクス・コピー

複数の相手に送る（同報送信）

同じ原稿を電話帳に登録した複数の相手先（10件まで）へ同時にファクス送信することができます。相手先は、ローラージョグを回してかんたんに指定できます。

1 **原稿をセットする。**

2 **受話器を置いたままで、（登録/決定）を押す。**

- ［登録メイン］が表示されます。

3 **ローラージョグを回して［0:ファクス通信］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

```
登録メイン
0: ファクス通信
```

4 **ローラージョグを回して［2:同報送信］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

```
ファクス通信
1: ファクス情報サービス
2: 同報送信
```

5 **ローラージョグを回して送信したい相手先の電話帳を表示させ、（登録/決定）を押す。**

```
電話帳
藤野由美
>03XXXX6666
 090XXXX8888
```

6 **ローラージョグを回して送信したい番号を点滅表示させ、（登録/決定）を押す。**

7 **引き続き送信先を追加する場合は、（登録/決定）を押して、手順5に戻る。**

- 送信先の選択が終了した場合は、手順8に進みます。

8 **送信先をすべて選択したら（>）を押して（登録/決定）を押す。**

9 **（スタート）を押す。**

- 自動的に原稿を読み取ります。
- 読み取りが終了すると、最初に登録されたファクス番号を自動的にダイヤルし、ファクスの送信を開始します。
- 1件目の送信が終了すると、以降、登録された順にすべてのファクス番号を自動的にダイヤルして、ファクス送信をします。
- すべての送信が終了すると、「同報通信レポート」が出力されます。（相手先が1か所のときは、出力されません。）

原稿の読み取り中にメモリがいっぱいになったとき

1 **「ピーピーピー」という音がして、［C42　メモリ満杯］と読み取り中のページ番号が表示される。**

2 **5秒後、読み取りが終わったページまでを送信する旨が表示される。**

3 **読み取りが終わったページまでを送信するときは、（スタート）を押す。送信をやめるときは、（ストップ）を押す。**

- 何もないまま60秒経つと自動的に送信します。読み取れなかった原稿は、原稿挿入口に残ったままです。原稿を排出するときは、送信が終了してから（ストップ）を押してください。

ちょっと一言

- 1枚目の原稿を読み取り中にメモリが満杯になった場合は、同報送信はできません。手動送信を行ってください。

送信できなかったときは

- 自動的に不達レポートが印刷されます。

不達レポートの例

通信開始日時	通信時間	相手先	モード	枚数	通信結果
1月1日 0時03分	56秒	2222222	G3	0	通信異常

話し中：
- ・相手先が話し中
- ・回線が混み合っている

呼び出し：
- ・相手先から電話予約などで呼び出しを受けている

無応答：
- ・相手先が受信できない状態になっている
- ・相手先が電話に出ない
- ・電話回線が正しく接続されていないか、電話回線接続コードが断線している恐れがある

通信異常：
上記以外の理由で送信できなかったとき

ファクス・コピー

不達レポートを出さないようにするには

1 受話器を置いたままで、(登録/決定) を押す。

2 ローラージョグを回して［4:設定メニュー］を点滅させ、(登録/決定) を押す。

```
登録メイン
4: 設定メニュー
5: 登録メニュー
6: 留守電機能
```

3 ローラージョグを回して［7:不達レポート］を点滅させ、(登録/決定) を押す。

```
設定メニュー
7: 不達レポート
8: コントラスト調整
```

4 (＞)を押して［しない］を点滅させ (登録/決定) を押す。

```
不達レポート
設定しますか？
    する／しない
```

5 (ストップ) を押す。

ファクスを受ける

ファクスを自動で受ける（電話／ファクス自動切り換え）

電話がかかってきたときに誰も電話に出ないと、本機が回線を自動的に接続して相手が電話かファクスかを判別し、ファクスならば自動的に受信します。相手が電話ならば、呼び出しベルが鳴ります。

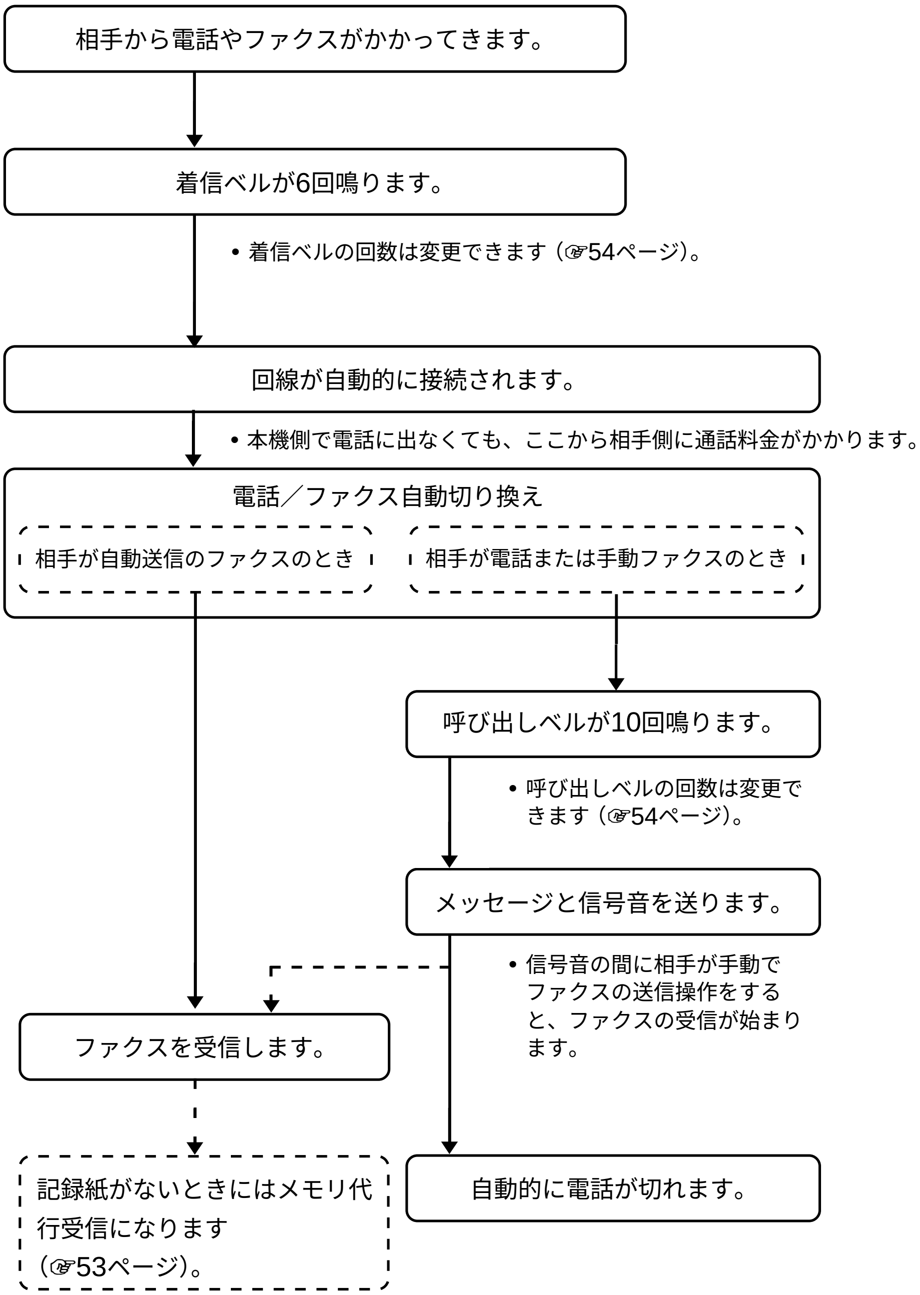
ご注意

- 回線が接続されると、電話に出なくても相手に電話料金がかかります。

ちょっと一言

- 自動切り換えのしかたやベルの鳴りかたは、設定によって変えることができます。
- 留守設定にしたときやおやすみ設定にしたときは、接続のしかたやベルの鳴りかたが異なります。
- お買い上げ時は、電話／ファクス自動切り換えをするように設定されています。

電話／ファクス自動切り換えのしくみ



自動切り換えをやめるには

電話専用モードやファクス専用モードに設定すると、電話／ファクス自動切り換えが働かなくなります。

電話専用モード

ファクスを自動受信したくない場合や、電話に出なくても相手に通話料金がかかるのを防ぎたい場合は、電話専用モードをご利用ください。電話専用モードのときは、ファクスは手動で(親機では(スタート) 子機では(FAX)を押して)受信できます。

1 受話器を置いたままで、(登録/決定)を押す。
- ［登録メイン］が表示されます。

2 ローラージョグを回して［3:受信設定］を点滅させ、(登録/決定) を押す。

```
登録メイン
1: 電話帳登録
2: リスト印刷
3: 受信設定
```

3 もう一度 (登録/決定) を押す。

```
受信設定
1: 着信設定
2: 着信音設定
3: ファクスかんたん受信
```

4 ローラージョグを回して［2:電話専用］を点滅させ、(登録/決定) を押す。

```
着信設定
1: 電話/ファクス自動切換
2: 電話専用
3: ファクス専用
```

5 (ストップ) を押す。

ご注意
- 電話専用モードでも、留守設定時は自動的にファクスを受信します。
- ［着信設定］を［電話専用］にすると、ファクスは自動的に受信できなくなります。
- ファクスを受信したときは、着信ベル9回以内に電話に出てください。相手ファクスが切れてしまうことがあります。

ファクス専用モード

着信メニューをファクス専用に設定すると、着信ベルが設定した回数だけ鳴ったとき、自動的にファクス受信に切り換わります。
相手からかかってくるのが、ファクスだけであることがわかっているときにご利用ください。

- 着信ベルの回数は変更できます（☞54ページ）。

1 受話器を置いたままで、(登録/決定)を押す。
- ［登録メイン］が表示されます。

2 ローラージョグを回して［3:受信設定］を点滅させ、(登録/決定) を押す。

```
登録メイン
1: 電話帳登録
2: リスト印刷
3: 受信設定
```

3 もう一度 (登録/決定) を押す。

```
受信設定
1: 着信設定
2: 着信音設定
3: ファクスかんたん受信
```

4 ローラージョグを回して［3:ファクス専用］を点滅させ、(登録/決定) を押す。

```
着信設定
1: 電話/ファクス自動切換
2: 電話専用
3: ファクス専用
```

5 (ストップ) を押す。

ご注意
- 相手が電話の場合は、設定した回数だけベルが鳴るとファクス受信動作になり、電話を受けることはできません。
- 留守設定にすると［着信設定］の［ファクス専用］の設定は無効になり、留守設定動作をします（☞124ページ）。

ファクスを手動で受ける

電話に出たら「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえるときは、相手がファクスを送信しています。こんなときは手動で受信操作します。
お買い上げ時の状態では、ファクスかんたん受信が働き、「ポー・ポー・ポー…」のあと[ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください]というメッセージが流れます。このときは自動でファクスを受信しますので、受話器を戻してください。
電話で話したあと、そのまま電話を切らずにファクスを受信したいときや、ファクスかんたん受信を[しない]に設定したとき（☞55ページ）は以下の操作で受信してください。

親機で受ける

通話をしたあとに受けたいときは、相手に送信の操作をしてもらいます。

「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら、（スタート）を押し、受話器を戻す。
- ファクスの受信が開始されます。
- 受信が終わると、「ピーッ」という音が聞こえます。

子機で受ける

通話をしたあとに受けたいときは、相手に送信の操作をしてもらいます。

「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら、（FAX）を押す。
- 親機でファクスの受信が開始されます。
- 子機は待機状態になります。充電台に戻してもそのままでもかまいません。

ご注意
- こちらから相手に電話をかけ、ファクスを送ってもらうこともできます。その場合は必ず上記の手順で受信してください。（ファクスかんたん受信ではできません。）
- 相手機種によっては「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえないことがあります。このときも上の手順でファクスを受信できます。
- 子機の場合、ファクスかんたん受信を［する］に設定していると、（スピーカーホン音量）を押して電話に出たいときは「ポー・ポー・ポー…」という音のあとメッセージは流れず、無音になります。この後自動的にファクスを受信します。
- 受信した文書は記録紙スタッカーに10枚以上ためないでください。記録紙づまりの原因になります。
- メモリがいっぱいのときは着信ベルが鳴り続け、受信はできません。
- 記録紙カセットのカバーにシールなどを貼り付けないでください。記録紙づまりの原因になります。
- 推奨環境（温度：15～30℃、湿度：35～70%）以外でご使用になると記録にかすれや汚れが発生する場合があります。

ちょっと一言
- こちらが先に（スタート）を押したときは、相手が送信操作をすれば受信できます。
- ファクスを受信したあとも相手と通話をしたいときは、受話器を戻さないでください（相手も）。ただし、子機ではもう一度通話をすることはできません。

メモリ代行受信

記録紙がなくなっているときや紙づまりのときなどにファクスがかかってくると、メモリへ受信文書を記憶する機能です。メモリに記憶された文書は、あとで記録紙に印刷できます。

メモリ代行受信になるのは

- おやすみ設定時
- 記録紙がないとき
- 記録紙がつまっているとき
- カバーが開いているとき
- インクフィルムがなくなったとき
- サーマルヘッドが過熱したとき

受信中に記録紙がなくなると

次の受信からメモリ代行受信になります。

メモリ代行受信すると

ディスプレイは次のようになります。

表示例
記録紙がありません

↑↓　1秒おきに表示

メモリ受信文書あり

記憶できる文書量

相手が画質モードを[普通]で送信したとき、A4（700文字程度）原稿を約20枚記憶できます。ただし、原稿の内容によっては少なくなることがあります。

- 留守設定のときに録音された用件や、送受信したα-Eメールなどが残っていると、記憶できる枚数は少なくなります。

記憶された文書の印刷

メモリに記憶された文書は、新しい記録紙をセットしたり、紙づまりをなおすと自動的に印刷されます。

ご注意
- メモリがいっぱいのときは着信ベルが鳴り続け、メモリ代行受信はできません。

いろいろな設定を変えて使う

着信ベル回数を変える

自動的に回線を接続するまでに鳴らすベルの回数を設定できます（0〜19回）。

- 電話専用モードのときは着信ベル回数を変えることはできません。
- 相手ファクスが自動送信の場合、9回以下に設定していないと、受信できないことがあります。
- KDDIの77セレクティやα-Eメールを利用するときは、9回以下に設定してください。10回以上に設定するとオンライン通信できないことがあります。
- お買い上げ時は、［6回］に設定されています。

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定)を押す。**
- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［3:受信設定］を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

登録メイン
1: 電話帳登録
2: リスト印刷
3: 受信設定

3 **ローラージョグを回して［4:着信ベル回数］を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

受信設定
4: 着信ベル回数
5: 呼出ベル回数
6: 音声メッセージ

4 **ダイヤルボタンで着信ベルの回数を入力し(登録/決定)を押す。**

着信ベル回数
06回

- 1〜9回は頭に［0］を付けてください。
- 回数を間違えたときは、(保留/消去)を押して入力しなおしてください。

5 **(ストップ)を押す。**

ご注意
- 留守設定の間は［トールセーバー］を［する］に設定している場合、着信ベル回数の設定に関わらず、トールセーバーのベル回数（2回または5回）でつながります。留守設定の間もここで設定したベル回数で回線を接続したいときは、［トールセーバー］を［しない］に設定してください（☞129ページ）。
- 子機は親機より遅れてベルが鳴り始めるため、設定された着信ベル回数より少ない回数で着信する場合があります。

ちょっと一言
- 着信ベルが設定された回数鳴ると、回線が接続され、相手側に料金がかかります。

ベルを鳴らさずにファクスを受けたい（無鳴動着信）

左記の手順4で着信ベルの回数を［00］回に設定してください。

- 相手が電話だったときは、回線が接続されてから約5秒後に呼び出しベルが鳴ります。
- 相手がファクスを手動送信したときは、呼び出しベルが鳴ります。電話に出てから手動受信してください（☞53ページ）。

呼び出しベル回数を変える

自動的に回線を接続したあとに鳴らすベルの回数を設定できます（1〜19回）。
- 電話専用モードのとき、ファクス専用モードのときは、呼び出しベル回数は変えられません。
- お買い上げ時は、［10回］に設定されています。

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定)を押す。**
- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［3:受信設定］を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

登録メイン
1: 電話帳登録
2: リスト印刷
3: 受信設定

3 **ローラージョグを回して［5:呼出ベル回数］を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

受信設定
4: 着信ベル回数
5: 呼出ベル回数
6: 音声メッセージ

4 **ダイヤルボタンで呼び出しベルの回数を入力し、(登録/決定)を押す。**

呼出ベル回数
10回

- 1〜9回は頭に「0」を付けてください。
- 回数を間違えたときは、(保留/消去)を押して入力しなおしてください。

5 **(ストップ)を押す。**

相手に音声メッセージを流す

電話／ファクス自動切り換え（☞51ページ）で、自動的に回線を接続したとき、相手が電話のときは音声メッセージ「お呼び出しいたしますのでしばらくお待ちください」を流すことができます。
お買い上げ時は、音声メッセージを流さないように設定しています。

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定)を押す。**
- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［3:受信設定］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

登録メイン
1: 電話帳登録
2: リスト印刷
3: 受信設定

3 **ローラージョグを回して［6:音声メッセージ］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

受信設定
4: 着信ベル回数
5: 呼出ベル回数
6: 音声メッセージ

4 **(<) を押して［する］を点滅させ (登録/決定) を押す。**
- 音声メッセージを流さない場合は、［しない］を点滅させます。

音声メッセージ
設定しますか？
する／しない

5 **(ストップ) を押す。**

ファクスかんたん受信をやめる

お買い上げ時は、ファクスかんたん受信を［する］（電話に出て相手がファクスの場合、自動で受信する）に設定されています。ただし、相手が電話の場合でも、声質や音によって、ファクスの受信状態になることがあります。ひんぱんに起こる場合は、ファクスかんたん受信を［しない］に設定してください。
また、いたずらファクスでお困りのときなどは、ファクスかんたん受信を［しない］に設定してください。
- ファクスかんたん受信を［しない］に設定した場合は、相手がファクスだったら (スタート)（親機）、または (FAX)（子機）を押して受信してください。

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定)を押す。**
- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［3:受信設定］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

登録メイン
1: 電話帳登録
2: リスト印刷
3: 受信設定

3 **ローラージョグを回して［3:ファクスかんたん受信］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

受信設定
1: 着信設定
2: 着信音設定
3: ファクスかんたん受信

4 **(>) を押して［しない］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**
- ファクスかんたん受信に戻す場合は［する］を点滅させます。

ファクスかんたん受信
設定しますか？
する／しない

5 **(ストップ) を押す。**

定型受信をやめる

定型受信が[する]になっていると受信したファクスを縦方向に95%縮小して印刷します。この機能は、縦方向いっぱいに書かれた原稿が2枚に分かれることを防ぎます。

- 定型受信を［しない］に設定すると、原寸で印刷します。

ご注意

- 縮小（95%）することにより、画質が劣化する場合があります。

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定)を押す。**

- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［9:印刷メニュー］を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

```
登録メイン
7: ナンバーディスプレイ
8: ハンドスキャナ
9: 印刷メニュー
```

3 **もう一度 (登録/決定) を押す。**

```
印刷メニュー
1: 定型受信
2: メモリ受信
```

4 **(>) を押して［しない］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

- 定型受信に戻す場合は［する］を点滅させます。

```
定型受信
設定しますか？
    する／しない
```

5 **(ストップ) を押す。**

メモリ受信をやめる

本機は、通常、受信したファクスのデータを読みこみながら出力しています(メモリ受信)。
これは通信状態によるノイズなどでデータ化けが起きるのを防ぐためです。このメモリ受信をやめることができます。受信したデータをメモリに入れずにそのまま出力するので、情報量の多いファクスを受信したときにメモリ満杯になることを防ぎます。(ただし、受信速度はメモリ受信時より遅くなります。)

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定)を押す。**

- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［9:印刷メニュー］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
登録メイン
7: ナンバーディスプレイ
8: ハンドスキャナ
9: 印刷メニュー
```

3 **ローラージョグを回して［2:メモリ受信］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
印刷メニュー
1: 定型受信
2: メモリ受信
```

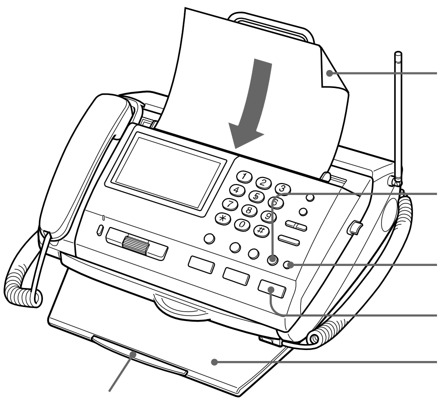
4 **(>) を押して［しない］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
メモリ受信
設定しますか？
    する／しない
```

5 **(ストップ) を押す。**

コピーをとる

1 記録紙スタッカーを引き出す。



2 原稿をセットする（☞45ページ）。

- 画質モードが表示されます（☞46ページ）。

3 原稿にあわせて、画質モードを選択する。

- （画質）を押して選びます（☞46ページ）。

4 （スタート）を押す。

- ここでは常にコピー部数は「01」と表示されます。
- この状態で約5秒間何もしないでいると、自動的にコピーを開始します。

5 （スタート）を押す。

- コピーが終わると「ピー」という音がします。

複数部コピーするときは

1 上記の手順1〜4を行う。

2 5秒以内にダイヤルボタンを押して、コピー部数を入力する。

- 2〜30部まで入力できます。
- この状態で約5秒間何もしないでいると、自動的にコピーを開始します。

3 （スタート）を押す。

- コピーが終わると、「ピー」という音がします。

ご注意

- B4の原稿は自動的にA4に縮小してコピーします。
- 原稿は自動的に排出されます。無理に引き抜かないでください。
- A4/B4の定型を超える長さの原稿をコピーすると、超えた部分はプリントされません。ハンドスキャナを使って縮小コピーを行ってください（☞66ページ）。
- 記録紙スタッカーに、コピーした記録紙を10枚以上ためないでください。記録紙づまりの原因となります。
- 印刷中に記録紙カセットを引き抜かないでください。記録紙づまりの原因となります。
- 記録紙カセットのカバーにシールなどを貼り付けないでください。記録紙づまりの原因になります。
- 推奨環境（温度：15〜30℃、湿度：35〜70%）以外でご使用になると記録にかすれや汚れが発生する場合があります。

ちょっと一言

- 白紙が出たとき
  – 原稿はコピーする面を下に向けてセットしましたか？
- 途中でコピーをやめるときは、（ストップ）を押してください。「排出中」と表示され、原稿が排出されます。
- 拡大／縮小コピーするときは、ハンドスキャナをお使いください（☞66ページ）。拡大／縮小の設定はハンドスキャナ使用時のみできます。
- 写真や小さい文字の原稿、色がついた原稿などをコピーするときは、画質モードや読み取り濃度を設定してください（☞46ページ）。

コピーしてはいけないもの

- かんたんにコピーがとれるからといって、自由に何をコピーしてもよいというわけではありません。たとえ個人で使用することが目的であっても、法律でコピーが禁止されているものもあります。
  - 貨幣、紙幣、公債証書、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙などは、外国で発行されたものも含め、法律でコピーが禁止されています。これらの中には、コピーしたものを持っているだけで法律に触れるものもあります。絶対にコピーしないでください。
  - 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、写真の著作物は個人的に、または家庭内などの限られた範囲内で使用する場合など、著作権法で認められている場合を除き、基本的にコピーすることが禁止されています。
  - パスポートや免許証、民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券、通行券、身分証明書、食券などのコピーも政府の指導により注意が呼びかけられています。

ファクス情報サービスを利用する

- **ファクス情報の内容や情報の提供方式については、各サービスの提供元にお問い合わせください。**
- **ポーリング受信について**
  あらかじめ相手先に用意されている原稿を、こちら（受信側）から操作して受信する機能をポーリング受信といいます。

ファクス・コピー

ポーリング方式のとき

1 受話器を置いたままで、（登録/決定）を押す。
- ［登録メイン］が表示されます。

2 ローラージョグを回して［0:ファクス通信］を点滅させ、（登録/決定）を押す。

登録メイン
0: ファクス通信

3 もう一度（登録/決定）を押す。

ファクス通信
1: ファクス情報サービス
2: 同報送信

宛先指定して下さい

4 相手先の番号をダイヤルする。

03XXXX4444

5 （スタート）を押す。

ちょっと一言
- 前回ファクス情報サービスを利用した相手先へダイヤルしたいときは、手順5で（発信/着信記録）を押して発信記録を表示し、（登録/決定）を押します。

ガイダンス方式のとき

1 受話器を取る。

2 相手先の番号をダイヤルする。

3 ガイダンスに従って操作する。
- ガイダンス後の「ピー」という音のあとで情報番号を入力してください。
- ガイダンスがない場合は次の手順4へ進んでください。

4 （スタート）を押す。

5 受話器を戻す。

ちょっと一言
- ダイヤル回線をご使用のときに、情報番号をトーン（プッシュ）信号を入力する必要があるときは、ダイヤルしたあとに（＊）を押してください。以後のダイヤルはプッシュ信号が送出されます。
- 受話器を置いたまま操作したいときは、手順1で（スピーカーホン）を押してください。

ハンドスキャナご使用の前に

本などの綴じられた原稿や、厚すぎて原稿挿入口にセットできない原稿でも、ハンドスキャナを使ってコピーしたりファクス送信ができます。さらに、コードを取りはずしてコードレスハンドスキャナとして使うこともできます。また、拡大や縮小もすることができます。

ハンドスキャナの取りはずしと取り付け

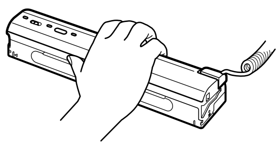
- ハンドスキャナは、本体の原稿読み取り面としても働きます。使用した後は、必ず本体に戻してください。本体に戻すときは、ハンドスキャナのコードをはさまないように注意してください。断線の原因となります。
- コードレスで使用したあとは、動作中ランプが消灯しているのを確認し、ハンドスキャナ用コードを接続してから本体に取り付けてください。接続しないままだとファクスやコピーなどの機能が使えなくなるほか、ハンドスキャナの充電もされません。
- ハンドスキャナを落としたり、固いものにぶつけたりしないようにご注意ください。
- 原稿読み取り面は汚さないでください。汚れたら清掃してください（☞148ページ）。

取りはずしかた

1 **ハンドスキャナを矢印方向に引き抜く。**

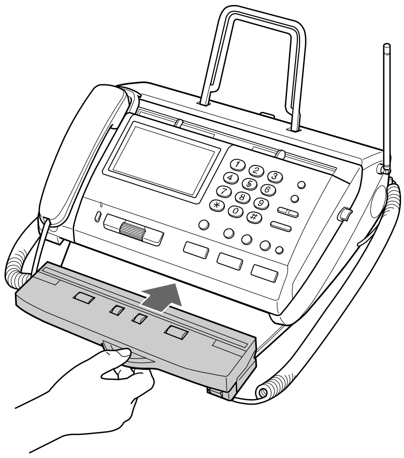


2 **裏返して原稿読み取り面を下にして、原稿にのせる。**



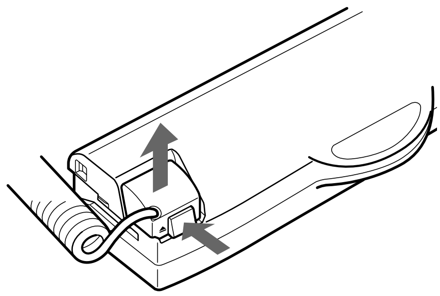
取り付けかた

原稿読み取り面を上に向けて、本体に押し込む。



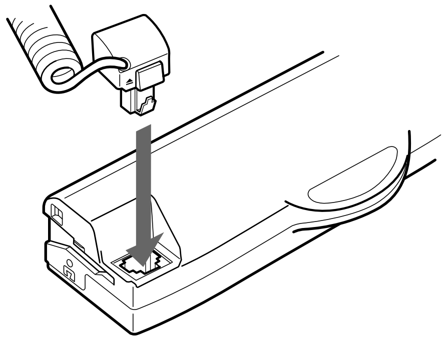
コードレスで使うには

- **コードをはずす**



- **コードを取り付ける**

  本体に戻す前に動作中ランプが消灯しているのを確認し、ハンドスキャナ用コードを取り付けます。
  「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



- コードを取り付けると、新しく読み取った原稿が自動的にプリントされます。
- 原稿を拡大／縮小したい場合は、コードをはずす前に設定をしてください（☞66ページ）。

ハンドスキャナを使った原稿の読み取り

- 本機の記録紙はA4サイズのため、B4サイズの原稿をコピーする時は縮小してください（☞66ページ）。
- 「コード付き」と「コードレス」はこんなところが違います。
  コード付きは、データをメモリに入れないので、記録紙がある限り枚数を意識しないで読み取ることができます。
  また、読み取りとほぼ同時に記録されるため、確認がすぐにできます。
  コードレスは、設置した場所から離れている場所で読み取ることができます。
- 読み取ったデータは消去をしない限り保存されます。保存しておく必要のない原稿は消去してください（☞65ページ）。
- コードレスで使用する場合は、メロディが流れません。
- コードレスで読み取った原稿は、ハンドスキャナのメモリに記憶されます。記憶できる容量は、画質モードが「文字」のときはA4標準原稿（文字が約700文字程度の原稿）で約12枚、「写真」のときはA4サイズで約1枚です。（原稿の状態によって読み取れる枚数は変わります。）
- コピーしてはいけないものがあります。57ページをご覧ください。

読み取り幅と読み取り長さについて

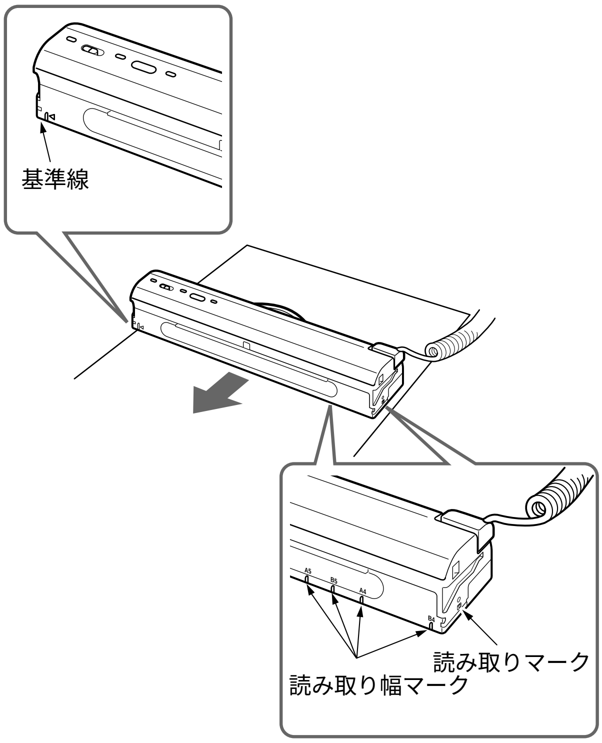
コピーするとき、ファクスを送信するとき

		コピーするとき	ファクスを送信するとき
最大読み取り幅		250mm（B4サイズ）	250mm（B4サイズ）
最大読み取り長さ	コード付き使用時	記録紙がなくなるまでまたはメモリがいっぱいになるまで*	メモリがいっぱいになるまで*
	コードレス使用時	メモリがいっぱいになるまで*	

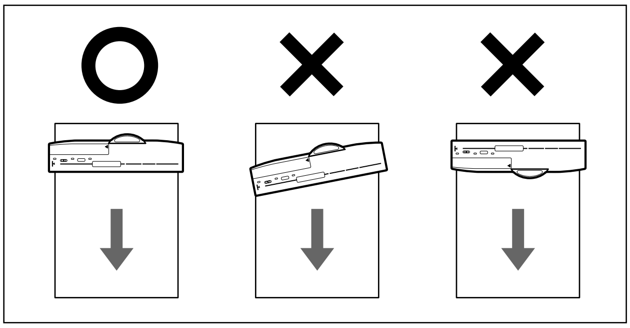
* 原稿の色や文字の量、画質モードの設定によって変わります。

原稿の読み取りかたについて

- 原稿の左端にハンドスキャナの基準線を合わせ、右上端に読み取りマークを合わせます。



- ハンドスキャナは読み取り方向にまっすぐ動かしてください。斜めや逆に動かすとうまく読み取れません。



メロディについて

コードが付いている場合は、ハンドスキャナを使って原稿を読み取る時、ハンドスキャナを動かすスピードをあらわすメロディ音が流れます。

正常に読み取っているとき

ふつうの速さでメロディが流れます。このとき、もっと速くハンドスキャナを動かすこともできます。

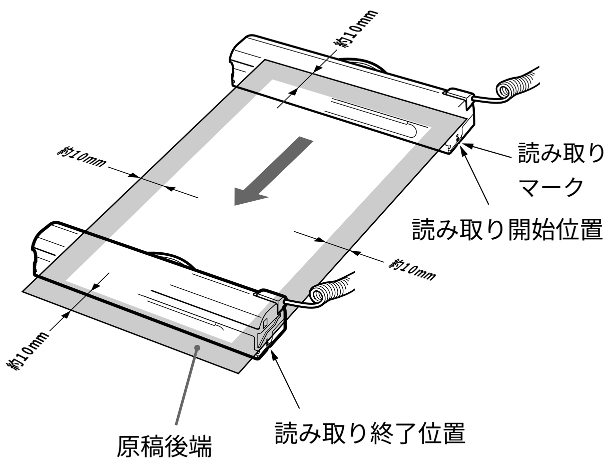
読み取り速度が限界に近づくと

メロディが速くなります。ハンドスキャナをこれ以上速く動かすと、正常に読み取れないのでご注意ください。

メロディ音の設定については66ページをご覧ください。

原稿の読み取り制限について

- 読み取りマークを原稿の先端に合わせて読み取りをしても、下図の灰色の部分は読み取れないことがあります。端の部分に読み取りたい文字などがあるときは、その分外側に合わせてください。



- 色がついた原稿や文字がうすい原稿などの場合は、ハンドスキャナをはずす前に読み取り濃度を設定してください。
- 次のような原稿には使わないでください。読み取り結果や装置に不具合が発生することがあります。
  ー 表面に凹凸のある原稿
  ー コーティングなどで表面が滑りやすい原稿
  ー 表面が汚れている原稿
  ー インクや修正液、ノリなどが乾いていない原稿
- フィルムやトレーシングペーパーのように透明な原稿は白い紙の上に置いてから読み取るようにしてください。

コードを付けたままでコピーする

1 ハンドスキャナをはずして裏返す（☞59ページ）。

- 拡大／縮小するときは、66ページをご覧ください。

2 読み取る原稿にあわせてハンドスキャナの （文字/写真/消去） を切り換えて画質を選ぶ。

文字：文字原稿のとき
写真：写真のとき（64階調ハーフトーン）

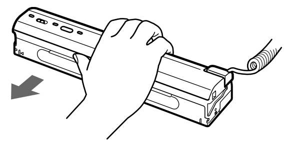
- このとき親機の （画質） は効きません。

3 ハンドスキャナを原稿の上に置く。

4 ハンドスキャナの （スタート/ストップ） または親機の （スタート） を押す。

- ハンドスキャナの動作中ランプが点灯します。

5 ハンドスキャナを読み取り方向に動かす。



- 動かすと、メロディが流れます。

6 読み取りが終わったらハンドスキャナの （スタート/ストップ） または親機の （ストップ） を押す。

- 印刷が終わるまでしばらくお待ちください。

7 ハンドスキャナを戻す（☞59ページ）。

- 原稿読み取り面を上に向けて本体に押し込みます。

ご注意

- 「ピー」と鳴り「C42　メモリ満杯」と表示された時は読み取りができません。しばらくするとコピーが可能となります。
- ハンドスキャナを20秒以上動かさずにいると、読み取りを中断します。
- （スタート/ストップ） を押さずにハンドスキャナを本体に戻すと、ハンドスキャナのローラーが回り、記録紙の後端に原稿と異なるものを印刷する場合があります。
- ハンドスキャナ使用後は必ず本体に戻してください。コピー、送信などの機能が使えなくなります。

コードを付けたままで送信する

1 **ハンドスキャナをはずして裏返す（☞59ページ）。**

2 **読み取る原稿にあわせてハンドスキャナの 文字/写真/消去 を切り換えて画質を選ぶ。**

文字：文字原稿のとき

写真：写真のとき（64階調ハーフトーン）

- このとき親機の 画質 は効きません。

3 **相手先の番号をダイヤルする。**

- 受話器を置いたままダイヤルします。
- 電話帳を使って相手先を指定することもできます。

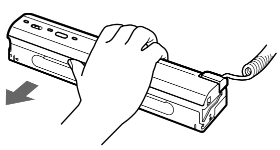
4 **ハンドスキャナを原稿の上に置く。**

5 **親機の スタート を押す。**

- ハンドスキャナの動作中ランプが点灯します。

6 **ハンドスキャナを読み取り方向に動かす。**

- 動かすと、メロディが流れます。
- 読み取った原稿は、メモリに記憶しながら同時に印刷されます。
- 「ピーピーピー…」という音がした時はメモリがいっぱいです。読み取ったところまで印刷されます。



7 **読み取りが終わったらハンドスキャナの スタート/ストップ または、親機の ストップ を押す。**

8 **印刷内容を確認する。**

- もう一度読み取りなおしたいときは、2（消去）を押し、「消去しました」→「読取待ち A4→A4」と表示されたら、手順4からやりなおしてください。
- 複数枚の原稿を送信したいときは、3（継続）を押し、「読取待ち A4→A4」と表示されたら、手順4に戻って読み取り操作をしてください。2枚目以降の読み取り時は手順5で、ハンドスキャナの スタート/ストップ を押すこともできます。
- 送信をやめたいときは、ストップ を押してください。

9 **1 を押す。**

- 送信を開始します。

ダイヤル中
▼
メモリ送信中
▼
メモリ送信中P01

10 **ハンドスキャナを戻す（☞59ページ）。**

- 原稿読み取り面を上に向けて親機に押し込みます。ハンドスキャナを戻しても送信は中断されません。

ご注意

- B4サイズの原稿を等倍で送信することはできません。相手機がB4サイズの記録紙を使用している場合でも、B4サイズの原稿はA4サイズに縮小して送信されます。
- ハンドスキャナを20秒以上動かさずにいると、読み取りを中断します。
- 送信が終わるとメモリの内容は消去されます。
- ハンドスキャナを使う場合、電話で話をしたあと、続けて送ることはできません。
- 送信中に通信異常のアラームが表示された場合、メモリの内容は消去されます。
- ハンドスキャナ使用後は必ず親機に戻してください。他の機能が使えない場合があります。
- 記録紙がセットされていない場合や、記録紙づまりなどで印刷が正常に終了しなかった場合は送信はできません。

ちょっと一言

- 読み取り中のメロディを流したくないときは、66ページをご覧ください。
- 相手先が話し中のときは、1分間隔で5回まで自動的にかけなおします（オートリダイヤル）。5回かけなおしても送信できなかったときは、読み取った原稿が消去され、不達レポートが印刷されます（☞49ページ）。
- 途中で送信をやめるときは、ストップ を押してください。

ハンドスキャナ

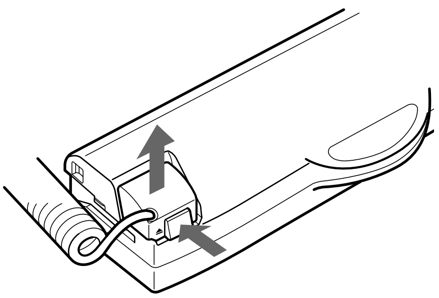
コードレスでコピーする（自動プリント）

- **コードレスで使用可能な時間は約1時間です。（フル充電時）**
- **電池ランプが点滅したら、電池の容量が少なくなっています。作業を終了し、ハンドスキャナ用コードを接続してください。**
- **電池ランプが点灯しないときはコードレスでコピーできません。コードを付けたままコピーしてください。**
- **コードレスでコピーした原稿はメモリに記憶され、消去操作（☞65ページ）を行わない限り消去されません。**

1 ハンドスキャナをはずして裏返す（☞59ページ）。

- 拡大／縮小するときは、ハンドスキャナ用コードを取りはずす前に設定してください。（☞66ページ）

2 ハンドスキャナ用コードをはずす（☞59ページ）。



3 読み取る原稿にあわせてハンドスキャナの 文字/写真/消去 を切り換えて画質を選ぶ。

文字：文字原稿のとき
写真：写真のとき（64階調ハーフトーン）

- ハンドスキャナの 文字/写真/消去 をカチッとロックされる位置に合わせてください。

4 ハンドスキャナを原稿の上に置く。

5 ハンドスキャナの スタート/ストップ を押す。

- 動作中ランプが点灯します。

6 ハンドスキャナを読み取り方向に動かす。

- コードレスで使用しているときはメロディが流れません。
- 「ピッピッピッ…」という音が鳴ったら、正常に読み取れず、画像が欠落したり、線が入ったりすることがあります。

ご注意

- ハンドスキャナを20秒以上動かさずにいると、読み取りを中断します。
- 「ピー」という音が鳴って、メモリランプが点滅すると、ハンドスキャナのメモリがいっぱいです。原稿を読み取ることができません。メモリに記憶されている原稿を消去してから、再度読み取ってください（☞65ページ）。

7 読み取りが終わったら、ハンドスキャナの スタート/ストップ を押す。

- メモリの書き込みが終わると、動作中ランプが消灯します。
- 続いて、次の原稿を読み取るときは手順3に戻って操作してください。

8 動作中ランプが消灯したら、ハンドスキャナ用コードを取り付ける（☞59ページ）。

- 動作中ランプが点灯し、新しく読み取った原稿が自動的に印刷されます。（自動プリント）
- 動作中ランプが消灯したあと、印刷が終わります。
- 印刷を確認したら、メモリを消去してください（☞65ページ）。
- 動作中ランプが点灯しているときコードを取り付けると、最後に読み取った原稿がメモリに記憶されず、コピーできません。

しばらくお待ちください
▼
新規読取データ　:01
▼
印刷中

9 ハンドスキャナを親機に戻す（☞59ページ）。

- 原稿読み取り面を上に向けて親機に押し込みます。

ご注意

- 読み取りを行い、親機の電源プラグをコンセントから抜いた状態でハンドスキャナにコードを取り付けた場合、電源プラグをコンセントに差し込んでから約15秒後に自動プリントされます。（読み取りデータがない場合、［新規読取データ：00］と表示後、ストップ を押すか、3秒待てば待機状態に戻ります。）

メモリに記憶されている原稿を送信する

コードレスでコピーした原稿は、メモリに記憶されています。
このメモリに記憶された原稿をファクス送信できます。メモリ内の原稿は消去操作(☞65ページ)を行わない限りメモリ内に残っているので、以前に読み取った原稿も送信できます。

1 受話器を置いたままで、(登録/決定) を押す。

- ［登録メイン］が表示されます。

2 ローラージョグを回して［8:ハンドスキャナ］を点滅させ、(登録/決定) を押す。

登録メイン
7: ナンバーディスプレイ
8: ハンドスキャナ
9: 印刷メニュー

3 もう一度 (登録/決定) を押す。

- ［読み取りページなし］と表示されたときは、メモリに何も記憶されていません。

ハンドスキャナ
1: メモリ送信
2: メモリ印刷
3: メモリ消去

4 ローラージョグを回して送信するページを点滅させ、(登録/決定) を押す。

- 送信ページは3種類あります。

全ページ：
メモリに記憶されている原稿をすべて送信します。

メモリ送信
1: 全ページ
2: 指定ページ
3: 新規ページ

指定ページ：
メモリに記憶されている原稿を1ページだけ指定して送信します。

メモリ送信
1: 全ページ
2: 指定ページ
3: 新規ページ

新規ページ：
直前に読み込んだ原稿を送信します。
新規に読み込んだ原稿がないときは、［新規ページ］は表示されません。

メモリ送信
1: 全ページ
2: 指定ページ
3: 新規ページ

5 ［指定ページ］送信を選択した場合は、送信ページをダイヤルボタンで入力し (登録/決定) を押す。

- メモリに記憶されている原稿枚数より多い数を指定した場合、表示がもとに戻ります。

6 相手先のファクス番号をダイヤルする。

- 受話器を置いたままダイヤルします。
- 電話帳（☞87ページ）を使って相手先を指定することもできます。

7 (スタート) を押す。

- 送信を開始します。
- 送信を確認したらメモリを消去してください。

ご注意

- B4サイズの原稿を等倍で送信することはできません。相手機がB4サイズの記録紙を使用している場合でも、B4サイズの原稿はA4サイズに縮小して送信されます。

メモリに記憶されている原稿を印刷する

ハンドスキャナのメモリに記憶されている原稿を印刷することができます。すべてを印刷したり、ページを指定して印刷したりすることもできます。

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定) を押す。**
- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［8:ハンドスキャナ］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

登録メイン
7: ナンバーディスプレイ
8: ハンドスキャナ
9: 印刷メニュー

3 **ローラージョグを回して［2:メモリ印刷］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

ハンドスキャナ
1: メモリ送信
2: メモリ印刷
3: メモリ消去

- ［読み取りページなし］と表示されたときは、メモリに何も記憶されていません。

4 **ローラージョグを回して印刷するページを点滅させ、(登録/決定) を押す。**
- メモリ印刷は3種類あります。

全ページ：
メモリに記憶されている原稿を全て印刷します。

メモリ印刷
1: 全ページ
2: 指定ページ
3: 新規ページ

指定ページ：
メモリに記憶されている原稿を1ページだけ指定して印刷します。

メモリ印刷
1: 全ページ
2: 指定ページ
3: 新規ページ

新規ページ：
直前に読み込んだ原稿を印刷します。

メモリ印刷
1: 全ページ
2: 指定ページ
3: 新規ページ

メモリに記憶されている原稿を消去する

コードレスで読み取った原稿は、印刷や送信が終わっても自動的に消去されません。保存しておく必要のない原稿は、次の手順で消去してください。消去はハンドスキャナ／親機どちらでもできます。

ハンドスキャナで消去する

コードを接続した状態、コードレスの状態、どちらでもできます。コードを接続した状態のときは親機が待機中に操作してください。

1 **ハンドスキャナの (文字/写真/消去) を［消去］にする。**

2 **ハンドスキャナの (スタート/ストップ) を「ピッ」、さらに「ピー」と音がするまで押し続ける。**
- 「ピー」と音が鳴ると消去が完了します。動作中ランプとメモリランプが消灯します。
- 親機の (スタート) では、消去はできません。
- ハンドスキャナを使用しないときは本体に戻してください。

親機で消去する

ハンドスキャナのコードを接続し、本体に取り付けた状態で操作してください。

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定) を押す。**
- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［8:ハンドスキャナ］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

登録メイン
7: ナンバーディスプレイ
8: ハンドスキャナ
9: 印刷メニュー

3 **ローラージョグを回して［3:メモリ消去］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

ハンドスキャナ
1: メモリ送信
2: メモリ印刷
3: メモリ消去

4 **もう一度 (登録/決定) を押す。**
- 2、3秒後に「消去しました」というメッセージが聞こえます。

ご注意
- 読み取りデータの消去を実行すると、読み取ったすべての原稿のデータが消去されます。ページごとには消去できません。
- メモリランプはハンドスキャナのメモリの状態を示します。

メモリランプ	メモリの状態
消灯	メモリに何も記憶されていません。
点灯	メモリに記憶されている原稿があります。
点滅	メモリがいっぱいです。

原稿を拡大／縮小する

拡大や縮小して送信やコピーができます。

ハンドスキャナを取りはずした場合

拡大／縮小の設定は、ハンドスキャナのコードを付けた状態で行ってください。

1 **ハンドスキャナをはずす**（☞59ページ）。

2 **受話器を置いたままで、（登録/決定）を押す。**

3 **ローラージョグを回して読み取りサイズを点滅させ、（登録/決定）を押す。**

読み取り記録幅	
1: B4→A4	縮小 82%
2: A4→A4	等倍100%
3: B5→A4	拡大115%

ハンドスキャナが親機に取り付けてある場合

1 **受話器を置いたままで、（登録/決定）を押す。**
- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［8:ハンドスキャナ］を点滅させ（登録/決定）を押す。**

登録メイン
7: ナンバーディスプレイ
8: ハンドスキャナ
9: 印刷メニュー

3 **ローラージョグを回して［5:読み取り記録幅］を点滅させ（登録/決定）を押す。**

ハンドスキャナ
4: メロディスキャナ
5: 読み取り記録幅

4 **ローラージョグを回して読み取りサイズを点滅させ（登録/決定）を押す。**

読み取り記録幅	
1: B4→A4	縮小 82%
2: A4→A4	等倍100%
3: B5→A4	拡大115%

5 **（ストップ）を押す。**

ハンドスキャナのメロディ音設定

コードを付けたまま原稿を読み取る時、読み取る速さに合わせてメロディ音が流れます。
- ハンドスキャナをコードレスで使うときは、メロディが流れません。
- メロディ音を切ったり調節したりできます。
- お買い上げ時は、「メロディ音を流す」に設定されています。

メロディ音を切るには

1 **受話器を置いたままで、（登録/決定）を押す。**
- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［8:ハンドスキャナ］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

登録メイン
7: ナンバーディスプレイ
8: ハンドスキャナ
9: 印刷メニュー

3 **ローラージョグを回して［4:メロディスキャナ］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

ハンドスキャナ
4: メロディスキャナ
5: 読み取り記録幅

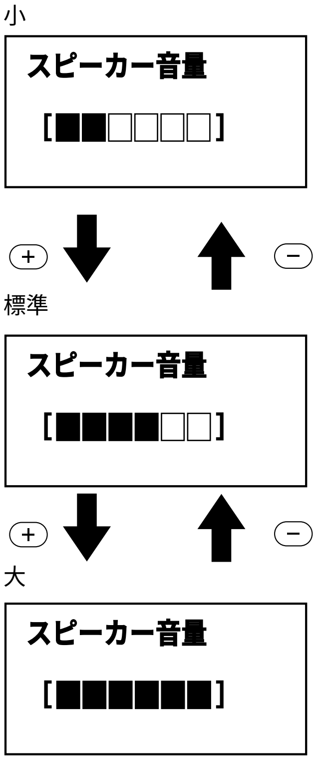
4 **（>）を押して［しない］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**
メロディ音を出すように再設定するには、［する］を点滅させます。

メロディスキャナ
設定しますか？
する／しない

5 **（ストップ）を押す。**

メロディ音の音量調節

ハンドスキャナのメロディ音の音量は、メロディ音が流れている間に(+)、(−)を押すことで調節できます。お買い上げ時は、標準になっています。



α-Eメールとは

「α-Eメール」はKDDIの提供するサービスです。
α-Eメールをご利用いただくには、「77セレクティ」とのご利用(☞134ページ)と、KDDIへのα-Eメールのお申し込み(☞69ページ)が必要です。
α-Eメールは77セレクティランプが緑色に点灯しているときのみ利用できます。(77セレクティについては133ページをご参照ください。)

ご利用料金について(2000**年**11**月**1**日現在**)
- 月額基本料　100円／1メールアドレス
- 登録料　0円
- 接続料　10円／30秒

「α-Eメール (アルファEメール)」は、本機に個別のEメールアドレスをもつことで、パソコンがなくても本機でインターネット上のパソコンやEメール対応の携帯電話などとEメール (電子メール) のやりとりを行うことができます。

α-E**メールには主に次のようなサービスがあります。**

- **メールアドレス**
  本機1台 (ご利用の電話番号) につき、メールアドレスを3つまで所有することができます。(1つのメールアドレスごとに月額基本料がかかります。)(☞70ページ)
- **メール送信**
  ダイヤルボタンで入力した文字をEメール送信することができます (☞71ページ)。
  また、添付ファイルを付けて送信することもできます (☞76ページ)。
- **メール受信**
  受信したEメールを表示窓でご覧いただくことができます (☞77ページ)。
  また添付ファイル付きのメールを受信することもできます。
- **着信通知**
  センターに自分のアドレス宛のメールが届くと、センターから本機にメールで着信をお知らせするサービスです (無料)。サービスの開始時は「着信通知：ON」に設定されています (☞78ページ)。
- **メール自動受信**
  センターに自分のアドレス宛のメールが届くと、自動的にセンターから本機にメールを送信するサービスです (☞78ページ)。
- **ユーザ設定機能**
  本機を使って、着信通知やメール自動受信の設定、ニックネーム (メールアドレス) の変更などを行うことができます (☞84ページ)。

α-E**メールのためのボタン**

ディスプレイオープンボタンを押すと表示窓が上がり、出てきます。
表示窓を下げるには、表示窓の上部中央をゆっくり「カチッ」と音がするまで押して下げます。



α-E**メール操作についてのご注意**

- 操作中に電話、ファクス、着信通知、自動受信があると、操作は中止されます。受話器を取って電話をかけようとしたときも、操作は中止されます。(メール作成中の場合は自動的に保存されます。)
- 90秒以上何もしないと操作は中止されます。ただし、以下の操作は中止されません。
  -送信メール・再送信メール・返信メール・転送メールの宛先・題名・本文の入力操作
- 途中で操作をやめるには、(ストップ) を押します。
- 送信メール・再送信メール・返信メール・転送メールの宛先・題名・本文の入力操作中に(ストップ) を押すと、保存せずに終了します。

α-Eメールをご利用になるには（お申し込み方法）

「0077セレクティ」ランプが緑色に点灯していることを確認してください。

0077α-Eメールをご利用いただくには、「77セレクティ」のご利用が必要です。「77セレクティ」については、133ページをご覧ください。

本機に同梱されている「α-Eメールご利用申込書」を送付します。
（店頭でのお申し込みがお済みの場合は不要です。）

↓ ファクス送付先：KDDI
フリーコール 0077-2322-9555（無料）24時間受付中

約2〜3週間かかる場合があります。

オンライン通信により、メールセンターから本機にメールアドレス*が自動登録されます。その後、本機に開通メールが届きます。
（この場合の通信料は無料です。）

↓ ＊メールアドレスについては70ページをご覧ください。

「α-Eメール」がご利用いただけます。

本機にメールアドレスが自動登録されると、［アドレス／定型文選択］のメニューで［3：ユーザアドレス」を選択したときに、お客様のメールアドレスが表示されます（☞86ページ）。

- オンライン通信時には本機の着信ベルが鳴ります。79ページをご覧になって、受信した開通メールをご確認ください。
- 本機へのメールアドレスの登録が完了後、回線の状態などにより開通メールが正常に届かない場合があります。この場合、センターのメールボックスに「開通メール」が蓄積されます。メールアドレスが登録されていることをご確認のうえ、受信操作を行ってください（☞78ページ）。（この場合、接続料がかかります。）

α-Eメールのお問い合わせは、下記にご連絡ください。

KDDI **カスタマサービスセンター**
<α-Eメール係>
フリーコール 0077-23-110096（イイメールオクロウ）**（無料）**
受付時間 9:00〜21:00
（土・日・祝日も受付中）
お客様サポートアドレス
e-mail: support@ae2.dion.ne.jp

ご注意

- オンライン通信のデータを自動的に受信するためには、以下の設定をしてください。
  –［着信設定］を［電話／ファクス自動切換］または［ファクス専用］に設定する
  –［着信ベル回数］を9回以下に設定する

ご利用を中止するときは

ご利用を中止するときは、必ずKDDIカスタマサービスセンター<α-Eメール係>へご連絡ください（☞上記）。

- 本機の操作によるサービスの解約はできません。
- ご利用を中止する際は、KDDIにて「α-Eメール」サービスを解約する必要があります。
- ご連絡いただけない場合は、引き続き継続して月額料がかかってしまう場合がありますのでご注意ください。

αEメール ご利用にあたってのお願い、ご注意

「α-Eメール」サービスの契約は、KDDIの「総合オープン通信網サービス契約約款」によります。尚、約款の内容は予告なく変更することがあります。

当サービスはKDDIと「77セレクティ」のご利用契約をしている電話番号でのみご利用いただけます。

移転などにより、「77セレクティ」にてご利用の電話番号が変更となる場合、KDDIでのデータ変更などの処理が必要となります。そのままではα-Eメールサービスはご利用いただけません。必ずKDDIカスタマサービスセンターにご連絡ください（☞69ページ）。

「77セレクティ」のご利用を一時中止するとα-Eメールもご利用いただけなくなります。ただし、α-Eメールサービスの解約は別途必要となりますので、必ずKDDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。

ダイヤルインサービス、二重電話番号サービスをご利用の場合は、本機を主番号（契約者回線番号）にてご利用ください。

次のようなときは、必ずKDDIカスタマサービスセンターへご連絡ください（☞69ページ）。

- 転居などによりご利用の電話番号に変更があるとき
- ダイヤルイン子番号に本機を設置したとき
- 本機を取りはずしたり機種変更する場合
- 複数のメールアドレスを利用している、アドレスを一部変更／削除する場合
- 本機を譲渡・貸与・処分するとき、その他紛失したり盗難などにあったとき

ご利用料金のご請求およびお支払いなどについて

- α-Eメールサービスを申し込むお申し込み者と、その電話番号ですでにKDDI電話サービスを契約されているご契約者が異なる場合、当サービスにかかる料金はKDDIご契約者に請求されます。
- α-Eメールサービスのご利用料金はKDDI電話サービスのご利用料金と合算して請求されます。ただし、支払いの方法などにより合算請求とならない場合はあります。
- 毎月の料金計算書の締め切り日は、KDDI電話サービスと異なる場合があります。

αEメール メールアドレスについて

郵便物を受け取るのに住所が必要なように、Eメールを受け取るときにも同様にお客様の住所「メールアドレス」が必要となります。α-Eメールに加入登録すると、センターから自動的にメールアドレスが提供されます。

メールアドレスの例：

xxxxxxxxxxxxxx@ae2.dion.ne.jp

ユーザ名（お客様専用の番号またはニックネーム）

ドメイン名（この部分は、当サービスにご登録いただいたお客様にKDDIから自動設定されます。）

メールアドレスのユーザ名には、設定方法が下記の通り2種類あります。

- お客様電話番号をもとに、KDDIで自動設定する＜電話番号アドレス＞

0312345678aaa@ae2.dion.ne.jp

お客様ご契約電話番号＋
3文字のアルファベット

- お客様ご自身で設定する＜ニックネームアドレス＞

john−satou123@ae2.dion.ne.jp

アルファベット小文字
（数字を含む）4～15文字

ちょっと一言
- 記号は「＿（アンダーバー）」、「−（ハイフン）」のみで、合計2回まで使用できます。
- 1文字目は必ずアルファベット（小文字）としてください。
- アルファベットの大文字は使用できません。

初めてα-Eメールにご登録いただいたときは、＜電話番号アドレス＞が提供されます。このアドレスは、1回に限り＜ニックネームアドレス＞に変更することができます（☞84ページ）。

あわせて3つまでメールアドレスを所有することができます。1つのメールアドレスごとに月額基本料がかかります。

2つめ以降のメールアドレスの追加は、本機からセンターに電話をかけてオンライン登録することができます（オンラインサインアップ）（☞85ページ）。

α-Eメールを送信する

相手先のEメールアドレスを指定して、漢字、全角カタカナ、アルファベットなどのメールを送ることができます。（接続料がかかります。）

- 1メールあたり全角で約1000文字まで送信することができます。送信可能文字数を超えて入力することはできません。
- 宛先（To:）は、10件の範囲で指定できます。（1アドレスあたり最大40文字まで）
- 送信済みのメールを使って再送信メールを作成することもできます。
- ファクス文書を添付ファイルにして同時に送信することができます（接続料がかかります）。
- 送信したメール及び未送信のメールは、10件（3アドレスの合計）まで本機のメモリに保存しておくことができます。（10件を超えると、古いものから消えます。未送信メールであっても消えますので、ご注意ください。）

親機で操作します。

送信メールを準備する

1 **受話器を置いたままで、（作成/送信）を押す。**

```
宛先(To:)？

英字>
```

α-Eメールの加入登録が終わっていないと、以下の操作はできません。その場合は、「α-Eメールをご利用になるには（お申し込み方法）」（☞69ページ）をご覧になって、α-Eメールが使える状態にしてから操作してください。

- アドレスが2件以上登録されている場合、手順1で（作成/送信）を押すと表示窓に次の表示が出ます。
  例：アドレスが3件登録されている場合

```
ユーザアドレス選択
1: papa
2: mama
3: sasaki
```

- ローラージョグを回してメールを作成するアドレスを選び（登録/決定）を押してください。

2 **宛先（To:）を入力して（登録/決定）を押す。**

必要に応じて（変換/内線）で半角アルファベットと数字を切り換え、点滅している場所にアドレスを直接書き込みます。

（文字の入力のしかたは72ページをご覧ください。）

最大10か所まで一度に送信できます。

複数のメールアドレスを入力する場合は［,］で区切ります。

```
宛先(To:)？
papa@kaisya.co.jp

英字>
```

▼

```
題名(Subject:)？

漢字>
```

- 手順2でメールの宛先（To:）入力中に、（アドレス/定型文）を押すと「アドレス帳」（☞81ページ）が表示されます。メールを送りたい相手を選んで（登録/決定）を押すと、点滅している場所に、Ｅメールアドレスを入力することができます。

ご注意

- アドレスの先頭に「.」、または「@」の前に「.」があるアドレスには送信することができません。

3 **全角20文字以内で題名を入力し（登録/決定）を押す。**

（文字の入力のしかたは72ページをご覧ください。）

```
題名(Subject:)？
明日のホームパーティ
について
漢字>
```

▼

```
本文？

漢字>
```

4 **全角1000文字以内で本文を入力して（登録/決定）を押す。**

作成したメールをすぐ送信する場合は、（作成/送信）を押します。

```
明日は正午前後にお越
しください。お待ちし
ております。↵
漢字>
```

▼

```
送信メニュー
1: 送信開始
2: 保存して終了
3: 廃棄して終了
```

ちょっと一言

- 手順3、4でメールの題名、本文入力中に、（アドレス/定型文）を押すと「定型文」（☞77ページ）が表示されます。挿入したい文章を選んで（登録/決定）を押すと、定型文を挿入できます。
- メール作成中に（作成/送信）を押すと、作成中のメールが保存され、すぐに送信が開始されます。題名または本文のないときに（作成/送信）を押すと、確認表示が出ます。
- 本文入力中に（戻る）を押していくと、宛先、題名も修正することができます。

つづく→

題名と本文の文字入力のしかた

ダイヤルボタンを使って、文字入力できます。
入力モードを切り換えるには、(変換/内線)をくり返し押します。押すたびに以下のように換わります。

漢（ひらがな・漢字・カタカナ）→ 英（英字・記号）→ 数（数字）→ 漢

ひらがなで入力した場合は、(変換/内線)を押して漢字や全角カタカナに変換できます。

英字または数字で入力した場合は、(変換/内線)を押して全角、半角に変換できます。ただし英字の(0)で入力した文字は半角に変換できません。

入力される文字は、各々のダイヤルボタンを押すたびに下記の順序で変化します。別のダイヤルボタンを押すとその文字が確定し、入力位置は右に移動します。

ちょっと一言
- Eメールの題名や本文には半角カタカナは使えません。
- 題名及び自作定型文の入力時は(#)による改行はできません。

ボタン／モード	漢(ひらがな・漢字・カタカナ)	英(英字・記号)*	数(数字)
(1)	→あ→い→う→え→お→あ→い→う→え→お	→@→.→,→_→－→&→^→(→)→*→#→;→:→／→?→!	1
(2)	→か→き→く→け→こ	→A→B→C→a→b→c	2
(3)	→さ→し→す→せ→そ	→D→E→F→d→e→f	3
(4)	→た→ち→つ→て→と→っ	→G→H→I→g→h→i	4
(5)	→な→に→ぬ→ね→の	→J→K→L→j→k→l	5
(6)	→は→ひ→ふ→へ→ほ	→M→N→O→m→n→o	6
(7)	→ま→み→む→め→も	→P→Q→R→S→p→q→r→s	7
(8)	→や→ゆ→よ→ゃ→ゅ→ょ	→T→U→V→t→u→v	8
(9)	→ら→り→る→れ→ろ	→W→X→Y→Z→w→x→y→z	9
(0)	→わ→を→ん→。→、→ー→（→）→？→！→「→」	→半角空白→$→%→¥→+→=→|→[→]→”→’→<→>→{→}→・→～	0
(＊)	→゛→゜	ボタン無効	ボタン無効
(#)	改行	改行	改行
(保留/消去)	点滅している文字を1文字消去		
(>)	点滅を右に移動(半角空白入力)		
(<)	点滅を左に移動		

宛先、オンラインサインアップ、オンラインユーザ設定時の文字入力のしかた

- ダイヤルボタンを使って、文字を入力できます。
- 入力モードを切り換えるには、(変換/内線) を繰り返し押します。押すたびに以下のように換わります。
  数（数字）→ 英（英字・記号）
- 入力される文字は、各々のダイヤルボタンを押すたびに以下の順序で変化します。別のダイヤルボタンを押すとその文字が確定し、入力位置は右に移動します。
- 英字の (0) で入力した文字は全角で表示します。

<table>
<tr><th>ボタン／モード</th><th>英(英字・記号)*</th><th>数(数字)</th></tr>
<tr><td>(1)</td><td>@→ .→ ,→ _→ ー→ &→ ^
/← :← ;← #← *←)← (
?→ !</td><td>1</td></tr>
<tr><td>(2)</td><td>a→b→c→A→B→C</td><td>2</td></tr>
<tr><td>(3)</td><td>d→e→f→D→E→F</td><td>3</td></tr>
<tr><td>(4)</td><td>g→h→i→G→H→I</td><td>4</td></tr>
<tr><td>(5)</td><td>j→k→l→J→K→L</td><td>5</td></tr>
<tr><td>(6)</td><td>m→n→o→M→N→O</td><td>6</td></tr>
<tr><td>(7)</td><td>p→q→r→s→P→Q→R→S</td><td>7</td></tr>
<tr><td>(8)</td><td>t→u→v→T→U→V</td><td>8</td></tr>
<tr><td>(9)</td><td>w→x→y→z→W→X→Y→Z</td><td>9</td></tr>
<tr><td>(0)</td><td>半角空白→$→%→¥→+
<← ’← ”←]← [← |← =
>→ {→ }</td><td>0</td></tr>
<tr><td>(＊)</td><td>ボタン無効</td><td>ボタン無効</td></tr>
<tr><td>(＃)</td><td>ボタン無効</td><td>ボタン無効</td></tr>
<tr><td>(保留/消去)</td><td colspan="2">点滅している文字を1文字消去</td></tr>
<tr><td>(>)</td><td colspan="2">点滅を右に移動(半角空白入力)</td></tr>
<tr><td>(<)</td><td colspan="2">点滅を左に移動</td></tr>
</table>

つづく→

メールを送信する

送信メールの作成が終了するとメール送信のためのメニューが表示されます。

送信メニュー
1:送信開始
2:保存して終了
3:廃棄して終了

- 受信したメール、送信済みのメールを使って返信（再送）メールを作成することもできます。

1 **［送信メニュー］の［1:送信開始］が点滅表示されている状態で、そのまま (登録/決定) を押す。**

接続中

- 作成したメールが自動的に送信履歴に保存されたあと、メールセンターに接続されると、IDとパスワードが確認され、引き続き「Eメール送信中」と表示されます。

Eメール送信中

- メールの送信が完了すると、約5秒後に日時表示に戻ります。

ちょっと一言
- センターに接続できなかった場合は、1分間隔で5回まで自動的にかけなおします。5回かけなおしてセンターに接続できなかった場合は、Eメール不達レポートが印刷されます。
- α-Eメールの設定などに問題がある場合は、その説明のメールをセンターから受信することがあります。

受信したメールに返信する場合は、79ページを参照してください。

作成したメールを保存する

作成したメールを送信履歴に残しておいて、後から送信できます。

1 **「送信メールを準備する」（☞71ページ）の手順4で［送信メニュー］が表示されている状態で、ローラージョグを回して［2:保存して終了］を点滅させる。**

2 **(登録/決定) を押す。**
作成したメールの保存が終了すると、日時表示に戻ります。

Eメール保存中

作成したメールを廃棄する

作成したメールを廃棄して送信履歴に残さないようにできます。

1 **「送信メールを準備する」（☞71ページ）の手順4で「送信メニュー」が表示されている状態で、ローラージョグを回して［3:廃棄して終了］を点滅させる。**

2 **(登録/決定) を2回押す。**
日時表示に戻ります。

作成したメールを印刷する

1 **「送信メールを準備する」（☞71ページ）の手順4で［送信メニュー］が表示されている状態で、ローラージョグを回して［4:印刷］を点滅させる。**

送信メニュー
4:印刷
5:修正

2 **(登録/決定) を押す。**
作成したメールが印刷されます。

作成したメールを修正する

1 **「送信メールを準備する」（☞71ページ）の手順4で［送信メニュー］が表示されている状態で、ローラージョグを回して［5:修正］を点滅させる。**

送信メニュー
4:印刷
5:修正

2 **(登録/決定) を押す。**
「送信メールを準備する」の手順4に戻ります。
メールを修正してください。（☞71ページ）

ちょっと一言
- 本文の修正中に (戻る) を押していくと、宛先、題名も修正することができます。

送信済みのメールを見る「Eメール検索」

送信したメールまたは未送信メールを見る

1 受話器を置いたままで、（検索）を押す。

- アドレスが2件以上登録されている場合、手順1で（検索）を押すと表示窓に次の表示が出ます。
  例：アドレスが3件登録されている場合

```
ユーザアドレス選択
1: papa
2: mama
3: sasaki
```

- ローラージョグを回してメールを作成するアドレスを選び（登録/決定）を押してください。

2 ローラージョグを回して［2:送信メール検索］を点滅させ、（登録/決定）を押す。

```
メール検索
1: 受信メール検索
2: 送信メール検索
3: 受信メール全消去
```

ちょっと一言
- 送信したメールや未送信メールがないときは、右記のように表示されます。

```
送信メールは
    ありません
```

3 ローラージョグを回して見たいメールを点滅させる。

```
送信メール検索     >
●01/01 a@kaisy.co.j
  12/31 sasuki@isya.
  12/30 ueda@kaisya.
```

- 送信したメールが新しいものから順に表示されます。
- Eメールアドレス左端の「●」表示は、未送信メールです。
- Eメールアドレス左端の「E」表示は、KDDIセンターとの接続に失敗したメールです。

4 （登録/決定）を押す。

- ローラージョグを回すとメールの続きを見ることができます。

```
送信メール         V
To : a@kaisy.co.jp
Subject : 明日のホーム
パーティについて
```

5 検索が終わったら、（ストップ）を押す。

- 「送信メール検索」画面に戻るときは（戻る）を押します。

ちょっと一言
- 手順3でメール検索をしているときに、（>）を押すとEメールアドレスの続きを確認できます。
  もう一度、（>）を押すと題名が表示されます。

```
送信メール検索     >
●01/01 a@kaisy.co.j
  12/31 sasuki@isya.
  12/30 ueda@kaisya.
```

（>）↓　↑（<）

```
送信メール検索   <>
p
co.jp
co.jp
```

（>）↓　↑（<）

```
送信メール検索   <
今日は帰りが遅くなり
明日のパーティーは 6
予定が急遽変更になり
```

送信メールを（修正してから）再送信するまたは未送信メールを送信する

1 「送信したメールまたは未送信メールを見る」（☞左記）の手順4で、送信メールを見ているときに（登録/決定）を押す。

2 ローラージョグを回して［1:再送信］を点滅させ、（登録/決定）を押す。

```
送信メールメニュー
1: 再送信
2: 印刷
3: 消去
```

3 「送信メールを準備する」（☞71ページ）の手順4に従って本文を修正し、（作成/送信）を押す。

- 本文の修正中に（戻る）を押していくと、宛先、題名も修正することができます。

送信メールを印刷する

1 「送信したメールまたは未送信メールを見る」（☞左記）の手順3で、送信メールを見ているときに（登録/決定）を押す。

2 ローラージョグを回して［2:印刷］を点滅させ、（登録/決定）を押す。

- 印刷が始まります。

3 （ストップ）を押す。

送信メールを削除する

1 **「送信したメールまたは未送信メールを見る」（☞75ページ）の手順3で、送信メールを見ているときに（登録/決定）を押す。**

2 **ローラージョグを回して［3:消去］を点滅させ、（登録/決定）を2回押す。**

- 送信メール検索画面に戻ります。
  削除を続けるときは、手順1～2を繰り返してください。

3 **（ストップ）を押す。**

送信メールを全消去する

1 **受話器を置いたままで、（検索）を押す。**

2 **ローラージョグを回して［4:送信メール全消去］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

メール検索
4: 送信メール全消去

3 **（＜）を押して、（登録/決定）を押す。**

ご注意

未送信メールも消去されます。

添付ファイルを付けて送信する

ファクスで読み込んだ原稿をメールに添付ファイルとして送ることができます。

1 **原稿を原稿台に置く。**

2 **メールを送信する。（☞74ページ）**

ご注意

- ファクス文書は最大10枚まで添付できます。
  あらかじめ原稿をセットしてください。
- 添付ファイルはTIFFイメージファイル（非圧縮タイプ）として送られます。
- 再送信する場合は、再び原稿を原稿台に置いてから、再送信操作をしてください。

定型文を登録するには

よく使うフレーズや単語を自作定型文として登録しておくと、送信メール作成時に呼出して挿入することができます。全角の漢字やひらがな・カタカナ、アルファベット（全角・半角）、数字（全角・半角）を組み合わせて、最大20文字（半角40文字）のフレーズを10件まで登録できます。（ユーザアドレスが複数ある場合、定型文は共通になります。）

1 **受話器を置いたままで、（アドレス/定型文）を押す。**

2 **ローラージョグを回して［2:自作定型文登録］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

アドレス／定型文
1: 相手先アドレス登録
2: 自作定型文登録
3: ユーザアドレス

自作の定型文は、定型文21～30として登録されます。定型文01～20には、あらかじめ固定の定型文が登録されています。

3 **ローラージョグを回して登録したい“（未登録-XX）”を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

自作定型文［21］　＞
ＦＡＸのかんたん操作
（未登録-22）
大変お世話になってお

4 **全角20文字（半角40文字）以内で定型文を入力する。（入力のしかたは72ページをご覧ください。）**

自作定型文［22］？
毎晩遅くまでお疲れさ
まです。
漢字＞

5 **（登録/決定）を押す。**

- （＞）を押すと登録してある定型文の続きを確認できます。
- （＜）を押すと元の表示に戻ります。

自作定型文［22］　＞
毎晩遅くまでお疲れさ
大変お世話になってお
(未登録-24)

（＞）↓　↑（＜）

自作定型文［22］＜
まです
ります
(未登録-24)

6 **登録を終了するときは、（ストップ）を押す。**

登録した定型文を修正するには

「定型文を登録するには」の手順3で登録済み定型文を選んで、もう一度手順5まで行う。入力済みの定型文は、挿入モードで修正されます。

登録した定型文を消去するには

「定型文を登録するには」の手順3で登録済み定型文を検索しているときに（保留/消去）を2回押す。

消去しますか？
　する／しない

登録した自作定型文を印刷するには

1 受話器を置いたままで、（アドレス/定型文）を押す。

2 ローラージョグを回して［6:定型文リスト印刷］を点滅させ、（登録/決定）を押す。

アドレス／定型文
4: 固定定型文検索
5: アドレス帳印刷
6: 定型文リスト印刷

固定定型文を見るには

1 受話器を置いたままで、（アドレス/定型文）を押す。

2 ローラージョグを回して［4:固定定型文検索］を点滅させ、（登録/決定）を押す。

アドレス／定型文
4: 固定定型文検索
5: アドレス帳印刷
6: 定型文リスト印刷

3 ローラージョグを回して、固定定型文を確認する。

固定定型文［01］
おはようございます。
こんにちは。
こんばんは。

4 検索が終わったら、（ストップ）を押す。

ちょっと一言

- 手順3で定型文検索をしているときに、（>）を押すと定型文を確認できます。

固定定型文

番号	Eメール定型文
01	おはようございます。
02	こんにちは。
03	こんばんは。
04	メール見たら至急、電話ください。
05	至急、メールの返事をください。
06	メールどうもありがとう。
07	了解しました。
08	返事が遅くなってごめんなさい。
09	今日、何時に帰ってくる？
10	都合の良い日を教えてください。
11	いつもお世話になっています。
12	お元気ですか？
13	よろしくね。
14	サンキュー！
15	おやすみなさい。
16	(^o^)
17	V(^-^)V
18	(＋_＋)☆
19	(*^-^*)
20	(-_-)zZ
21〜30	自作定型文

αEメール

α-Eメールを受信する

相手先から届いたEメールは、センターのお客様のメールボックスに保存されています。本機からセンターに接続して、このメールを本機に受信することができます。（接続料がかかります。）

- 「着信通知サービス」や「メール自動受信サービス」など、「ユーザ設定」による便利な機能があります（☞84ページ）。
- 受信したメールは表示窓に表示したり印刷することができます。
- メールにファイルが添付されていたときは、メールセンターからメールを本機に受信したときに自動的にその添付ファイルがプリントされます（添付ファイルはメモリ内に蓄積されません。）。
  添付ファイルを受信しないようにすることもできます。
- 受信したメールは、30件（3アドレス合計）まで本機のメモリに保存しておくことができます。（メモリ受信した文章や留守設定時に録音された用件が残っていると蓄積できる件数は少なくなります。）
- センターに着信したメールは、30日を過ぎると本機に受信しなくても自動的に消去されます。
- センターに接続した際に、着信メールがなかった場合も、センターまでの接続料がかかります。
- センターのメールボックスの容量がいっぱいになると、新規のメールを着信できないことがあります。なるべくこまめにセンターから本機へメールを受信してください。
- 受信するメールがセンターのメールボックスの容量を越える場合は、正常にメールを受信できません。
- 留守設定時に録音された用件や、受信したα-Eメールが残っているなどで、本機のメモリが不足している場合や、メールの容量が本機のメモリに蓄積可能な容量をこえる場合、正常にメールを受信できないことがあります。
- 送信相手の状況（海外からのメールなど）によっては、正確に表示できない場合があります。
- 添付ファイルのファイル形式によってはプリント（表示）できないことがあります。その場合、プリント（表示）できない旨のメッセージがプリントされます。
- 複数のメールアドレスを契約している場合、表示窓のEメール件数はすべてのメールアドレスの合計受信件数を示します。
- 受信メールを使って、返信することもできます。

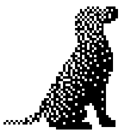
親機で操作します。

センターからの着信通知を受信したときは

親機で出なかった電話の着信があったとき、着信通知やメール自動受信と電話の両方があったときなどはそれぞれ下の左列のように表示されます。

ちょっと一言
- 左の表示がされている状態で何らかの操作を行った後は、右の表示になります。

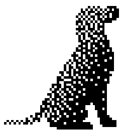
着信通知があったとき：



通知あり

12月15日（土）
PM 10:36
Eメール： 1 用件： 0
通知

電話と着信通知の両方があったとき：



電話あり
通知あり

12月15日（土）
PM 10:36
Eメール： 1 用件： 0
通知

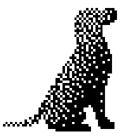
自動受信があったとき：



受信あり

12月15日（土）
PM 10:36
Eメール： 1 用件： 0
受信

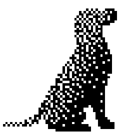
電話と自動受信の両方があったとき：



電話あり
受信あり

12月15日（土）
PM 10:36
Eメール： 1 用件： 0
受信

ユーザ1に自動受信とユーザ2に着信通知があったとき（複数契約時）：



1: 受信あり
2: 通知あり

12月15日（土）
PM 10:36
Eメール： 1 用件： 0
1: 受信 2: 通知

電話とユーザ2に自動受信、ユーザ3に着信通知があったとき（複数契約時）：



電話あり
2: 受信あり
3: 通知あり

12月15日（土）
PM 10:36
Eメール：20 用件： 0
2: 受信 3: 通知

センターからメールを受信する

1 **受話器を置いたままで、（受信）を押す。**

接続中

▼ **通信が開始されると**

Eメール受信中

ちょっと一言
- アドレスが複数契約されている場合に手順1を行うと、下記の表示になります。

ユーザアドレス選択
1: papa
2: mama
3: sasaki

ローラージョグで自分のアドレスを選択し、（登録/決定）を押すと自分宛のメール受信が開始されます。

- センターに1件もメールがないときは、以下のように表示されます。

新しいメールは
ありません

- 受信したメールからアドレス登録することができます。（☞82ページ）

受信済みのメールを見る「Eメール検索」

受信したメールを見る

1 受話器を置いたままで、（検索）を押す。

- アドレスが2件以上登録されている場合、手順1で（検索）を押すと表示窓に次の表示が出ます。
  例：アドレスが3件登録されている場合

```
ユーザアドレス選択
1: papa
2: mama
3: sasaki
```

- ローラージョグを回してメールを作成するアドレスを選び（登録/決定）を押してください。

2 そのまま（登録/決定）を押す。

```
メール検索
1: 受信メール検索
2: 送信メール検索
3: 受信メール全消去
```

ちょっと一言

- 受信したメールが1件もないときは、右記のように表示されます。

```
受信メールは
　　ありません
```

3 ローラージョグを回して、見たいメールアドレスまたは題名を点滅させる。

```
受信メール検索　　>
●01/01 a@kaisy.co.j
 12/31 sasuki@isya.
 12/30 ueda@kaisya.
```

- 受信したメールが新しいものから順に表示されます。
- Eメールアドレス左端の「●」の表示は、未読の受信メールです。

ご注意

- 受信メールによっては、相手先（発信元）のアドレスが正しく引用されない場合があります。

4 （登録/決定）を押す。

- ローラージョグを回すとメールの続きを見ることができます。

```
受信メール　　　　V
Date: Sun, 00/12/31 1
9:50
From: PaPa@kaisya.co.
```

ご注意

- 一部の半角記号（$、%、￥、+、=、｜、[、]、"、'、<、>、{、}、・、～など）は全角で表示されます。
- 半角カタカナの小文字（ッ、ャ、ョなど）は大文字（ツ、ヤ、ヨなど）で表示されます。
- 表示できない特殊文字は、空白となります。

5 検索が終わったら、（ストップ）を押す。

- 「受信メール検索」画面に戻るときは（戻る）を押します。

ちょっと一言

- 手順3でメール検索をしているときに、（>）を押すとEメールアドレスの続きを確認できます。
  もう一度、（>）を押すと題名が表示されます。

```
受信メール検索　　>
●01/01 a@kaisy.co.j
 12/31 sasuki@isya.
 12/30 ueda@kaisya.
```

（>）↓　↑（<）

```
受信メール検索　<>
p
co.jp
co.jp
```

（>）↓　↑（<）

```
受信メール検索　<
今日は帰りが遅くなり
明日のパーティーは6
予定が急遽変更になり
```

受信メールから返信する（返信）

1 「受信したメールを見る」（☞左記）の手順3で、受信メールを見ているときに（登録/決定）を押す。

2 もう一度（登録/決定）を押す。

```
受信メールメニュー
1: 返信
2: 転送
3: 印刷
```

3 「送信メールを準備する」（☞71ページ）の手順4に従って返信文を入力し、（作成/送信）を押す。

- 返信メールの宛先は、受信メールの発信元のアドレスが引用されます。
- 返信メールの題名は、受信メールの題名に「Re:」が付加されます。
- 宛先や題名を変更する場合は、（戻る）を押して表示を切り換えてください。

ご注意

- 一部の半角記号（$、%、￥、+、=、｜、[、]、"、'、<、>、{、}、・、～など）は全角で表示されます。
- 入力可能文字数（全角1000文字）を越えると、引用文の文末から自動的に消去されます。
- 半角カタカナの小文字（ッ、ャ、ョなど）は大文字（ツ、ヤ、ヨなど）で表示されます。
- 表示できない特殊文字は、空白となります。
- 受信メールによっては、相手先（発信元）のアドレスが正しく引用されてない場合があります。正しいアドレスに変更してください。

受信メールを転送する（転送）

1 **「受信メールから返信する（返信）」（☞上記）の手順2で、[2:転送] を点滅させて (登録/決定) を押す。**

受信メールメニュー
1: 返信
2: 転送
3: 印刷

ちょっと一言

- 転送メールの題名は、受信メールの題名に「Fwd:」が付加されて用意されています。変更する場合は、(登録/決定) を押して題名入力に進みます。さらに本文を変更する場合は、(登録/決定) を押すと次の画面が表示されて本文を追加したり変更することができます。

2 **「送信メールを準備する」（☞71ページ）の手順2に従って宛先アドレスを入力し、(作成/送信) を押す。**

受信メールを印刷する

1 **「受信したメールを見る」の手順4で受信メールを見ているときに(登録/決定)を押す。**

2 **ローラージョグを回して「3:印刷」を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

- 印刷が始まります。

受信メールを消去する

「受信したメールを見る」（☞79ページ）の手順3で、受信メールを見ているときに、(保留/消去) を２回押す。

消去しますか？
する／しない

受信メールを全消去する

1 **受話器を置いたままで、(検索) を押す。**

2 **ローラージョグを回して [3:受信メール全消去] を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

メール検索
1: 受信メール検索
2: 送信メール検索
3: 受信メール全消去

3 **(<) を押して (登録/決定)を押す。**

ご注意

- 未読の受信メールも消去されます。

添付ファイルの自動受信

お買い上げ時は「添付ファイル自動受信をする」に設定されています。

添付ファイルとして受信できるファイルの形式は、下記の通りです。

- ビットマップイメージファイル（＊ .bmp）
- JPEGイメージファイル（＊ .jpg／＊ .jpeg）
- TIFFイメージファイル（＊ .tif／＊ .tiff）
  非圧縮タイプに限ります。LZW圧縮タイプはご利用できません。
- MS-WORD文章ファイル（＊ .doc）
  「Microsoft® Word for Windows® 98」で読込み／印刷可能なものに限ります。
- MS-EXCELワークシートファイル（＊ .xls）
  「Microsoft® Excel for Windows® 97」で読込み／印刷可能なものに限ります。
- PDFファイル（＊ .pdf）
  「Adobe®　Acrobat® Reader3.0J」で読込み／印刷可能なものに限ります。

- Microsoft® Windows® は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他における登録商標です。
- Adobe® Acrobat® は、Adobe System Incorporated（アドビ　システムズ社）の登録商標です。

ご注意

- 上記のファイル形式以外の添付ファイルは受信できません。
- ファイルのデータサイズやメールボックスの空き容量により着信できない場合もあります。
- テキスト形式（＊ .txt）のファイルも添付ファイルとして利用できますが、この場合、添付ファイル内の文字もメール本文として受信します。
- 上記のファイル形式の添付ファイルであっても、回線の状態などによっては受信できない場合があります。
- 添付ファイルがA4サイズより大きな用紙サイズで作成されている場合、印刷イメージが異なって印刷されることがあります。

添付ファイルの自動受信をやめる

メールにファイルが添付されているとき、添付ファイルを自動受信しないように設定することができます。

1 **受話器を置いたままで、(77セレクティ) を押す。**

2 **ローラージョグを回して [1:αEメール] を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

サービスメニュー
1: αEメール
2: えらんでメロディ
0: データ受け取り

- サービスメニューは、提供されるサービスにより変わることがあります。

3 ローラージョグを回して［3:添付ファイル受信］を点滅させ、(登録/決定) を押す。

αEメール
1: ユーザ設定
2: サインアップ
3: 添付ファイル受信

4 複数のメールアドレスが契約されている場合はローラージョグで自分のアドレスを点滅させ、(登録/決定) を押す。

ユーザアドレス選択
1: papa
2: mama
3: sasaki

5 (>) を押して、［しない］を点滅させ、(登録/決定) を押す。

- 日時表示に戻ります。

添付ファイル受信
設定しますか？
する／しない

ご注意

- ［しない］を指定すると、添付ファイルを見ることはできません。この場合、センターからメールを受信した際に添付ファイルは削除されます。

受信したメールを自動的に印刷する（メールダイレクトプリント機能）

- 新着メールを自動的に印刷することができます。
- 受話器を置いたままで (ダイレクトプリント) を押して［ダイレクトプリント］を点灯させる。

12月15日（土）
PM 10：36
Eﾒｰﾙ：10 用件：10
ダイレクトプリント　メモリ

- ［ダイレクトプリント］が点灯した状態で、「センターからメールを受信する」を行うと、受信メール検索から受信メールを開いてから印刷をしなくてもダイレクトに新着メールのみが印刷されます。さらに、KDDI提供サービスの「メール自動受信」機能とあわせて使うと、メール受信の操作なしで自動的に新着メールを印刷することができます。

ご注意

- おやすみ設定中は印刷しません。おやすみ設定を解除したときに、印刷します。
- ダイレクトプリントの直前に受信メール検索すると、印刷されません。
- ダイレクトプリントされた受信メールは既読扱いとなります。

Eメールアドレス帳に登録する

Eメールの宛先（To:）に使用するメールアドレスを登録しておくと、送信メール作成時に呼出して挿入することができます。全角6文字（半角12文字）の名前と、半角40文字までのEメールアドレスとして使用できる文字を使って、60件まで登録できます。複数のメールアドレスを契約しているときは共通に使用します。

親機で操作します。

自分で入力して登録する

1 受話器を置いたままで、(アドレス/定型文) を押す。

2 そのまま (登録/決定) を押す。

アドレス／定型文
1: 相手先アドレス登録
2: 自作定型文登録
3: ユーザアドレス検索

3 ローラージョグを回して登録したい“（未登録-XX）”を点滅させる。または、2桁の数字（01～60）で登録したいアドレス番号を押す。

アドレス ［01］ >
佐々木幸太郎 a@kaisy
（未登録-02）
植田太郎 isya@.c

4 (登録/決定) を押す。

名前(Name:)？
漢字>

5 名前を入力し、(登録/決定) を押す。（☞72ページ）

名前(Name:)？
藤野由美
漢字>

6 アドレスを入力し、(登録/決定) を押す。（「，」は入力できません。☞73ページ）

ｱﾄﾞﾚｽ（Address:）？
英字>

- 登録完了後、「アドレス帳」表示に戻ります。登録を続けるときは、手順3～6を繰り返してください。

α-Eメール

7 (ストップ) **を押す。**

ちょっと一言

- 手順3で既にEメールアドレスを登録してある番号を選んだときは、(>) を押すと登録してあるEメールアドレスの続きを確認できます。
  (<) を押すと元の表示に戻ります。

```
アドレス [01]      >
佐々木幸太郎 a@kaisy
(未登録-02)
植田太郎     isya@.c
```

(>) ↓ ↑ (<)

```
アドレス [01]   < >
a@kaisy.co.jp
(未登録-02)
isya@.co.jp
```

(>) ↓ ↑ (<)

```
アドレス [01]   <

(未登録-02)
```

登録したアドレスを修正するには

「自分で入力して登録する」の手順3で登録済みアドレスを選んで、もう一度手順6まで行う。
入力済みの名前とEメールアドレスは、挿入モードで修正されます。

登録したアドレスを消去するには

「自分で入力して登録する」の手順3(☞81ページ)で登録済みアドレスを検索しているときに (保留/消去) を2回押す。

```
おとうさん
消去しますか?
   する/しない
```

アドレス帳を印刷するには

1 **受話器を置いたままで、**(アドレス/定型文) **を押す。**

2 **ローラージョグを回して[5:アドレス帳印刷]を点滅させ、**(登録/決定) **を押す。**

```
アドレス/定型文
4: 固定定型文検索
5: アドレス帳印刷
6: 定型文リスト印刷
```

ちょっと一言

- アドレス帳を印刷すると、ユーザアドレスも印刷されます。

受信したメールから登録する(簡易アドレス登録)

受信したメールのEメールアドレスを利用してアドレス帳に登録することができます。

1 **「受信したメールを見る」(☞79ページ)の手順1〜4を行い、**(登録/決定) **を押す。**

2 **ローラージョグを回して[4:アドレス帳登録]を点滅させ**(登録/決定) **を押す。**

```
受信メールメニュー
4: アドレス帳登録
5: 消去
```

3 **ローラージョグを回して登録したい"(未登録-XX)"を点滅させる。または、2桁の数字(01〜60)で登録したいアドレス番号を押す。**

- 上書き登録はできません。

```
アドレス [02]      >
佐々木幸太郎 a@kaisy
(未登録-02)
植田太郎     isya@.c
```

4 (登録/決定) **を押す。**

5 **名前を入力し、**(登録/決定) **を押す。**(☞81ページ)

- 受信メールによっては自動的に発信元の名前が引用される場合があります。

```
名前(Name:)?


漢字>
```

6 **アドレスを確認し、**(登録/決定) **を押す。**

- 登録完了後、「アドレス帳」表示に戻ります。登録を続けるときは、手順3〜6を繰り返してください。

```
アドレス(Address:)?
papa@kaisy.co.jp

英字>
```

7 (ストップ) **を押す。**

ご注意

- 受信メールによっては、アドレス帳登録できない場合があります。
- 受信メールによっては、発信元のアドレスが正しく引用されない場合があります。その場合は手順6で修正してください。

ちょっと一言

- 手順3で既にＥメールアドレスを登録してある番号を選んだときは、(>) を押すと登録してあるＥメールアドレスの続きを確認できます。
(<) を押すと元の表示に戻ります。

```
アドレス [02]      >
佐々木幸太郎 a@kaisy
（未登録-02）
植田太郎      isya@.c
```

(>) ↓　↑ (<)

```
アドレス [02]  <>
a@kaisy.co.jp
（未登録-02）
isya@.co.jp
```

(>) ↓　↑ (<)

```
アドレス [02]  <

（未登録-02）
```

メールアドレスを変更する

親機で操作します。

1 **受話器を置いたままで、(ｱｱｾﾚｸﾃｨ) を押す。**

2 **ローラージョグを回して［1:αEメール］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
サービスメニュー
1: αEメール
2: えらんでメロディ
0: データ受け取り
```

- サービスメニューは、提供されるサービスにより変わることがあります。

3 **もう一度 (登録/決定) を押す。**

```
αEメール
1: ユーザ設定
2: サインアップ
3: 添付ﾌｧｲﾙ受信
```

- メールアドレスが1つの場合にはセンターに接続されます。

4 **複数のメールアドレスが契約されている場合は、ローラージョグで自分のアドレスを点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
ユーザアドレス選択
1: papa
2: mama
3: sasaki
```

- センターに接続されます。

5 **センターからの指示にしたがって、メールアドレスを変更する。**

Ｅメールの各種機能を設定する（オンラインユーザ設定）

本機からセンターに接続して、α-Eメールの各種機能を設定することができます。(「ユーザ設定」といいます。)「ユーザ設定」には接続料がかかります。(「ユーザ設定」で設定できる機能の内容は、予告なく変更・追加されることがあります。)

- **着信通知（無料）**
  センターのお客様のメールボックスにメールが残っていない状態で、あらたにセンターにメールが着信した場合、その旨をお知らせするサービスです。サービス開始時には「ON」に設定されています。センターから本機への通知を受ける際には、本機の着信ベルが鳴ります。
- **メール自動受信**
  センターに着信したメールを、本機が自動的に受信するサービスです。(センターから本機への通知を受ける際には、本機の着信ベルが鳴ります。)

ご注意

- 「着信通知」と「メール自動受信」を同時に利用することはできません。
- 以下の場合は、正常に「着信通知」または「メール自動受信」を受けることができません。この場合、次回のメール着信時に着信通知または自動受信されます。
  – 話し中などで本機が対応できなかった場合

- **着信拒否時間設定**
  「着信通知」や「メール自動受信」のサービスをご利用の場合に、センターからの通知を拒否する時間帯を設定します。夜間などの特定の時間帯にはメールの着信通知や自動受信を受けたくない場合に設定してください。「着信拒否時間」で設定した時間内にセンターに着信したメールは、次回のメール着信時に着信通知または自動受信されます。
- **拒否メールアドレス**
  受信したくない相手のメールアドレスを最大10件まで登録することができます。着信拒否した相手には、受信できない旨のメールをセンターから自動的に返信します。
  – 相手のメールアドレス（例：john-satou123@ae2.dion.ne.jp）を設定すると、そのメールアドレスからの着信を拒否します。
  – 「＊」＋「ドメイン名」（例：@ae2.dion.ne.jp）を設定すると、そのドメイン名がついたすべてのメールアドレスからの着信を拒否します。
- **メール転送**
  お客様のメールボックスに着信したメールの転送先メールアドレスを1か所設定することができます。
- **メールアドレス変更**
  本機に登録されている電話番号アドレスをニックネームアドレスに変更します。
- **パスワード変更**
  4桁の数字のパスワードの設定変更を行います。サービス開始時は「0000」に設定されています。
- **現在の設定確認**
  現在設定されているユーザ設定の内容を表示窓に一覧表示します。

親機で操作します。

1 **受話器を置いたままで、（77セレクティ）を押す。**

2 **ローラージョグを回して［1:αＥメール］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

サービスメニュー
1: αＥメール
2: えらんでメロディ
0: データ受け取り

- サービスメニューは、提供されるサービスにより変わることがあります。

3 **もう一度（登録/決定）を押す。**

αＥメール
1: ユーザ設定
2: サインアップ
3: 添付ファイル受信

4 **複数のメールアドレスを契約している場合は、ローラージョグでアドレスを点滅させる。**

ユーザアドレス選択
1: papa
2: mama
3: sasaki

5 **（登録/決定）を押す。**
センターに接続されると、操作案内の表示に切り換わります。

接続中

6 **ローラージョグを回して表示窓の指示にしたがい、ダイヤルボタンで入力する項目を押す。**

7 **設定を変更するための入力を行う。**

8 **手順6と7を繰り返して、設定変更したい項目を全て変更する。**

9 **表示窓の表示にしたがって終了する。**

センター接続後（手順5〜7）の操作について

以下は「メールアドレス変更」の例です。（表示される内容や操作は予告なく変更される場合があります。）

1「ユーザ設定を行う」が表示されている番号を押す。
2 4桁のパスワード（お買い上げ時は「0000」）を入力する。
3「メールアドレス変更」が表示されている番号を押す。
4「変更する」が表示されている番号を押す。
5 お好みのニックネームアドレスを入力する。
6 (登録/決定)を押す（表示窓で入力したアドレスを確認してください）。
7「登録する」が表示されている番号を押す。
8「確認」が表示されている番号を押す。

新しいアドレスを登録する（オンラインサインアップ）

本機からセンターに接続して、追加メールアドレスを登録します（オンラインサインアップ）。接続料は無料です。

α-Eメールのメールアドレスは、本機1台（KDDIにご登録されている1つの電話番号）で3つまでご登録できます。

追加メールアドレスは、サインアップ時に自由なニックネームを指定することができます。（「ドメイン名」はセンターから提供されます。）（メールアドレスについて、詳しくは70ページをご覧ください。）

親機で操作します。

1 **受話器を置いたままで、(77セレクティ)を押す。**

2 **ローラージョグを回して［1:αEメール］を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

サービスメニュー
1: αEメール
2: えらんでメロディ
0: データ受け取り

3 **ローラージョグを回して［2:サインアップ］を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

αEメール
1: ユーザ設定
2: サインアップ
3: 添付ファイル受信

4 **そのまま(登録/決定)を押す。**

センターに接続されると、操作案内の表示に切り換わります。

サインアップ
する／しない

接続中

5 **ローラージョグを回して表示窓の指示にしたがい、ダイヤルボタンで入力する項目を押す。**

6 **設定を変更するための入力を行う。**

操作後、日時表示に戻ります。

- 文字、数字を入力する際には、「オンラインサインアップ、オンラインユーザ設定時の文字入力のしかた」の表（☞73ページ）にしたがってダイヤルボタンを押してください。
- 追加メールアドレスは、サインアップ時に自由なニックネームアドレスを指定することができます。ただし、指定できるのはメールアドレスの「ユーザ名」です。「ドメイン名」はセンターから提供されます。
- サインアップで追加登録したメールアドレスは、即座に使用可能となります。

7 **手順5と6を繰り返して、設定変更したい項目を全て変更する。**

8 **表示窓の表示にしたがって終了する。**

ご注意

- メールアドレスを追加登録すると月額基本料がかかります。メールアドレスが追加されると開通メールがＥメールで届きます。
- 他のお客様が既に設定しているニックネームアドレスはご登録いただけません。表示窓の表示に従って、再度別のアドレスを登録してください。
- サインアップによってニックネームアドレスを取得した場合、オンラインユーザ設定によるアドレスの変更はできません。
- 表示される内容や操作は、予告なく変更される場合があります。

本機のメールアドレスを確認する（親機）

本機でサインアップしたメールアドレスを確認することができます。

親機で操作します。

1 **受話器を置いたままで、（アドレス/定型文）押す。**

2 **ローラージョグを回して［3:ユーザアドレス］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

アドレス／定型文
1: 相手先アドレス登録
2: 自作定型文登録
3: ユーザアドレス

- （＞）を押して、アドレスの続きを確認することができます。

3 **確認を終了し、手順1の（アドレス/定型文）表示に戻るときは（戻る）を押す。**

電話帳機能とは

よくかける電話番号を登録しておくと、ジョグダイヤル（親機ではローラージョグ）で簡単に検索して、電話をかけることができます。

親機：ローラージョグを使用します。登録件数は100件までできます。1件の電話帳につき電話番号は、2番号、各20桁まで、名前は、全角10文字までできます。

子機：ジョグダイヤルを使用します。登録件数は、100件までできます。1件の電話帳につき電話番号は、2番号、各20桁まで、名前は全角6文字（半角12文字）までできます。

電話帳表示例

親機

電話帳
佐々木幸太郎
>03XXXX3333
090XXXX5555

登録された電話番号1　登録された電話番号2

子機

佐々木幸太郎
>03XXXX3333
090XXXX5555

登録された電話番号1　登録された電話番号2

電話帳機能とナンバー・ディスプレイ（☞100ページ）を使うと

相手の名前がベル音と交互に再生され、誰からの着信か分かるようにできます（音声呼び出し機能☞109ページ）。

電話帳に名前と電話番号を登録する

親機の電話帳に名前と電話番号を登録する

1 **受話器を置いたままで、（登録/決定）を押す。**
- ［登録メイン］が表示されます。

2 **もう一度（登録/決定）を押す。**

登録メイン
1: 電話帳登録
2: リスト印刷
3: 受信設定

- 電話帳が満杯の場合、エラー音が鳴り［C42 電話帳がいっぱいです］と表示されます。3秒たつと元の表示に戻ります。
3秒たつ前に元の表示に戻したいときは（ストップ）を押してください。

3 **ダイヤルボタンで名前を入力する（☞90ページ）。**

登録：名前？

残り　９６件
漢字>

- 名前を登録しない場合は、（登録/決定）を押して手順10に進んでください。
- アルファベット、数字を入力する場合は（変換/内線）を押して「英字」または「数字」を表示させます。
- 変換前の入力文字数は7文字まで入れることができます。

4 **（変換/内線）を押す。**

登録：名前？

漢字>うえだ

5 **ローラージョグを回して（または（変換/内線）を押して）正しい名前を選び、（登録/決定）を押す。**

登録：名前？

007>上田

登録：名前？

006>植田

6 **手順3〜5を繰り返して名前を全て入力する。**

- 10文字入力できます。

```
登録：名前？
植田
漢字>
```

7 **(登録/決定) を押す。**

- 名前の読み（先頭から4文字分）が表示されます。
- 読みを訂正しない場合は、手順9に進みます。

```
登録：名前？
植田太郎
漢字>
```

8 **(<)、(>)で点滅を移動して、ダイヤルボタンと (保留/消去) を使用して正しい読みに変更する（☞91ページ）。**

- ローラージョグを回して電話帳を検索するときの順番は、読みコードによります。詳しくは、「ジョグダイヤル（親機ではローラージョグ）で検索する」（☞97ページ）をご覧ください。

```
読み？
植田太郎
　　[ ウエダタ ]
カナ>
```

9 **(登録/決定) を押す。**

- 電話番号1を登録しない場合は、手順11に進みます。

```
読み？
植田太郎
　　[ ウエダ　 ]
カナ>
```

10 **ダイヤルボタンを押して電話番号を市外局番から入力する（最大20桁）。**

- 電話番号の間に (発信/着信記録) を1回押すと約3秒間の待ち時間を入れられます。

```
電話番号 1？
植田太郎
```

ちょっと一言

電話番号を間違えて入力したときは、(保留/消去) で消してください。

11 **(登録/決定) を押す。**

- 電話番号2を登録しない場合は、手順13に進みます。

```
電話番号 1？
植田太郎
03XXXX2222
```

12 **ダイヤルボタンを押して電話番号を市外局番から入力する（最大20桁）。**

```
電話番号 2？
植田太郎
```

13 **(登録/決定)を押す。**

```
電話番号 2？
植田太郎
090XXXX444
```

14 **引き続き登録する場合は、手順3〜13を繰り返す。登録を終了する場合は (ストップ) を押す。**

ご注意

- 電話番号1と電話番号2はどちらか必ず登録してください。

ちょっと一言

- 電話帳には、あらかじめ天気予報、時報、電報、番号案内の4件が登録されています。これらの番号が不要な場合は消去（☞94ページ）してお使いください。
- 電話番号の前に「184」や「186」をつけて登録することもできます。
- 市内の相手に市外局番からダイヤルしても、同じ料金でかかります。

子機の電話帳に名前と電話番号を登録する

1 **通話を切った状態で、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**

- ［登録メニュー］が表示されます。

2 **もう一度、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**

```
登録ﾒﾆｭｰ　▼
1. 電話帳
2. ベル音量
```

- 名前を登録しない場合は、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押して手順9に進みます。
- 電話帳が満杯の場合、エラー音が鳴り［C42 100件登録済　メモリ満杯］と表示されます。5秒たつと元の表示に戻ります。
5秒たつ前に元の表示に戻したいときは (切) を押してください。

3 **ダイヤルボタンと (スピーカーホン音量)（[゛ ゜]）で名前を入力する。**

```
　残り　95件
漢>
```

- アルファベット、数字を入力する場合は (変換/内線) を押して「英」または「数」を表示させます。
- 変換前の入力文字数は8文字まで入れることができます。5文字以上の場合は上段に右詰めで表示されます。

4 **(変換/内線) を押す。**

```
漢>うえだ
```

5 **ジョグダイヤルを回して（または（変換/内線）を押して）正しい名前を選び、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**

```
08＞上田
```

```
07＞植田
```

6 **手順3から5を繰り返して名前を全て入力する。**

```
植田
漢＞
```

- 全角で6文字、半角で12文字まで入力できます。

7 **ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**

```
植田太郎
漢＞
```

- 名前の読み（先頭から4文字分）が表示されます。
- 読みを訂正しない場合は、手順9に進みます。

8 **（＊）、（＃）で点滅を移動して、ダイヤルボタンと（スピーカーホン音量）（[゛゜]）（保留/消去）を使用して正しい読みに変更する。**

```
読み？
植田太郎
ｶﾅ[ウエダタ]
```

- ジョグダイヤルを回して電話帳を検索するときの順番は、読みコードによります。詳しくは、「ジョグダイヤル（親機ではローラージョグ）で検索する」（☞97ページ）をご覧ください。

9 **ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**

```
読み？
植田太郎
ｶﾅ[ウエダ　]
```

- 電話番号1を登録しない場合は、手順11に進みます。

10 **ダイヤルボタンを押して電話番号を市外局番から入力する（最大20桁）。**

```
電話番号 1？
植田太郎
```

- 電話番号の間に（発信記録）を1回押すと約3秒間の待ち時間を入れられます。

ちょっと一言
電話番号を間違えて入力したときは、（保留/消去）で消してください。

11 **ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**

```
電話番号 2？
植田太郎
090XXXX4444
```

- 電話番号2を登録しない場合は、手順13に進みます。

12 **ダイヤルボタンを押して電話番号を入力する（最大20桁）。**

```
電話番号 2？
植田太郎
```

13 **ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**

```
電話番号 1？
植田太郎
03XXXX4444
```

- 確認のために「ピー」と鳴ります。

ご注意
- 電話番号1と電話番号2はどちらか必ず登録してください。

ちょっと一言
- 電話帳には、あらかじめ天気予報、時報、電報、番号案内、KDDIカスタマセンターの5件が登録されています。これらの番号が不要な場合は消去（☞94ページ）してお使いください。
- 電話番号の前に「184」や「186」をつけて登録することもできます。
- 市内の相手に市外局番からダイヤルしても、同じ料金でかかります。

入力できる文字について

名前の入力について

ダイヤルボタンを使って、電話帳に登録する名前の文字を指定することができます。ひらがな、英字、数字を入力できます。ひらがなで入力した場合は、（変換/内線）を押して漢字や全角カタカナに変換できます。子機では、半角カタカナにも変換できます。

子機では、英字または数字で入力した文字を（変換/内線）を押して全角、半角に変換できます。

入力モードを切り換えるには、（変換/内線）を繰り返し押します。押すたびに以下のように換わります。

→ 漢（ひらがな・漢字・カタカナ）→ 英（英字・記号）→ 数（数字）→（漢に戻る）

入力される文字は、各々のダイヤルボタンを押すたびに以下の順序で変化します。別のダイヤルボタンを押すとその文字が確定し、入力位置は右に移動します。

押すボタン	漢（ひらがな・漢字・カタカナ）	英（英字・記号）	数（数字）
1	→あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ→		1
2	→か→き→く→け→こ→	→A→B→C→a→b→c→	2
3	→さ→し→す→せ→そ→	→D→E→F→d→e→f→	3
4	→た→ち→つ→て→と→っ→	→G→H→I→g→h→i→	4
5	→な→に→ぬ→ね→の→	→J→K→L→j→k→l→	5
6	→は→ひ→ふ→へ→ほ→	→M→N→O→m→n→o→	6
7	→ま→み→む→め→も→	→P→Q→R→S→p→q→r→s→	7
8	→や→ゆ→よ→ゃ→ゅ→ょ→	→T→U→V→t→u→v→	8
9	→ら→り→る→れ→ろ→	→W→X→Y→Z→w→x→y→z→	9
0	→わ→を→ん→ー→	→空白（親機のみ）→!→?→.→–→:→&→／→（→）→＊→＃→	0
＊（親機） スピーカーホン音量（子機）	→゛→゜→		
＜（親機） ＊（子機）	点滅を左に移動します。		
＞（親機） ＃（子機）	点滅を右に移動します（空白を入力することもできます）＊。		
保留/消去	点滅している文字を1文字消去		

＊ 子機でスペースを入れる場合は、入力済みの文字を確定してから、＃ボタンを押してください。

読みコードの入力について

ダイヤルボタンを使って、カタカナ、英字、数字(全て全角)を入力できます。
入力モードを切り換えるには、(変換/内線)を繰り返し押します。押すたびに以下のように換わります。

→ カナ(片仮名) → 英(英字・記号) → 数(数字) →(カナへ戻る)

入力される文字は、各々のダイヤルボタンを押すたびに以下の順序で変化します。別のダイヤルボタンを押すとその文字が確定し、入力位置は右に移動します。

押すボタン	カナ(片仮名)	英(英字・記号)	数(数字)
(1)	ア→イ→ウ→エ→オ→ォ→ェ→ゥ→ィ→ァ		1
(2)	カ→キ→ク→ケ→コ	A→B→C→a→b→c	2
(3)	サ→シ→ス→セ→ソ	D→E→F→d→e→f	3
(4)	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ	G→H→I→g→h→i	4
(5)	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	J→K→L→j→k→l	5
(6)	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	M→N→O→m→n→o	6
(7)	マ→ミ→ム→メ→モ	P→Q→R→S→p→q→r→s	7
(8)	ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ	T→U→V→t→u→v	8
(9)	ラ→リ→ル→レ→ロ	W→X→Y→Z→w→x→y→z	9
(0)	ワ→ヲ→ン→ー	空白(親機のみ)→!→?→.→–→:→&→/→(→)→＊→#	0
(＊)(親機) (スピーカーホン音量)(子機)	→゛→゜		
(<)(親機) (＊)(子機)	点滅を左に移動します。		
(>)(親機) (#)(子機)	点滅を右に移動します(空白を入力することもできます)＊。		
(保留/消去)	点滅している文字を1文字消去		

電話帳機能

着信記録から登録する

ナンバー・ディスプレイをお使いのかたは、着信記録を使って電話帳登録ができます。

親機の着信記録から電話番号を登録する

1 受話器を置いたままで、（発信/着信記録）を2回押す。

- 発信記録が1つもないときは、１回押すだけで着信記録が出ます。
- 発信記録、着信記録両方がない場合には、画面に［記録はありません］が表示されます。（着信記録がない場合には、画面に発信記録が表示されます。）
- 電話番号以外の着信記録は登録できません。

2 ローラージョグを回し、登録したい着信記録を表示させ、（登録/決定）を押す。

```
着信記録
01) 12月14日　22:26
03XXXX1234
```

3 ローラージョグを回して［登録］を点滅させ、（登録/決定）を押す。

```
着信記録
発信
登録
おことわり
```

4 名前と読みを入力する。(☞87ページの手順3〜88ページの手順8参照)

```
登録：名前？

　残り　　９０件
漢字>
```

- 電話帳が満杯の場合、エラー音が鳴り［全て登録済みです　C42　メモリ満杯］と表示されます。
- アルファベット、数字を入力する場合は（変換/内線）を押して「英字」または「数字」を表示させます。
- 名前を登録しない場合は、手順5に進んでください。
- 着信記録の電話番号は、電話帳の「電話番号1」に登録されます。

5 電話番号2を登録する(☞88ページの手順12〜手順13参照)。

6 （登録/決定）を押す。

7 引き続き登録する場合は、手順2〜6を繰り返す。登録を終了する場合は（ストップ）を押す。

子機の着信記録から電話番号を登録する

1 通話を切った状態で、（着信記録）を押す。

- 着信記録が1件もなかった場合、［着信記録はありません］と表示されます。
- 電話番号以外の着信記録は登録できません。

2 ジョグダイヤルを回し、登録したい着信記録を表示させ、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。

```
12月14日 22:26
03XXXX1111
```

3 ジョグダイヤルを回して［登録］を点滅させ、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。

```
発信　　▲
登録
```

4 名前と読みを入力する(☞88ページの手順3〜89ページの手順8参照)。

```

03XXXX1111
漢>
```

- 電話帳が満杯の場合、エラー音が鳴り［100件登録済　C42　メモリ満杯］と表示されます。
- アルファベット、数字を入力する場合は（変換/内線）を押して「英」または「数」を表示させます。
- 名前を登録しない場合は、手順5に進んでください。
- 着信記録の電話番号は、電話帳の「電話番号1」に登録されます。

5 電話番号2を登録する（☞89ページの手順11〜12参照）。

6 ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。

- 確認のために「ピー」と鳴ります。

発信記録から登録する

子機は発信記録から登録することもできます。

1 通話を切った状態で、（発信記録）を押す。

- 発信記録が1件もなかった場合、［発信記録はありません］と表示されます。

2 ジョグダイヤルを回し、登録したい発信記録を表示させ、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。

```
01発信記録
03XXXX1111
```

3 上記の手順3〜6を参照して発信記録を登録する。

- 発信記録の電話番号は電話帳の「電話番号1」に登録されます。

電話帳を修正・消去する

親機の電話帳を修正するには

1 **受話器を置いたままでローラージョグを回し、変更したい電話帳を表示させ、(登録/決定)を押す。**

```
電話帳
佐々木幸太郎
>03XXXX3333
 090XXXX5555
```

2 **ローラージョグを回して名前を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

```
電話帳
佐々木幸太郎
03XXXX3333
090XXXX5555
```

3 **ローラージョグを回して［修正］を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

```
誰からコール
ご指名コール
音声録音
修正
```

- 名前を修正しない場合は、再度(登録/決定)を押して手順6に進んでください。

4 **(<)、(>)を押して修正したい文字まで点滅を移動してから、ダイヤルボタンを使って名前を入力し直す(☞90ページ)。**

```
登録：名前？
佐々木幸太郎

漢字>
```

5 **(登録/決定)を押す。**

6 **(<)、(>)を押して修正したい文字まで点滅を移動してから、ダイヤルボタンを使って読みコードを入力し直す(☞91ページ)。**

```
読み？
佐々木光太郎
      [ササキ  ]
カナ>
```

- 読みコードを修正しない場合は、手順7へ進んでください。

7 **(登録/決定)を押す。**

```
電話番号１？
佐々木光太郎
03XXXX3333
```

8 **電話番号1を修正し、(登録/決定)を押す。**

- 電話番号1を修正しない場合は、(登録/決定)を押して手順9に進む。
- (保留/消去)を押して番号を消去してから、ダイヤルボタンを使って入力し直します。

9 **電話番号2を修正する。**

```
電話番号２？
佐々木光太郎
090XXXX5555
```

- 電話番号2を修正しない場合は、手順10に進む。
- (保留/消去)を押して番号を消去してから、ダイヤルボタンを使って入力し直します。

10 **(登録/決定)を押す。**

子機の電話帳を修正するには

1 **通話を切った状態でジョグダイヤルを回し、変更したい電話帳を表示させ、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**

```
藤野由美
>03XXXX6666
 090XXXX8888
```

2 **ジョグダイヤルを回して名前を点滅させ、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**

```
藤野由美
 03XXXX6666
 090XXXX8888
```

- 名前を修正しない場合は、手順4に進んでください。

3 **(＊)、(#)を押して修正したい文字まで点滅を移動してから、ダイヤルボタンを使って名前を入力し直す(☞90ページ)。**

```
藤野由美

漢>
```

4 **ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**

電話帳機能

5 **(＊)、(#) を押して修正したい文字まで点滅を移動してから、ダイヤルボタンを使って読みコードを入力し直す**
(☞91ページ)。

読み？
ｶﾅ[フジノ　]

- 読みコードを修正しない場合は、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押して手順7へ進んでください。

6 **ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**

電話番号１？
藤野由末
03XXXX6666

7 **電話番号1を修正し、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**

電話番号１？
藤野由末
03XXXX6666

- 電話番号1を修正しない場合は、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押して手順8に進む。
- (保留/消去) を押して修正したい番号まで消してから、ダイヤルボタンを使って入力し直す。

8 **電話番号2を修正し、(登録/決定)を押す。**

藤野由末
>03XXXX6666
090XXXX8888

- 電話番号2を修正しない場合は、手順9に進む。
- (保留/消去) を押して修正したい番号まで消してから、ダイヤルボタンを使って入力し直す。

9 **ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**
- 確認のために「ピー」と鳴ります。

親機の電話帳から消去する

1 **受話器を置いたままでローラージョグを回し、消去したい電話帳を表示させ、(保留/消去)を押す。**

佐々木幸太郎
消去しますか？
する／しない

- 消去を中止するには (>) を押して［しない］を点滅させ、(登録/決定) を押します。

2 **もう一度 (保留/消去) を押す。**

子機の電話帳から消去する

1 **通話を切った状態でジョグダイヤルを回し、消去したい電話帳を表示させ、(保留/消去)を押す。**

藤野由美
消去しますか
する／しない

- 消去を中止するには (#) を押して［しない］を点滅させ、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押すか、(切) を押します。

2 **もう一度 (保留/消去) を押す。**
- 確認のために「ピー」と鳴ります。

電話帳を転送する（電話帳転送機能）

親機の電話帳から、1件ずつ子機に転送したり、親機の電話帳を一括して(最大100件)子機に転送することもできます。

ちょっと一言

- 電話帳に登録した名前、読み、電話番号1、電話番号2が転送されます。
- 親機と子機は1m程度離して操作してください。

ご注意

- 子機の電話帳が満杯の場合、エラー音が鳴り、［電話帳がいっぱいです　C42　メモリ満杯］と表示されます。
- 子機の電話帳に登録されている番号であっても、親機から転送されると追加で登録されます。
- 転送できる名前の文字数は、全角6文字までです。7文字以降は転送されません。

1件ずつ転送するには

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定) を押す。**
- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［5:登録メニュー］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
登録メイン
4: 設定メニュー
5: 登録メニュー
6: 留守電機能
```

3 **ローラージョグを回して［5:電話帳転送］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
登録メニュー
4: 日時設定
5: 電話帳転送
6: メロディ転送
```

4 **(>) を押して［個別］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
電話帳転送
一括 ／ 個別
```

5 **子機が2台以上ある場合は、ローラージョグを回して転送先を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
電話帳個別転送
1: 子機 1へ転送
2: 子機 2へ転送
3: 子機 3へ転送
```

6 **ローラージョグを回して、転送する電話帳の項目を表示させ、(登録/決定) を押す。**

```
電話帳個別転送
佐々木幸太郎
03XXXX3333
090XXXX5555
```

7 **もう一度 (登録/決定) を押す。**

```
電話帳個別転送
佐々木幸太郎
する／しない
```

親機の電話帳を一括して子機に転送するには

親機の電話帳を一括して子機に転送すると、今まで子機の電話帳に入っていたものに追加されます。

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定) を押す。**
- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［5:登録メニュー］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
登録メイン
4: 設定メニュー
5: 登録メニュー
6: 留守電機能
```

3 **ローラージョグを回して［5:電話帳転送］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
登録メニュー
4: 日時設定
5: 電話帳転送
6: メロディ転送
```

4 **もう一度 (登録/決定) を押す。**

```
電話帳転送
一括 ／ 個別
```

5 **子機が2台以上ある場合は、ローラージョグを回して、転送先を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
電話帳一括転送
1: 子機 1へ転送
2: 子機 2へ転送
3: 子機 3へ転送
```


つづく→

6 もう一度 (登録/決定) を押す。

電話帳一括転送
子機 1電話帳に追加されますが転送しますか
する／しない

電話帳転送が始まります。

親機

子機1
電話帳転送中
5/7件

子機

電話帳転送
<受信中>

転送終了後、確認のために、「ピー」と鳴ります。

ご注意

- 転送中、本機は使えません。
- 100件のデータを転送する場合、転送に約10分かかります。
- 転送を中止するには (>) を押して［しない］を点滅させ (登録/決定) を押すか、(ストップ) を押します。
- 子機の電話帳が100件になった時点で転送は終了します。

電話帳を使って電話をかける

親機で電話をかける

1 **受話器を置いたままでローラージョグを回して、発信したい電話帳を表示させる** （☞97ページ）。

電話帳
佐々木幸太郎
>03XXXX3333
090XXXX5555

- 電話帳データが1件もなかった場合、「電話番号は登録されていません」と表示され、元の状態へ戻ります。
- そのまま受話器を取ると、［>］のついた電話番号にかかります。

2 (登録/決定) **を押す。**

電話帳
佐々木幸太郎
03XXXX3333
090XXXX5555

3 **ローラージョグを回して、かけたい電話番号を点滅させる。**

電話帳
佐々木幸太郎
03XXXX3333
090XXXX5555

4 **受話器を取る。**

佐々木幸太郎
090XXXX5555
ダイヤル中

↓

通話時間　0分１５秒

- 表示された電話番号に電話がかかります。
- (スピーカーホン) を押すとスピーカーホン通話ができます。

電話帳機能

子機で電話をかける

1 **通話を切った状態でジョグダイヤルを回して、発信したい電話帳を表示させる （☞下記）。**



- 電話帳データが1件もなかった場合、［登録されていません］と表示され、元の状態へ戻ります。
- ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を2回押すと、［>］のついた電話番号にかかります。

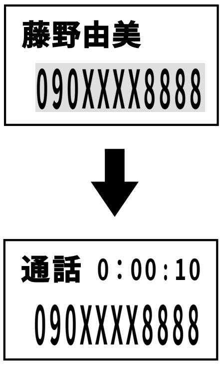
2 **ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**



3 **ジョグダイヤルを回して、かけたい番号に［>］を移動する。**



4 **（通話）を押す。**

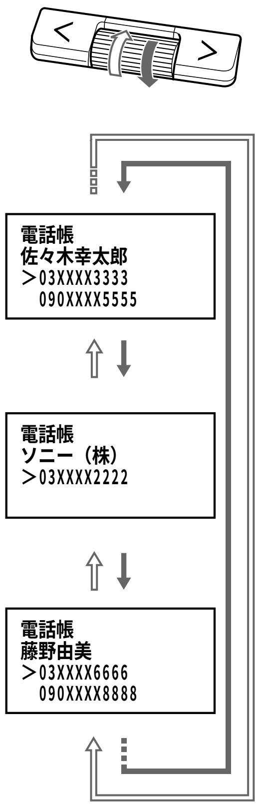


- 表示された電話番号に電話がかかります。
- （スピーカーホン音量）を押すとスピーカーホン通話ができます。

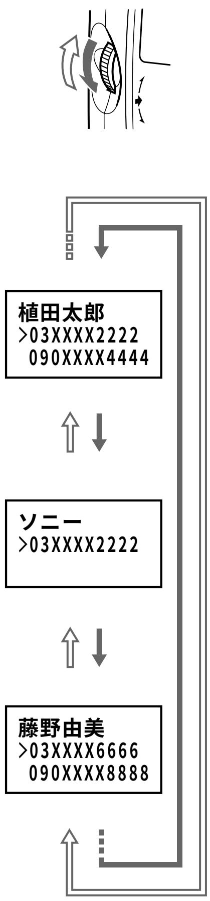
ジョグダイヤル（親機ではローラージョグ）で検索する

電話帳は名前の読みコード（☞91ページ）の順番に並び変えられています。
ジョグダイヤル（親機ではローラージョグ）を回すと、名前の読みコードの順番に表示されます。名前が表示される順番は、カタカナ（50音順）→英文字（アルファベット順）→数字（0〜9）→記号です。
また、名前が登録されていない場合や名前の1文字目にスペース（空白）が登録されているものは、他の名前より前に表示されます。

親機の表示例



子機の表示例



通話中に電話帳から電話番号を探すには

親機 通話中にローラージョグを回して電話番号を検索します。電話番号は約90秒間表示されて通話時間表示に戻ります。90秒たつ前に通話時間表示に戻すには (ストップ) を押してください。

子機 通話中にジョグダイヤルを回して電話番号を検索します。電話番号は約20秒間表示されて通話時間表示に戻ります。20秒たつ前に通話時間表示に戻すには (優先) を押してください。

ダイヤルボタンで検索するには

押すボタン	検索できる文字
1	→あ→い→う→え→お→1
2	→か→き→く→け→こ→A→B→C→2
3	→ さ→し→す→せ→そ→D→E→F→3
4	→ た→ち→つ→て→と→G→H→I→4
5	→ な→に→ぬ→ね→の→J→K→L→5
6	→ は→ひ→ふ→へ→ほ→M→N→O→6
7	→ ま→み→む→め→も→P→Q→R→S→7
8	→ や→ゆ→よ→T→U→V→8
9	→ ら→り→る→れ→ろ→W→X→Y→Z→9
0	→ わ→を→ん→記号→0

親機で検索する

電話帳表示中にダイヤルボタンを押すと、電話帳に登録された名前の読みコードの1文字目を指定して検索することができます。
該当する文字の行に電話帳が登録されていないときは、表示は変わりません。
それぞれのダイヤルボタンを押すたびに、上記の表の順序で検索します。

例：藤野由美を検索する場合

1 **ローラージョグを回して電話帳を表示してから、ダイヤルボタン (6) を押す。**

電話帳
橋本太郎
>03XXXX1122
090XXXX1111

2 **ダイヤルボタン (6) を押す。**

電話帳
広田久美子
>03XXXX3355
090XXXX7777

3 **ダイヤルボタン (6) を押す。**

電話帳
藤田四郎
>03XXXX7788
090XXXX9999

4 **ダイヤルボタン (6) を押す。**

電話帳
藤野由美
>03XXXX6666
090XXXX8888

ちょっと一言
- 手順1の後ローラージョグを回して検索することもできます。

子機で検索する

通話を切った状態でダイヤルボタンを押すと、電話帳に登録された名前の読みコードの1文字目を指定して検索することができます。

ちょっと一言
- 指定した文字で始まる名前が登録されていない場合、その次に登録されている文字で始まる名前を表示します。

それぞれのダイヤルボタンを押すたびに、左記の表の順序で検索します。

例：「藤野由美」を検索する場合

1 **ジョグダイヤルを回して電話帳を表示してからダイヤルボタン (6) を押す。**

-は-

↓

橋本太郎
>03XXXX1122
090XXXX1111

- 検索を行う電話帳の先頭文字を1秒間表示したあと、検索結果を表示します。

2 **ダイヤルボタン ⑥ を押す。**

```
-ひ-
```

↓

```
広田久美子
>03XXXX3355
 090XXXX7777
```

3 **ダイヤルボタン ⑥ を押す。**

```
-ふ-
```

↓

```
藤田四郎
>03XXXX7788
 090XXXX9999
```

4 **ジョグダイヤルを回す。**

```
藤野由美
>03XXXX6666
 090XXXX8888
```

ちょっと一言

- 手順1の後ジョグダイヤルを回して検索することもできます。

子機で12桁以上の電話番号を確認するには

電話番号が12桁以上のときは、始めの10桁しか表示されません。続きを表示させるには (#) を押します。表示は (＊) を押すと戻ります

(例：20桁(03XXXX12345678901234)の場合

```
佐々木幸太郎        (#) →        佐々木幸太郎
>03XXXX1234→       ← (＊)        >←5618901234
```

ナンバー・ディスプレイを使うために

「ナンバー・ディスプレイ」サービスとは

電話に出る前にかけてきた相手の電話番号を専用のファクシミリなどの表示窓に表示するNTTのサービスです。

ご注意

- ナンバー・ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTにお問い合わせください。

「ナンバー・ディスプレイ」サービスを利用するには

1 NTTの「ナンバー・ディスプレイ」サービス（有料）に加入する。

> ナンバー・ディスプレイに関するお問い合わせは、局番なしの116番におかけください。

本機はNTTの「キャッチホン・ディスプレイ」サービスに対応しています。詳しくは106ページをご覧ください。

ナンバー・ディスプレイを使わないかたは

本機では、お買い上げ時にナンバー・ディスプレイの設定が[する]になっているので、[しない]に変更してください。

親機で操作します。

1 受話器を置いたままで、(登録/決定) を押す。
- ［登録メイン］が表示されます。

2 ローラージョグを回して［7:ナンバーディスプレイ］を点滅させ、(登録/決定) を押す。

```
登録メイン
7:ナンバーディスプレイ
8:ハンドスキャナ
9:印刷メニュー
```

3 もう一度 (登録/決定) を押す。

```
ナンバーディスプレイ
1:ナンバーディスプレイ利用
2:非通知おことわり
3:おことわり
```

4 (>) で［しない］を点滅させ、(登録/決定) を押す。

```
ナンバーディスプレイ利用
設定しますか？
    する／しない
```

5 (ストップ) を押す。

ナンバー・ディスプレイを再設定するには

親機で操作します。

1 左記の「ナンバー・ディスプレイを使わないかたは」の手順1〜3をおこなう。

2 (<) で［する］を点滅させ、(登録/決定) を押す。

```
ナンバーディスプレイ利用
設定しますか？
    する／しない
```

3 (ストップ) を押す。

ISDN回線のターミナルアダプターに接続している場合

ターミナルアダプター側のスイッチをナンバー・ディスプレイを[する]にしてください。詳しくはターミナルアダプターのメーカーにお問い合わせください。

電話がかかってきたときの表示

親機 / **子機**

相手の電話番号が、電話帳と一致しない場合

親機	子機
12月14日 22:26 03XXXX1111 着信中	12月14日 22:26 03XXXX1111

相手の電話番号が、電話帳と一致した場合

親機	子機
12月14日 22:26 藤野由美 03XXXX6666 着信中	12月14日 22:26 藤野由美 03XXXX6666

相手の電話番号が、名前なしの電話帳と一致した場合

親機	子機
12月14日 22:26 03XXXX1111 着信中	12月14日 22:26 03XXXX1111

公衆電話からかけてきた場合

親機	子機
12月14日 22:26 公衆電話 着信中	12月14日 22:26 公衆電話

番号通知できない地域や回線からかけてきた場合
携帯やPHSで番号表示をOFFしている場合*1

```
12月14日 22:26
表示圏外

着信中
```

```
12月14日 22:26

表示圏外
```

「184」を付けてかけてきた場合
「通常非通知」の電話からかけてきた場合
携帯やPHSで番号表示をOFFしている場合*

```
12月14日 22:26
非通知

着信中
```

```
12月14日 22:26

非通知
```

本機がナンバー・ディスプレイ未加入／手続き中、または本機のナンバー・ディスプレイ設定[しない]の場合

```
12月14日 22:26

着信中
```

```
12月14日 22:26

着信
```

おことわり登録している電話番号と一致した場合（親機のみ）

```
12月14日 22:26
03XXXX1111

おことわり中
```

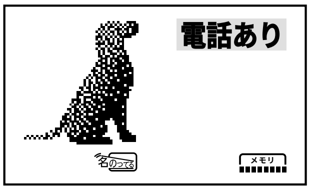
ご注意

• 表示窓に「非通知」と表示される相手が電話をかけてきてもベルはふつうに鳴ります。ベルを鳴らさずに自動的に切るようにするためには、106ページをご覧になって「非通知」をおことわり登録してください。

* 携帯、PHSは「非通知」または「表示圏外」と表示される場合があります。詳しくは、携帯、PHSの契約会社にお問い合わせください。

その他の表示（親機のみ）

相手が発信を放棄する、ファクス受信、または用件録音された場合など



ナンバー・ディスプレイのデータを受信していると

```
１２月３１日（土）
  ＰＭ １０：３０
Ｅﾒｰﾙ： １用件： ０
    受信中
```

ナンバー・ディスプレイ情報の受信について

回線事情や雑音などによってナンバー・ディスプレイの情報が正しく受信されない場合、電話番号が表示されません。このとき、親機では[C74　受信エラー]、子機では[C73]、[C74]と表示されますが、本機は正常に動作しているので、通常通りお使いいただけます。

ナンバー・ディスプレイを使う

親機の着信記録を確認する

1 受話器を置いたままで、（発信/着信記録）を2回押す。

着信記録
01) 12月14日　22:26
03XXXX1234

- 発信記録、着信記録両方がない場合には、画面に［記録はありません］が表示されます。
- 着信記録がない場合には、画面に発信記録が表示されます。
- 90秒たつと元の表示に戻ります。90秒たつ前に元の表示に戻したいときは（ストップ）を押してください。

2 ローラージョグを回す。
- 新しい着信記録から順に20件まで確認できます。最後の着信記録を表示したときに、更にローラージョグを回すと、最初の着信記録に戻ります。
- 名前が登録されている電話帳の番号と一致した着信記録を表示すると名前も表示されます。
- 着信記録が20件を超えると、古いものから消えます。

子機の着信記録を確認する

1 通話を切った状態で、（着信記録）を押す。

12月14日 22:26
03XXXX1234

- 着信記録がない場合には、画面に「着信記録はありません」が表示されます。
- 20秒たつと元の表示に戻ります。20秒たつ前に元の表示に戻したいときは（切）を押してください。

2 ジョグダイヤルを回す。
- 新しい着信記録から順に10件まで確認できます。最後の着信記録を表示したときに、更にジョグダイヤルを回すと、「ピッ」という音が鳴りそれ以上は進めません。
- 名前が登録されている電話帳の番号と一致した着信記録を表示すると名前も表示されます。
- 着信記録が10件を超えると、古いものから消えます。

親機の着信記録から電話をかける

1 受話器を置いたままで、（発信/着信記録）を2回押す。
- 電話番号以外の着信記録には、かけられません。

2 ローラージョグを回して、かけたい着信記録を表示させる。

着信記録
01) 12月14日　22:26
藤野由美
03XXXX6666

3 受話器を取る。

藤野由美
03XXXX6666
ダイヤル中

子機の着信記録から電話をかける

1 通話を切った状態で、（着信記録）を押す。
- 電話番号以外の着信記録には、かけられません。

2 ジョグダイヤルを回して、かけたい着信記録を表示させ、（通話）を押す。

12月14日 22:26
藤野由美
03XXXX6666

親機の着信記録を消す

1 受話器を置いたままで、（発信/着信記録）を2回押す。

2 ローラージョグを回し消したい着信記録を表示させ、（保留/消去）を押す。

着信記録
01) 12月14日　22:26
藤野由美
03XXXX6666

3 もう一度、（保留/消去）を押す。

消去しますか？
する／しない

- 次の着信データが表示されます。続けて消去するときは手順2～3を繰り返します。
- 消去を中止する場合には、（>）を押して［しない］を点滅させ（登録/決定）を押します。

4 （ストップ）を押す。

子機の着信記録を消す

1 **通話を切った状態で、(着信記録) を押す。**

2 **ジョグダイヤルを回し、消したい着信記録を表示させる。**

```
12月14日 22:26
藤野由美
  03XXXX6666
```

3 **(保留/消去) を押します。**

```
藤野由美
消去しますか
する／しない
```

- 消去を中止する場合には、ジョグダイヤルを回して、[しない] を点滅させジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。または (切) を押す。

4 **もう一度 (保留/消去) を押す。**
- 確認のために「ピー」と鳴り次の着信データが表示されます。続けて消去するときは、手順2〜3を繰り返します。

5 **(切) を押す。**

特定の電話からつながらないようにする（おことわり機能）

ナンバー・ディスプレイを使うと、特定の電話からつながらないようにできます。いたずら電話など、二度と受けたくない電話を登録しておけば、次回からはベルを鳴らさずに自動的に応答し、切ります。（相手には通話料金がかかります。）最大20件まで、「おことわりリスト」に番号登録できます。
「おことわりリスト」に登録した相手から電話がかかってくると「申し訳ありませんが、お取り次ぎできません」というおことわりメッセージが相手の電話に流れて、電話は自動的に切れます。

親機で操作します。

ご注意
- おことわり動作中に受話器を上げると、通話状態になってしまいます。表示窓に［おことわり中］を表示しているときはご注意ください。
- おことわり動作中は子機は使えません。
- 非通知を登録するときは、［非通知おことわり（☞106ページ）］で設定します。

「おことわりリスト」に着信記録から登録する

1 **受話器を置いたままで、(発信/着信記録) を2回押す。**
- 発信記録が1つもないときは、1回押すだけで着信記録が出ます。

2 **ローラージョグを回して、ことわりたい電話番号を表示させてから、(登録/決定) を押す。**

```
着信記録
01) 12月14日  22:26
03XXXX6666
```

- おことわりが満杯時は、［全て登録済みです C42　メモリ満杯］と表示されます。不要なおことわりデータを消去して（☞104ページ）、登録し直してください。
- 電話番号以外の着信記録はおことわり登録できません。

ナンバー・ディスプレイ

3 **ローラージョグを回して、[おことわり] を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

> 発信
> 登録
> おことわり

- 続けて登録するときは、手順2〜3を繰り返します。

4 **(ストップ) を押す。**

電話番号から「おことわりリスト」に登録する

1 **受話器を置いたままで(登録/決定) を押す。**

- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［7:ナンバーディスプレイ］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

> 登録メイン
> 7: ナンバーディスプレイ
> 8: ハンドスキャナ
> 9: 印刷メニュー

3 **ローラージョグを回して［6:おことわりリスト］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

> ナンバーディスプレイ
> 4: 応答メッセージ選択
> 5: キャッチホン
> 6: おことわりリスト

- おことわりが満杯時は、［全て登録済みです C42　メモリ満杯］と表示されます。不要なおことわりデータを消去して（☞右記）、登録し直してください。

4 **もう一度 (登録/決定) を押す。**

> おことわりリスト
> 1: 登録
> 2: 修正

5 **ダイヤルボタンを使って、相手の電話番号を市外局番から入れ、(登録/決定) を押す。**

> おことわりリスト登録
> 市外局番から
> 入力してください

> おことわりリスト登録
> 01)
> 03XXXX1234

- 市外局番から入力していないと (登録/決定) は押せません。
- 続けて登録するときは、手順3〜5を繰り返す。

6 **(ストップ) を押す。**

おことわり先を確認する

1 **受話器を置いたままで、(#)（おことわり）を押す。**

> おことわりリスト
> 01)
> 03XXXX1234

2 **ローラージョグを回す。**

> おことわりリスト
> 02)
> 03XXXX4567

- 登録順に20件まで確認できます。
- 90秒たつと元の表示に戻ります。90秒たつ前に元の表示に戻したいときは (ストップ) を押してください。

1件もおことわり先登録されていないときは

「おことわり未登録」と表示されます。表示は、3秒たつと元の表示に戻ります。

> おことわり未登録

「おことわりリスト」から消去する

1件ずつ消去します。

1 **受話器を置いたままで、(#)（おことわり）を押す。**

> おことわりリスト
> 01)
> 03XXXX1234

2 **ローラージョグを回して、おことわり先から消去したい電話番号を表示させる。**

> おことわりリスト
> 02)
> 03XXXX4567

3 **(保留/消去) を押す。**

> 消去しますか？
> する／しない

- 消去を中止するには［しない］を点滅させ (登録/決定) を押します。

4 **もう一度 (保留/消去) を押す。**

「おことわりリスト」の電話番号を修正する

1 **受話器を置いたままで（登録/決定）を押す。**

- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［7:ナンバーディスプレイ］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

登録メイン
7: ナンバーディスプレイ
8: ハンドスキャナ
9: 印刷メニュー

3 **ローラージョグを回して［6:おことわりリスト］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

ナンバーディスプレイ
4: 応答メッセージ選択
5: キャッチホン
6: おことわりリスト

4 **ローラージョグを回して［2:修正］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

おことわりリスト
1: 登録
2: 修正

5 **ローラージョグを回して、修正したい電話番号を表示させ、（登録/決定）を押す。**

おことわりリスト修正
01)
03XXXX1234

6 **ダイヤルボタンと（保留/消去）で正しい電話番号を入れ、（登録/決定）を押す。**

おことわりリスト修正
01)
03XXXX1235

- 市外局番から入力していないと（登録/決定）は押せません。

7 **（ストップ）を押す。**

おことわり設定を解除する

「おことわりリスト」を削除せずに一時的におことわり動作を切っておくことができます。

1 **受話器を置いたままで（登録/決定）を押す。**

- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［7:ナンバーディスプレイ］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

登録メイン
7: ナンバーディスプレイ
8: ハンドスキャナ
9: 印刷メニュー

3 **ローラージョグを回して［3:おことわり］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

ナンバーディスプレイ
1: ナンバーディスプレイ利用
2: 非通知おことわり
3: おことわり

4 **（>）を押して［しない］を点滅させ（登録/決定）を押す。**

おことわり
設定しますか？
する／しない

5 **（ストップ）を押す。**

ナンバー・ディスプレイ

非通知の相手をおことわり登録する

ご注意

- すべての非通知の電話、ファクスを受けられなくなりますのでご注意ください。この場合、NTTと「回線ごと非通知」契約をしているかたからの電話はすべてことわってしまいます。「186」を頭につけてダイヤルするようにお伝えください。
「非通知」の相手から電話がかかってくると、「番号を通知しておかけ直しください。また回線ごと非通知のかたは、番号の前に186をダイヤルしておかけ直しください」というおことわりのメッセージが2回流れます。

親機で操作します。

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定) を押す。**
- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［7:ナンバーディスプレイ］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
登録メイン
7: ナンバーディスプレイ
8: ハンドスキャナ
9: 印刷メニュー
```

3 **ローラージョグを回して［2:非通知おことわり］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
ナンバーディスプレイ
1: ナンバーディスプレイ利用
2: 非通知おことわり
3: おことわり
```

4 **もう一度 (登録/決定) を押す。**

```
非通知おことわり
設定しますか？
    する／しない
```

5 **(ストップ) を押す。**

ちょっと一言

- 公衆電話や表示圏外からの電話は通常どおり着信します。

非通知の相手からの電話がかかるように戻すには

上記の手順4で［しない］を点滅させて (登録/決定) (ストップ) を押します。

キャッチホン・ディスプレイを使う

「キャッチホン・ディスプレイ」サービスとは

通話中に電話がかかってきた場合、かけてきた相手（割り込み者）の電話番号を専用のファクシミリなどの表示窓に表示するNTTの「ナンバー・ディスプレイ」のオプションサービスです。

「キャッチホン・ディスプレイ」サービスを利用するには

1 **NTTの「キャッチホン・ディスプレイ」サービス（有料）に加入する。**
キャッチホン・ディスプレイに関するお問い合わせは、局番なしの116番におかけください。

2 **本機のキャッチホン・ディスプレイの設定を［する］にする。**

ご注意

- キャッチホン・ディスプレイに加入していない場合は、本機のキャッチホン・ディスプレイの設定は行わないでください。
- ナンバー・ディスプレイの設定（☞100ページ）が［する］になっていないとキャッチホン・ディスプレイの設定はできません。

キャッチホン・ディスプレイを設定する

お買い上げ時はキャッチホン・ディスプレイ設定は［しない］になっています。

親機で操作します。

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定) を押す。**
- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［7:ナンバーディスプレイ］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
登録メイン
7: ナンバーディスプレイ
8: ハンドスキャナ
9: 印刷メニュー
```

3 **ローラージョグを回して［5:キャッチホン］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
ナンバーディスプレイ
4: 応答メッセージ選択
5: キャッチホン
6: おことわりリスト
```

4 (<) を押して［する］を点滅させ、(登録/決定)を押す。

- キャッチホン・ディスプレイの設定を戻すには［しない］を点滅させ(登録/決定)を押します。

```
キャッチホン
設定しますか？
    する／しない
```

5 (ストップ) を押す。

キャッチホン・ディスプレイを受ける（キャッチボタン）

キャッチボタンは、通話中情報通知サービス「キャッチホン・ディスプレイ」を利用するためのボタンです。
キャッチホン・ディスプレイを利用するためには、NTTとの契約が必要です。お近くのNTT支店または局番なしの「116」にお申し込みください。
通話中の親機または子機で操作します。
キャッチホンの呼び出し音「プルルー・プップッ」に続き、「ピポッ」という割り込み音がしたあと、約1秒間の無音状態になります。そのあと、あとからかかってきた電話の電話番号などが表示されます。

親機

```
10月21日 22：26
佐々木幸太郎
03XXXX3333
      着信中
```

子機

```
キャッチ
藤野由美
  03XXXX6666
```

ちょっと一言

- 通話中にキャッチホン・ディスプレイを受けて相手の番号が表示されてから、約20秒後に通話時間表示に戻ります。

1 (キャッチ/再生) を押す。

あとからかかってきた電話に出られます。

2 もとの通話に戻るには、もう一度 (キャッチ/再生) を押す。

通話中に電話がかかってくると
↓
「プルルー・プップッ」と呼び出し音がします。
↓
「ピポッ」という割り込み音がします。
↓
約1秒間、無音の状態になります。*
↓
あとからかけてきた相手（割り込み者）の電話番号などが表示窓に表示されます。**

* 本機と、通話中の相手とそのどちらも、無音の状態となります。

** 次の場合は電話番号が表示されないことがあります。
　ー大きな声で話しているとき
　ーNTTの交換機と本機の距離が遠いとき
　ー通話録音中
　ー親機を使用中（コピー中など）
　ー周囲の雑音が大きいとき

ご注意

- キャッチホン・ディスプレイで表示された相手が、おことわり登録してある電話番号でも、おことわり動作は行いません。
- キャッチホンの呼び出し音がしていないときに (キャッチ/再生) を押すと通話が切れてしまいます。
- キャッチホン・ディスプレイの表示は、親機で通話中の場合は親機にのみ、子機で通話中の場合は子機のみに表示されます。
- キャッチホン・ディスプレイの設定をされると、本機が通話中の会話をキャッチホンの割り込み音と誤認して動作することがあります。その場合、約4秒間無音の状態になりますが、故障ではありません。

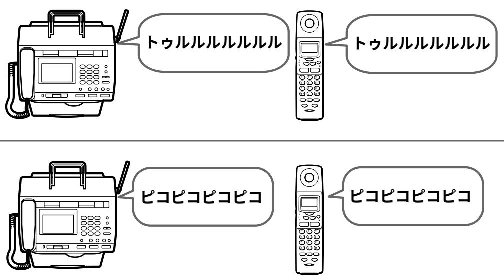
着信音鳴り分け機能を使う

ナンバー・ディスプレイ(☞100ページ)と、電話帳機能(☞87ページ)をあわせて使うとこの機能が使えます。親機・子機それぞれの電話帳に登録してある相手から電話がかかってきたときに、ベル音が変わり、親しい人からであることが分かる機能です。
お買い上げ時に親機はこの機能が働くようになっています。子機でもこの機能を使うには、右記の「子機の鳴り分けベル音設定を変える」で電話帳一致の鳴り分け音に設定してください。

ご注意

- 電話帳に市外局番から登録されていないと、鳴り分け機能は使えません。(☞88ページ)

鳴り分け機能



電話帳に登録してある相手から電話がかかってきたとき、着信音で鳴り分けます(☞下記)。

鳴り分けベル音に変える

相手によって着信音を鳴り分けることができます。
お買い上げ時は親機は[電話帳一致]の[鳴り分けベル音]に設定されています。子機でもこの機能を使うときは、設定を行ってください。

ご注意

- 非通知理由音声呼び出し、呼び出し音声による着信は、鳴り分けベル音や着信メロディに優先します。

親機の場合

お買い上げ時に鳴り分けベル音が使えるようになっているので、設定する必要はありません。

親機の鳴り分けベル音設定を変える

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定)を押す。**
- [登録メイン]が表示されます。

2 **ローラージョグを回して[3:受信設定]を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

登録メイン
1: 電話帳登録
2: リスト印刷
3: 受信設定

3 **ローラージョグを回して[2:着信音設定]を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

受信設定
1: 着信設定
2: 着信音設定
3: ファクスかんたん受信

4 **ローラージョグを回して[2:電話帳一致]を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

着信音設定
1: 全ての着信
2: 電話帳一致

- 着信音鳴り分け機能を使わないときは[1:全ての着信]を選びます。

5 **ローラージョグを回して[1:鳴り分けベル音]を点滅させ(登録/決定)を押す。**

電話帳一致
1: 鳴り分けベル音
2: 固定メロディ
3: えらんでメロディ

- えらんでメロディについては137ページをご覧ください。

6 **(ストップ)を押す。**

子機の鳴り分けベル音設定を変える

1 **通話を切った状態で、ジョグダイヤル(子機間通話／登録)を押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して[4.着信音設定]を点滅させ、ジョグダイヤル(子機間通話／登録)を押す。**

登録メニュー
3. クイック通話
4. 着信音設定

3 **ジョグダイヤルを回して[2.電話帳一致]を点滅させ、ジョグダイヤル(子機間通話／登録)を押す。**

着信音設定
1. 全ての着信
2. 電話帳一致

4 **ジョグダイヤルを回して［1.鳴り分け音］を点滅させ、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**

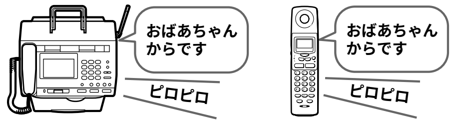
- 確認のために、「ピー」と鳴ります。

電話帳一致 ▼
1. 鳴り分け音
2. 固定メロディ

呼び出し音を相手の名前などに変える（音声呼び出し機能）

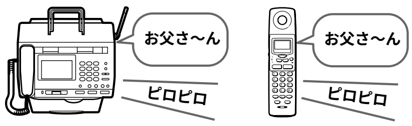
呼び出し音を相手の名前に変えるなど、色々な使いかたができます(音声呼び出し機能)。
親機の表示窓に[名のってる]表示が点灯していることを確認してください。(☞112ページ)
ナンバー・ディスプレイと電話帳をあわせて使うと、電話が鳴った時の呼び出し音を下記の音声のどれかに変えることができます。1つの電話番号の呼び出し音声は1つなので、既に登録されている番号にもう1度登録すると上書きされます。電話帳については87ページをご覧ください。

誰からコール



70種類の中から選んでください(☞110ページ)。

ご指名コール



10種類の中から選んでください(☞111ページ)。

自分で録音



ご自分で、お好きな名前を録音して使えます(☞111ページ)。

音声呼び出しする／しない（☞112ページ）

名のってるボタンを使って、呼び出し音声を消去せずに、一時的に切っておくことができます。来客時などにお使いいただけます。

音声呼び出し機能が設定されている(表示窓に[名のってる]が点灯、☞112ページ)場合に、非通知・公衆電話・表示圏外からの着信があると、非通知理由「非通知です」、「公衆電話です」、「表示圏外です」とお知らせするようになっています。

誰からコールを登録する

本機には、よく使う呼び名20種類・名字50種類があらかじめ録音されています。その番号を選ぶことで、電話帳に登録されている人からの呼び出し音声に変えることができます。
操作の前に表示窓に[名のってる]表示が点灯していることを確認してください。(☞112ページ)。
電話帳機能については87ページをご覧ください。

登録は親機で行いますが、登録した誰からコールは、親機・子機両方で聞こえます。

1 **受話器を置いたままでローラージョグを回し、登録したい電話帳を表示させ、(登録/決定)を押す。**

電話帳
佐々木幸太郎
>03XXXX3333
090XXXX5555

2 **ローラージョグを回して名前を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

電話帳
佐々木幸太郎
03XXXX3333
090XXXX5555

3 **もう一度、(登録/決定)を押す。**

- 誰からコールが登録済みの場合は、メニューの前に＊が表示されます。

誰からコール
ご指名コール
音声録音
修正

- 誰からコールが登録されていない場合

誰からコール
佐々木幸太郎
[　]

- 誰からコールが登録済みの場合（登録された誰からコールの番号が出て、再生します。）

誰からコール
佐々木幸太郎
[41]

4 **誰からコールの番号を2桁の数字で押すか、ローラージョグを回して、登録したい誰からコールを選ぶ。**

このとき、選択される誰からコールの名前だけが聞こえます。

誰からコール
佐々木幸太郎
[41]

5 **(登録/決定)を押す。**

- 確認のために「ピー」と鳴り、登録された誰からコールが聞こえます。
- 呼び出し音声が録音されている同じ電話帳の相手に登録すると、登録した誰からコールが優先され、録音された内容が消去されます。

誰からコール一覧

誰からコールは下記の番号で登録されています。

00 お父さんからです
01 お母さんからです
02 パパからです
03 ママからです
04 お兄さんからです
05 お姉さんからです
06 弟さんからです
07 妹さんからです
08 お爺ちゃんからです
09 お婆ちゃんからです
10 おじさんからです
11 おばさんからです
12 お孫さんからです
13 実家からです
14 お得意様からです
15 会社からです
16 社長さんからです
17 お店からです
18 彼氏からです
19 彼女からです
20 アベさんからです
21 アライさんからです
22 イケダさんからです
23 イシイさんからです
24 イシカワさんからです
25 イトウさんからです
26 イノウエさんからです
27 ウエダさんからです
28 エンドウさんからです
29 オオニシさんからです
30 オカモトさんからです
31 カトウさんからです
32 キクチさんからです
33 キムラさんからです
34 クドウさんからです
35 コウノさんからです
36 ゴトウさんからです
37 コバヤシさんからです
38 コンドウさんからです
39 サイトウさんからです
40 サカモトさんからです
41 ササキさんからです
42 サトウさんからです
43 シミズさんからです
44 スズキさんからです
45 タカハシさんからです
46 タナカさんからです
47 タニグチさんからです
48 チバさんからです
49 ナカジマさんからです
50 ナカムラさんからです
51 ニシムラさんからです
52 ハシモトさんからです
53 ハマダさんからです
54 ハヤシさんからです
55 フジイさんからです
56 フジタさんからです
57 フジワラさんからです
58 マエダさんからです
59 マツモトさんからです
60 ムラカミさんからです
61 モチヅキさんからです
62 モリさんからです
63 ヤマグチさんからです
64 ヤマザキさんからです
65 ヤマシタさんからです
66 ヤマダさんからです
67 ヤマモトさんからです
68 ヨシダさんからです
69 ワタナベさんからです

登録した誰からコールを確認するには

手順1〜3を行います。手順2の後で登録した誰からコールが再生されます。そのまま(ストップ)を押します。

登録をやり直すには

手順1〜5をもう一度行ってください。誰からコールは新しく登録されたものに変更されます。

登録した誰からコールを消去するには

1 **「誰からコールを登録する」（☞110ページ）の手順3の後で登録した誰からコールの番号が出ているときに (保留/消去) を押す。**

```
消去しますか？
  する／しない
```

2 **もう一度 (保留/消去) を押す。**

ご指名コールを登録する

本機には、10種類の呼びかけかたがあらかじめ録音されています。その番号を選ぶことで呼び出し音を音声に変えることができます（電話帳に登録された相手のみ）。
表示窓に[名のってる]表示が点灯していることを確認してください。（☞112ページ）
電話帳については87ページをご覧ください。

登録は親機で行いますが、登録したご指名コールは親機・子機両方で聞こえます。

1 **「誰からコールを登録する」（☞110ページ）の手順1〜2を行う。**

2 **ローラージョグを回して「ご指名コール」を点滅させ、(登録/決定) を押す。**
- ご指名コールが登録済みの場合は、メニューの前に＊が表示されます。
- ご指名コールが登録されていない場合

```
ご指名コール
佐々木幸太郎
[   ]
```

- ご指名コールが登録済みの場合（登録されたご指名コールの番号が出て、再生します。）

```
ご指名コール
佐々木幸太郎
[05]
```

3 **ご指名コールの番号を2桁の数字で押すか、ローラージョグを回して、登録したいご指名コールを選びます。このとき、選択されるご指名コールが聞こえます。**

```
ご指名コール
佐々木幸太郎
[05]
```

4 **(登録/決定) を押す。**
- 確認のために「ピー」と鳴り、登録したご指名コールが聞こえます。
- 呼び出し音声が録音されている同じ電話帳の相手に登録すると、登録したご指名コールが優先され、録音された内容が消去されます。

ご指名コール一覧

ご指名コールは下記の番号で登録されています。

00 お父さ〜ん	04 お兄ちゃ〜ん	08 旦那さま〜
01 お母さ〜ん	05 お姉ちゃ〜ん	09 奥さま〜
02 パパ〜	06 お爺ちゃ〜ん	
03 ママ〜	07 お婆ちゃ〜ん	

登録したご指名コールを確認するには

手順1〜2を行います。手順2の後で登録したご指名コールが再生されます。そのまま (ストップ) を押します。

登録をやり直すには

手順1〜4をもう一度行ってください。ご指名コールは新しく登録されたものに変更されます。

登録したご指名コールを消去するには

1 **手順2の後で登録したご指名コールの番号が出ているときに (保留/消去) を押す。**

```
消去しますか？
  する／しない
```

2 **もう一度 (保留/消去) を押す。**

呼び出し音声を録音する

誰からコール・ご指名コール以外に、50件までご自分で呼び出し音声を録音することもできます（電話帳に登録さた相手のみ）。
表示窓に[名のってる]表示が点灯していることを確認してください。
電話帳については87ページをご覧ください。

登録は親機で行いますが、登録した呼び出し音声は、親機・子機両方で聞こえます。

1 **「誰からコールを登録する」（☞110ページ）の手順1〜2を行う。**

2 **ローラージョグを回して「音声録音」を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

誰からコール
ご指名コール
音声録音
修正

- 呼び出し音声が録音済みの場合は、メニューの前に＊が表示されます。
- 呼び出し音声が録音されていない場合

受話器を上げて下さい

- 呼び出し音声が録音済みの場合（呼び出し音声を再生しながらバー表示が2秒間で左から右へ1つずつ消灯します。再生終了後、上の表示になります）

鈴木太郎
＜再生中＞
□□□■■■■■■■

3 **受話器を取り、（スタート）を押す。**

録音開始
ｽﾀｰﾄを押して下さい

4 **「ピー」と鳴ったら受話器に向かって呼び出し音声を話す。**

鈴木太郎
＜録音中＞
□□□■■■■■■■

- 呼び出し音声は、聞き取りやすいようにはっきりと話してください。
- 誰からコール・ご指名コールが登録されている同じ電話帳の相手に録音すると、録音した呼び出し音声が優先され、登録された内容が消去されます。
- 「ピー」と鳴ると、バー表示が左から右へ1つずつ2秒間ですべて消灯します。

5 **受話器を置く。**

- 録音が終わると「ピー」と鳴り、電話番号が点灯し、録音した呼び出し音声が聞こえます。録音内容を確認してください。

受話器を置いて下さい

録音した呼び出し音声を確認するには

手順1〜2を行います。手順3の後で録音した呼び出し音声が再生されます。そのまま（ストップ）を押します。

録音をやり直すには

手順1〜5をもう一度行ってください。呼び出し音声は新しく録音されたものに変更されます。

録音した呼び出し音声を消去するには

1 **手順1の後で録音した呼び出し音声を再生中に（保留/消去）を押す。**

消去しますか？
する／しない

2 **もう一度（保留/消去）を押す。**

- 消去を中止するには、［しない］を点滅させ（登録/決定）を押します。

音声呼び出し機能を解除する（親機）

音声呼び出し（誰からコール・ご指名コール・録音した呼び出し音声）を、切っておくことができます。

操作は親機で行いますが、親機、子機とも解除されます。

（名のってる）を押して表示窓の［名のってる］表示を消灯させる。

12月15日（土）
PM 10：36
用件：20
メモリ

音声呼び出し機能を再び設定するには

（名のってる）を押して表示窓の［名のってる］表示を点灯させる。

12月15日（土）
PM 10：36
用件：20
名のってる　メモリ

ちょっと一言
- 来客時などに、お使いください。

応答メッセージ切り換え

留守番電話の応答メッセージが自作メッセージになっているときに、親機の電話帳に登録されていない相手にだけ、固定メッセージを流すことができます。応答メッセージの録音方法は127ページ、応答メッセージの選択方法は128ページを参照してください。お買い上げ時は、応答メッセージ選択は［しない］になっています。

ご注意

- この機能は、親機の電話帳にのみ対応しています。

親機で操作します。

1 **受話器を置いたままで、**（登録/決定）**を押す。**

- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［7:ナンバーディスプレイ］を点滅させ、**（登録/決定）**を押す。**

登録メイン
7: ナンバーディスプレイ
8: ハンドスキャナ
9: 印刷メニュー

3 **ローラージョグを回して［4:応答メッセージ選択］を点滅させ、**（登録/決定）**を押す。**

ナンバーディスプレイ
4: 応答メッセージ選択
5: キャッチホン
6: おことわりリスト

4 （<）**を押して［する］を点滅させ、**（登録/決定）**を押す。**

応答メッセージ選択
設定しますか？
する／しない

5 （ストップ）**を押す。**

電話帳機能とナンバー・ディスプレイをあわせて使う

キャッチホンを受ける（キャッチボタン）

キャッチボタンは、NTTの通話中着信サービス「キャッチホン」を利用するためのボタンです。
「キャッチホン」を利用するためには、NTTとの契約が必要です。お近くのNTT支店、営業所または局番なしの116番にお申し込みください。

1 キャッチホンの呼び出し音がしたら、(キャッチ/再生)を押す。
あとからかかってきた電話に出られます。

2 もとの通話に戻るには、もう1度(キャッチ/再生)を押す。

ご注意
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。
- キャッチホンが入っていないときに(キャッチ/再生)を押すと電話が切れてしまいます。

ちょっと一言
- キャッチホン・ディスプレイを利用している場合は、ディスプレイに相手の電話番号が表示されます（☞106ページ）。

キャッチホンで入った相手がファクスだったとき

いったん最初の相手に切り換え、電話を切ってもらってください。その後、あとから入ったファクスに切り換え、手動受信の操作をしてください。
ただし、手動受信するタイミングによっては、ファクスを受信できないことがあります。

ダイヤルインサービスを利用する

ダイヤルインサービスを利用すると、1本の電話回線で、2つ以上の電話番号を使えます。

利用申し込みにあたって

ダイヤルインサービスを利用するには、NTTとの契約（有料）が必要です。

ご注意
- 本機でダイヤルインサービスを契約すると、次のサービスが利用できなくなります。
  ーキャッチホン　ー転送でんわ　ートーキー案内
  ートリオホン　ー電話会議　ーボイスワープ
- いままで使っていた電話番号が変わることがあります。また、一部の地域ではダイヤルインサービスが利用できないことがあります。詳しくは、NTTの窓口などにお問い合わせください。
- 電話番号が複数になっても電話回線は1本のままです。同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。
- ダイヤルインサービスが始まっていないときにダイヤルインの登録操作をすると電話が使えなくなることがあります。

ナンバー・ディスプレイを同時に利用するとき

モデムダイヤルインサービスを契約してください。
また、ナンバー・ディスプレイの設定を[する]（お買い上げ時）のままにしてください（☞100ページ）。

通常のダイヤルインサービスは、ナンバー・ディスプレイと同時に利用できません。ナンバー・ディスプレイの設定を[しない]にしてください。

ISDN回線を利用している

ターミナルアダプターの機種または設定によっては、本機のダイヤルインの登録が使えない場合があります。このときは、ダイヤルインの設定を[しない]にしてください（☞115ページ）。

契約のしかた

契約の際、次の内容をNTTに連絡してください。

- 電話番号（送出番号）は「下4桁」
  「下4桁」を指定しないと、現在使用している電話番号が変わることがあります。
- ダイヤルインサービスの利用開始日時を確認

窓口：116（無料）
　　受付時間：9：00〜17：00

ダイヤルインの動作

電話番号（契約者回線番号）とダイヤルイン追加番号を使い分け、電話用とファクス用の番号として利用できます。

- 電話用の番号に電話がかかってくると、ベルが鳴り、ファクス／電話自動切り換えが働きます。自動切り換えにしたくないときは、電話専用モードに設定してください（☞52ページ）。
- ファクス用の番号にファクスが送られてくると、ベルは鳴らず、自動でファクスを受信します。

電話用の番号にファクスが送られたとき

電話用の番号にファクスが送られてくると、ベルが鳴ります。電話に出ると「ポー、ポー、ポー…」という音が聞こえたり、または無音になっていますので、ファクスの手動受信の操作をしてください（☞53ページ）。

ファクス用の番号に電話がかかってきたとき

ファクス用の番号に電話がかかってくると、ベルは鳴らず、電話に出ることもできません。

留守設定をしているとき

- 電話用の番号にかかってくると、留守番電話の動作をします。用件の録音もファクスの自動受信も行えます。
- ファクス用の番号にかかってきたときは、ファクスの受信だけできます。用件の録音はできません。

ダイヤルインの登録

ダイヤルインサービスが開始されたことを確認した後、ファクス用の電話番号と電話用の電話番号の登録をします。

- サービス開始前に登録を行って［ダイヤルイン］を［する］にした場合、電話がつながらなくなります。

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定) を押す。**
- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［5:登録メニュー］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
登録メイン
4: 設定メニュー
5: 登録メニュー
6: 留守電機能
```

3 **ローラージョグを回して［3:ダイヤルイン］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
登録メニュー
1: 自分の電話番号
2: 発信元
3: ダイヤルイン
```

4 **(<) を押して［する］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
ダイヤルイン
設定しますか？
　　する／しない
```

5 **ダイヤルボタンでファクス番号の下4桁を入力し、(登録/決定) を押す。**

```
ファクス番号
[▌   ]
```

6 **ダイヤルボタンで電話番号の下4桁を入力し、(登録/決定) を押す。**

```
電話番号
[▌   ]
```

7 **(ストップ) を押す。**

ご注意
- 電話番号を変更したいときは、同じ手順で登録しなおしてください。

通話を録音する

通話中の会話を録音する

親機で通話中に、会話を録音することができます。注文受け付けやインタビューなど、通話中にちょっとメモをとりたいときなどにご利用ください。

- 録音できる時間は最大15分です。通話録音するメモリと、留守番電話の自分で録音した応答メッセージや用件、受信した文書を記録するメモリは同じものです。そのため、メモリ内に用件や受信文書が残っていると録音できる時間が少なくなります。また、留守番電話の用件と合わせて合計が15分、最大30件録音できます。
- 通話録音1件は留守番電話の用件1件分としてカウントされます。
- 最大録音時間は条件によって異なります。

ご注意
- 本機の不具合により、録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- スピーカーホン通話は録音できません。

1 通話中に（留守）を押す。
- 「ピー」という音がして、録音を開始します。相手にも「ピー」という音が流れます。

2 録音を終了するときは（ストップ）を押す。

通話録音した内容を聞く

通話録音した内容は、留守番電話の用件の場合と同じ操作で再生したり、消去したりできます（☞125、126ページ）。
- 留守番電話の用件が録音されていれば、録音された順に用件や通話録音内容が再生されます。
- 通話録音した内容だけを再生する操作はありません。

プッシュホンサービスを利用する（トーンボタン）

ダイヤル回線（☞31ページ）でも、預金残高照会や航空券の予約などのプッシュホンサービスをご利用になれます。
プッシュ回線の場合はこの操作は必要ありません。

1 電話をかける。

2 （＊）（トーン）を押す。
- 以後は、ダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号が送出されます。

3 相手の指示に従ってダイヤルボタンを押す。

4 用件が済んだら、電話を切る。
- 電話を切ると自動的にダイヤル信号に戻ります。

ご注意
（＊）（トーン）を使っても、サービスを受けられない場合もあります。詳しくは各サービス機関にお問い合わせください。

クイック通話の設定を変える

子機は (通話) を押さなくても充電台から子機を持ち上げるだけで通話ができるようになっています([クイック通話]を[する])。クイック通話の設定を解除することもできます。

子機で操作します。

1 **通話を切った状態で、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**
- ［登録メニュー］が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して［3.クイック通話］を表示させ、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**

登録ﾒﾆｭｰ
2. ベル音量
3. ｸｲｯｸ通話

3 **ジョグダイヤルを回して［0.しない］を点滅させ、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**

ｸｲｯｸ通話
0. しない
1. する

- クイック通話機能に戻すには、［1.する］を点滅させ、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押します。
- 確認のために、「ピー」と鳴ります。

指定した子機を先に鳴らす（優先着信）

子機のベルを親機よりも先に約5回鳴らすことができます(優先着信)。友達からの電話を家族よりも先に取りたいときなどに便利です。子機が2台以上ある場合は、いずれかひとつの子機で設定できます。
優先着信は、設定してから1〜9時間(指定した時間)後に自動的に解除されます。

ご注意

優先着信にしているときは、トールセーバー機能（☞129ページ）は使えません。

先に鳴らしたい子機で操作します。

1 **通話を切った状態で、(優先) を押す。**

2 **(1) 〜 (9) で優先着信が自動的に解除される時間（1桁）を押す。**

優先着信
時間：1 〜 9
解除：0

優先着信
今から1時間
設定しました

- 確認のために、「ピー」と鳴ります。
- 電話がかかってくると、その子機のベルが他より先に鳴ります。

子機が2台以上ある場合

優先着信を設定した子機で優先着信中(ベル4〜5回)に電話に出ると、他の子機には着信記録は残りません。(親機には残ります。)

ご注意

- 外線／内線通話中、親機操作中や、留守応答中のときは設定できません。
- 他の子機が優先着信になっているときは設定できません。このとき、［C52　他の子機で予約済み］と表示されます。
- すでに優先着信に設定されている子機でこの操作を操作すると、設定内容が更新されます。
- 子機のベル音量を「切」にしていると、ベルは鳴りません。
- おやすみ設定（☞120ページ）中は、優先着信は設定できません。

ちょっと一言

- 留守番状態にしているときは、親機のベルが鳴り始めてから設定されているベルの回数（☞54ページ）のあとで応答メッセージが流れます。
- 電話をかけてきた相手に聞こえるベルの回数は、子機または親機で鳴る回数（☞54ページ）より1〜2回多くなります。

優先着信をやめるには

優先着信は、設定した時間後に自動的に解除されますが、その前に解除するには以下の操作をしてください。

優先着信が設定されている子機で操作します。

1 **通話を切った状態で、(優先) を押す。**

2 **(0) を押す。**

- 確認のために、「ピー」と鳴ります。
- 優先着信が解除されます。

優先着信 時間：1 ～ 9 解除：0

優先着信 解除しました

着信音を変える

着信ベルの音色を変えることができます。
ベルのかわりにメロディを流すこともできます。
親機と子機のベル音はそれぞれ設定することができます。
77セレクティサービスをご利用の場合は、メロディを取り込んで鳴らすこともできます。

親機の場合

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定) を押す。**

- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［3:受信設定］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

登録メイン 1: 電話帳登録 2: リスト印刷 3: 受信設定

3 **ローラージョグを回して［2:着信音設定］を点滅させ (登録/決定) を押す。**

受信設定 1: 着信設定 2: 着信音設定 3: ﾌｧｸｽかんたん受信

4 **ローラージョグを回して［1:全ての着信］または［2:電話帳一致］を点滅させ (登録/決定) を押す。**

着信音設定 1: 全ての着信 2: 電話帳一致

- ナンバー・ディスプレイ契約をしないで［電話帳一致］を選ぶと、［通常ベル音］になります。電話帳一致については、108ページをご覧ください。
- ナンバー・ディスプレイをお使いのかたは、［電話帳一致］を選ぶと、電話帳に一致した相手のみ着信音をメロディに変えることができます。

5 **ローラージョグを回して［1:通常ベル音］または［2:固定メロディ］または［3:えらんでメロディ］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

全ての着信 1: 通常ベル音 2: 固定メロディ 3: えらんでメロディ

- えらんでメロディについては137ページをご覧ください。

便利な使いかた

6 [2:固定メロディ] を選択した場合は、曲を選択する。

固定メロディ
1: アイネ クライネ ナハト ムジーク
2: 春
3: トルコ行進曲

- 曲名を点滅させ (キャッチ/再生) を押すと、その曲が5秒間再生されるので、確認することができます。

7 (ストップ) を押す。

子機の場合

1 通話を切った状態でジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。
- ［登録メニュー］が表示されます。

2 ジョグダイヤルを回して［4.着信音設定］を点滅させ、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。

登録メニュー
3. クイック通話
4. 着信音設定

3 ジョグダイヤルを回して［1.全ての着信］または［2.電話帳一致］を点滅させ、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。

着信音設定
1. 全ての着信
2. 電話帳一致

- ナンバー・ディスプレイ契約をしないで［電話帳一致］を選ぶと、［通常ベル音］になります。電話帳一致については、108ページをご覧ください。
- ナンバー・ディスプレイをお使いのかたは、［電話帳一致］を選ぶと、電話帳に一致した相手のみ着信音をメロディに変えることができます。

4 ジョグダイヤルを回して［1.通常ベル音］または［2.固定メロディ］または［3.エランデメロディ］を点滅させ、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。

全ての着信
1. 通常ベル音
2. 固定メロディ

- えらんでメロディについては137ページを参照してください。

5 ［1:固定メロディ］を選択した場合は、曲を選択し、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。

固定メロディ
2. 春
3. トルコ行進曲

- 確認のために、「ピー」と鳴ります。
- 曲名を点滅させ、(キャッチ/再生) を押すと、着信音を確認することができます。

保留メロディを変える

電話を保留したときに相手に流すメロディ音を選ぶことができます。
保留メロディは「聖者の行進」と「茶色の小瓶」の2種類です。
お買い上げのときには「聖者の行進」が設定されています。
保留メロディーは親機・子機共通です。

親機で操作します。

1 受話器を置いたままで、(登録/決定) を押す。
- ［登録メイン］が表示されます。

2 ローラージョグを回して［4:設定メニュー］を点滅させ、(登録/決定) を押す。

登録メイン
4: 設定メニュー
5: 登録メニュー
6: 留守電機能

3 ローラージョグを回して［4:保留メロディ］を点滅させ、(登録/決定) を押す。

設定メニュー
4: 保留メロディ
5: 回線種別
6: ドアホン接続

4 ローラージョグを回して、保留メロディを選択し、(登録/決定) を押す。

保留メロディ
1: 聖者の行進
2: 茶色の小瓶

5 (ストップ) を押す。

設定した保留メロディを確認するとき

保留メロディの確認は (スピーカーホン) を押す。または、受話器を取ってから、(保留/消去) を押します。

ベル音量を調節する

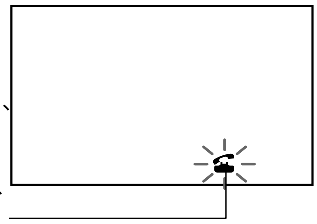
親機の場合

1 **受話器を置いたままで、(+)（大）または (−)（小）（ベル／受話／スピーカー音量）ボタンを押す。**

- 小⇔大の6段階で切り換わり、設定した音量でベルが鳴ります。
- ベル音を (切) にするには、音量が最小の状態で、ベル／受話／スピーカー音量ボタンの (−)（小）を押します。

ちょっと一言

- お買い上げ時は、［■■□□□□］になっています。
- ベル音量が「切」になっていると、内線通話時もベル音は鳴りません。
- 「切」ではベルが鳴りませんが、この表示が点滅して、電話がかかってきたことが分かります。

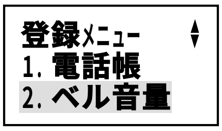


子機の場合

1 **通話を切った状態でジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**

- ［登録メニュー］が表示されます。

2 **［2.ベル音量］を点滅させ、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**



3 **ジョグダイヤルを回して［0.音［切］］［1.音量小］［2.音量大］のいずれかを点滅させ、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**



- 確認のために、「ピー」と鳴ります。

ちょっと一言

- 「切」ではベルが鳴りませんが、着信／充電ランプなどの点滅で、電話がかかってきたことが分かります。
- お買い上げ時は、「大」になっています。
- 内線通話のベル音量は「切」になっていても「小」で鳴ります。

着信音や応答を聞こえなくする（おやすみ設定）

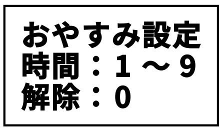
電話やファクスのベルを鳴らしたくないときや、ファクスの動作音が気になるときは、おやすみ設定にしてください。電話がかかってきたときの、着信音と応答メッセージが1〜9時間（指定した時間）だけ聞こえなくなります。また、ファクスを受信すると印刷されずにメモリ代行受信になります。（ファクス受信中の表示は出ません）メモリされた受信文書は、おやすみ設定を解除したときに印刷されます。
おやすみ動作中はベルが親機・子機とも鳴りませんが、親機では ☎ 表示が子機では (通話) ランプが点滅して、電話がかかっていることを知らせます。

おやすみ設定の設定／解除

お買い上げ時はおやすみ設定は解除されています。

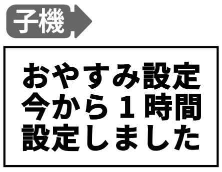
子機で操作します。

1 **通話を切った状態で、(おやすみ) を押す。**



2 **(1) 〜 (9) でおやすみ応答が自動的に解除される時間（1桁）を押す。**

確認のために「ピー」と鳴り、親機に ☽ が点灯します。





ご注意

- 外線／内線通話中、親機操作中や、留守応答中のときは設定できません。
- すでにおやすみ設定を設定したあと、再びこの操作をすると、設定内容が更新されます。
- 優先着信（☞117ページ）設定中は、おやすみ設定にできません。

便利な使いかた

おやすみ設定をやめるには

おやすみ設定は、設定した時間後に自動的に解除されますが、その前に解除するには以下の操作を行ってください。

どの子機からも操作できます。

1 **通話を切った状態で、(おやすみ) を押す。**

おやすみ設定
時間：1～9
解除：0

2 **(0) を押す。**
確認のために「ピー」と鳴り、親機の が消灯します。

子機

おやすみ設定
解除しました

親機

12月15日（土）
PM 10：36
用件：20

表示窓のコントラストを調整する

周囲の明るさやお好みによって、表示窓のコントラストを調整することができます。

親機の場合

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定) を押す。**
- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［4:設定メニュー］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

登録メイン
4:設定メニュー
5:登録メニュー
6:留守電機能

3 **ローラージョグを回して［8:コントラスト調整］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

設定メニュー
7:不達レポート
8:コントラスト調整

4 **(<) または (>) を押してコントラストを調整し、(登録/決定) を押す。**

コントラスト調整
[■■□□□□]
<>で選択

- (>) を押すとコントラストが強くなり、(<) を押すと弱くなります。

5 **(ストップ) を押す。**

子機の場合

1 **通話を切った状態でジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**
- ［登録メニュー］が表示されます。

2 **ジョグダイヤルを回して［5.コントラスト調整］を点滅させ、ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**

登録メニュー ▲
4.着信音設定
5.コントラスト調整

3 **ジョグダイヤルを回して表示窓のコントラストを調整する。**

コントラスト調整
△
▼

ジョグダイヤルを下に回すとコントラストが強くなり、上に回すと弱くなります。

4 **ジョグダイヤル（子機間通話／登録）を押す。**
確認のために、「ピー」と鳴ります。

ドアホンの呼び出しに答える

別売りのドアホンターミナルTL-DT1を使って、別売りのドアホンTL-D1を2台までつなぐことができます。
ドアホンのつなぎかたについては「ドアホンをつなぐ」（151ページ）をご覧ください。
ドアホンの呼び出しベル音は2種類あります。ドアホンを2台つないでも、どちらのドアホンから呼び出しを受けたかがベル音でわかります。
ドアホンの呼び出しベル音は、ベル音量が「切」になっていても「小」で鳴ります。

ドアホン1：

親機 「ピーンポーン・・・・、ピーンポーン・・・・」

子機 「ピロピロピロピロ・・・・、・・・・ピロピロピロピロ」

ドアホン2：

親機 「ピンポンピンポン・・・ピンポンピンポン・・・・」

子機 「ピロピロ・・・・　ピロピロ・・・・、・・・・ピロピロピロ、・・・・ピロピロ」

呼び出しベルが鳴ると、親機の表示窓には下記の表示が20秒間出ます。

ドアホン1：

親機

12月31日（土）
PM　10:30
Eﾒｰﾙ:20 用件：　2
ドアホン1着信中

子機

ドアホン1
から呼出し

ドアホン2：

親機

12月31日（土）
PM　10:30
Eﾒｰﾙ:20 用件：　2
ドアホン2着信中

子機

ドアホン2
から呼出し

親機 ドアホンが鳴ったら受話器を取る。
子機 ドアホンが鳴ったら充電台から取る。
充電台にのせていないときはドアホンが鳴ったら（通話）を押します。

ドアホン通話が終わったら

親機 受話器を戻します。
子機 充電台に戻すか、（切）を押します。

外線通話中にドアホンの呼び出しがあると

外線通話中は、ドアホン通話はできません。通話を切ってからドアホンに出てください。

親機で通話中の場合

親機 ドアホンのベルが鳴ります。通話を切って、いったん受話器を戻してから受話器を取ります。
子機 ドアホンの呼び出し音は聞こえません。

子機で通話中の場合

親機 ドアホンのベルが鳴ります。子機で通話を切ってから受話器を取ります。
子機 通話中の子機でドアホンの呼び出し音が聞えます。通話を切ってから、（通話）を押します。

ドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話を切ってから外線電話に出てください。

ご注意

- 子機から聞こえる呼び出し音は親機で設定された音が聞こえます。
- ドアホン通話中に電話がかかってきた場合は、ナンバー・ディスプレイの表示は、親機では［C74　受信エラー］子機では［C73］または［C74］を表示します。

親機で通話中の場合

親機 外線電話のベルが鳴ります。通話を切って、いったん受話器を戻してから受話器を取ります。
子機 外線電話の呼び出し音は聞こえません。

子機で通話中の場合

親機 外線電話のベルが鳴ります。
子機 通話中の子機で外線電話の呼び出し音が聞えます。通話を切ってから（通話）を押します。

内線通話中にドアホンの呼び出しがあると

通話中はドアホン通話はできません。内線通話を切ってからドアホンに出てください。

親機 ドアホンのベルが鳴ります。いったん受話器を戻して通話を切ってから受話器を取ります。

子機 通話中の子機でドアホンの呼び出し音が聞えます。通話を切ってから（通話）を押します。

ドアホン通話中に他のドアホンの呼び出しがあると（ドアホンが2台ある場合）

ドアホン通話中は他のドアホン通話はできません。最初のドアホン通話を切ってから他のドアホンに出てください。

親機で通話中の場合

親機 ドアホンのベルが鳴ります。いったん受話器を戻して通話を切ってから受話器を取ります。
子機 ドアホンの呼び出し音は聞こえません。

子機で通話中の場合

親機 ドアホンのベルが鳴ります。子機で通話を切ってから受話器を取ります。
子機 通話中の子機でドアホンの呼び出し音が聞こえます。通話を切ってから（通話）を押します。

ご注意

- 電話機の操作中や動作中（電話がかかっているとき、留守番応答中など）はドアホンのベルが鳴らない場合もあります。
- ドアホン通話中に外線電話がかかってきた場合は、電話機の機能（留守録音・おことわり・優先着信など）が働かない場合があります。

コードレス通信ユニットをつなぐ（デジタルチューナーリンク）

本機には、「デジタルチューナーリンク」という機能が搭載されています。
別売りのSPP-TU1およびソニー製CSデジタルチューナー、BSデジタルチューナー、デジタルテレビ（デジタルベガシリーズ）との組み合わせで、PPV*番組の課金情報をワイヤレスでやり取りすることができます。
この機能により、面倒な電話線コードの延長や、配線工事などが必要なくなります。
*PPV（ペイ・パー・ビュー）：ご覧になった番組の分だけ視聴料を支払うシステム

接続、操作については、デジタルチューナーユニットSPP-TU1の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

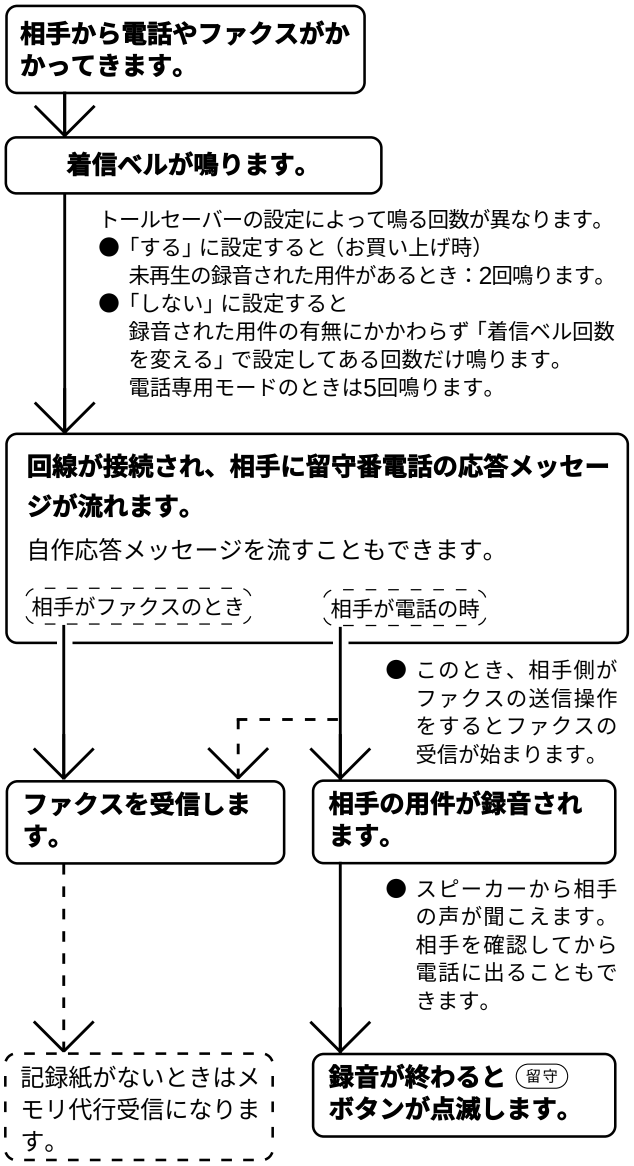
- デジタルチューナーリンクのご使用中は本機を使用できません。

便利な使いかた

留守番電話の基本の使いかた

留守番電話に設定すると、電話に出られないときなどに相手の用件を録音することができます。
相手がファクスのときは、自動的に受信します。
必ず、日付・時刻は合わせておいてください（☞28ページ）。

留守設定にすると



外出前に

(留守)を押して点灯させる。

留守中に電話がかかると

かかってきた電話に誰も出ないと、留守番電話の応答メッセージが流れ、相手の話した用件を録音します。

用件の録音時間は

合計約15分（30件）まで録音できます。（1件の最大録音時間は3分です。） 用件がいっぱいになると、それ以上は録音できません。ファクスのメモリ受信やα-Eメール送信・受信をした場合は、用件を録音できる時間が短くなります。

あらかじめ登録されている留守番電話の応答メッセージの種類

- **通常**
  「ただいま留守にしております。電話のかたは、ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話しください。ファクシミリのかたは、そのまま送信してください」

  通常の応答メッセージだけは、自作応答メッセージに変えることができます。（☞128ページ）

以下の応答メッセージは固定応答メッセージのため、変更・消去はできません。

- **用件は録音できないが、ファクスは受信できるとき（用件がいっぱいのとき）**
  「ただいま留守にしております。ファクシミリのかたは、そのまま送信してください。電話のかたは、恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」

  ご注意
  - 帰宅してから不要な用件を消去するか（☞126ページ）、外出先からリモコン操作で用件を聞いたあと、消去してください。

- **用件は録音できるが、ファクスは受信できないとき**
  「ただいま留守にしております。電話のかたは、ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話しください。ファクシミリのかたは、恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」

- **用件の録音も、ファクスの受信もできないとき（メモリがいっぱいのとき）**
  「ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」

自分で応答メッセージを録音するには

127ページをご覧ください。

相手を確かめてから電話に出るには

応答メッセージと相手の声は親機のスピーカーから聞こえます。この間に親機または子機で電話に出られます。電話に出ると録音は止まります。

電話がかかってきたときに留守番電話にする（後追い留守機能）

着信ベルが鳴っているときに （留守） を押す。
（留守） ランプが点灯し、すぐに電話をつないで応答メッセージを流します。続けて、相手の用件を録音します。

ご注意
- 着信中に （留守） を押すと、ベル音はなりません。
- （留守） を押したときに［用件がいっぱいです］と表示されたときは、メモリが満杯です。
- 不要な用件を消去（☞126ページ）してから、もう一度 （留守） を押してください。
- 相手が約6秒以上黙っていると、ファクスの受信モードに切り換わり、用件の録音はできなくなります。

帰宅してから

親機での操作

新しい用件があるか確かめる

（留守） 点滅：新しい用件あり
（留守） 点灯：新しい用件なし

留守番状態のまま用件を再生するには
（キャッチ/再生） を押す。
「用件はＸＸ件です」
↓
用件の再生が始まりまる。1件終わるごとに、
「Ｘ月Ｘ日 午前（午後） ＸＸ時ＸＸ分」（タイムスタンプ機能）
↓
すべての用件を再生し終わると、再生を停止します。
「用件は以上です」
↓
（留守） のランプが点灯に変わります。

留守番状態を解除して用件を聞くには
（留守） を押す。
（留守） のランプは消え、
「用件は ＸＸ 件です」
↓
用件の再生が始まる。1件終わるごとに、
「Ｘ月Ｘ日 午前（午後） ＸＸ時ＸＸ分」（タイムスタンプ機能）
↓
すべての用件を再生し終わると、再生を停止します。
「用件は以上です」

• 用件がないときに （留守） または （キャッチ/再生） を押すと
「用件はありません」と聞こえます。

• 用件の再生を途中でやめるには
（ストップ） を押します。

• 用件をもう一度聞くには
（キャッチ/再生） を押すと1件目からもう一度聞くことができます。

• 用件を消すには
（保留/消去） を押します。（詳しくは126ページをご覧ください。）

• 今聞いている用件をもう一度聞くには（リピート）
（1）（I◀◀）を押します。
2回続けてボタンを押したときは1つ前の用件に戻ります。

• 次の用件を聞くには（スキップ）
（3）（▶▶I）を押します。
次の用件を最初から再生します。

• 用件再生の音量は
（＋）（大）または （－）（小）で調節します。

• 用件を高速再生するには
用件再生中に （キャッチ/再生） を押します。また、高速再生中にもう一度 （キャッチ/再生） を押すと通常の再生速度に戻ります。
用件の再生中に電話がかかってくると、再生は止まります。

子機での操作

用件を再生するには

(キャッチ/再生) を押して、用件を再生します。

子機で用件を再生し終わっても (留守) は点滅のままです。充電台上にあるときは、背面のスピーカーから用件が聞こえます。
充電台上にないときは、受話口から用件が聞こえます。

• 用件がないときに(キャッチ/再生) を押すと

「用件はありません」と聞こえます。

用件の再生を途中でやめるには

(切) を押します。

• 用件をもう一度聞くには

(キャッチ/再生) を押すと1件目からもう一度聞くことができます。

• 今聞いている用件をもう一度聞くには（リピート）

(1)（|◀◀）を押します。
2回続けてボタンを押したときは1つ前の用件に戻ります。

• 次の用件を聞くには（スキップ）

(3)（▶▶|）を押します。
次の用件を最初から再生します。

• 用件再生の音量は

充電台にあるとき：(スピーカーホン音量) で調節します。
充電台にないとき：(通話) で調節します。

• 用件を高速再生するには

用件再生中に (キャッチ/再生) を押すと高速再生になります。
また、高速再生中にもう一度 (キャッチ/再生) を押すと通常の再生速度に戻ります。

用件を消す

録音した用件は、以下の操作またはリモコン操作（☞128ページ）で消去するまで残っています。用件がいっぱいになってしまうと（約15分）新しい用件を録音できなくなるので、不要な用件は消してください。
一度にすべての用件を消すことも、不要な用件だけを消すこともできます。

親機で操作します。

すべての用件を一度に消す

1 すべての用件を再生する（☞125ページ）。
「用件は以上です」

2 受話器を置いたままで、(保留/消去) を押す。

ご注意
• 用件をすべて再生していないときは、「未再生用件があります」と表示されます。

3 もう一度 (保留/消去) を押す。

用件を1件ずつ再生しながら消す

1 消したい用件を再生する。（☞125ページ）

再生中　2/ 3

2 再生している間に、(保留/消去) を押す。

2／3件目を 設定しますか？ する／しない

3 もう一度 (保留/消去) を押す。
次の用件の再生が始まります。

ちょっと一言
• 再生を止めるには、(ストップ) を押します。

留守番電話の使いかた

自分で応答メッセージを録音する

あらかじめ録音されている応答メッセージ（124ページ）を使いたくないときは、自分で応答メッセージを録音できます。

- 2種類の自作応答メッセージを録音できます。録音時間は、それぞれ、最大20秒までです。
- ナンバー・ディスプレイをご利用のとき、親機の電話帳に登録されている相手には自作応答メッセージ、登録されていない相手には固定応答メッセージを流すことができます（☞113ページ）。
- 自作応答メッセージといっしょに音楽を録音することはおすすめできません。
- 録音しようとして、エラー音が聞こえ、［メモリがいっぱいです　C42　メモリ満杯］と表示されたときは、用件がいっぱいに録音されていて、メモリーが満杯です。不要な用件を消去してください（☞126ページ）。

親機で操作します。

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定) を押す。**

2 **ローラージョグを回して［6: 留守電機能］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

登録メイン
4: 設定メニュー
5: 登録メニュー
6: 留守電機能

3 **もう一度(登録/決定) を押す。**

留守電機能
1: 応答メッセージ録音
2: 応答メッセージ消去
3: トールセーバー

4 **ローラージョグを回して［1:録音メッセージ1］または［2:録音メッセージ2］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

応答メッセージ録音
1: 録音メッセージ 1
2: 録音メッセージ 2

受話器を上げて下さい

5 **受話器を取って、(スタート) を押す。**

6 **受話器に向かって応答メッセージを話す。**

録音開始
ｽﾀｰﾄを押して下さい

録音中　　　　20秒
終了はストップボタン

- 応答メッセージは、聞き取りやすいように、ゆっくり、はっきりと話してください。

7 **(ストップ) を押して、受話器を戻す。**
- 録音した応答メッセージが再生されます。

録音終了
受話器を置いて下さい

ちょっと一言
自分で応答メッセージを録音すると、留守番電話の応答はそのメッセージに変わります。あらかじめ録音されている応答メッセージに戻すには128ページをご覧ください。

録音した応答メッセージを聞くには

(留守) を押して、留守番状態に設定します。

録音した応答メッセージを消去するには

1 **(登録/決定) を押す。**

2 **ローラージョグを回して［6:留守電機能］を点滅させ (登録/決定) を押す。**

登録メイン
4: 設定メニュー
5: 登録メニュー
6: 留守電機能

3 **ローラージョグを回して［2:応答メッセージ消去］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

留守電機能
1: 応答メッセージ録音
2: 応答メッセージ消去
3: トールセーバー

4 **ローラージョグを回して削除したい応答メッセージを点滅させ、(登録/決定) を押す。**

応答メッセージ消去
1: 録音メッセージ 1
2: 録音メッセージ 2

5 **もう一度 (登録/決定) を押す。**

消去しますか？
する／しない

応答メッセージを切り換える

録音した自作応答メッセージ（メッセージ1、メッセージ2）と固定応答メッセージを切り換えることができます。

1 （留守）を押す。

留守番状態にします。すでに留守番状態になっていたときは、いったん解除してから、留守番状態にしてください。

2 応答メッセージが流れている間にローラージョグを回す。

応答メッセージ選択
1: 固定メッセージ
2: 録音メッセージ 1
3: 録音メッセージ 2

3 ローラージョグを回して、使いたい応答メッセージを点滅させ、（登録/決定）を押す。

応答メッセージ選択
1: 固定メッセージ
2: 録音メッセージ 1
3: 録音メッセージ 2

外出先で用件を聞く（リモコン操作）

親機で操作します。

暗証番号を登録する

4桁の番号を入力してください。

1 受話器を置いたままで、（登録/決定）を押す。

［登録メイン］が表示されます。

2 ローラジョグを回して［6:留守電機能］を点滅させ、（登録/決定）を押す。

登録メイン
4: 設定メニュー
5: 登録メニュー
6: 留守電機能

3 ローラジョグを回して［4:リモコン操作］を点滅させ、（登録/決定）を押す。

留守電機能
4: リモコン操作
5: 用件転送

4 （<）を押して［する］を点滅させ（登録/決定）を押す。

リモコン操作
設定しますか？
する／しない

5 ダイヤルボタンで4桁の暗証番号を押し、（登録/決定）を押す。

暗証番号入力

［ 7777 ］

3桁以内の入力だった場合は登録できません。

6 （ストップ）を押す。

暗証番号を変えるには

上記の手順1～6を行う。

外出先で用件を聞く

プッシュ回線の電話（公衆電話など）またはトーンボタンなどでプッシュホン信号の出せるファクシミリから操作してください。

1 プッシュ回線の電話（公衆電話など）で本機に電話をかける。

2 **応答メッセージが流れている間に (#) 4桁の暗証番号 (#) を押す。**

- 「暗証番号が一致しました」が聞こえます。
  – 用件があるときは、「用件は ＸＸ 件です」が聞こえ、用件が再生されます。再生が終わると「用件は以上です」が聞こえます。
  – 用件がないときは、「用件はありません」が聞こえ、すぐに命令待ちになります。
- 暗証番号を間違えると、「暗証番号を入れ直してください」と聞こえます。
- ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、用件の最後に相手先の電話番号などを読みあげます。

3 **さらにリモコン操作をする場合は、132ページの表に従って操作する。**

リモコン操作をしない場合、電話を切る。

ご注意

- ダイヤル回線の場合、手順2の前にトーンボタンなどでプッシュホン信号に切り換えてから、(#) 暗証番号 (#) を押します。
- 暗証番号の入力操作はそれぞれ5秒以内に行ってください。（例えば (1) (2) (3) (4) ならば (#) を押して5秒以内に (1) を、(1) を押して5秒以内に (2) を押します。）
- 暗証番号を3回間違えると電話は切れます。
- 命令待ちの60秒の間に何も操作しないと電話は切れます。
- 親機の (留守) ボタンが点滅しているとき、外出先で用件を再生しても親機の (留守) ボタンは点滅したままです。

留守番電話にするのを忘れて外出したら

ご注意

- 電話専用モードのときはこの操作はできません。

1 **本機に電話をかけ、そのまま待つ。**

2 **「ファクシミリのかたは、そのまま送信してください。電話のかたは、恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」が聞こえたら、(#) 暗証番号 (#)を押す。**

「暗証番号が一致しました。留守設定をしました。」と聞こえ、本機は留守番状態になります。

外出先で用件の有無を確かめるには（トールセーバー機能）

お買い上げ時には、再生されていない用件があるときはベルが約2回、用件がないときはベルが約5回鳴るとつながるようになっています。
外出先から電話をして、ベルが3回鳴ってもつながらないときには用件は入っていませんので、この時点で電話を切れば電話料金がかかりません。
着信時のベル回数を一定にしたいかたは、トールセーバーを[しない]にしてください。

トールセーバーを切っておくには

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定) を押す。**

[登録メイン] が表示されます。

2 **ローラージョグを回して [6:留守電機能] を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
登録メイン
4: 設定メニュー
5: 登録メニュー
6: 留守電機能
```

3 **ローラージョグを回して [3:トールセーバー] を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

```
留守電機能
1: 応答メッセージ録音
2: 応答メッセージ消去
3: トールセーバー
```

4 **(＞) を押して [しない] を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

- トールセーバーを入に戻すときは、[する] を点滅させます。

```
トールセーバー
設定しますか？
  する／しない
```

5 **(ストップ) を押す。**

用件を外出先に転送する（用件転送）

留守中に録音された用件を外出先に転送することができます。
携帯電話、PHS、外出先の電話、ポケベルなどを転送先として登録できます。

ご注意

- NTTの転送でんわサービスとは異なります。かけてきた相手と直接話をする機能ではありません。
- 用件を転送する料金は本機側の負担となります。

操作の流れ

準備1：暗証番号を登録する（☞下記）
準備2：転送先の電話番号を登録する
（☞右記ページ）
⬇
外出先で：転送された用件を聞く（☞131ページ）

転送先として登録できるのは

- 携帯電話、PHS
- プッシュ回線の電話
- トーンボタンなどでプッシュホン信号の出せるファクシミリ
- ポケベル

ご注意

- 留守設定すると同時に転送設定されます。
- 「おやすみ応答」を設定中は用件転送されません。
- 相手が発信音の前に切った用件録音は転送されません。
- 発信音後1〜2秒程度の用件録音は転送されません。

準備1：暗証番号を登録する

128ページ「暗証番号を登録する」の手順を行う。
暗証番号はリモコン操作（☞128ページ）で共通に使います。

準備2：転送先の電話番号を登録する

親機で操作します。

1 **受話器を置いたままで、（登録/決定）を押す。**
［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラジョグを回して［6:留守電機能］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

登録メイン
4: 設定メニュー
5: 登録メニュー
6: 留守電機能

3 **ローラジョグを回して［5:用件転送］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

留守電機能
4: リモコン操作
5: 用件転送

4 **（<）を押して［する］を点滅させ（登録/決定）を押す。**
- かかってきた用件を転送しない場合は［しない］を点滅させ、（登録/決定）を押します。

用件転送
設定しますか？
する／しない

5 **ダイヤルボタンで転送先の電話番号を押し、（登録/決定）を押す。**

転送先番号入力
03XXXX1111

6 **ダイヤルボタンで転送回数を押し、（登録/決定）を押す。**
- 転送回数は1回〜10回で設定できます。
- 1桁の回数を入力するときは、頭に0をつけて登録します。

転送回数
01回

7 **（ストップ）を押す。**

外出先で：転送された用件を聞く

1 **外出先の電話またはポケベルが鳴ったら、以下の操作をする**

- 転送先が電話のとき：電話を取り「用件転送をします。暗証番号を入れてください」が聞こえたら、(#)4桁の暗証番号(#)を押す。
- 転送先がポケベルのとき：本機に電話をかけ、応答メッセージが聞こえている間に(#)4桁の暗証番号(#)を押す。
- メッセージが5回流れても暗証番号を入力しないと、自動的に電話が切れます。

用件が1件めから聞こえます。再生が終わると命令待ちの音「ピッ…ピッ…」が聞こえます。

2 **さらにリモコン操作をする場合は、**132ページ**の表に従って操作する。リモコン操作しないときは、電話を切る。**

ご注意

- ダイヤル回線の電話から操作する場合は、トーンボタンなどでプッシュホン信号に切り換えてから、(#)、暗証番号、(#)を押します。
- 暗証番号を3回間違えると電話は切れます。
- 外出先からリモコン操作で用件を聞いても、(留守) ボタンのランプは点滅のままです。

転送先が話中のときやだれも電話に出ないとき

5回までは1分間隔、以降は30分間隔で、設定した回数まで自動的にかけ直します。それでもつながらないときは、用件転送が止まります。
また、自動的にかけ直そうとしている間の待機中に別の用件が録音されたときは、最初に録音された用件に対する用件転送の回数分だけかけ直します。

外出先でできる操作

こんなときは	この操作をします
用件を聞く（再生）	(#)(2)(#)
今聞いている用件をとばして次の用件を聞く（スキップ）	再生中に：(#)(3)(#)
今聞いている用件をもう1度聞く（リピート）	再生中に：(#)(1)(#) 1回押すと再生中の用件を初めから再生します。続けて2回押すと、ひとつ前の用件を再生します。
用件を全部消す（消去）	すべての用件を再生した後に：(#)(4)(#)(#)(4)(#)（リモコン操作では特定の用件を消すことはできません。）＊1
「用件転送」に設定する	(#)(7)(#) 「用件転送を設定しました。転送先は××××××××です」＊2
「用件転送」を解除する	(#)(8)(#) 「用件転送を解除しました」
留守番状態を設定／解除する	(#)(0)(#) 押すたびに、設定←→解除と切り換わります。 留守番に設定されたときは「留守設定をしました」応答メッセージが再生されます。 解除されたときは、「留守設定を解除しました」と聞こえます。

＊1 用件を再生し「用件は以上です」というメッセージが流れたあと、「ピッピッピッ・・・」という音が6秒間聞こえます。この間に(#)(4)(#)(#)(4)(#)を押すと、「消去しました」というメッセージが流れ、再生済みの用件がすべて消去されます。操作コードを間違えた場合は、もう1度(#)(2)(#)で用件を再生してから、正しい操作コードを入れ直してください。

＊2 用件転送が登録されていない場合「用件転送は使用できません」と聞こえます（☞130ページ）。

リモコンカード

- 外出先からのリモコン操作にお使いください。
- ハンドスキャナで必要枚数のコピーをとって点線から切り取ってお使いください。
- 暗証番号を記入しておくと忘れたときなどに便利です。

SNF-5CL/5CLW/V6CLリモコン操作

暗証番号 # □□□□□ #

外出先から用件を聞くには

1 **自宅に電話をかける。**
2 **応答メッセージが聞こえている間に、(#)暗証番号(#)を押す。**
用件が1件目から聞こえます。

外出先から留守番電話に設定するには

1 **自宅に電話をかけ、そのまま待つ。**
2 **「ファクシミリのかたは、・・」と聞こえたら、(#)暗証番号(#)を押す。**
応答メッセージが流れ、自宅の電話は留守番状態になります。
- 電話専用モードのときは、この操作はできません。

他の操作をするには、裏面を見てください。

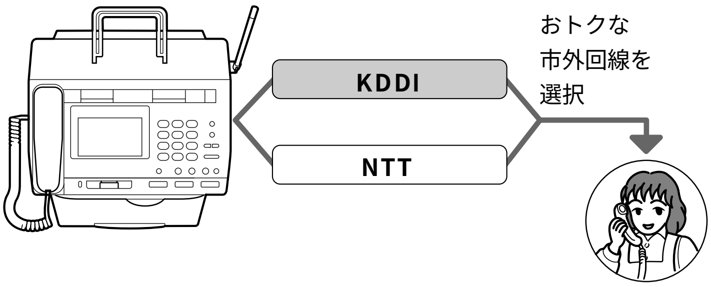
用件を聞く**（再生）** (#)(2)(#)
次の用件を聞く**（スキップ）** (#)(3)(#)
今聞いている用件をもう1度聞く**（リピート）** (#)(1)(#)
用件を全部消す**（消去）** (#)(4)(#)→(#)(4)(#)
「用件転送」設定 (#)(7)(#)
「用件転送」解除 (#)(8)(#)
留守設定･解除 (#)(0)(#)

0077 SELECTY 77セレクティとは？

「77セレクティ」は、親機をつなぐだけで、市外へ電話をかける場合、ダイヤルした相手先の電話番号と、曜日、時間帯により、KDDI*[1]の0077市外電話サービスとNTT*[2]回線のうち、通常通話料金*[3]のおトクな回線を本機が自動的に選択してくれる機能です。
電話をかけるとき、「0077」をダイヤルする必要がありません。
これまで通り市外局番からダイヤルするだけで、そのままKDDIの0077市外電話サービスがご利用いただけます*[4]。

- 親機をつなぐだけで、通常約1時間後にはそのままご利用いただけます。
- 登録料、定額料金等は一切不要です。（KDDIをご利用になった通話料金等は、KDDIから請求されます。）
- NTTと同額の場合は、KDDI（「0077」）を選択します。

*1 KDDI（株式会社ディーディーアイ）（2000年10月1日、DDI、KDD、IDOは合併しました。）
*2 NTTコミュニケーションズ、NTT東日本、NTT西日本をいいます。
NTT東日本、NTT西日本の各社は、お住まいの地域によってどちらか一方のご利用となります。
*3 割り引きサービス適用前の料金です。
*4 INS64等のダイヤルイン子番号に本機を設置された場合、KDDIとのご契約電話番号はダイヤルイン親番号となります。



77セレクティをご利用になると：

1 えらんでメロディ（えらんでメロディ）
ヒット曲のなかから、お好きな曲を着信メロディとして取り込むことができます（☞137ページ）。

2 αEメール（α-Eメール）
Eメールの送受信ができます（☞68ページ）。

77セレクティの問い合わせは、下記にご連絡ください。

KDDIカスタマサービスセンター
フリーコール 0077−772（無料）
受付時間 9：00〜21：00
（土、日・祝日も受付中）

他社の割り引きサービスをご利用されている場合

市外への通話がすべてKDDI通話となることにより、割り引きサービスが適用されなくなる場合がございますので、ご注意ください。ご不明な点がございましたら、KDDIカスタマサービスセンターまでお問い合わせください。

0077 SELECTY 77セレクティをご利用になるには

本機には77セレクティがついています。77セレクティは、親機をつなぐだけで、通常約1時間後、そのままご利用いただけます。登録料金などはかかりません。0077市外電話をご利用になった通話料金のみKDDIから請求されます。

- NTTの基本料金は通常通りNTTから請求されます。

ご注意

- 次の場合は，77セレクティを正しくご利用いただけない場合があります。KDDI カスタマサービスセンターへご連絡ください。
  - ホームテレホンや構内交換機、ピンク電話、共同電話、着信専用電話等に接続したとき。
  - 移転などにより電話番号に変更があったとき。
  - 時計の設定に誤りがあるとき。（時刻は正しく設定してください（☞28ページ）。）
- 本機からの発信時のみ77セレクティをご利用いただけます。本機以外からKDDIを利用して電話をおかけになりたい場合は、市外局番の前に「0077」をつけてダイヤルしてください。

親機を接続します。

77セレクティランプは赤色に点灯しています。

「このファクシミリは、取り付けていただくだけで、KDDIのおトクな0077市外電話を自動的に選択します。ご利用を希望されないお客様は次の操作を行ってください。(77セレクティ)、(#)、(77セレクティ)と押して、77セレクティランプが消灯したことを確認してください」と聞こえます。

↓（約1時間後）

本機が自動的にKDDIのセンターに電話をかけ、77セレクティのデータを受け取ります（通話料無料）。

↓ オンライン通信（☞136ページ）

77セレクティランプが緑色に点灯します。

↓

77セレクティがご利用になれます。

（KDDIから77セレクティご利用開始の電話によるアナウンス）があります。「こちらはKDDIです。おトクな0077市外電話の自動選択機能、77セレクティが設定されました。77セレクティランプが緑色に点灯していることをご確認ください」と聞こえます。

0077市外電話を利用する

相手先の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。（「0077」のアクセス番号のダイヤルの必要はありません。）

- NTTと同額の場合は、KDDI（「0077」）を選択します。
- 通話料金は、利用した電話会社からそれぞれ請求されます。

ご注意

- 77セレクティのご利用開始のご案内は翌日になる場合があります。
- 話し中などにより、KDDIからのご利用開始の電話によるアナウンスをお聞きにならなかった場合でも、77セレクティランプが緑色に点灯していれば、77セレクティが作動します。

ちょっと一言

001*1国際電話を利用する

「001」をダイヤルしてください。
次に、国番号、地域番号、電話番号の順にダイヤルします。
例：アメリカのニューヨークの123-4567へかける場合
001 → 1*2 → 212*3 → 123-4567*4
*1 KDDIの国際アクセス番号
*2 アメリカの国番号
*3 ニューヨークの地域番号
*4 通話相手先の電話番号

0077 SELECTY 77セレクティをご利用にならない場合は／再びご利用になる場合は

0077市外電話をご利用にならない場合、または、ホームテレホンや構内交換機、ピンク電話、共同電話などのご利用のため、77セレクティをご利用になれない場合、次の操作を行ってください。

77セレクティをご利用にならない場合は

受話器を置いたままで、(77セレクティ)、(#)、(77セレクティ)と続けて押す。

［77セレクティ、解除しました］と表示されます。77セレクティランプが消灯します。

ご注意

- 「77セレクティをご利用にならない場合は」の操作を行った場合でも、データが送信される（データ通信中は77セレクティランプが点滅する）ことがありますが、ご利用にならない状態になっています。
- KDDIの割り引きサービスなどをご利用されている場合は、別途KDDIとのご解約の手続きが必要です。KDDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。ご連絡いただけない場合、サービスによっては、月額料などが引き続きかかる場合があります。

77セレクティを再びご利用になる場合は

受話器を置いたままで、(77セレクティ)、(＊)、(77セレクティ)と続けて押す。

［77セレクティ、設定しました］と表示されます。

操作後（約1分後）、本機が自動的にKDDIセンターに電話をかけ、77セレクティのデータを受け取ります（オンライン通信）。（料金無料）オンライン通信については142ページをご覧ください。

77セレクティランプが緑に点灯します。

その通話に限り77セレクティを使用しない場合は

一時的に77セレクティを働かせないで、NTT市外回線を指定して電話をかけるときは、電話番号を押す前に(0)(0)(0)(0)を押してください。

ちょっと一言

NTTエリアプラスなどを使って電話をかける場合、エリアプラス登録の相手先番号を「0000」から電話帳に登録すると便利です。

電話番号が変わったときは

77セレクティのデータを受け取る

転居して電話番号に変更があったときや、77セレクティランプが緑に点灯後、何らかの理由（長時間の停電など）により赤に点灯が変わった場合は、次の操作を行ってください。

ちょっと一言

- この操作を行うと、それまでの77セレクティのデータはすべて消去されます。

1 **(77セレクティ)を押して、［0:データ受け取り］を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

サービスメニュー 1: えらんでメロディ 0: データ受け取り

2 **もう一度(登録/決定)を押す。**

- 操作後（約1分後）、本機が自動的にKDDIセンターに電話をかけ、77セレクティのデータを受け取ります（オンライン通信）。
  （料金無料）
  オンライン通信については136ページをご覧ください。

ご注意

- KDDIの割り引きサービスなどをご利用されている場合、KDDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。
- 77セレクティランプが緑に点灯後、何らかの理由により赤の点灯に変わった場合は、上記の操作を行わないと77セレクティは正常に動作しません。
- 上記の操作により、現在、NTTのエリアプラス、テレホーダイ、テレチョイスなどの割り引きサービスにご加入のお客様は、市外への通話がすべてKDDI通話となることにより、割り引きサービスが適用されなくなる場合がございますのでご注意ください。ご不明な点がございましたら、KDDIカスタマサービスセンターまでお問い合わせください。

0077 SELECTY（77セレクティ）オンライン通信について

下記のような場合は、本機がKDDIのセンターへ自動的に電話をかけ、77セレクティのデータを受信します。

- お買い上げ時に電源を入れ、電話回線コードを接続したとき（約1時間後にオンライン通信が始まります。）
- 「電話番号が変わったときは」（☞135ページ）の操作をしたとき（約1分後にオンライン通信が始まります。）
- 「77セレクティを再びご利用になる場合は」（☞135ページ）の操作をしたとき（約1分後にオンライン通信が始まります。）

通話料金は一切かかりません。
77セレクティランプが緑色に点灯すれば、77セレクティをご利用いただけます。

上記のオンライン通信の際、本機は自動的にKDDIのセンターへ電話をかけます。
これにより、NTTの発信者番号表示サービスにより、お客様のご利用されている電話番号がKDDIに通知されます。この場合、「通常非通知（回線ごと非通知）」でNTTと契約されているお客様の電話番号も、「186」が付加されKDDIへ通知されますので、ご了承ください。
「オンライン通信」はお客様がお使いになる地域の料金データなどをKDDIからお客様にお送りするために必要です。

お客様の電話番号などの情報は、KDDIのご利用サービスのみに利用するもので、他の目的に利用するものではありません。

なお、お買い上げ時に電源を入れ、電話回線コードを接続してすぐに「77セレクティをご利用にならない場合は」（☞135ページ）の操作をしたときには、KDDIとのオンライン通信はされないことがあります。

77セレクティのご利用開始後も、料金の改定などに際し、必要に応じてKDDIから自動的にデータの更新のために電話がかかってくることがあります。

- データ受信のために電話を受けたときに、受話器を上げると、「ピポパ」音のあとに「こちらはKDDIです。ただいまからデータを送信します。ありがとうございました。」と聞こえます。電話を切ってしばらくお待ちください（約1〜2分）。

ご注意

- データ通信中は、77セレクティランプが緑色に点滅していますが、そのときでも、親機では電話をかけることができます。電話をかけるには、受話器を上げ「ブッブッブッ」という音を確認してから電話をいったん切り、しばらく待ってからおかけ直しください。その場合、データ通信は中断され、後ほど再び行われます。
- 留守番電話に設定していないとき、電話専用モード（☞52ページ）になっていると、オンライン通信ができません。自動応答を「設定する」に戻してください。
- データが正常に受信できなかった場合などは、再度送られてくることがあります。
- 西暦、日付、時刻を合わせていなくても、データ受信が終了すると、KDDI標準時刻に書き換えられます。
- 77セレクティご利用開始後、KDDIからご利用確認の連絡が入ることがあります。

ご利用にあたってのご注意・お願い

「77セレクティ」のご利用に基づき、KDDIから提供される電話サービス等は、KDDI電話サービス等契約約款によります。
KDDIの0077市外電話サービス、および他のサービスをご利用された料金は、KDDIから請求されます。
（NTTご利用の通話料金は従来通りNTTから請求されます。）

次のようなときにはKDDI カスタマサービスセンターへご連絡ください。

- 77セレクティランプが緑色に点灯後、何らかの理由により赤色に点灯または消灯したとき
- 通話料金・サービスなどに関してのお問い合わせ
- 転居などにより住所、電話番号が変更になったとき
- ダイヤルイン子番号に本機を設置したとき
- 本機を取りはずしたとき
- 本機を電話回線に接続後、数日たっても77セレクティランプが緑色に点灯しないとき

KDDI のご利用料金のご請求およびお支払いについて

- ご利用料金は、銀行、郵便局などの金融機関ならびにコンビニエンスストアなどの窓口にてお支払いいただけます。また、口座振り替えでもお支払いいただけます。
- 口座振り替えはお手続きが必要となりますので、KDDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。
- 通話料金などのご請求のため、必要に応じ、お客様の電話番号、住所、氏名などについてKDDIがNTTから情報の提供を受けることがあります。

2001年5月のマイライン導入について
「マイライン*」（電話会社選択サービス）をご利用の場合
ご登録されている電話会社にかかわらず、77セレクティが作動し、KDDI「0077」を選択します。

「マイラインプラス*」（電話会社固定サービス）をご利用の場合
ご登録されている電話会社のみのご利用となります。
KDDIを「マイラインプラス*」にご登録されていない場合、KDDI「0077」は選択されません。電話をかけるときに「ピ、ピ、ピ」という機械音がする場合、KDDIカスタマサービスセンターまでお問い合わせください。

* 「マイライン」「マイラインプラス」は、NTT東日本、NTT西日本のサービスです。

えらんでメロディ

「えらんでメロディ」サービスを利用する

KDDIが提供している「えらんでメロディ」サービスより、親機に着信メロディを10曲まで登録することができます。また、サービス基本料金や登録料金は必要なく、通話料金のみでご利用いただけます。
「えらんでメロディ」は、77セレクティランプが緑色に点灯している時にご利用いただけます（☞134ページ）。

ご注意

- ご利用には東京国分寺（0423）までの0077市外通話料金がかかります。
- 音声呼び出し機能が設定されている場合、非通知理由音声呼び出し、呼び出し音声による着信の方が着信メロディよりも優先されます。

1 **受話器を置いたままで、(77セレクティ)を押す。**

2 **ローラージョグを回して「えらんでメロディ」を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

サービスメニュー
1: えらんでメロディ
0: データ受け取り

- すでにメロディが登録されている場合は、登録番号のあとに曲名が18文字以内で表示されます。

3 **ローラージョグを回して登録先を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

えらんでメロディ
1: (未登録)
2: (未登録)
3: (未登録)

- メロディ登録済みの登録先を選ぶと、新しいメロディに上書きされます。

接続中

- 自動的にサービスセンターに電話がかかります。
- メロディ指定の準備が整うと、番号と曲名がリスト表示されます。

01: キヨシコノヨル
02: モリノクマサン
03: ジングルベル
[_] ∨

–上記の曲名は例です。
–また、曲目は予告なく変更する場合があります。

4 **ローラージョグを回して取り込むメロディの曲番号を確認しダイヤルボタンで曲番号を押す。**

- メロディの取り込みを開始します。（終了するまで表示窓には次のように表示されます。）

検索中
しばらくお待ち下さい

- メロディの取り込みが終了すると曲の再生がはじまります。

ジングルベル
メロディ再生中

- 再生が終了すると手順3のメロディーメニューの画面が表示されます。

5 **ローラージョグを回して終了番号を確認し、終了番号を入力する。**

- 最後に再生した1曲のみが登録されます。

ちょっと一言

- えらんでメロディの曲目について
  下記にてご確認できます。
  KDDIカスタマサービスセンター
  0077-772（無料）
  受付時間　9:00〜21:00
  （土、日、祝日も受付中）

取り込んだメロディを親機の着メロとして利用するには

「着信音を取り込んだメロディに変えるには」（☞139ページ）を行ってください。

取り込んだメロディを子機で利用するには

「子機にメロディを転送するには」（☞138ページ）を行ってから、「子機の着信メロディを変えるには」（☞140ページ）を行ってください。

ご注意

登録したメロディを消去することはできません。もう一度登録操作を行えば、上書きされます。

登録した着信メロディを確認するには

1 **受話器を置いたままで、（登録/決定）を押す。**

- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［3:受信設定］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

登録メイン
1: 電話帳登録
2: リスト印刷
3: 受信設定

3 **ローラージョグを回して［2:着信音設定］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

受信設定
1: 着信設定
2: 着信音設定
3: ファクスかんたん受信

4 **ローラージョグを回して［1:全ての着信］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

着信音設定
1: 全ての着信
2: 電話帳一致

5 **ローラージョグを回して［3:えらんでメロディ］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

全ての着信
1: 通常ベル音
2: 固定メロディ
3: えらんでメロディ

ご注意

- 着信メロディがダウンロードされていない場合、［メロディはありません］が表示されます。

6 **ローラージョグを回して、確認したい曲名を点滅させる。**

えらんでメロディ
#: シャッフル
1: キヨシコノヨル
2: モリノクマサン

7 **（キャッチ/再生）を押す。**

- 選択した曲目が5秒間再生されます。
- 続けて別の曲を再生する場合は、手順6から操作を行ってください。

8 **（ストップ）を押す。**

子機にメロディを転送するには

親機に登録されたメロディを子機へ転送し、子機で着信メロディとして利用することができます。また、子機1台につき最大3曲まで転送することができます。
子機にメロディを転送できるのは、親機にえらんでメロディが登録されている場合のみです。

親機で操作します。

1 **受話器を置いたままで、（登録/決定）を押す。**

- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［5:登録メニュー］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

登録メイン
4: 設定メニュー
5: 登録メニュー
6: 留守電機能

3 **ローラージョグを回して［6:メロディ転送］を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

登録メニュー
4: 日時設定
5: 電話帳転送
6: メロディ転送

4 **ローラージョグを回して転送するメロディを点滅させ、（登録/決定）を押す。**

メロディ転送
1: キヨシコノヨル
2: モリノクマサン

5 **ローラージョグを回して転送先の子機を点滅させ、（登録/決定）を押す。**

メロディ転送
1: 子機 1へ転送
2: 子機 2へ転送
3: 子機 3へ転送

ちょっと一言

- 子機が1台しか接続されていない場合はこの画面は表示されません。手順6から操作を行ってください。

6 **ローラージョグを回して転送先子機の登録先を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

メロディ転送
1: メロディ登録先 1
2: メロディ登録先 2
3: メロディ登録先 3

- 転送が開始されます。

親機

メロディ転送
転送中

子機

メロディ転送
＜受信中＞

- 転送が正常に終了すると、確認のため、「ピー」と鳴ります。

親機

メロディ転送
正常終了しました

子機

メロディ転送
正常終了

ちょっと一言

- 「ピピピピピ」と鳴り［異常終了しました C73 無線接続エラー］と表示されたときは、手順1からやり直してください。

着信音を取り込んだメロディに変えるには

通常のベル音の変わりに、KDDIの「「えらんでメロディ」サービスを利用する」(☞137ページ参照)」で取り込んだメロディに変えることができます。子機ではあらかじめ親機からメロディ転送する必要があります(☞138ページ)。
親機では取り込んだメロディ(最大10曲)のうち1曲を着信メロディとして利用できます。
また、着信があるたびにメロディをランダムに選び再生する「シャッフル機能」に設定(親機のみ)することもできます。
子機では、親機から転送したメロディ(最大3曲)のうち1曲を着信メロディとして利用できます。

ご注意

- 非通知理由音声呼出し、呼出し音声による着信は、着信メロディに優先します。

親機の着信メロディを変えるには

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定)を押す。**

- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して［3:受信設定］を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

登録メイン
1: 電話帳登録
2: リスト印刷
3: 受信設定

3 **ローラージョグを回して［2:着信音設定］を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

受信設定
1: 着信設定
2: 着信音設定
3: ﾌｧｸｽかんたん受信

4 **ローラージョグを回して［1:全ての着信］または［2:電話帳一致］を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

- ナンバー・ディスプレイをお使いのかたは、電話帳に一致した相手のみ着信音をメロディに変えることができます。

5 **ローラージョグを回して［3:えらんでメロディ］を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

全ての着信
1: 通常ベル音
2: 固定メロディ
3: えらんでメロディ

- 通常の着信音に戻すには［1:通常ベル音］を点滅させ、(登録/決定)を押します。

6 **ローラージョグを回して選択するメロディを点滅させ、**(キャッチ/再生) **を押す。**

えらんでメロディ
#:シャッフル
1:キヨシコノヨル
2:モリノクマサン

- 曲が再生されます。
- 着信音をシャッフルするには［#：シャッフル］を点滅させ、(登録/決定)を押します。

7 (登録/決定) **を押す。**

8 (ストップ) **を押す。**

子機の着信メロディを変えるには

1 **通話を切った状態で、ジョグダイヤル（子機間通話/登録）を押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して［4:着信音設定］を点滅させ、ジョグダイヤル（子機間通話/登録）を押す。**

登録メニュー ▲▼
3. クイック通話
4. 着信音設定

3 **ジョグダイヤルを回して［1.全ての着信］または［2.電話帳一致］を点滅させ、ジョグダイヤル（子機間通話/登録）を押す。**

着信音設定 ▼
1. 全ての着信
2. 電話帳一致

- ナンバー・ディスプレイをお使いのかたは、電話帳に一致した相手のみ着信音をメロディに変えることができます。

4 **ジョグダイヤルを回して［3:エランデメロディ］を点滅させ、ジョグダイヤル（子機間通話/登録）を押す。**

電話帳一致 ▲
2. 固定メロディ
3. エランデメロディ

全ての着信 ▲
2. 固定メロディ
3. エランデメロディ

- 通常の着信音に戻すには［1.通常ベル音］を点滅させ、ジョグダイヤル（子機間通話/登録）を押します。

5 **ジョグダイヤルを回して選択するメロディを点滅させる。**

- (キャッチ/再生) を押すと曲が再生されます。

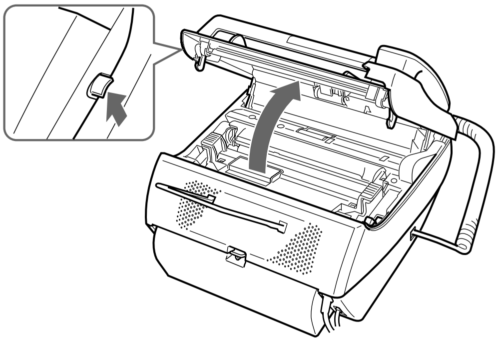
6 **ジョグダイヤル（子機間通話/登録）を押す。**

- 確認のため、「ピー」と鳴ります。

原稿がつまったとき

コピーやファクス送信中に原稿がつまったら、[原稿確認]の表示が出ます。

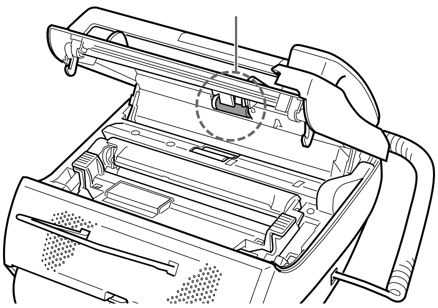
1 **カバー開レバーを上げてカバーを開ける。**



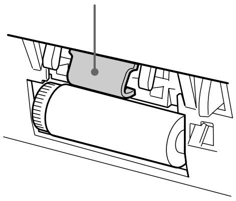
2 **原稿を取り除く。**

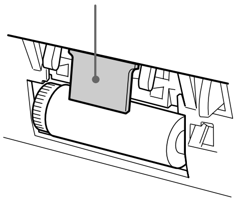
3 **原稿を、セットする側から取り除いたときは、内部のグレーのゴム板の状態を確認する。**

- 原稿を排出する側から抜いたときは手順4へ進んでください。



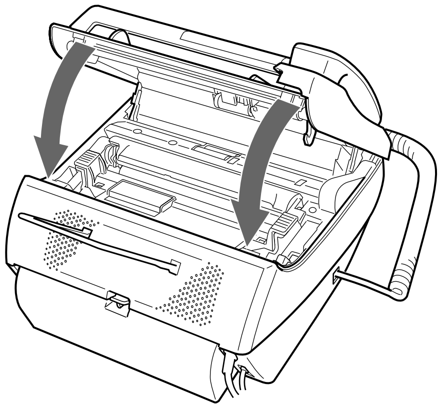
- 図のように引っかかっていたら、グレーのゴム板に指を引っかけて戻してください。





4 **カバーを閉じる。**

- カバーの両側を矢印の方向にカチッと音がするまで押し込みます。



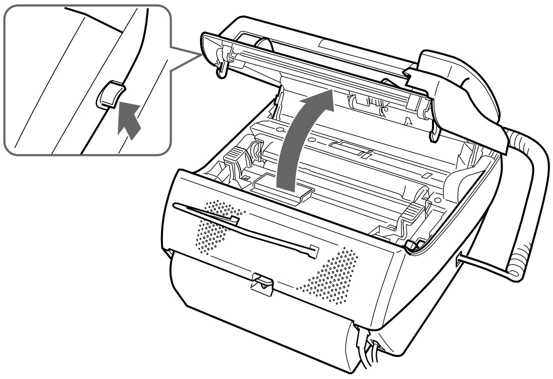
ご注意

- カバーは確実に閉じてください。カバーを確実に閉じていないと原稿づまりの原因となります。
- ［原稿確認］と［ローラーを清掃してください］が交互に表示されたときは、149ページを参照の上、原稿送り用ローラーを清掃してください。

［記録紙がつまりました］と表示されたとき

［記録紙がつまりました］［カバーを開けて下さい］と交互に表示される場合は、記録紙がつまったか、または記録紙の給紙不良が考えられます。

- まずカバーを開け、記録紙がつまっているか確認してください。



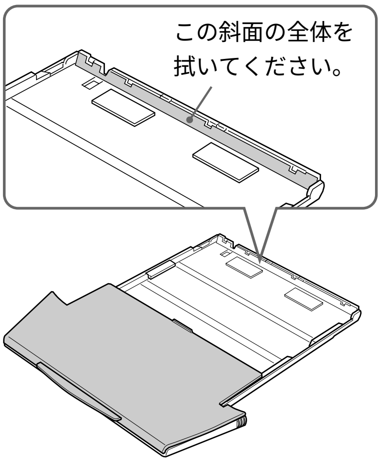
記録紙がつまっていなかった場合

この場合は給紙不良です。記録紙カセットと記録紙給紙用ローラーを清掃してください。

1 **カバーを閉じ、電源プラグを抜く。**

2 **記録紙カセット、カセットのカバーを取りはずし、記録紙を取り出す**（☞24ページ）**。**

3 **記録紙カセット奥側斜面を拭きます。**
- 水に浸した布を固く絞り、記録紙カセット奥側斜面全体を拭きます。（アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品は使用しないでください。）
- 斜面に傷を付けないよう柔らかい布を使用して拭いてください。



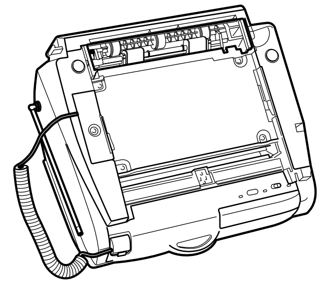
4 **受話器を取りはずす。**

5 **アンテナを倒す。**

6 **原稿台をはずす。**

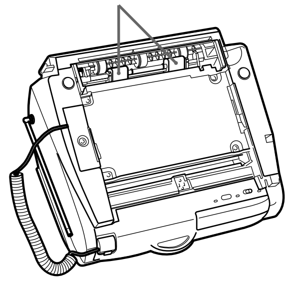
7 **大型液晶ディスプレイが開いている場合は閉じる。**

8 **本体を裏返す。**



ご注意
- 本体を裏返したとき、操作パネルに傷がつかないようにやわらかい布などを敷いてください。

9 **記録紙給紙用ローラーを拭く。**
- 水に浸した布を固く絞り、記録紙給紙用ローラーを手で回しながら、記録紙給紙用ローラーの表面全体を拭いてください。

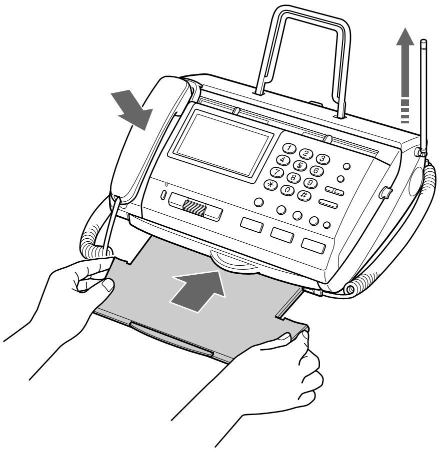


取りはずした手順の逆に取り付ける。

10 **記録紙カセットに記録紙をセットし、カバーを取り付ける**（☞25ページ）**。**

その他

11 本体をもとに戻し、記録紙カセットと受話器を取り付け、アンテナを立てる。

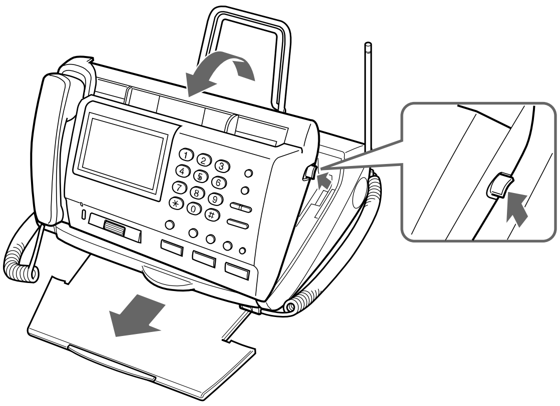


12 電源プラグを差し込む。

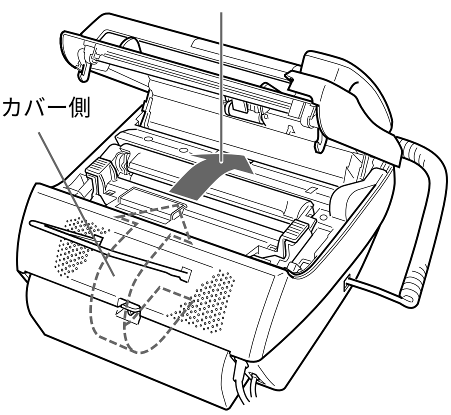
記録紙がつまっていた場合

- 記録紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で記録紙が破れてしまったときは、紙片を本機の中に残さないようにすべて取り除いてください。

1 記録紙カセットを取りはずす。



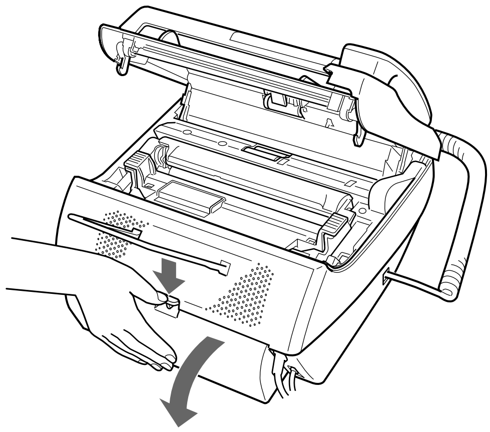
2 記録紙がどこにつまっているかを確認する。



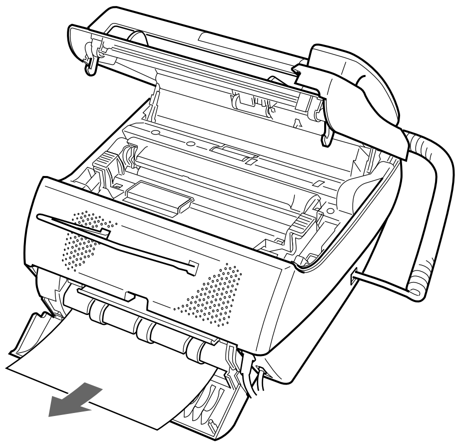
記録紙排出口側でつまっているとき（☞144ページ）
カートリッジの下でつまっているとき（☞145ページ）

リアカバー側でつまっているとき

1 リアカバー開レバーを下に押し、リアカバーを開ける。

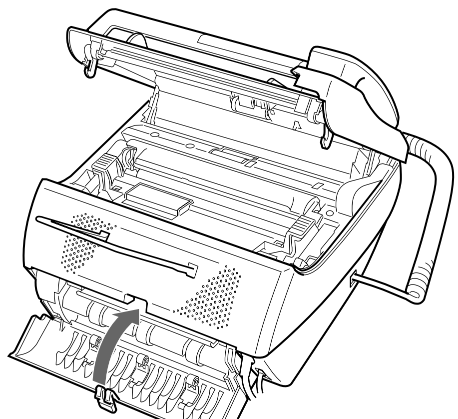


2 記録紙を取り除く。



3 リアカバーを閉める。

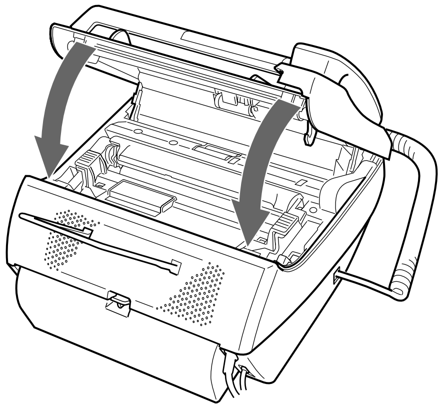
- リアカバーを閉めるときは、リアカバー開レバーがロックされるまで確実に押し込んでください。



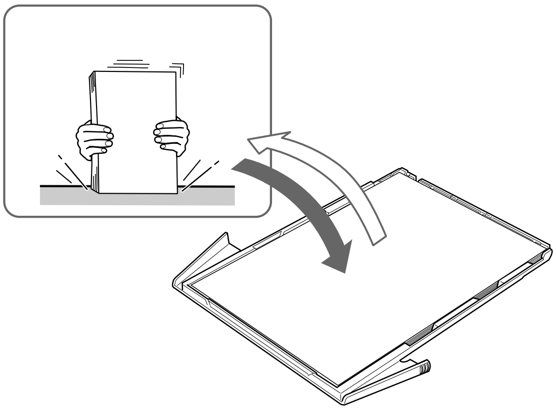
その他

4 カバーを閉じる。

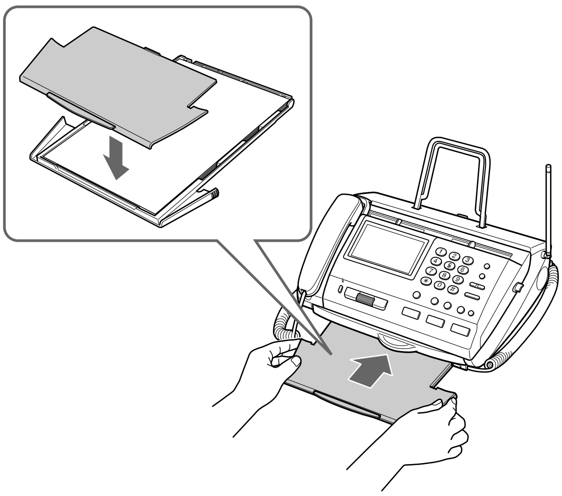
- カバーの両側を、矢印の方向にカチッと音がするまで押し込みます。



5 記録紙カセットのカバーを取りはずしたあと記録紙をいったん取り出し、揃えて入れ直す。



6 記録紙カセットのカバーを取り付け、本体に取り付ける。

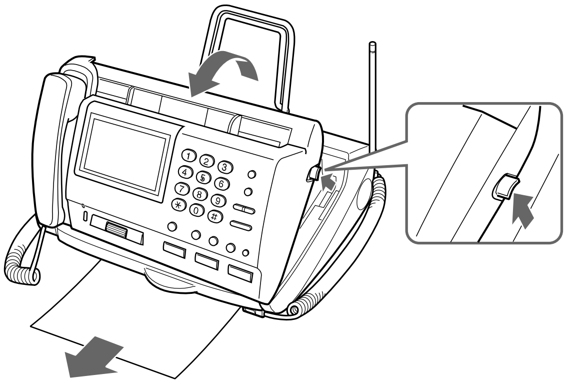


記録紙排出口側でつまっているとき

1 カートリッジを取り出す。

- インクフィルムカートリッジの取りはずし（☞21ページ）
- 感熱紙を使用しているときは、カートリッジを取りはずす必要はありません。緑色の解除レバーを押し上げながら（☞21ページ）、記録紙を取り除いたあと、手順4に進んでください。

2 記録紙を取り除く。



3 カートリッジを取り付ける。

- カートリッジの取り付け（☞22ページ）

4 カバーを閉じる。

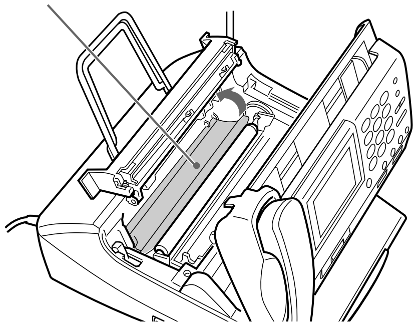
5 記録紙カセットのカバーを取りはずしたあと記録紙をいったん取り出し、揃えて入れ直す。

6 記録紙カセットのカバーを取り付け、本体に取り付ける。

カートリッジの下でつまっているとき

1 **カートリッジを取りはずす。**
- インクフィルムカートリッジの取りはずし（☞21ページ）

2 **記録紙ガイドを矢印の方向に起こし、記録紙を取り除く。**



3 **記録紙ガイドを元に戻す。**

4 **カートリッジを取り付ける。**
- カートリッジの取り付け（☞22ページ）

5 **カバーを閉じる。**

6 **記録紙カセットのカバーを取りはずしたあと記録紙をいったん取り出し、揃えて入れ直す。**

7 **記録紙カセットのカバーを取り付け、本体に取り付ける。**

[××××確認]と表示された
次のうちのいずれかが表示されたときは、そのカバーが開いています。確実に閉めてください。
- **[カバー確認]**
- **[リアカバー確認]**
- **[記録カバー確認]**

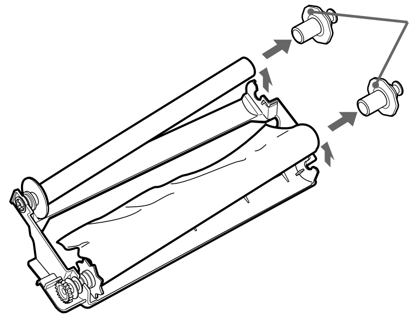
[記録紙がつまりました]とくり返し表示された
記録紙カセットの奥側斜面と、記録紙給紙用ローラーを清掃してください。
記録紙カセットの清掃（☞149ページ）
記録紙給紙用ローラーの清掃（☞150ページ）

インクフィルムを交換する

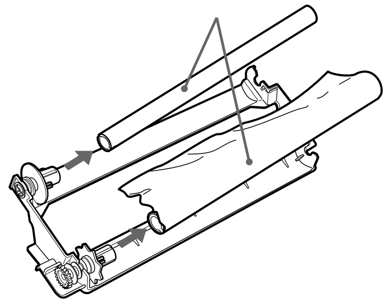
必ず、指定（型名：TL－RF10（A4/40m））のインクフィルムを使用してください。
指定以外のインクフィルムを使用すると、故障や印字かすれなどの原因になることがあります。

1 **カートリッジを取りはずす。**
- インクフィルムカートリッジの取りはずし（☞21ページ）

2 **カートリッジを裏返し、白キャップ2個を取りはずす。**



3 **使用済みインクフィルムの軸2本を取りはずす。**



4 **インクフィルムを取り付ける。**
- インクフィルムの取り付けかたは、21ページを参照してください。

インクフィルムの処分方法について

- 使用済のインクフィルムには、コピーや受信したときの内容が白く残っています。内容を他の人に見られたくないときは、ハサミなどで切ってから捨ててください。
- インクフィルムの芯は紙、フィルム部分はポリエチレン、カーボンパラフィンなどでできています。使用済みのインクフィルムは、お住まいの地域で定められた分別により捨ててください。

停電したとき

停電したときや親機の電源プラグをコンセントから抜いたときは、親機、子機ともに使用できません。
停電時、消えてしまう情報と消えない情報があります。

消えてしまう情報

- 同報時のメモリに記憶されている文書（☞49ページ）
- コードを付けたままのハンドスキャナ送信時のメモリに記憶されている文書（☞62ページ）
- 発信記録に記憶されている電話番号（☞37ページ）
- 時計のデータ（停電が36時間以上続いたとき）（☞28ページ）
- 優先着信（☞117ページ）
- おやすみ設定（☞120ページ）
- 送信または保存する前のα-Eメールの送信文書（☞71ページ）

消えない情報

- メモリ代行受信文書（☞53ページ）
- おやすみ設定時に受信したメモリ代行受信文書（☞120ページ）
- ナンバー・ディスプレイ利用時の着信データ（☞100ページ）
- 留守番電話に録音した応答メッセージ（☞127ページ）
- 留守番電話に録音された用件（☞124ページ）
- 通話録音した内容（☞116ページ）
- 登録した電話番号や各種の設定値
- ハンドスキャナをコードレスで使用している場合の、ハンドスキャナのメモリに記憶されている文書（☞63、64、65ページ）
- α-Eメールの受信文書（☞77ページ）
- 送信または保存後の送信文書（☞71、74ページ）
- 電話帳に登録した呼び出し音声（☞109ページ）

以下の内容は、子機のバッテリーをはずしたり、消耗した場合はお買い上げ時の状態に戻ります。

- クイック通話設定（☞117ページ）
- 子機のベル音量（☞120ページ）
- 子機の再ダイヤルの内容（☞37ページ）

以下の内容は保存されます。

- 子機電話帳の登録内容
- 子機着信記録（☞102ページ）
- 着信メロディ（☞137ページ）
- 着信メロディ設定（☞139、140ページ）

停電が復旧すると

- 停電が復旧すると、本機は自動的に使用できる状態に戻ります。消えてしまった文書があるときは、停電が復旧した時にメモリクリアレポートが自動的に出力されます。
- 停電が36時間以上続いたときは、時計が2001年1月1日0時0分になります。この場合は、日時設定（☞28ページ）を行ってください。
- 77セレクティランプ（☞133ページ）緑点灯時に停電が36時間以上続いたときは、電源復旧後約1時間後に本機が自動的にKDDIに電話をかけ、その後データ送信が行われ使用可能となります。

設定・登録の状態を確認するとき

親機の電話帳の登録内容（電話番号リスト）、親機の着信記録（着信記録リスト）、ファクスの通信履歴（通信管理レポート）、本機の設定状態（システムリスト）を印刷して確認することができます。

電話番号リストを印刷するとき

- 登録されている相手先名が印刷されます。（印刷される順番は、カナ（50音順）→英文字（アルファベット順）→数字（0〜9）→記号の順です。）
- 電話番号リストは1ページに35件まで印刷されます。36件以降は2ページ目以降に印刷されます。（全3枚）
- 子機の電話帳の登録内容は印刷できません。

着信記録を印刷するとき

- ナンバー・ディスプレイサービスを利用していないときは、着信記録は記憶されません。
- 子機に記憶された着信記録は印刷できません。

ご注意

- 電話帳に登録されていない場合、ディスプレイに［電話番号が登録されていません］と表示され、印刷されません。
- 着信記録が記憶されていない場合、ディスプレイに［記録はありません］と表示され、印刷されません。
- 途中で印刷をやめるとき、(ストップ) を押してください。

リストの印刷

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定) を押す。**

2 **ローラージョグを回して［2:リスト印刷］を点滅させ、(登録/決定) を押す。**

登録メイン
1: 電話帳登録
2: リスト印刷
3: 受信設定

3 **ローラージョグを回して印刷したいリストを点滅させ、(登録/決定) を押す。**

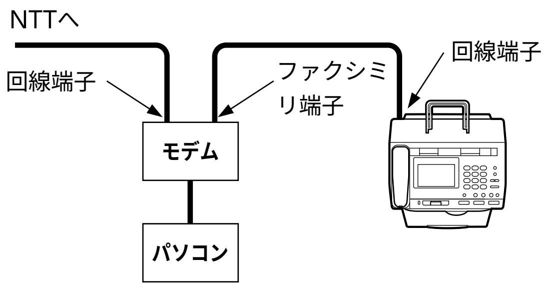
リスト印刷
1: 電話番号リスト
2: 着信記録リスト
3: システムリスト

登録メイン
4: 通信管理レポート

いろいろな機器を接続するとき

パソコンやモデムとの接続

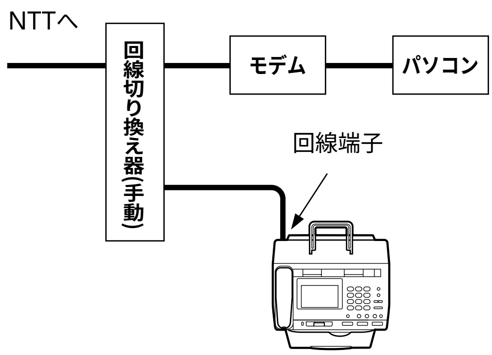
モデムやモデム内蔵のパソコンで電話を受けるようにするときは、モデムのファクシミリ端子に本機を接続します。このときモデムやモデム内蔵のパソコン側の設定を、ファクス／電話自動切り換えにする（自動的に回線を接続する）の前に着信するようにしてください。モデムやモデム内蔵のパソコンの接続方法や設定方法の詳細については各々の説明書を参照してください。



ご注意

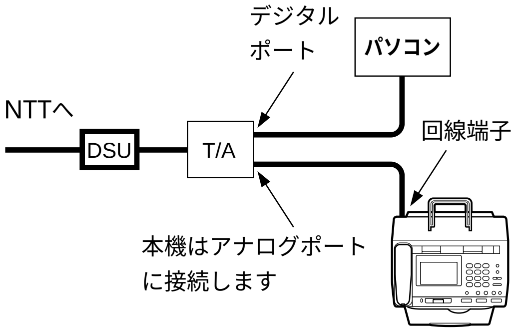
- モデムやモデム内蔵のパソコンと接続した場合、回線種別は手動で設定してください（☞31ページ）。
- モデムやモデム内蔵のパソコンで通信中は、本機を使用できません。
- 通話中やファクスの通信中にモデムやモデム内蔵のパソコンを操作すると、通話やファクスがただちに切断されます。本機が使用中でないことを確認してから、モデムなどを操作してください。

＜参考：回線切り換え機を利用する場合＞



ISDNターミナルアダプター（T/A）との接続

インターネットやパソコン通信にNTTのISDN回線（INSネット64）を利用する場合は、ISDNターミナルアダプター（以下T/A）を用いて本機とパソコンの両方を接続することができます。ISDN回線を利用するには、NTTへ申し込みが必要です。



ご注意

- ナンバー・ディスプレイを利用するときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターを使用してください。
- ターミナルアダプターとISDN回線間の接続には、デジタルサービスユニット（DSU）が必要です。あらかじめご用意ください。なお、ターミナルアダプターによっては、DSUが内蔵されている機種もあります。詳しくはターミナルアダプターの説明書をご覧ください。
- 本機の回線種別はプッシュ回線（PB）に設定してください（☞31ページ）。
- 電話番号の前に0077などの番号をつけてかける場合、ターミナルアダプターの設定（桁間タイマーなど）によっては電話がかけられない場合があります。
- ダイヤルインサービスをご利用の場合、ターミナルアダプターの取扱説明書に従って設定してください。ターミナルアダプターの機種または設定によっては本機でのダイヤルインが使用できない場合があります。その時は本機をダイヤルインの設定を［しない］にしてください（☞115ページ）。

お手入れのしかた

本体の清掃

装置表面の汚れは、薄めた台所用中性洗剤に浸した布を固く絞って拭き取り、最後に乾いた柔らかい布で拭いてください。
水拭きをする場合は布を固く絞ってから拭いてください。

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは、絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。

ハンドスキャナの清掃

原稿を読み取る部分のガラス面が汚れると、コピーや相手の記録画に汚れが出てしまいます。原稿読み取り面は、定期的に（月に1回程度）清掃し、いつもきれいにしておいてください。

1 ハンドスキャナをはずす。

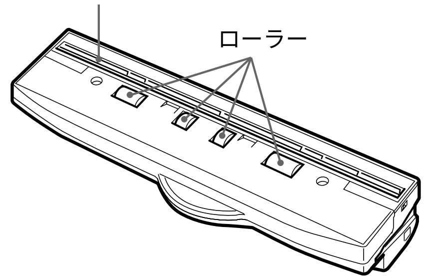
- 矢印の方向に引き抜きます。



2 ガラス面を柔らかい布で拭く。

3 ローラーを拭く。

- 水に浸した布を固く絞って拭いてください。



4 ハンドスキャナを戻す。

- 原稿読み取り面を上に向けて本体に押し込みます。

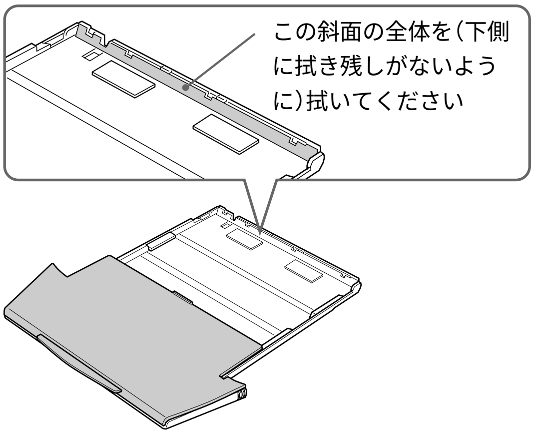
その他

記録紙カセットの清掃

記録紙カセットが汚れると、記録紙給紙不良の原因となります。記録紙カセットは定期的に(月に1回程度)清掃してください。

1 **記録紙カセット、カセットのカバーを取りはずし、記録紙を取りはずす** (☞24ページ)**。**

2 **記録紙カセット奥側斜面を拭く。**
- 水に浸した布を固く絞り、記録紙カセット奥側斜面全体を拭きます。(アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品は使用しないでください。)
- 斜面に傷を付けないよう柔らかい布を使用して拭いてください。



3 **記録紙をセットし、記録紙カセットのカバーを取り付け、記録紙カセットを本体に取り付ける** (☞25ページ)**。**

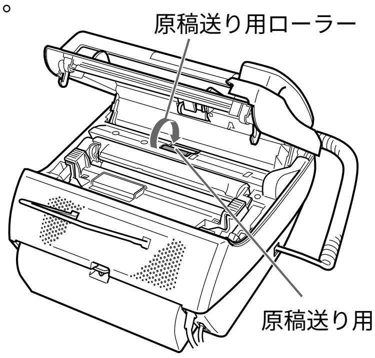
原稿送り用ローラーの清掃

原稿送り用ローラーが汚れると原稿づまりの原因となります。ハンドスキャナとともに原稿送り用ローラーも清掃してください。

1 **電源プラグを抜く。**

2 **カバーを開ける。**

3 **原稿送り用ローラーを拭く。**
- 水に浸した布を固く絞り、原稿送り用ローラーを手で回しながらローラーの表面全体を拭きます。



4 **カバーを閉じる。**

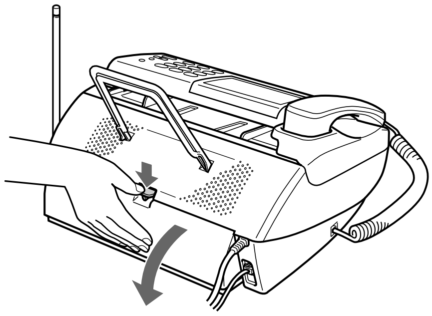
5 **電源プラグを差し込む。**

記録紙送り用ローラーの清掃

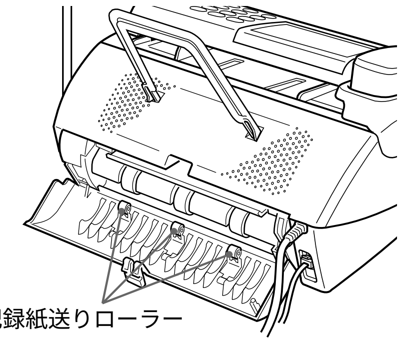
記録紙送り用ローラーが汚れると、記録紙づまりの原因になります。記録紙送り用ローラーは定期的に(月に1回程度)掃除してください。

1 **電源プラグを抜く。**

2 **リアカバー開レバーを下に押して、リアカバーを開ける。**



3 **記録紙送り用ローラーを拭く。**
- 水に浸した布を固く絞り、記録紙送り用ローラーを手で回しながら記録紙送り用ローラーの表面全体を拭いてください。



ご注意
- 掃除の際、白いローラーにさわらないようにしてください。

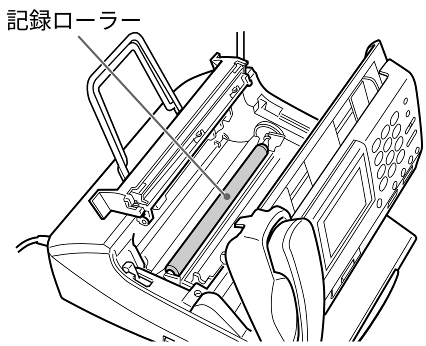
4 **リアカバーを閉める。**

5 **電源プラグを差し込む。**

その他

記録ローラーの清掃

記録紙がうまく送れないときや、印刷した記録紙が汚れるときは、記録ローラーを清掃してください。
水に浸した布を固く絞り、記録ローラーを手で回しながら、ローラーを表面全体を拭きます。



記録紙給紙用ローラーの清掃

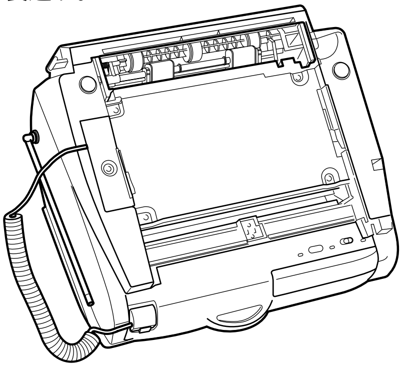
記録紙給紙用ローラーが汚れると、記録紙給紙不良の原因になります。記録紙給紙用ローラーは定期的に(月に1回程度)掃除してください。

1 **電源プラグを抜く。**

2 **記録紙カセットと受話器を取りはずす。**



3 **本体を裏返す。**

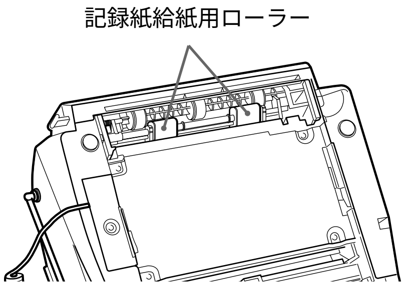


ご注意

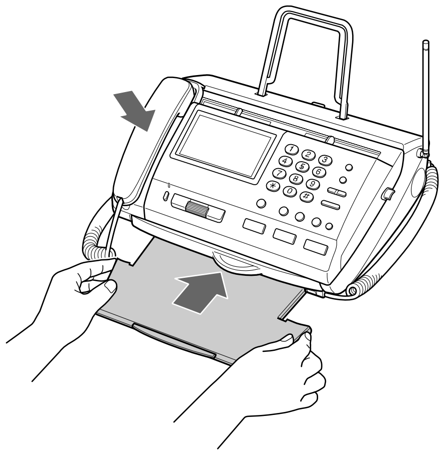
- 本体を裏返したとき、操作パネルに傷がつかないようにやわらかい布などを敷いてください。

4 **記録紙給紙用ローラーを拭く。**

- 水に浸した布を固く絞り、記録紙給紙用ローラーを手で回しながら、記録紙給紙用ローラーの表面全体を拭いてください。



5 **本体をもとに戻し、記録紙カセットと受話器を取り付ける。**



6 **電源プラグを差し込む。**

その他

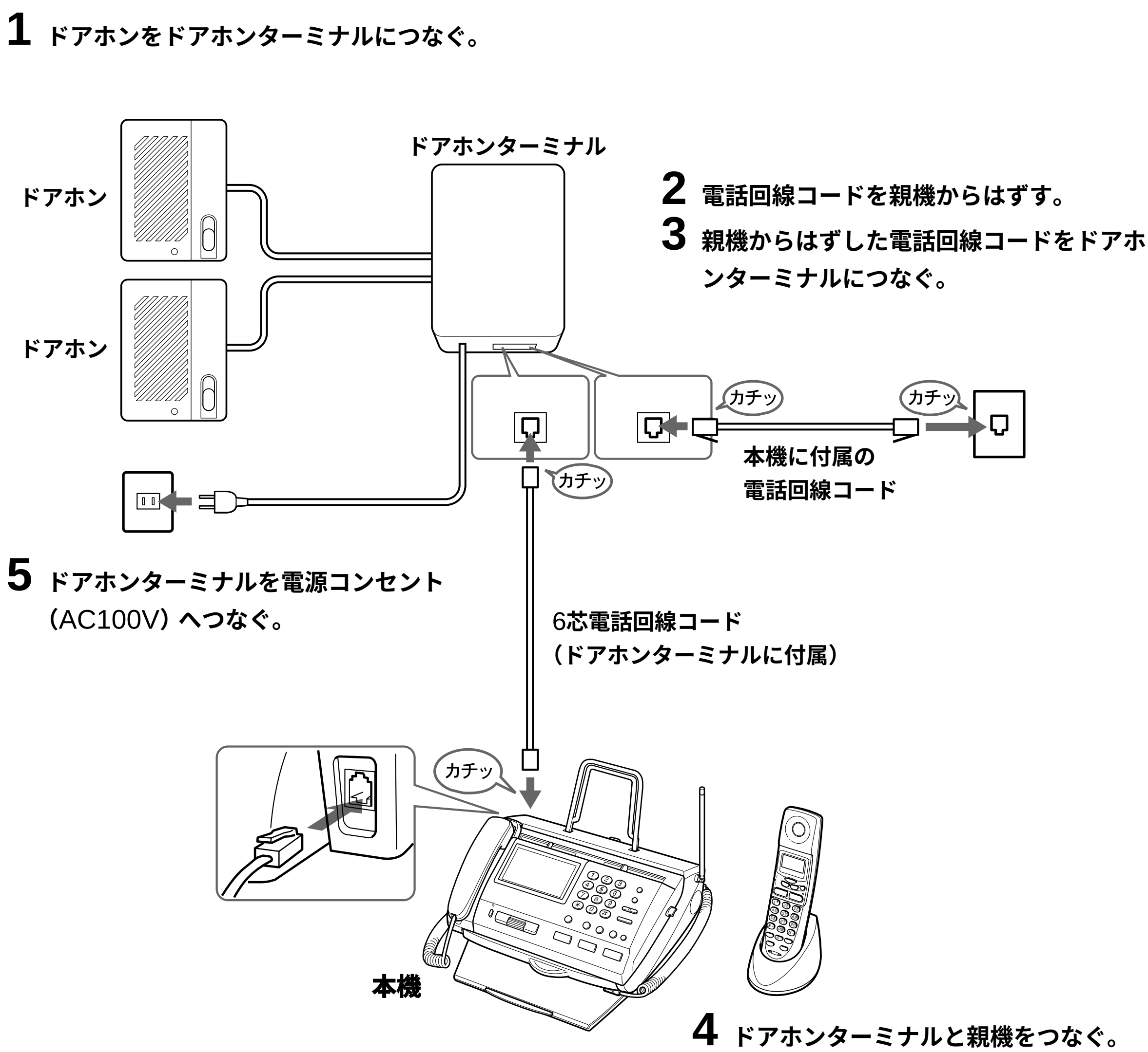
ドアホンをつなぐ

別売りのドアホンターミナルTL-DT1を使って、別売りのドアホンTL-D1を2台までつなぐことができます。取り付けかた、つなぎかたについて、詳しくはTL-DT1、TL-D1の取扱説明書をご覧ください。

なお、取り付け工事についてはお買い上げ店へお問い合わせください。

ご注意
- ドアホンを1台だけつなぐ場合は、ドアホンターミナルの「ドアホン1」につないでください。

ドアホンの接続



ご注意
- ドアホンターミナルと本機は30cm以上離してください。
- 本機とドアホンターミナルの接続には、必ずドアホンターミナルに付属のコードを使ってください。
- 接続が済んだらドアホンから呼び出しをして、ドアホンが正しくつながっていることを確かめてください。
- 親機の電源コードと電話回線コードは親機のアンテナからできるだけ離してお使いください。

ドアホンの設定

使用するドアホンを設定します。
お買い上げ時は、ドアホン接続は[ドアホン接続なし]になっています。

親機で操作します

1 **受話器を置いたままで、(登録/決定)を押す。**

- ［登録メイン］が表示されます。

2 **ローラージョグを回して、[4:設定メニュー]を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

登録メイン
4: 設定メニュー
5: 登録メニュー
6: 留守電機能

3 **ローラージョグを回して、[6:ドアホン接続]を点滅させ、(登録/決定)を押す。**

設定メニュー
4: 保留メロディ
5: 回線種別
6: ドアホン接続

4 **ローラージョグを回して、接続するドアホンを点滅させ、(登録/決定)を押す。**

ドアホン接続
1: ドアホン接続なし
2: ドアホン1接続
3: ドアホン2接続

↓

ドアホン接続
4: ドアホン1＆2接続

5 **(ストップ) を押す。**

その他

故障かな?と思ったら

待機中

こんなときは…?	もう一度お確かめください…	参照ページ
ディスプレイに何も表示されない。	• 電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか?	☞ 25
[普通紙を入れて下さい]また[感熱紙を入れて下さい]と表示が出た。	• 記録紙がなくなっています。	☞ 24
	• 記録紙カセットがはずれていませんか?	☞ 25
[カバー確認]と表示が出た。	• カバーが開いています。	☞ 145
[リアカバー確認]と表示が出た。	• リアカバーが開いています。	☞ 145
[記録カバー確認]と表示が出た。	• 記録カバーが開いてます。	☞ 22、145
[記録紙がつまりました][カバーを開けて下さい]と交互に表示が出た。	• 記録紙がつまっていませんか?	☞ 142
	• 記録紙がつまっていない場合は、記録紙の給紙不良です。	☞ 25
	• 記録紙カセットと記録紙給紙用ローラーを清掃してください。	☞ 150
	• 記録紙がつまっている場合は、カバーを開けて記録紙を取り除いてください。	☞ 143
[インクフィルム確認]と表示が出た(普通紙モード)。	• インクフィルムがなくなっています。	☞ 145
[インクフィルム取って下さい]と表示が出た(感熱紙モード)。	• インクフィルムカートリッジを取りはずしてください。	☞ 21
[原稿を取って下さい]と表示が出た。	• (ストップ) を押して原稿を排出してください。	☞ 141

電話(親機)

こんなときは…?	もう一度お確かめください…	参照ページ
「ツー」という発信音が聞こえない。	• 子機を使用中ではありませんか?	☞ 35、36
	• 電話回線コード、受話器コードはしっかりつながっていますか?	☞ 25
	• ナンバー・ディスプレイのデータ受信中ではありませんか? いったん受話器を置いて、普通にベルが鳴ってから、もう一度持ち上げてください。	☞ 100
	• 停電中ではありませんか? 停電中は電話をかけたり受けたりできません。	☞ 146
	• 電源コードはしっかりつながっていますか?	☞ 25
電話を受けることはできるが、かけることができない。	• 回線種別が合っていますか?	☞ 31
電話をかけることはできるが、受けることができない。	• ナンバー・ディスプレイ契約をしている場合には、必ずナンバー・ディスプレイ利用を[する]に設定してください。	☞ 100
	• ターミナルアダプターを使用していて、ターミナルアダプター側でダイヤルインの設定をしている場合は、本機側のダイヤルインの設定を[しない]にしてください。	☞ 114
スピーカーホン通話できない。	• 停電中ではありませんか? 停電中はスピーカーホン通話できません。	☞ 146
スピーカーから聞こえる音が小さい。	• スピーカー音量が最小になっていませんか? 通話中に (+) または (−) を押して聞きやすい音量に調節してください。	☞ 34

その他

つづく→

故障かな?と思ったら

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
ベルが鳴らない。	• ベル音量を（切）にしていませんか？	☞120
	• おやすみ設定にしていませんか？	☞120
子機で保留にした電話を親機で受けようとしても受けられない。	• 子機で保留にしたあと、充電台に戻すか、（切）を押しましたか？ いずれかをしないと、親機で電話に出ることはできません。	☞ 40
発信記録から電話できない。	• 21桁以上ダイヤルしませんでしたか？	☞ 37
	• 発信記録ダイヤルすべてを消去してありませんか？	☞ 37
	• 電源コードを抜くか停電がありませんでしたか？	☞146
受話器を上げたのにベルが鳴っている。	• ナンバー・ディスプレイのデータの着信中です。 いったん受話器を置いてから、もう一度持ち上げてください。	☞100
色々な表示が次々に出る。	• 電話回線コードは接続されていますか？	☞ 25

電話（子機）

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
ベルが鳴らない。	• バッテリーが消耗していませんか？　バッテリーを10時間ほど充電してみてください。	☞ 29
	• 本機の近くで他のコードレス電話機／ファクシミリを使っていませんか？　2組以上のコードレス電話機／ファクシミリを使用するときはできるだけ離れた場所に設置してください。	☞ 20
	• ベル音量を［切］にしていませんか？	☞120
	• 他の子機を優先着信に設定していませんか？	☞117
「ツー」という発信音が聞こえない。（充電台から取ったとき、または（通話）を押したとき）	• バッテリーが消耗していませんか？　バッテリーを10時間ほど充電してみてください。	☞ 29
	• 停電中ではありませんか？　停電中は電話をかけたり受けたりできません。	☞146
	• 親機の電話回線コードや電源コードはしっかりつながっていますか？	☞ 25
	• 親機に子機を近づけて再び試してみてください。	☞ 20
雑音が多い。	• 親機と離れすぎていませんか？	☞ 20
	• 他の電化製品から離してみてください（親機、子機とも）。	☞ 20
電話を受けようとしたが、通話できない。	• 子機のベルが鳴り始める前に、電話を受けようとしませんでしたか？　子機のベルが鳴り始める前に、電話を受けると、通話できないことがあります。	☞ 36
親機（または他の子機）で保留にした電話を子機で受けようとしても、受けられない。	• 親機（または他の子機）で保留にしたあと、受話器を戻しましたか？ 親機（または他の子機）の受話器を戻さないと、子機では電話に出ることはできません。	☞ 39
発信記録からダイヤルできない。	• 21桁以上ダイヤルしませんでしたか？	☞ 37
	• 発信記録を全て消去してありませんか？	☞ 37
充電できない。	• 充電台の上に子機を置いたとき、着信／充電ランプは点灯していますか？　充電台の電源プラグが電源コンセントにしっかりつながれているかどうか確認してください。	☞ 29
	• バッテリーの寿命ではありませんか？	☞ 30
子機を充電台にのせても着信／充電ランプが点灯しない。	• 充電台の電源プラグが電源コンセントにしっかりつながれているかどうか確認してください。	☞ 30

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
子機で通話していないのに (通話) のランプが点灯している。	• 子機を充電台にのせたまま充電台の電源プラグを抜きませんでしたか？　電源プラグを電源コンセントにつないでください。	☞ 30

電話（親機/子機共通）

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
電話をかけても電話がかからないか、違う相手にかかる。	• 電話回線の種類の設定を確かめてください。使用している電話回線の種類に合わせます。	☞ 31
	• 停電中ではありませんか？　停電中は電話をかけたり受けたりできません。	☞ 146
内線通話、子機間通話ができない。	• 停電中ではありませんか？	☞ 146
	• 電源コードはしっかりつながっていますか？	☞ 25
かけていないのに電話がかかってしまった。	• 用件の転送中の可能性があります。受話器を戻し、本機が再び転送を始める前に転送を解除してください。	☞ 130
ベル音の種類が違うことがある。	• 電話帳に登録された相手からの番号を検出して鳴り分けています。	☞ 108
通話中の会話が途切れ、無音状態になる。	• キャッチホン・ディスプレイを［する］に設定していませんか？キャッチホン・ディスプレイの設定をされると、本機が通話中の会話をキャッチホンの割り込み音と誤認して動作することがあります。その場合、約4秒間無音の状態になりますが、故障ではありません。	☞ 106
短いベル音が普通のベル音の前に鳴る。	• ナンバー・ディスプレイの設定が［しない］になっていませんか？	☞ 100
受話器を取ると「ジャー」という雑音が聞こえる。	• ナンバー・ディスプレイの設定が［しない］になっていませんか？	☞ 100
ポケベル呼び出しができない。	• 用件転送がセットされていますか？	☞ 130

コピー

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
コピーが白紙になる。	• 感熱紙の表裏を逆にセットしませんでしたか？	☞ 24
	• 感熱紙モードで普通紙を入れませんでしたか？	☞ 28
コピー中に「ピー」という音が鳴り続けた。	• (ストップ) を押すと、「ピー」という音が止まります。	☞ 57
	• 原稿がつまっています。	☞ 141
	• 記録紙の給紙不良です。	☞ 142
	• 記録紙がつまったか、なくなっています。	☞ 142
コピーがかすれた。 コピーがうすい。	• 原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度コピーをとってください。	☞ 46
コピーが鮮明でない。	• 原稿読み取り部を清掃してください。	☞ 148
	• 当社推奨の記録紙を使用してください。	☞ 17
コピーの左端が欠ける。	• A4の原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のままで、原稿をガイドの右側に合わせてコピーをすると左側約2〜3cmが欠けます。原稿セットガイドは必ず合わせてください。	☞ 45
印刷した記録紙が汚れる。	• 記録ローラー、記録紙給紙用ローラー、記録紙送り用ローラーを清掃してください。	☞ 149、150

その他

ファクス（送信）

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
原稿をセットしたのに[原稿確認]の表示が出た。 原稿が送り込まれていかない。	• いったんカバーを開け、カバーを閉じてください。	☞ 141
	• 原稿が自動的に引き込まれるまで軽く差し込んでください。	☞ 45
	• 原稿が厚すぎます。（ハンドスキャナを使って送信してください。）	☞ 45
	• 原稿が薄すぎます。（ハンドスキャナを使って送信してください。）	☞ 45
	• 原稿が小さすぎます。（ハンドスキャナを使って送信してください。）	☞ 45
	• 装置カバーの内側にあるグレーのゴム板が原稿セット台に引っかかっていないか確認してください。引っかかっていたら戻してください。	☞ 141
	• 原稿送り用ローラーを清掃してください。	☞ 149
原稿が斜めに入った。	• 原稿を取り除き、もう一度やり直してください。	☞ 45
	• 原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。	☞ 45
	• 原稿送り用ローラーを清掃してください。	☞ 149
原稿の読み取り中に「ピー」という音がして止まってしまい、「原稿確認」と「ローラーを清掃してください」という表示が交互に出た。	• 原稿を取り除き、もう一度やり直してください。	☞ 141
	• 原稿送り用ローラーを清掃してください。	☞ 149
何回送信しても「再発呼待ち」になる。	• 相手が話し中です。	—
	• 電話がかけられるかを確認してください。	—
	• 手動で送信してみてください。（手動とは、電話をかけて話をして、その後に双方がファクスを送る／受ける操作をする方法です。）	☞ 48
送信中に「ピーピーピーピー」という音が鳴り出した。	• 相手のファクスに記録紙切れなどが起きたため、送信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送りなおしてください。	—
送信に時間がかかる。	• 画質モードの設定が[細い]、[写真]のときは、[ふつう]や[小さい]のときに比べ、送信に時間がかかります。	☞ 46
	• 原稿に黒い部分が多いときや原稿の裏に印刷があるときは、送信に時間がかかります。	☞ 46
	• 回線の状態が悪い場合は、送信に時間がかかることがあります。	—
海外への送信ができない。	• 海外へ送信するときは、国内と違い接続に時間がかかります。手動で送信するのが確実です。（手動とは、受信信号「ピーヒョロヒョロ」と聞こえてから送る方法です。）	☞ 48
	• 電話帳を使う場合、例えば001の後にポーズを入れて交換機の待ち時間を作ってください。	☞ 47
	• 海外通信の設定をすると、エコーキャンセルや、ファクス信号を長く送出するため、海外との通信がしやすくなります。	☞ 47
送ったファクスが縮小された。	• 相手機（受信側）がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送ると自動的にA4サイズに縮小して送信されます。	☞ 47
	• A4の原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のままで、原稿をガイドの左側に合わせて送信すると縮小して送信されます。	☞ 47

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
送受信でサイズが違う。	• ファクスの場合は、送受信で若干の差が出ます。原稿／記録紙の送り誤差（原稿読み取りおよび受信画の伸び縮み）があります。	☞ 47
	• 相手機（受信側）がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送ると自動的にA4サイズに縮小して送信されます。	☞ 47
	• A4の原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のままで、原稿をガイドの左側に合わせて送信すると縮小して送信されます。	☞ 47
送信した原稿が相手先で白紙になる。	• 原稿を表裏逆にセットしませんでしたか？　送る面を下に向けてセットして、もう一度送り直してください。	☞ 45
	• 相手先の記録紙の向き（表裏）が正しくないかもしれません。相手先に確認してもう一度送り直してください。	—
相手先で受信した記録がかすれた。 相手先で受信した記録がうすい。	• 原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度送り直してください。	☞ 46
相手先で受信した記録の状態が鮮明でない。	• 本機でコピーをとってみてください。コピーが鮮明でないときは、原稿読み取り部を清掃してください。コピーが鮮明なときは、回線または相手側に原因があると思われます。もう一度送り直してください。	☞ 148
	• 通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してください。	—
	• 画質モードを変えて送ってみてください。	☞ 46
相手先で受信した記録に黒いすじが入る。	• 本機でコピーをとってみてください。コピーにも黒いすじが入るときは、原稿読み取り面を清掃してください。コピーが正常なときは、相手側に原因があると思われます。もう一度送り直してください。	☞ 57 ☞ 148
不達レポートを出さない設定にしたが、レポートが出力される。	• 出力しないように設定を変えられるのは、不達レポートのみです。同報送信レポートなど、他のレポートを出力しないようにすることはできません。	☞ 50

ファクス（受信）

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
「しばらくお待ちください」と表示が出たままになった。	• 記録紙の給紙不良です。そのまましばらくお待ちください。	—
［普通紙を入れてください］または［感熱紙を入れてください］と表示が出た。	• 記録紙がなくなっています。	☞ 25
	• 記録紙カセットが外れていませんか？	☞ 24
「カバー確認」と表示が出た。	• カバーが開いています。	☞ 145
［リアカバー確認］と表示が出た。	• リアカバーが開いています。	☞ 145
［記録カバー確認］と表示が出た。	• 記録カバーが開いています。	☞ 22、145
［記録紙がつまりました］と表示が出た。	• 記録紙の給紙不良です。	☞ 142
	• 記録紙がつまっています。	☞ 142
	• 普通紙モードで感熱紙を使用していませんか？	☞ 28

故障かな?と思ったら

こんなときは…?	もう一度お確かめください…	参照ページ
ベルが鳴り続けて、自動的に受信できない。	• 受信したファクスを印刷中は受信できません。	☞ 51
	• コピー中や登録中のときは、(ストップ) を押して、コピーや登録を中断してください。	☞ 57
	• 相手先がファクス信号を出さないタイプのときは自動受信できません。	☞ 51
	• 着信ベル回数が10回以上に設定されている場合、相手が自動送信のファクスのときは受信できません。	☞ 54
	• 電話専用モードに設定しているときは自動受信できません。	☞ 52
	• 留守番電話などで、録音された用件や受信したα-Eメールなどによってメモリがいっぱいのときは、ベルが鳴り続けて受信できません。	☞ 124
受信中に「ピーピーピーピー」という音が鳴り出した。	• 相手のファクスに原稿づまりなどが起きたため、受信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送りなおしてもらってください。	—
受信中に「ピー」という音が鳴り続けた。	• (ストップ) を押すと、「ピー」という音は止まります。	—
	• 記録紙の給紙不良です。記録紙給紙用ローラーを清掃してください。	☞ 150
	• 記録紙がつまったか、なくなっています。	☞ 142
受信した記録紙が白紙になる。	• 相手先が原稿を裏表逆にセットしたかもしれません。相手先に確認してください。	—
	• 相手先から後端部分が白い(文字が書かれていない)原稿が送られてきた場合に記録紙が2枚に分かれ、2枚目が白紙になることがあります。	—
	• 感熱紙の表裏を逆にセットしませんでしたか？	☞ 24
	• 感熱紙モードで普通紙を入れませんでしたか？	☞ 28
受信した画像が鮮明でない。	• 通話中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してもらってください。	—
	• 本機でコピーをとってください。コピーが鮮明なときは、回線または送信側の異常です。相手先に連絡して、もう一度送り直してもらってください。	—
受信した記録紙に黒いすじが入る。	• 本機でコピーをとってください。コピーに黒いすじが入らないときは、回線または相手側に原因があると思われます。相手先に連絡してもう一度送り直してもらってください。	—
	• お買い上げ店かサービス窓口にご相談ください。	—
記録紙がひんぱんにつまる。 記録紙が引き込まれない。	• 当社推奨の記録紙を使用してください。	☞ 17
	• セットできる枚数は30枚までです。	☞ 24
	• 記録紙は使い切ってから入れてください。	—
	• しわ、折れのある紙、湿っている紙などは使用しないでください。	☞ 45
	• 記録紙給紙用ローラー、記録紙送り用ローラーを掃除してください	☞ 149、150
	• 記録紙カセットの奥側斜面を水拭きしてください。	☞ 149
印刷した記録紙が汚れる。	• 記録ローラー、記録紙給紙用ローラー、記録紙送り用ローラーを清掃してください。	☞ 149、150

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
ファクスの送信はできるが、受信ができない。	• おやすみ設定になっていて、メモリに受信していませんか？	☞ 120
	• 同じ回線にモデムが接続されていませんか？　モデムの電源をOFFにしてテストしてください。	—
	• メモリがいっぱいのときは受信できません。	☞ 53
相手先から正常にファクスを送ったといわれたが、受信していない。	• おやすみ設定になっていて、メモリに受信していませんか？	☞ 120
海外からの受信ができない。	• 国によってはかなり回線状態が悪い場合があり、受信できないことがあります。	—
	• ファクス信号を出さない装置からの場合、留守設定にしてください。無音検出機能で受信できます。	—
	• コールバックサービスをご利用のときは、送受信の手順などが違う場合があります。サービス提供会社などにお問い合わせください。	—
ファクスかんたん受信ができない。	• ファクスかんたん受信を［する］に設定されていますか？	☞ 55
	• 受話器から「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージを聞いてから、受話器を戻してください。メッセージが流れる前に受話器を戻すと回線が切断される場合があります。	☞ 55
	• 周囲に騒音などがありませんか？	☞ 55
	• 相手がファクス信号を出さない機種の場合は、ファクスかんたん受信はできません。（スタート）を押してください。	☞ 55
	• 受信したファクスを印刷中は受信できません。	—
A4の原稿を受信しているが、縮小されてしまう。	• 相手先（送信側）で原稿の大きさにきちんと原稿セットガイドを合わせて送ったか確認してみてください。	—

ハンドスキャナ

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
［ハンドスキャナ確認］と表示が出た。	• ハンドスキャナを取りはずし、もう一度セットしてください。	☞ 59
ハンドスキャナでコピーできない。	• 普通に原稿をセットしてコピーできますか？	☞ 57
	• 凹凸のある原稿を読み取っていませんか？	—
読み取り中に「ピッピッピッ」という音がした。	• 読み取りが速すぎます。ゆっくり動かしてください。	☞ 60
記録位置がズレる。	• 原稿を基準線と読み取りマークに合わせてください。	☞ 60
ハンドスキャナで読み取ると、拡大または縮小コピーになる。	• 拡大／縮小の設定を確認してください。	☞ 66
［スキャナのコードを接続して下さい］と表示が出た。	• ハンドスキャナ用コードを接続してからハンドスキャナをセットしてください。	☞ 59
コードレスで使用時、電池ランプが点灯しない。	• 電池が正しく入っていますか？　電池が正しく入っているか確認してください。	☞ 23
	• 電池の残量がありません。ハンドスキャナ用コードを接続してください。	☞ 24

故障かな?と思ったら

こんなときは…?	もう一度お確かめください…	参照ページ
コードレスで使用時、メモリランプが点滅している。	• ハンドスキャナのメモリがいっぱいです。メモリに記憶されている原稿を消去してください。	☞ 65
コードレスで使用時、長時間充電してもすぐに電池ランプが点滅する。	• ハンドスキャナのバッテリーパックを新しいものと交換してください。	☞ 23

ナンバー・ディスプレイ機能

こんなときは…?	もう一度お確かめください…	参照ページ
相手の電話番号が表示されない。	• NTTのナンバー・ディスプレイに加入していますか?	☞ 100
	• ナンバー・ディスプレイの設定が[しない]になっていませんか?	☞ 100
呼び出し音声が出ない。	• [名のってる]の表示が消灯していませんか?	☞ 111
	• 誰からコールが正しく登録されているか確認してください。	☞ 110
	• ご指名コールが正しく登録されているか確認してください。	☞ 111
	• 呼び出し音声が正しく録音されているか確認してください。	☞ 111
	• 電話帳に登録するときに市外局番から登録してありますか?	☞ 87
外出先から電話すると「番号を通知しておかけ直してください。また、回線ごと非通知のかたは番号の前に186をダイヤルしておかけ直しください」と聞こえる。	• 非通知おことわりの設定が[する]になっていませんか? 「186」を頭につけてダイヤルしてください。	☞ 106

留守番機能

こんなときは…?	もう一度お確かめください…	参照ページ
(留守) ランプが点灯しない。	• メモリが満杯になっています。不要な用件は消去してください。メモリ受信したファクスがあれば、記録紙に出力してください。	☞ 126
留守中に電話がかかったのに応答しない。	• 電話回線コードや電源コードはしっかりつながっていますか?	☞ 25
	• 停電がありませんでしたか? 停電中は留守録音しません。	☞ 146
	• 留守番状態を解除していませんか?	☞ 125
相手の用件を最後まで録音しない。	• 相手の声が小さすぎたり、言葉が途切れて約6秒以上黙ったままでいると電話は切れてしまいます。	☞ 125
用件を録音できない。	• メモリが満杯になっています。不要な用件は消去してください。メモリ受信したファクスがあれば、記録紙に出力してください。	☞ 126
用件を録音した時間(タイムスタンプ)が実際とずれる。	• 日付、時刻の設定は合っていますか?	☞ 28
	• 電源プラグを抜いたか停電がありませんでしたか? 日時の設定をし直してください。	☞ 28
自作応答メッセージが流れない。	• 自作応答メッセージが正しく録音されていますか?	☞ 127
	• 応答メッセージを切り換えていませんか?	☞ 128
「メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください」と聞こえた。	• 用件がすぐいっぱいになります。不要な用件を消去してください。	☞ 126
留守番電話の内容が聞こえなくなってしまった。	• スピーカー音量が「切」になっていませんか?	—

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
留守設定時に自動送信で送られたファクスを受信できない。	• 着信ベル回数を10回以下に設定してください。	☞ 54

外出先からリモコン操作するとき

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
6回ベルを鳴らしても応答しない。	• 留守番状態を解除しているのではありませんか？	☞ 124
	• ベルの鳴る回数を変えていませんか？	☞ 54
暗証番号を押しても受け付けない。	• ダイヤル回線の電話ではありませんか？　プッシュホン(トーン)信号を出す機能のあるファクシミリ/電話機の場合はプッシュホン信号に切り換えてください。ない場合は、プッシュ回線の電話(公衆電話など)からかけ直してください。	☞ 128
暗証番号を押すとすぐ「暗証番号を入れ直してください」が流れる。	• 本機に登録した暗証番号と違う番号を押していませんか？　暗証番号を3回間違えると電話は切れます。	☞ 128
(#)(0)(#)と押しても留守番状態にならない。	• 用件が満杯ではありませんか？　不要な用件を消してから、やり直してください。	☞ 126
「番号を通知しておかけ直してください。また、回線ごと非通知のかたは番号の前に186をダイヤルしておかけ直しください」と聞こえる。	• 非通知おことわりの設定が[する]になっていませんか？　(ただし、おことわりメッセージが流れている間に暗証番号を押すと、リモコン操作はできます。)	☞ 106

外出先へ用件を転送するとき

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
外出先で転送されてきた用件が聞けない。	• 転送先の電話がダイヤル回線ではありませんか？ プッシュ回線またはプッシュホン信号の出せる電話でないと用件は聞けません。	☞ 130
用件の転送ができない。	• 暗証番号を登録してありますか？　暗証番号を登録していないと転送はできません。	☞ 128、130
	• 転送先の電話番号を登録してありますか？　登録していないときや、他の番号を登録してあるときは、登録し直してください。	☞ 130
	• 用件転送の設定を[しない]にしていませんか？	☞ 130

その他

こんなときは…？	もう一度お確かめください…	参照ページ
[原稿確認]と表示されるが、原稿が取れない。	• カバーを開け、原稿をゆっくりと引き抜いてください。	☞ 141
親機のどのボタンを押しても何も反応しない。	• 電源プラグを電源コンセントからいったん抜いて、再度差し込んでください。	☞ 25

故障かな?と思ったら

警告音

	こんな警告音が聞こえたら	もう一度お確かめください…
親機	「ピー・ピー・ピー・ピー」	• 相手のファクスに記録切れなどが起きたため、送信が中断されました。相手に確認してもう一度送り直してください。
		• 相手のファクスに原稿詰まりなどが起きたため、受信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送り直してもらってください。
	「ピー」	• (ストップ) を押すと、「ピー」という音が止まります。
		• 記録紙の給紙不良です。記録紙給紙用ローラーを清掃してください。
		• 記録紙がつまったか、なくなっています。
子機	「ピッ.....ピッ.....(3秒間隔)」	• バッテリーが消耗しています。子機を充電台に戻して充電してください。通話中のときは、通話を切るか、40ページの方法で親機で続けて通話することもできます。
	「ピッ・ピッ・ピッ...(1秒間隔)」	• 親機との距離が通話可能な範囲(見通しで約50～100m)を越えています。約15秒間で通話が切れてしまうので、通話できる距離まで近づいてください(☞20ページ)。
		• 親機のアンテナをまっすぐ立ててください。
	「ピー・ピー・ピー・ピー・ピー」	• 子機でかけようとしたが、親機(または他の子機)で通話中または何らかの操作中のとき。 ➔このとき電話はかけられません。
		• 子機でかけようとしたが親機から離れすぎているとき。 ➔親機に近づいてみてください(☞20ページ)。
		• 子機でかけようとしたが停電のとき。 ➔このとき子機では電話はかけられません(☞146ページ)。
		• 登録操作をしようとしたが、親機、または他の子機が通話中のとき。 ➔通話を切ってから操作をやり直してください。
		• 親機の設定場所を確認してください(☞20ページ)。
親機・子機共通	「プーッ・プーッ・プーッ(話し中の音)」	• 充電台の電源プラグが抜けて (通話) のランプが点灯していませんか？ ➔電源プラグを電源コンセントにつないでください。 • 親機の受話器がはずれていませんか？

アルファベットで始まる表示が出たら、次ページをご覧ください。

自己診断表示（アルファベットで始まる表示が出たら）

本機には自己診断表示がついています。
これは本機が正しく動作していないときに、表示窓にアルファベットと数字の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。
以下の表をご覧になり、各表示にあった対応をしてください。

親機の表示	子機の表示	原因	対応のしかた
C40 原稿がありません検出不良		• FAX送信時またはコピー時に原稿がセットされていない。または原稿が規定範囲外である。（原稿送りがされない。）	原稿をセットしてください。
			原稿が厚／薄すぎまたは小さすぎます。ハンドスキャナを使用してください。
			フロントカバーの内側にあるグレーのゴム板が原稿セット台に引っかかっていないか確認してください。引っかかっていたら戻してください。
			原稿送り用ローラーを清掃してください。
C42 電話帳がいっぱいです メモリ満杯	C42 100件登録済 メモリ満杯	• 親機・子機の電話帳のメモリ満杯時にさらに登録しようとした。	不要な電話帳を消去してください。
C42 全て登録済みです メモリ満杯		• おことわり先が20件登録されているときにさらにおことわり先登録を行おうとした。	不要なおことわり先を消去してください。
		• 親機の電話帳に50件の呼び出し音声が録音されているときにさらに呼び出し音声録音を行おうとした。	不要な呼び出し音声を消去してください。
C42 電話帳転送 異常終了しました XX件転送できません メモリ満杯		• 子機の電話帳のメモリ満杯時に親機から電話帳1件転送または、一括転送を行おうとした。	子機の不要な電話帳を消去してください。
C42 用件がいっぱいです メモリ満杯		• 録音用のメモリが満杯時に留守設定、または転送設定を行おうとした。	不要な用件を消去してください。
C42 メモリがいっぱいです メモリ満杯		• 録音用のメモリが満杯時に応答メッセージ録音、または呼び出し音声録音を行おうとした。	不要な用件を消去してください。
		• Eメール保存用メモリ満杯時に、Eメールの新規作成、返信、転送、受信を行おうとした。	送受信済みのメールを削除してください。
	C51 操作エラー	• 制限時間内に有効な操作をしなかった。登録できる桁数より多く、または少なく入力した。	操作をやり直してください。正しい桁数で登録してください。
	C52 他の子機で予約済み	• ある子機で優先着信設定済みのときに、別の子機で設定しようとした。	設定済み子機の設定を解除してから操作してください。
	C52 優先着信設定予約済み	• 優先着信設定済みのときに、おやすみ設定しようとした。	優先着信設定を解除してください。
	C52 おやすみ設定予約済み	• おやすみ設定済みのときに、優先着信設定しようとした。	おやすみ設定を解除してください。
	C61 無効キー操作	• 登録時、無効なボタンを押した。	正しいボタンを押してください。
	C62 メロディ未登録	• 着信メロディを登録せずにメロディ設定や子機への転送をしようとした。	着信メロディを登録してから操作してください。

自己診断表示（アルファベットで始まる表示が出たら）

親機の表示	子機の表示	原因	対応のしかた
C72　電話線外れ		• 電話回線がとだえた。	電話回線コードが正しく接続されているか確認してください。 電話回線コードに重い物が乗っていたり、何かにはさまれていたりしないか確認してください。 もう一度操作してください。
C73　電話帳転送 異常終了しました 00件転送できません 無線接続エラー		• 電話帳転送に失敗した。	
C73　メロディ転送 異常終了しました 無線接続エラー		• 子機への着信メロディ転送に失敗した。	もう一度操作してください。
	C73	• 子機でベルが鳴る前に電話に出た。 • 子機が親機と離れすぎている、または他の電化製品が近くにある。	子機でベルが鳴ってから出てください。 設置場所を確認してください。
	C73	• 子機で着信記録が正しく受信されなかった。	親機で着信記録を確認してください。
C74　受信エラー 通信エラー	C74	• ナンバー・ディスプレイが正しく受信されなかった。	回線事情や雑音によってナンバー・ディスプレイの情報が正しく受信できなかったときは、電話番号が表示されません。この場合は、「C74」という表示が出ますが、本機は正常に動作しているので、そのままお使いいただけます。 この表示が頻繁に出るときは、お買い上げ店かサービス窓口にご相談ください。
C74　相手先無応答		• FAXを送ろうとしたが、相手先から応答がないため送信できなかった。（応答はするが相手先がFAXではない。）	相手先の番号を確認してください。または、相手先に確認してください。
C74　通信異常		• 送信途中で、相手先が受信を終了してしまった。（相手先から切断信号）	相手機の記録紙がなくなった。もしくは、記録紙がつまった可能性があります。相手先に確認してください。
C74　相手先話し中		• FAX送信時、再発呼を行ったが相手先が話し中で、送信できなかった。	相手先が話し中です。しばらくしてから、送りなおしてください。 回線が混みあっています。しばらくしてから、送りなおしてください。

主な仕様

機器名	SNF-5CL、SNF-5CLW、SNF-V6CL
適合認定番号	親機の底面に記載
ダイヤル方式	回転ダイヤル回線/プッシュホン回線切り換え可能
付属品	受話器（1 個） 電話回線コード（長さ2m ）（1 本） バッテリーパック（充電式ニカド電池） BP-T50 （子機用）（SNF-5CL/V6CL:1 個、SNF-5CLW:2 個） バッテリーパック（充電式ニカド電池） BP-T70（スキャナ用）（1 個） 子機（SNF-5CL/V6CL:1 台、 SNF-5CLW:2 台） 充電台（SNF-5CL/V6CL:1 台、 SNF-5CLW:2 台） インクフィルム(1本) 記録紙カセット（1個） 原稿台 「77 セレクティ」パンフレット（一式） 取扱説明書（1 部） 保証書（1 部） ソニーご相談窓口のご案内（1 部） 記録紙（A4サイズ：5枚）

親機

電源	AC100V、50/60Hz
ハンドスキャナのバッテリーパック	充電式ニカド電池 （BP-T70、DC 7.2V、250mAh、Ni-Cd）
消費電力	待機時：約1.5W 送信時：約16W 受信時：約16W コピー時：約25W 最大時：約84W
直流抵抗	89Ω（20 mA）
外形寸法	約333（横幅）×343（奥行き）×152（高さ）mm（突起部を除く）
質量	約4.8kg（記録紙、インクフィルムを除く）
使用環境	温度：5～35℃ 湿度：35～85%
推奨環境	温度：15～30℃ 湿度：35～70%
運用回線	• 一般電話回線 • ダイヤルイン回線 • NCC回線
自動受信	有（ファクス/電話自動切り換え機能内蔵）

ファクス／コピー

原稿サイズ	最大：257（幅）×1000（長さ）mm 最小：128（幅）×128（長さ）mm
記録紙サイズ	普通紙、感熱紙 • A4サイズ（210×297mm） • 厚さ0.07～0.09mm
記憶容量*1	A4（700文字程度）の原稿で約20枚（最大30文書）
有効読取幅	B4のとき：250mm A4のとき：208mm
有効記録幅	205 mm
走査方法	CCDによる原稿移動型平面走査、または、ハンドスキャナ移動による平面走査
走査線密度	主走査 8ドット/mm 副走査 細かい：15.4 line/mm 小さい：7.7 line/mm 普通：3.85 line/mm
通信モード	G3/ECM
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400 bps
電送時間*2	ECM：約6秒
記録方式	• 熱転写記録方式 • 感熱記録方式

＊1：記憶容量は、留守電の応答メッセージや用件、通話録音、メモリ代行受信などを含むすべての記憶容量となります。
＊2：電送時間は、A4判700字程度の原稿を標準的画像（8×3.85line/mm）で高速モード（14400bps）で送ったときの速さです。これは、画像情報の電送時間のみを示しており、通信の制御時間は含まれません。
実際の通信時間は、原稿の内容、相手機種、回線の状態により変化します。

子機

電源	バッテリーパック（充電式ニカド電池） （BP-T50、DC2.4V、600mAh、Ni-Cd ）
充電時間	約10 時間
バッテリーの使用可能時間	待ち受け時：約240 時間（約10 日間） 連続通話時：約6 時間
最大外形寸法	約48 ×189 ×40mm （幅/高さ/奥行き）
質量	約180g （付属のバッテリーを含む）

充電台

電源	AC100V
最大外形寸法	約78 ×59 ×105mm （幅/高さ/奥行き）
質量	約140g

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

つづく→

別売り品

- 増設用子機SNF-HS5/HS6
  別売りの子機を増やすことができます。（SNF-5CL/V6CLにはあと2台、SNF-5CLWにはあと1台）。
  SNF-5CL/5CLW/V6CLの子機として増設できるのは、上記の指定された別売りの増設用子機のみです。ソニー製の他の電話機ファクシミリに付属の子機はお使いになれません。
  – 子機を増設してお使いいただくためには、ID コードの登録が必要です。コードレス子機をお買い上げの際、必ず親機と付属の子機をご持参のうえ、お買い上げ店でID コードを登録していただくよう、お願いいたします（ID コードの登録は有料となります）。
- デジタルチューナーユニットSPP-TU1
- バッテリーパック(子機用)BP-T50
- ドアホンTL-D1
- ドアホンターミナルTL-DT1
- インクフィルムTL-RF10
- 普通紙TL-PA4N

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1 年間です。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件に従って修理をいたします。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、通話などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、パーソナルファクシミリの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低7 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては、修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
- **型名：**SNF-5CL/5CLW/V6CL
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **お買い上げ年月日**

アフターサービスを依頼するときは

必ず親機とすべての子機・充電台（増設子機を含む）とバッテリーをお持ちください。すべてそろっていないと修理できないことがあります。

機能設定／登録早見表

＜手順＞

登録/決定 ➡ メインメニュー選択 ローラージョグで ➡ 登録/決定 ➡ 機能メニュー選択 ローラージョグで ➡ 設定／登録 操作

登録メイン		機能メニュー	設定／登録内容（□はお買い上げ時の状態です。）	参照ページ
1	電話帳登録	ー	名前と電話番号を登録します。	P87
2	リスト印刷	1：電話番号リスト		
		2：着信記録リスト		
		3：システムリスト		
		4：通信管理レポート		
3	受信設定※1	1：着信設定	1:電話/ファクス自動切換、2:電話専用、3:ファクス専用	P51
		2：着信音設定	1:全ての着信 1:通常ベル音 2:固定メロディ（1:アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク、2:春、3:トルコ行進曲） 3:えらんでメロディ（#:シャッフル、1:〜0:（ダウンロードした曲）） 2:電話帳一致 1:鳴り分けベル音 2:固定メロディ（1:アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク 、2:春、3:トルコ行進曲） 3:えらんでメロディ（#:シャッフル、1:〜0:（ダウンロードした曲））	P118
		3：ファクスかんたん受信	する、しない	P55
		4：着信ベル回数	00〜19回、（6回）	P54
		5：呼出ベル回数	01〜19回、（10回）	P54
		6：音声メッセージ	する、しない	P55
4	設定メニュー	1：読み取り濃度	■□□□□、■■□□□、■■■□□、■■■■□、■■■■■	P46
		2：発信元記録	する、しない	P33
		3：海外通信	する、しない	P47
		4：保留メロディ	1:聖者の行進、2:茶色の小瓶	P119
		5：回線種別	1:10PPS（ダイヤル）、2:20PPS（ダイヤル）、3:トーン（プッシュ）、4:自動回線選択	P31
		6：ドアホン接続	1:ドアホン接続なし、2:ドアホン１接続、3:ドアホン２接続、4:ドアホン１＆２接続	P152
		7：不達レポート	する、しない	P50
		8：コントラスト調整	□□□□□□、■□□□□□、■■□□□□、■■■□□□、■■■■□□、■■■■■□、■■■■■■	P121
5	登録メニュー	1：自分の電話番号	自分の電話番号（最大20桁）を登録する	P33
		2：発信元	自分の名前（最大40文字）を登録する	P31
		3：ダイヤルイン	する、しない	P115
		4：日時設定	'01年1月1日　0：00	P28
		5：電話帳転送	親機の電話帳を子機に転送する（一括／個別）	P95
		6：メロディ転送	親機で登録したメロディを子機に転送する	P138
6	留守電機能	1：応答メッセージ録音	1:録音メッセージ１、2:録音メッセージ２	P127
		2：応答メッセージ消去	1:録音メッセージ１、2:録音メッセージ２	P127
		3：トールセーバー	する、しない	P129
		4：リモコン操作	する、しない	P128
		5：用件転送	する、しない	P130

登録メイン		機能メニュー	設定／登録内容（　　はお買い上げ時の状態です。）	参照ページ
7	ナンバーディスプレイ※2	1：ナンバーディスプレイ利用	する、しない	P100
		2：非通知おことわり	する、しない	P106
		3：おことわり	する、しない	P105
		4：応答メッセージ選択	する、しない	―
		5：キャッチホン	する、しない	P106
		6：おことわりリスト	1:登録、2:修正	P104
8	ハンドスキャナ	1：メモリ送信	1:全ページ、2:指定ページ、3:新規ページ	P64
		2：メモリ印刷	1:全ページ、2:指定ページ、3:新規ページ	P65
		3：メモリ消去	―	P65
		4：メロディスキャナ	する、しない	P66
		5：読み取り記録幅	1:B4→A4、2:A4→A4、3:B5→A4、4:A5→A4	P66
9	印刷メニュー	1：定型受信	する、しない	P56
		2：メモリ受信	する、しない	P56
0	ファクス通信	1：ファクス情報サービス	ファクス情報サービス（ポーリング方式）を利用する	P58
		2：同報送信	電話帳から同報送信先を登録する	P49
その他	名のってる		する、しない	P112
	ベル音量		□□□□□□、■□□□□□、■■□□□□、■■■□□□、■■■■□□、■■■■■□、■■■■■■	P120
	受話音量		■■□□□□、■■■■□□、■■■■■■	P34、35
	スピーカーホン音量		■□□□□□、■■□□□□、■■■□□□、■■■■□□、■■■■■□、■■■■■■	P38、39
	スピーカー音量※3		■■□□□□、■■■■□□、■■■■■■	―
	画質		ふつう、小さい、細かい、写真	P46
	77セレクティ		設定、解除	P135
	ダイレクトプリント		する、しない	P81
	添付ファイル受信		する、しない	P80

※1 着信設定を［2：電話専用］にした場合は、機能メニュー4〜6を表示しません。
着信設定を［3：ファクス専用］にした場合は、機能メニュー5〜6を表示しません。
※2 ［1：ナンバーディスプレイ利用］を［しない］にした場合は機能メニュー2〜6を表示しません。
※3 スピーカー音量は以下のとおりです。

- 用件再生
- ボイスガイド
- ハンドスキャナメロディ音
- 保留メロディ（確認時／相手側に聞こえる音量は変えられません）
- 応答メッセージ（確認時／相手側に聞こえる音量は変えられません）
- 誰からコール・ご指名コール・音声録音の確認再生音
- えらんでメロディのダウンロード時の再生音

索引

あ行

か行

さ行

た行

つづく→

保証期間中のお取り扱いと技術的なお問い合わせは
●テクニカルインフォメーションセンターへ

フリーダイヤル　**０１２０－５１－７４１１**
受付時間　9:00〜18:00
（土・日・祝祭日を除く）

http://www.sony.co.jp/

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
● Fax ……………………………… 0466-31-2595

受付時間：
月〜金
9:00〜
20:00、
土・日・祝日
9:00〜
17:00

Printed in Thailand

NG-086750-0K05